

習志野市障がい者基本計画等策定のための アンケート調査報告書

令和5年3月

習志野市

目次

第1部 調査の概要.....	1
1 調査の目的と方法.....	3
2 調査結果の概要.....	6
第2部 調査結果の詳細.....	17
I 在宅の方（18歳以上）を対象とした調査.....	17
1 はじめに.....	19
2 ご本人について.....	20
3 医療について.....	27
4 ご家族や介助者について.....	33
5 生活状況について.....	37
6 防災について.....	48
7 就労について.....	51
8 社会参加について.....	64
9 障害福祉サービスについて.....	74
10 生計について.....	86
11 今後の生活について.....	89
12 障がい者施策について.....	95
13 自由意見.....	99
II 施設や病院に入所・入院している方を対象とした調査.....	103
1 はじめに.....	113
2 ご本人について.....	114
3 施設や病院への入所・入院について.....	118
4 施設や病院での生活について.....	122
5 社会参加について.....	129
6 今後の生活について.....	135
7 障がい者施策について.....	140
8 自由意見.....	144
III 18歳未満の方と保護者の方を対象とした調査.....	145
1 はじめに.....	147
2 ご本人について.....	148
3 医療について.....	156
4 ご家族や介助者について.....	159
5 生活状況について.....	161
6 防災について.....	171

7	保育・教育について.....	172
8	社会参加について.....	182
9	障害福祉サービスについて.....	188
10	今後の生活について.....	197
11	障がい児・障がい者施策について.....	200
12	自由意見.....	203
IV	発達障がいの方と保護者の方を対象とした調査.....	207
1	はじめに.....	209
2	ご本人について.....	210
3	医療について.....	214
4	ご家族について.....	216
5	生活状況について.....	219
6	防災について.....	227
7	保育・教育について.....	228
8	社会参加について.....	237
9	福祉制度について.....	243
10	今後の生活について.....	247
11	発達支援施策について.....	250
12	自由意見.....	251
V	障がいのない方を対象とした調査.....	253
1	ご本人について.....	255
2	障がい者との関わりについて.....	258
3	ボランティア活動について.....	267
4	障がい児の教育について.....	275
5	障がい者の就労について.....	280
6	障がいに関する意識について.....	283
7	ひきこもりについて.....	293
8	障がい者施策について.....	298
9	自由意見.....	299
	資料編（調査票）.....	303

第 1 部 調査の概要

1 調査の目的と方法

(1) 調査の目的

この調査は、習志野市の障がい者施策全般にわたる計画である『第4期習志野市障がい者基本計画』と、障害福祉サービス等の提供に関する計画である『第6期習志野市障がい福祉計画』及び『第2期習志野市障がい児福祉計画』の計画期間が令和5年度で終了するため、新たな計画の策定に向けて、障がいのある方の生活実態やご意見・ご要望などを把握することを目的として実施しました。

(2) 調査の対象

①在宅の方（18歳以上）を対象とした調査

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、及び自立支援医療（精神通院医療）を利用している方のうち、18歳以上の在宅の方を対象としました。

②施設や病院に入所・入院している方を対象とした調査

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方で、障害者施設、介護保険施設、精神科病院等に入所・入院している方を対象としました。

③18歳未満の方と保護者の方を対象とした調査

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、及び自立支援医療（精神通院医療）を利用している方のうち、18歳未満の方を対象としました。

④発達に懸念のある方または発達に関する制度を利用している方と保護者の方を対象とした調査

発達障がい等の理由で、市内小中学校の特別支援学級または通級指導教室を利用している方、及び「ひまわり発達相談センター」を利用している方を対象としました。

⑤障がいのない方を対象とした調査

手帳をお持ちでない20歳以上の市民の方から、1,000人を抽出して対象としました。

(3) 調査方法

対象者の方に郵送で調査票を配付し、無記名で郵送回収しました。「Ⅳ 発達に懸念のある方、または発達に関する制度を利用している方と保護者の方を対象とした調査」は、学校を通じて調査票を配付し、無記名で郵送回収しました)

(4) 調査期間

令和4年9月20日～10月21日の期間に実施しました。

(5) 配付・回収状況

調査票の種類	配付数	回収数	回収率
I 在宅の方（18歳以上）を対象とした調査	1,700	1,070	62.9%
II 施設に入所している方を対象とした調査	150	109	72.7%
III 18歳未満の方と保護者の方を対象とした調査	401	268	66.8%
IV 発達に懸念のある方、または発達に関する制度を利用している方と保護者の方を対象とした調査	296	104	35.1%
V 障がいのない方を対象とした調査	1,000	505	50.5%
全体	3,547	2,056	58.0%

◆ 調査結果の見方について

- ① 表・グラフでは、整数の数値が回答件数（人）、小数第1位までの小数が百分率（%）を標示しています。
- ② 集計した数値（%）は小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しています。このため、質問に対する回答の選択肢が一つだけの場合、選択肢の数値（%）を全て合計しても、100.0%にならない場合があります。
- ③ 回答者数（n）を分母として割合（%）を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると通常、100%を超えます。
また、nが100に満たない場合は百分率（%）を用いて分析を行うことが統計的に正しくないため、分析は実数を用いて行うことを基本としています。
- ④ 調査結果を表やグラフで表示している場合、掲載の都合で無回答など一部の結果を省略している場合があります。このため、各項目の該当人数の合計が全体の人数よりも少ないことがあります。また、一部の質問では回答のなかった項目を省略しているため、調査票に記載された選択肢が表やグラフにはないことがあります。
- ⑤ 障がい別の集計結果については、2つ以上障がいのある方は、それぞれの集計結果に重複して入っています。

2 調査結果の概要

ここでは、今回の調査結果のうち、現状と課題を分析する上で重要だと思われる設問について、結果の概要を掲載しています。

(1) 在宅の方（18歳以上）を対象とした調査

➤ 介助者が困っていること（問12）

～ 「将来の見通しに不安がある」が最も多い

全体では、「将来の見通しに不安がある」が41.8%と最も多く、次いで「介助者自身の健康に不安がある」が38.2%、「緊急時の対応に不安がある」が36.4%、精神的な負担が大きい」が35.5%となっています。

障がい別にみると、身体障がいでは「介助者自身の健康に不安がある」、知的障がいでは「将来の見通しに不安がある」「介助者自身の健康に不安がある」「長期の旅行や外出ができない」、精神障がいでは「将来の見通しに不安がある」「精神的な負担が大きい」などが多くなっています。

➤ 日常生活の中で改善したいこと（問13） ～ 「将来のこと」が最も多い

全体では、「将来のこと」が39.5%と最も多く、次いで「緊急時のこと（急病・けがなど）」「災害時のこと」が29.8%、「生計のこと（収入など）」が25.0%などとなっています。

障がい別にみると、知的障がい、精神障がいでは「将来のこと」が特に多くなっています。また、知的障がいでは「お金の管理のこと」、精神障がいでは「生計のこと（収入など）」、「人間関係のこと」、「就労のこと」、「社会参加のこと（人との交流など）」が多くなっています。

➤ 日中の過ごし方（問20） ～ 「働いている」は3割弱

全体では、「一般就労（正社員・正職員）」が10.6%、「一般就労（パート・アルバイト）」は11.6%、「福祉施設で働いている」は4.8%、「自宅で働いている（収入のある仕事）」は2.0%となっています。「働いている」という回答は合わせて3割弱、「働いていない」という回答は5割台後半となっています。

障がい別にみると、身体障がいで「好きなことをして自宅等で過ごしている」、知的障がいで「一般就労（パート・アルバイト）」「福祉施設で働いている」、精神障がいで「自宅で家事や手伝いをしている」が最も多くなっています。

➤ 仕事をする上で困っていること（問21）

～ 「給与・工賃などの収入が少ない」が最も多い

全体では、「特に困っていることはない」を除くと、「給与・工賃などの収入が少ない」が23.3%と最も多く、次いで「精神的な負担が大きい」が18.1%、「身体的な負担が大きい」が16.8%となっています。

障がい別にみると、精神障がいでは「精神的な負担が大きい」が最も多く、「給与・

工賃などの収入が少ない」、「職場の人間関係」が他と比較して多くなっています。

➤ 一般就労に必要なこと（問 25）

～ 「障がい特性に合った職業・雇用の拡大」が最も多い

全体では、「障がい特性に合った職業・雇用の拡大」が 43.1%と最も多く、次いで「障がいに対応した柔軟な勤務体制（短時間就労など）」が 41.6%、「職場の障がいへの理解の促進」が 39.2%となっています。

障がい別にみると、身体障がいでは「障がいに対応した柔軟な勤務体制（短時間就労など）」、知的障がいと精神障がいでは「職場の障がいに対する理解の促進」が最も多くなっています。

➤ 外出するとき困っていること（問 28）

～ 「疲れたときの休憩場所がない」が最も多い

全体では、「特になし」を除くと、「疲れたときの休憩場所がない」が 26.9%と最も多く、次いで「建物の段差や階段」が 22.1%、「歩道の段差や障害物」が 21.4%となっています。

障がい別にみると、身体障がいでは「歩道の段差や障害物」「建物の段差や階段」、知的障がいと精神障がいでは「周囲の目が気になる」が他と比較して多くなっています。

➤ 社会参加のために必要なこと（問 31）

～ 「障がい者が参加しやすい活動やイベント」が最も多い

全体では、「障がい者が参加しやすい活動やイベント」が 36.0%と最も多く、次いで「障がい者が使いやすい公共施設の整備」が 33.7%、「障がい者が使いやすい交通機関や道路の整備」が 32.2%となっています。

障がい別にみると、身体障がいでは「障がい者が使いやすい公共施設の整備」、知的障がいと精神障がいでは「障がい者が参加しやすい活動やイベント」、精神障がいでは「地域や社会の障がい理解を深めるための広報・啓発」が最も多くなっています。また、知的障がいでは「障がいのある人とない人が一緒に活動する機会」「障がい者の参加を支援するボランティアの育成」が他と比較して多くなっています。

➤ 障害者福祉サービスの利用意向（問 33）

利用したいサービスについて見ると、訪問系サービスでは「居宅介護（ホームヘルプ）」、日中活動系サービスでは「短期入所（ショートステイ）」、居住系サービスでは「自立生活援助」、相談支援（「サービス等利用計画」）では「計画相談支援」、地域生活支援事業では「相談支援事業」が最も多くなっています。

➤ サービス利用に関して困っていること（問 34）

～ 「どのようなサービスを利用できるのかわからない」が最も多い

全体では、「どのようなサービスを利用できるのかわからない」が 35.4%と最も多く、次いで「事業者を選ぶための情報が少ない」が 13.5%、「サービス利用の手続きが大変」が 10.7%となっています。

障がい別にみると、精神障がいでは「どのようなサービスを利用できるのかわからない」が特に多く、知的障がいと精神障がいでは「事業者を選ぶための情報が少ない」が他と比較して多くなっています。

➤ 将来の暮らし方（問 39） ～ 「家族と暮らしたい」が最も多い

全体では、「家族と暮らしたい」が45.8%と最も多く、次いで「一人暮らしをしたい」が12.5%、「高齢者の入所施設に入りたい」が5.0%となっています。

障がい別にみると、身体障がいでは「家族と暮らしたい」が特に多く、知的障がいでは「グループホームなどに入居したい」、「障がい者の入所施設に入りたい」、精神障がいでは「一人暮らしをしたい」が他と比較して多くなっています。

➤ 地域生活の課題（問 40） ～ 「生計に不安がある」が最も多い

全体では、「生計に不安がある」が33.5%と最も多く、次いで「身の回りのことが十分できない」が32.4%、「介助してくれる人がいない」が14.7%となっています。

障がい別にみると、身体障がい、知的障がいでは、「身のまわりのことが十分できない」、精神障がいでは「生計に不安がある」が最も多くなっています。また、知的障がいでは「介助してくれる人がいない」、精神障がいでは「就労の場の確保が難しい」「相談できる人がいない」などが他と比較して多くなっています。

➤ 今後の生活で充実させたいこと（問 41）

～ 「衣食住などの日常生活」「健康づくり」が最も多い

全体では、「衣食住などの日常生活」「健康づくり」が45.2%と最も多く、次いで「趣味・スポーツなどの余暇活動」が28.3%、「友人や仲間との交流」が24.7%となっています。

障がい別にみると、身体障がいでは「訓練・リハビリ」、知的障がい、精神障がいでは「就労や日中活動」「趣味・スポーツなどの余暇活動」などが他と比較して多くなっています。

➤ 差別や虐待を受けた経験（問 42） ～ 「差別用語が使われた」が最も多い

全体では、「特にない」を除くと、「差別用語が使われた」が6.6%と最も多く、次いで「希望する仕事に就けなかった」が6.0%、「職場での労働条件や給料が、周囲の人と比べて不当である」が4.0%となっています。

障がい別にみると、「特にない」を除くと、知的障がい、精神障がいでは「差別用語が使われた」、「希望する仕事に就けなかった」が他と比較してやや多くなっています。

➤ 今後力を入れてほしい施策（問 43） ～ 「障がいへの理解」が最も多い

全体では、「障がいへの理解の促進」が38.1%と最も多く、次いで「保健・医療の充実」が36.1%、「経済的支援の充実」が30.7%となっています。

障がい別にみると、身体障がいでは「保健・医療の充実」が最も多く、「建物・道路などのバリアフリー化」が他と比較するとやや多くなっています。知的障がいでは「グループホームなどの整備」「成年後見制度の充実」、精神障がいでは「経済的支援

の充実」「雇用・就労支援の充実」などが他と比較して多くなっています。

(2) 施設や病院に入所・入院している方を対象とした調査

▶ 入所・入院した理由 (問 8)

～ 「家族による介助が難しくなったため」が最も多い
「家族による介助が難しくなったため」が 44.0%と最も多く、次いで「障がいや病気の状態が重くなったため」が 35.8%、「施設のほうが安心して暮らせるため」が 34.9%となっています。

▶ 日常生活の中で改善したいこと (問 12) ～ 「医療・健康のこと」が最も多い
「医療・健康のこと」が 30.3%と最も多く、次いで「将来のこと」が 22.0%、「家族のこと」が 18.3%となっています。

▶ 施設や病院に対する要望 (問 15) ～ 「外出機会の増加」が最も多い
「外出機会の増加」が 31.2%と最も多く、次いで「余暇活動の充実」が 24.8%、「施設や病院での生活内容の改善」が 19.3%となっています。

▶ 外出するとき困っていること (問 18) ～ 「外出の機会が少ない」が最も多い
「外出の機会が少ない」が 43.1%と最も多く、「特にない」を除くと、次いで「歩道の段差や障害物」が 11.9%、「建物の段差や階段」が 10.1%となっています。

▶ 社会参加のために必要なこと (問 21)
～ 「障がい者が参加しやすい活動やイベント」が最も多い
「障がい者が参加しやすい活動やイベント」が 35.8%と最も多く、次いで「障がい者の参加を支援するボランティアの育成」が 26.6%、「障がい者が使いやすい公共施設の整備」「地域や社会の障がい理解を深めるための広報・啓発」が 22.0%となっています。

▶ 将来の暮らし方 (問 22)
～ 「現在入所・入院している施設や病院で暮らし続けたい」が最も多い
「どちらとも言えない・わからない」を除くと、「現在入所・入院している施設や病院で暮らし続けたい」が 33.0%と最も多く、次いで「施設や病院を退所・退院して、家族と暮らしたい」が 17.4%、「施設や病院を退所・退院して、グループホームなどで暮らしたい」が 9.2%、「施設や病院を退所・退院して、一人暮らしをしたい」が 3.7%となっています。

▶ 施設で暮らし続けたい理由 (問 25)
～ 「施設や病院にいたほうが安心できるから」が最も多い
「施設や病院にいたほうが安心できるから」が 75.0%と最も多く、次いで「家族の受け入れ体制が整っていないから」が 41.7%、「施設や病院での生活が自分に合っているから」が 36.1%となっています。

➤ 地域生活の課題（問 26） ～ 「身の回りのことが十分できない」が最も多い
「身の回りのことが十分できない」が 61.5%と最も多く、次いで「介助してくれる人がいない」が 49.5%、「緊急時の対応に不安がある」が 44.0%となっています。

➤ 人権を損なう扱いを受けた経験（問 27）
～ 「差別用語が使われた」が最も多い
「差別用語が使われた」が 7.3%と最も多く、次いで「希望した学校に入学できなかった」が 5.5%、「周りの人や施設の人から性的な嫌がらせを受けた」が 2.8%となっています。

➤ 今後力を入れてほしい施策（問 28） ～ 「入所施設の充実」が最も多い
「入所施設の充実」が 41.3%と最も多く、次いで「保健・医療の充実」が 25.7%、「障がいへの理解の促進」が 23.9%となっています。

（3）18 歳未満の方と保護者の方を対象とした調査

➤ 介助者が困っていること（問 12） ～ 「将来の見通しに不安がある」が最も多い
全体では、「将来の見通しに不安がある」が 75.4%と最も多く、次いで「緊急時の対応に不安がある」が 36.9%、「精神的な負担が大きい」が 36.6%となっています。
障がい別にみると、身体障がいでは「緊急時の対応に不安がある」「身体的な負担が大きい」、知的障がいでは「将来の見通しに不安がある」が他と比較してやや多くなっています。

➤ 日常生活で改善したいこと（問 13） ～ 「将来のこと」が最も多い
全体では、「将来のこと」が 81.0%と最も多く、次いで「本人の成長や発達のこと」が 70.5%、「学校・教育のこと」が 53.4%となっています。
障がい別にみると、身体障害では「リハビリ・訓練のこと」「入浴のこと」「介助・介護のこと」、知的障がいでは「将来のこと」「本人の行動上の問題のこと」などが他と比較して多くなっています。

➤ 療育・保育に関して困っていること（小学校入学前）（問 23）
～ 「本人の成長や発達に不安がある」が最も多い
全体では、「本人の成長や発達に不安がある」が 67.3%と最も多く、次いで「療育・保育に関する情報が少ない」が 28.8%、「小学校入学時の学校選択で困っている」が 26.9%となっています。
障がい別の結果も、ほぼ同様の傾向でした。

➤ 学校・教育について困っていること（在学中）（問 26）
～ 「学校卒業後の進路に不安がある」が最も多い
全体では、「学校卒業後の進路に不安がある」が 65.6%と最も多く、次いで「教育・療育に関する情報が少ない」が 31.2%、「今後の学校選択で迷っている」が

29.0%となっています。

障がい別でみると、知的障がいでは「学校卒業後の進路に不安がある」が特に多くなっています。

➤ 学校卒業後の進路希望（在学中）（問 27）

～ 「正社員・正職員として働きたい」が最も多い

全体では、「わからない」を除くと、「正社員・正職員として働きたい」が20.4%と最も多く、次いで「通所施設に通いたい」が19.9%、「職業訓練学校などに通いたい」「福祉施設で働きたい」が14.0%となっています。

障がい別にみると、身体障がいでは「大学・短大に進学したい」、知的障がいでは「通所施設に通いたい」が多くなっています。

➤ 一般就労に必要なこと（問 28）

～ 「障がい特性に合った職業・雇用の拡大」が最も多い

全体では、「障がい特性に合った職業・雇用の拡大」が72.4%と最も多く、次いで「職場の障がいへの理解の促進」が71.9%、「就労のための総合的な相談」が63.8%となっています。

障がい別にみると、身体障がいでは「職場の障がいへの理解の促進」、知的障がいでは「障がい特性に合った職業・雇用の拡大」が多くなっています。

➤ 外出するとき困っていること（問 31） ～ 「周囲の目が気になる」が最も多い

全体では、「周囲の目が気になる」が34.7%と最も多く、次いで、「特にない」を除くと、「自動車・自転車などに危険を感じる」が20.5%、「交通機関が利用しにくい」が19.4%となっています。

障がい別にみると、身体障がいでは「建物の段差や階段」、知的障がいでは「周囲の目が気になる」が特に多くなっています。

➤ 社会参加のために必要なこと（問 34）

～ 「障がい者が参加しやすい活動やイベント」が最も多い

全体では、「障がい者が参加しやすい活動やイベント」が58.6%と最も多く、次いで「地域や社会の障がい理解を深めるための広報・啓発」が54.5%、「障がいのある人とない人が一緒に活動する機会」が45.5%となっています。

障がい別にみると、身体障がいでは「地域や社会の障がい理解を深めるための広報・啓発」、知的障がいでは「障がい者が参加しやすい活動やイベント」が最も多くなっています。

➤ 障害者福祉サービスの利用意向（問 37）

利用したいサービスについて見ると、訪問系サービスでは「行動援護」、日中活動系サービスでは「放課後等デイサービス」、居住系サービスでは「共同生活援助（グループホーム）」、地域生活支援事業では「相談支援事業」が最も多くなっています。

➤ サービス利用に関して困っていること（問 38）

～ 「どのようなサービスを利用できるのかわからない」が最も多い

全体では、「どのようなサービスを利用できるのかわからない」が 40.7%と最も多く、次いで、「特に困っていることはない」を除くと、「事業者を選ぶための情報が少ない」が 38.4%、「サービス利用の手続きが大変」が 19.0%となっています。

障がい別にみると、身体障がいでは「どのようなサービスを利用できるのかわからない」、知的障がいでは「事業者を選ぶための情報が少ない」が最も多くなっています。

➤ 将来の暮らし方（問 40） ～ 「家族と暮らしたい」が最も多い

全体では、「家族と暮らしたい」が 44.0%と最も多く、次いで「わからない」を除くと、「一人暮らしをしたい」が 12.7%、「グループホームなどに入居したい」が 7.8%となっています。

障がい別にみると、「家族と暮らしたい」以外では、知的障がいで「グループホームに入居したい」が多くなっています。

➤ 地域生活の課題（問 41） ～ 「身の回りのことが十分できない」が最も多い

全体では、「身の回りのことが十分できない」が 56.3%と最も多く、次いで「生計に不安がある」が 56.3%、「就労の場の確保が難しい」が 48.1%となっています。

障がい別でみると、身体障がいでは「身の回りのことが十分できない」、知的障がいでは「生計に不安がある」が最も多くなっています。

➤ 今後の生活で充実させたいこと（問 42）

～ 「友だちや仲間との交流」が最も多い

全体では、「友だちや仲間との交流」が 58.6%と最も多く、次いで「衣食住などの日常生活」が 55.6%、「趣味・スポーツなどの余暇活動」が 46.6%となっています。

障がい別にみると、身体障がいでは「訓練・リハビリ」が多くなっています。

➤ 差別や虐待を受けた経験（問 43） ～ 「受診や治療を断られた」が最も多い

全体では、「受診や治療を断られた」が 9.7%と最も多く、次いで「差別用語を使われた」が 7.5%、「電車や施設の利用を断られた」が 6.0%となっています。

障がい別の結果も、ほぼ同様の傾向でした。

➤ 今後力を入れてほしい施策（問 44） ～ 「障がいへの理解の促進」が最も多い

全体では、「障がいへの理解の促進」が 64.6%と最も多く、次いで「雇用・就労支援の充実」が 59.3%、「教育・育成の充実」が 59.0%となっています。

障がい別にみると、身体障がいでは「障がいへの理解の促進」、知的障がいでは「雇用・就労支援の充実」が最も多くなっています。

(4) 発達障がいの方と保護者の方を対象とした調査

➤ 主な養育者が困っていること (問 10)

～ 「将来の見通しに不安がある」が多い

「特に困っていることはない」が 43.3%と最も多く、次いで「将来の見通しに不安がある」が 39.4%、「精神的な負担が大きい」が 26.0%で続いています。

➤ 日常生活で改善したいこと等 (問 11)

～ 「本人の成長や発達のこと」が最も多い

「本人の成長や発達のこと」が 57.7%と最も多く、次いで「将来のこと」が 51.0%と多く、「学校・教育のこと」と「友だちなど周囲の人との関係のこと」がともに 48.1%で続いています。

➤ 学校教育について困っていること (問 24)

～ 「学校卒業後の進路に不安がある」が最も多い

「学校卒業後の進路に不安がある」が 96 人中 32 人と最も多く、次いで「通学や通級の送り迎えが大変」が同 26 人と多く、「専門的な教育・指導を受ける機会が少ない」24 人、「専門的な教育・指導に関する情報が少ない」23 人が続いています。

➤ 学校卒業後の進路希望 (問 25)

～ 「高校・大学・短大に進学したい」が最も多い

「高校・大学・短大に進学したい」が 96 人中 74 人と最も多く、次いで「わからない」が同 16 人と多く、「正社員・正職員として働きたい」14 人、「専門学校などに通いたい」13 人が続いています。

➤ 一般就労に必要なこと (問 26)

～ 「障がい特性に合った職業・雇用の拡大」が最も多い

「障がい特性に合った職業・雇用の拡大」が 96 人中 58 人と最も多く、次いで「就労のための総合的な相談」と「働く能力を身につけるための職業訓練」がともに同 52 人と多く、「職場の障がいへの理解の促進」が 51 人で続いています。

➤ 外出するとき困っていること (問 29)

～ 「特にない」以外では「初めての場所へ行くことに不安や負担を感じる」が最も多い

「特にない」が 60.6%と最も多く、次いで「初めての場所へ行くことに不安や負担を感じる」が 21.2%と多くなっています。

➤ 社会参加のために必要なこと (問 32)

～ 「障がい者が参加しやすい活動やイベント」が最も多い

「障がい者が参加しやすい活動やイベント」が 47.1%と最も多く、次いで「障がいのある人となない人が一緒に活動する機会」が 43.3%と多く、「地域や社会の障がい理解を深めるための広報・啓発」が 41.3%で続いています。

- 将来の暮らし方（問 36） ～ 「家族と暮らしたい」が最も多い
「家族と暮らしたい」が 45.2%と最も多く、次いで「わからない」37.5%が多く、「一人暮らしをしたい」が 13.5%が続いています。
- 地域生活の課題（問 37） ～ 「就労の場の確保」と「生計が不安」が比較的多い
「特にない」が 49.0%と最も多く、次いで「就労の場の確保が難しい」と「生計に不安がある」がともに 25.0%と多く、「相談できる人がいない」12.5%、「身の回りのことが十分できない」11.5%が続いています。
- 今後の生活でもっと充実させたいこと（問 38）
～ 「友だちや仲間との交流」が最も多い
「友だちや仲間との交流」が 62.5%と最も多く、次いで「学習活動」が 56.7%と多く、「趣味・スポーツなどの余暇活動」が 44.2%となっています。
- 今後力を入れてほしい施策（問 39） ～ 「教育・育成の充実」が最も多い
「教育・育成の充実」が 67.3%と最も多く、「障がいに対する理解の促進」42.3%、「雇用・就労支援の充実」36.5%、「保健・医療の充実」31.7%が続いています。

（５）障がいのない方を対象とした調査

- 障がいのある方のためにできる支援（問 9）
～ 全体の 8 割強が何らかの支援ができると回答
「道路を横断する手助け」が 54.1%で最も多く、「荷物を代わりに持つ」(50.7%)、「階段の昇り降りの手助け」（47.3%）、「見守りや声かけ」（46.9%）が続いています。全体の 8 割強の人が、何らかの支援ができると回答しています。
- 障がい等への理解を深めるため必要な取り組み（問 12）
～ 「学校における障がい教育の推進」が最も多い
「学校における障がい教育の推進」（55.8%）、「子どもの頃からの交流機会の確保」（55.2%）、「子どもの頃から共に育つ機会の確保」（54.9%）という回答が多く、「障がい者の一般就労の推進」（44.6%）、「障がいの有無に関わらず参加できる行事・イベントの開催」（39.8%）が続いています。
- ボランティア活動をして良かったこと（問 14）
～ 「支援の方法や注意点を学ぶことができた」が最も多い
「支援の方法や注意点を学ぶことができた」が 90 人中 46 人と最も多く、「今後のために役立つ経験ができた」（同 40 人）、「障がいや福祉の知識が増えた」（同 37 人）が続いています。

- ボランティア活動をして困ったこと（問 15）

～ 「相手とコミュニケーションを取るのが難しかった」が最も多い

「相手とコミュニケーションを取るのが難しかった」が 90 人中 42 人と最も多く、「具体的な支援の方法や注意点がよくわからなかった」（同 26 人）、「相手が何を必要としているのかよくわからなかった」（同 25 人）、「障がい者とあまり関わったことがなかったので緊張した」（同 23 人）が続いています。
- ボランティア活動への参加意向（問 17）

～ 全体の 6 割近くが活動したいと回答

「行事・イベントなどの手伝い」が 29.9%で最も多く、次いで「活動したいとは思わない」（28.9%）が多く、「遊びや趣味の活動」（18.4%）が続いています。全体の 6 割近くの人が、何らかのボランティア活動をしてみたいと回答しています。
- 障がい児の健全な育成のために必要な取り組み（問 21）

～ 「障がいの早期発見・早期支援」が最も多い

「障がいの早期発見・早期支援」が 61.4%で最も多く、「障がい児への地域や社会の理解促進」（56.4%）、「学校卒業後の社会生活に役立つ教育」（54.3%）、「障がいを軽減するための訓練・リハビリ」（51.5%）が続いています。
- 障がいのある方の就労のために必要なこと（問 23）

～ 「一緒に働く上司や同僚などによる障がい理解の促進」が最も多い

「一緒に働く上司や同僚などによる障がい理解の促進」（69.3%）、「企業など雇用主の障がい理解の促進」（68.7%）が多く、「障がい特性に合った職業・雇用の拡大」（62.0%）等が続いています。
- 「障害者差別解消法」の認知状況（問 24）～ 「知らなかった」が最も多い

「内容を知っていた」が 12.3%、「聞いたことはある」が 29.1%、「知らなかった」が 57.2%で、「知らなかった」が最も多くなっています。
- 同居家族のひきこもりの有無（問 27）～ 1.8%が「いる」と回答

同居している家族にひきこもりの人がいるかについて、「はい」は 1.8%、「いいえ」が 95.0%、「無回答」が 3.2%となっています。
- 今後市が力を入れていく必要がある障がい者施策（問 31）

～ 「就労への支援、働く機会の充実」が最も多い

「就労への支援、働く機会の充実」が 54.5%で最も多く、次いで「地域の中で生活できるような福祉サービスの充実」（50.9%）が多く、「通所施設の充実」（34.3%）、「道路や交通機関の整備」（33.5%）等が続いています。

第2部 調査結果の詳細

I 在宅の方（18歳以上）を対象とした調査

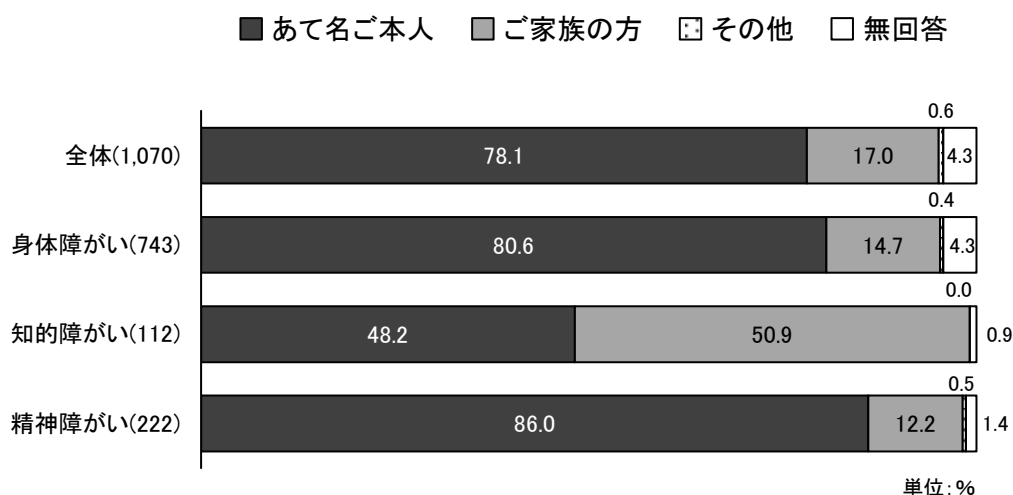
1 はじめに

(1) 調査票の回答者

問1 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。(あてはまるもの一つに○)

全体では、「あて名ご本人（ご本人の回答を他のの方が代筆する場合も含みます）」が78.1%、「ご家族の方」が17.0%となっています。

障がい別にみると、知的障がいでは「ご家族の方」が多くなっています。



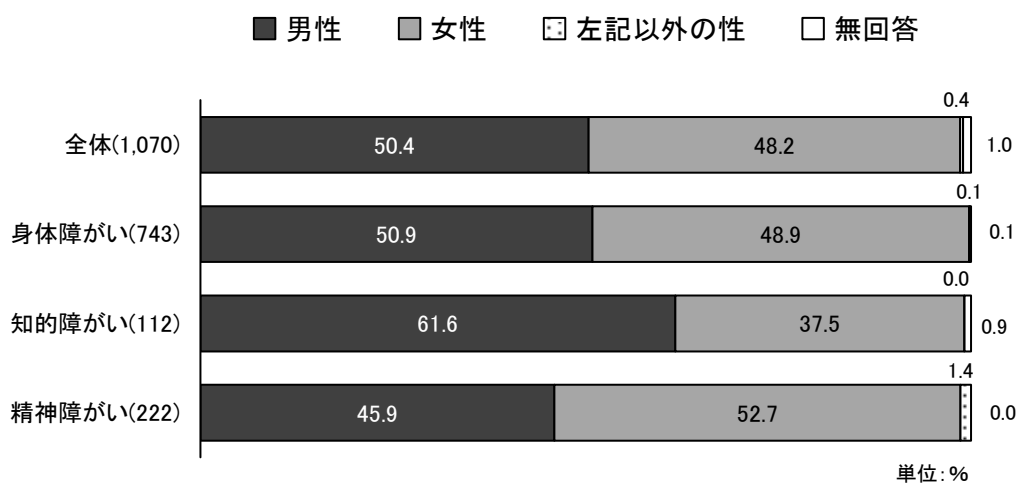
上段: 件 下段: %	合計	あて名ご本人	ご家族の方	その他	無回答
全体	1,070 100.0	836 78.1	182 17.0	6 0.6	46 4.3
身体障がい	743 100.0	599 80.6	109 14.7	3 0.4	32 4.3
知的障がい	112 100.0	54 48.2	57 50.9	0 0.0	1 0.9
精神障がい	222 100.0	191 86.0	27 12.2	1 0.5	3 1.4

2 ご本人について

(1) 性別

問2 あなたの性別をお聞きします。(あてはまるもの一つに○)

全体では、「男性」が50.4%、「女性」が48.2%となっています。
障がい別にみると、知的障がいでは男性、精神障がいでは女性のほうが多くなっています。



上段: 件 下段: %	合計	男性	女性	左記以外 の性	無回答
全体	1,070 100.0	539 50.4	516 48.2	4 0.4	11 1.0
身体障がい	743 100.0	378 50.9	363 48.9	1 0.1	1 0.1
知的障がい	112 100.0	69 61.6	42 37.5	0 0.0	1 0.9
精神障がい	222 100.0	102 45.9	117 52.7	3 1.4	0 0.0

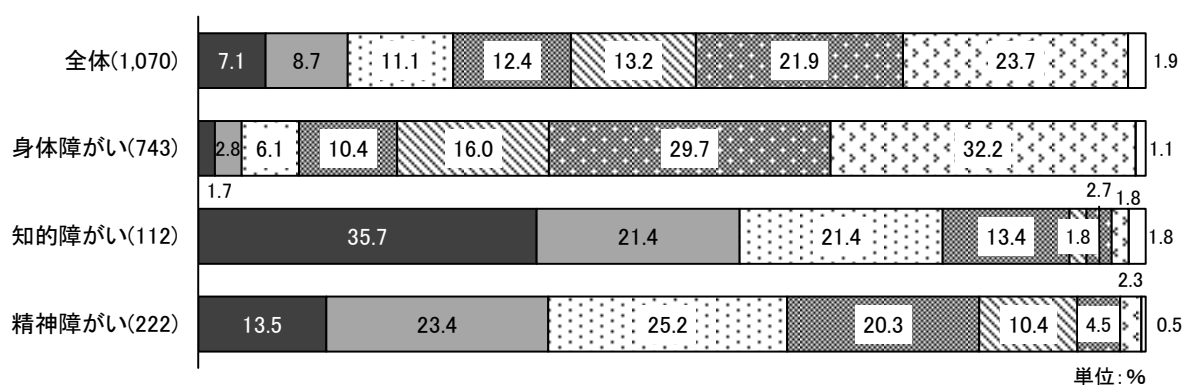
(2) 年齢

問3 あなたの年齢をお聞きします。令和4年9月1日現在の年齢をご記入ください。

全体では、「80歳以上」が23.7%と最も多く、次いで「70～79歳」が21.9%、「60～69歳」が13.2%となっています。

障がい別にみると、身体障がいでは70歳以上の方が6割を超えています。知的障がいでは40歳未満の方が6割近くと多くなっています。精神障がいでは30代～40代の方が半数近くを占め多くなっています。

■ 18～29歳 ■ 30～39歳 ▨ 40～49歳 ▩ 50～59歳 ▪ 60～69歳 ▫ 70～79歳 ▧ 80歳以上 □ 無回答



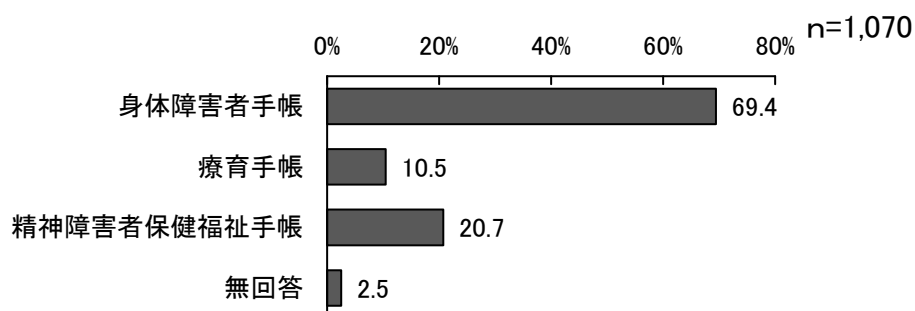
上段: 件 下段: %	合計	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答
全体	1,070 100.0	76 7.1	93 8.7	119 11.1	133 12.4	141 13.2	234 21.9	254 23.7	20 1.9
身体障がい	743 100.0	13 1.7	21 2.8	45 6.1	77 10.4	119 16.0	221 29.7	239 32.2	8 1.1
知的障がい	112 100.0	40 35.7	24 21.4	24 21.4	15 13.4	2 1.8	3 2.7	2 1.8	2 1.8
精神障がい	222 100.0	30 13.5	52 23.4	56 25.2	45 20.3	23 10.4	10 4.5	5 2.3	1 0.5

(3) 手帳の種類

問4 手帳の種類と、手帳の等級（程度）をお聞きします。あてはまる手帳の番号に○印をつけ、カッコ内の等級（程度）にも○印をつけてください。

①手帳の種類

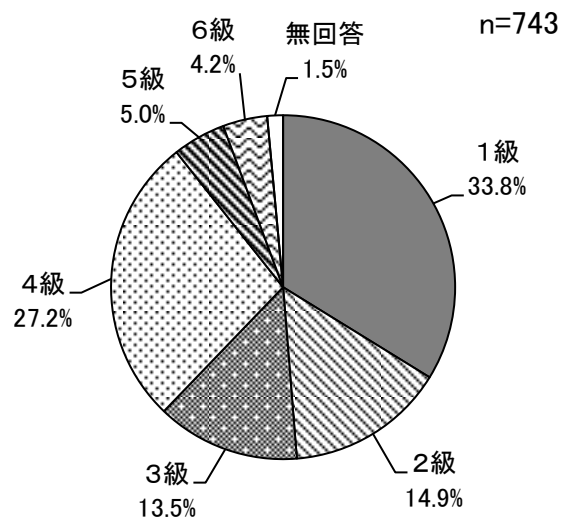
「身体障害者手帳」が69.4%、「療育手帳」が10.5%、「精神障害者保健福祉手帳」が20.7%となっています。



上段: 件 下段: %	合計	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者保健福祉手帳	無回答
全体	1,070 100.0	743 69.4	112 10.5	222 20.7	27 2.5

②身体障害者手帳の等級

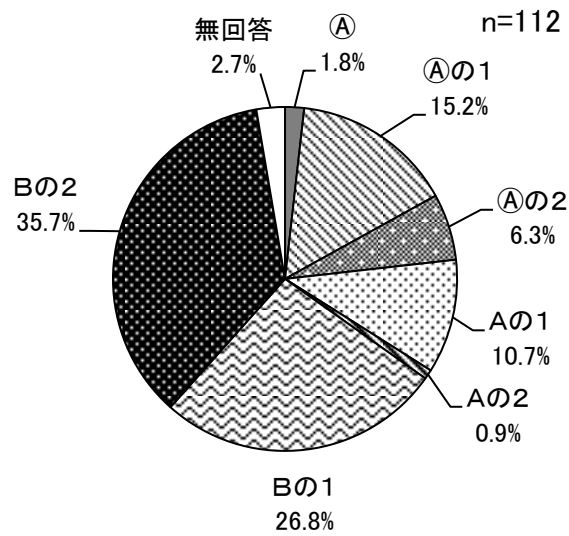
「1級」が 33.8%と最も多く、次いで「4級」が 27.2%、「2級」が 14.9%、「3級」が 13.5%となっています。



上段: 件 下段: %	合計	1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答
全体	743 100.0	251 33.8	111 14.9	100 13.5	202 27.2	37 5.0	31 4.2	11 1.5

③療育手帳の程度

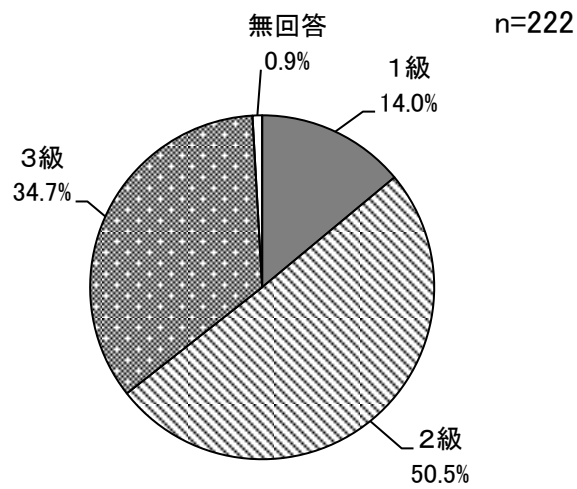
「Bの2」が35.7%と最も多く、次いで「Bの1」が26.8%、「Aの1」が15.2%となっています。「A」「Aの1」「Aの2」は合わせて23.3%でした。



上段: 件 下段: %	合計	Ⓐ	Ⓐの1	Ⓐの2	Aの1	Aの2	Bの1	Bの2	無回答
全体	112 100.0	2 1.8	17 15.2	7 6.3	12 10.7	1 0.9	30 26.8	40 35.7	3 2.7

④精神障害者保健福祉手帳の等級

「2級」が50.5%と最も多く、次いで「3級」が34.7%、「1級」が14.0%となっています。

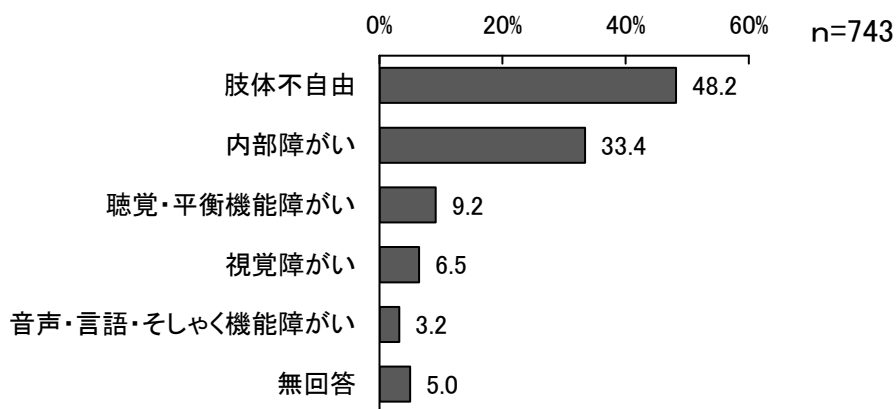


上段:件 下段:%	合計	1級	2級	3級	無回答
全体	222 100.0	31 14.0	112 50.5	77 34.7	2 0.9

(4) 身体障がいの種類

問5 身体障害者手帳をお持ちの方にお聞きします。 障がいの種類は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

「肢体不自由」が48.2%と最も多く、次いで「内部障がい」が33.4%、「聴覚・平衡機能障がい」が9.2%、「視覚障がい」が6.5%、「音声・言語・そしゃく機能障がい」が3.2%となっています。



上段: 件 下段: %	合計	視覚障がい	聴覚・平衡機能障がい	音声・言語・そしゃく機能障がい	肢体不自由	内部障がい	無回答
全体	743 100.0	48 6.5	68 9.2	24 3.2	358 48.2	248 33.4	37 5.0

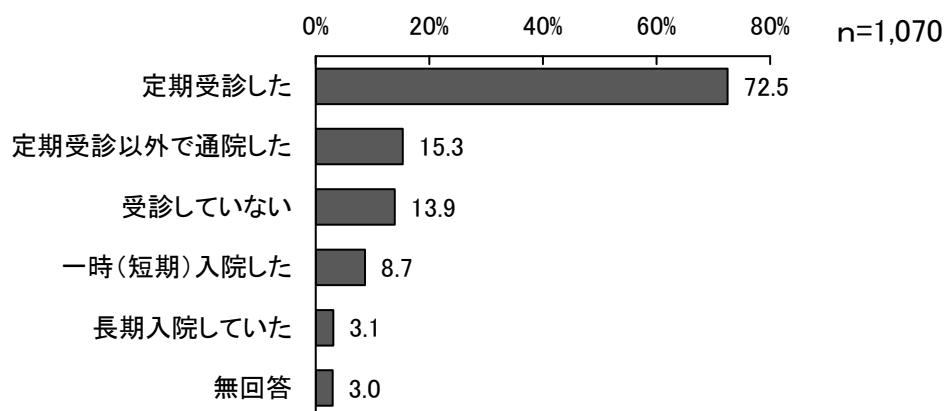
3 医療について

(1) 医療機関の受診状況

問6 あなたは、最近1年間に、障がいや疾病が理由で医療機関を受診しましたか。
(あてはまるもの全てに○)

全体では、「定期受診した」が72.5%と最も多く、次いで「定期受診以外で通院した」が15.3%、「受診していない」が13.9%などとなっています。

障がい別にみると、知的障がいでは「受診していない」、精神障がいでは「定期受診した」が多くなっています。

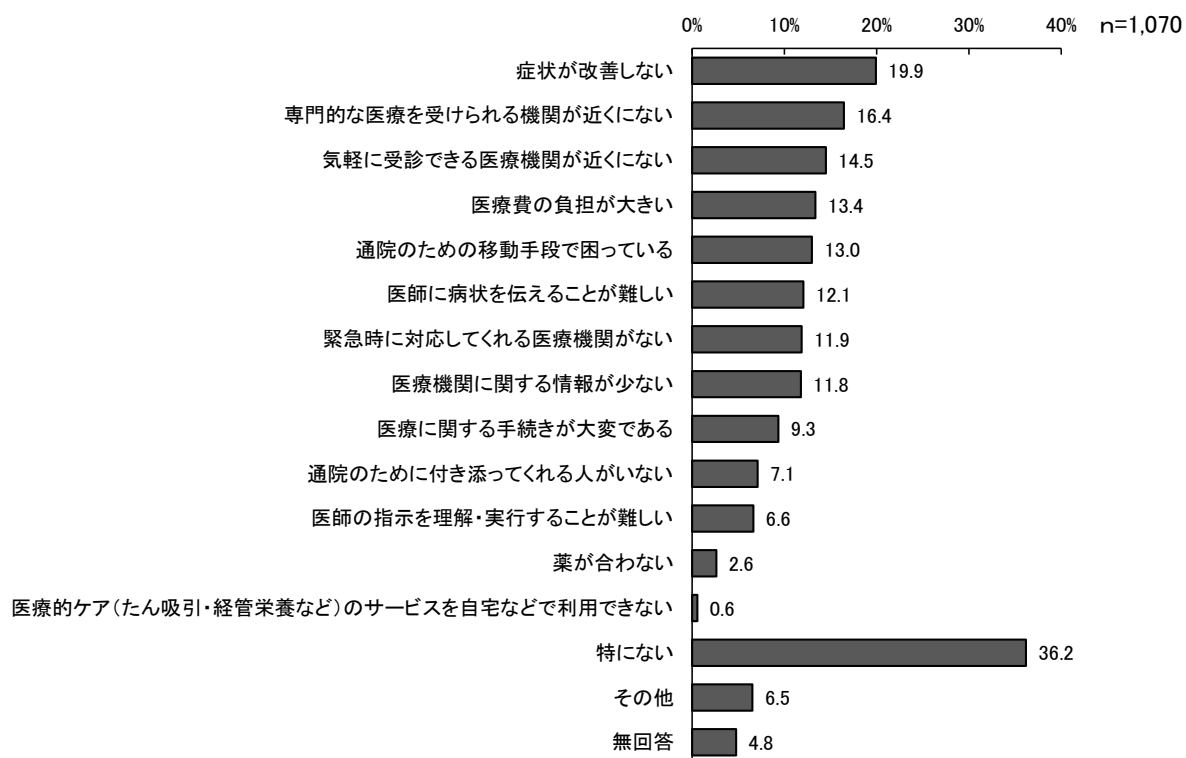


上段:件 下段:%	合計	受診して いない	定期受診 した	定期受診 以外で通 院した	一時(短 期)入院し た	長期入院 していた	無回答
全体	1,070 100.0	149 13.9	776 72.5	164 15.3	93 8.7	33 3.1	32 3.0
身体障がい	743 100.0	96 12.9	548 73.8	130 17.5	79 10.6	24 3.2	13 1.7
知的障がい	112 100.0	38 33.9	59 52.7	17 15.2	1 0.9	0 0.0	4 3.6
精神障がい	222 100.0	11 5.0	192 86.5	20 9.0	16 7.2	10 4.5	3 1.4

(2) 医療に関して困っていること

問7 あなたには、医療に関して困っていることがありますか。(あてはまるもの全てに○)

全体では、「特にない」を除くと、「症状が改善しない」が19.9%と最も多く、次いで「専門的な医療を受けられる機関が近くにない」が16.4%、「気軽に受診できる医療機関が近くにない」が14.5%、「医療費の負担が大きい」が13.4%などとなっています。



障がい別にみると、知的障がいでは「医師に病状を伝えることが難しい」、精神障がいでは「症状が改善しない」が特に多くなっています。

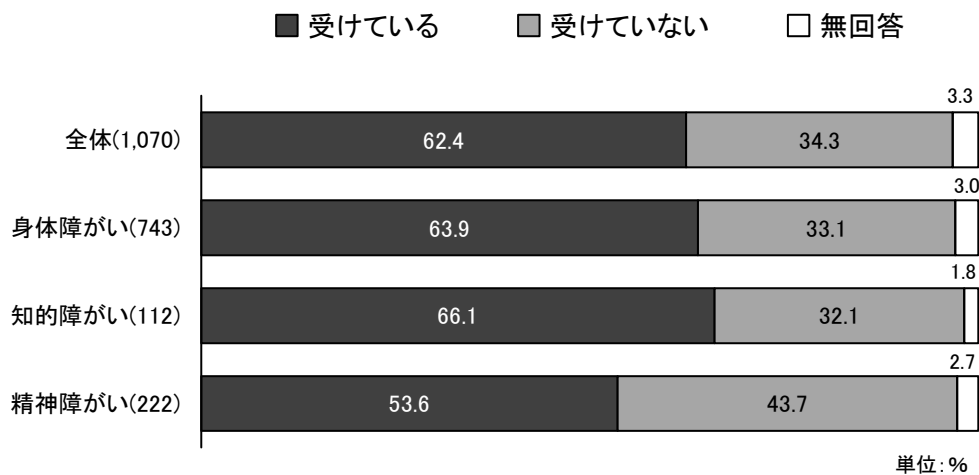
上段:件 下段:%	合計	医療機関に関する情報が少ない	気軽に受診できる医療機関が近くにない	専門的な医療を受けられる機関が近くにない	緊急時に対応してくれる医療機関がない	医師に病状を伝えることが難しい	医師の指示を理解・実行することが難しい	通院のために付き添ってくれる人がいない	通院のための移動手段で困っている
全体	1,070 100.0	126 11.8	155 14.5	176 16.4	127 11.9	129 12.1	71 6.6	76 7.1	139 13.0
身体障がい	743 100.0	85 11.4	94 12.7	120 16.2	74 10.0	60 8.1	37 5.0	56 7.5	112 15.1
知的障がい	112 100.0	17 15.2	22 19.6	26 23.2	20 17.9	35 31.3	21 18.8	6 5.4	11 9.8
精神障がい	222 100.0	30 13.5	49 22.1	42 18.9	42 18.9	42 18.9	15 6.8	20 9.0	22 9.9

上段:件 下段:%	合計	医療的ケア(たん吸引・経管栄養など)のサービスを自宅などで利用できない	医療費の負担が大きい	医療に関する手続きが大変である	薬が合わない	症状が改善しない	特になし	その他	無回答
全体	1,070 100.0	6 0.6	143 13.4	100 9.3	28 2.6	213 19.9	387 36.2	70 6.5	51 4.8
身体障がい	743 100.0	6 0.8	103 13.9	53 7.1	11 1.5	133 17.9	291 39.2	43 5.8	29 3.9
知的障がい	112 100.0	0 0.0	9 8.0	15 13.4	5 4.5	16 14.3	38 33.9	5 4.5	3 2.7
精神障がい	222 100.0	0 0.0	34 15.3	40 18.0	14 6.3	70 31.5	61 27.5	23 10.4	5 2.3

(3) 健康診断の受診状況、受けていない理由

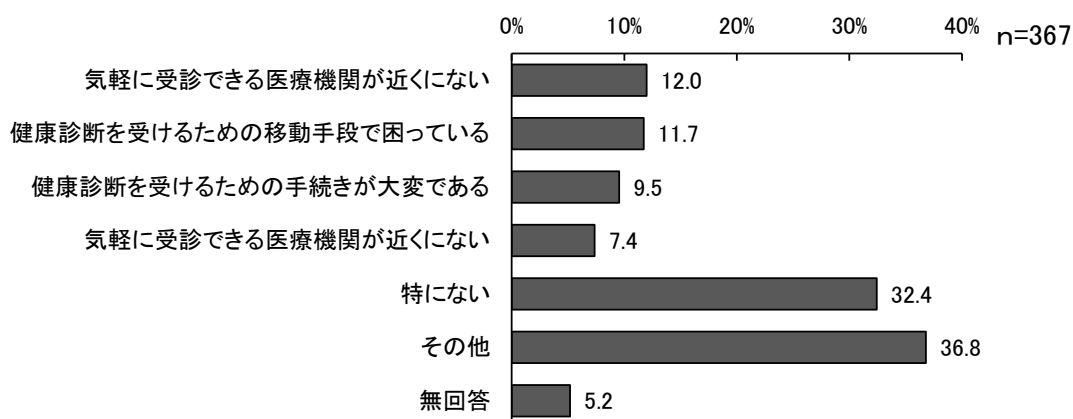
問8 あなたは、健康診断を受けていますか。受けていない方は、その理由もお答えください。（あてはまるもの全てに○）

全体では、「受けている」が62.4%、「受けていない」が34.3%となっています。障がい別にみると、精神障がいでは「受けていない」がやや多くなっています。



上段: 件 下段: %	合計	受けてい る	受けてい ない	無回答
全体	1,070 100.0	668 62.4	367 34.3	35 3.3
身体障がい	743 100.0	475 63.9	246 33.1	22 3.0
知的障がい	112 100.0	74 66.1	36 32.1	2 1.8
精神障がい	222 100.0	119 53.6	97 43.7	6 2.7

健康診断を受けていない理由は、全体では、「その他」「特にない」を除くと、「気軽に受診できる医療機関が近くにない」が12.0%と最も多く、次いで「健康診断を受けるための移動手段で困っている」が11.7%、「健康診断を受けるための手続きが大変である」が9.5%などとなっています。



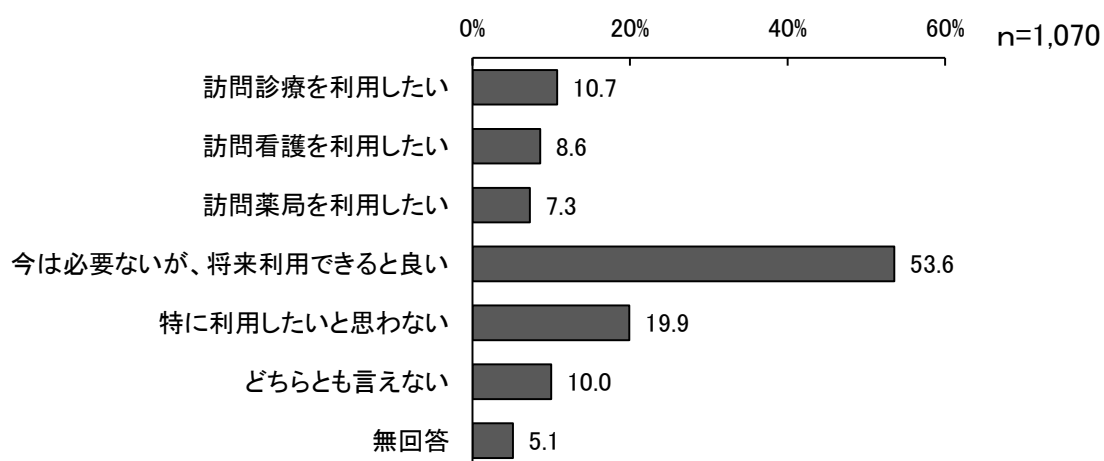
障がい別にみると、身体障がいでは「健康診断を受けるための移動手段で困っている」、精神障がいでは「気軽に受診できる医療機関が近くにない」がやや多くなっています。

上段: 件 下段: %	合計	気軽に受診できる医療機関が近くにない	健康診断を受けるために付き添ってくれる人がいない	健康診断を受けるための移動手段で困っている	健康診断を受けるための手続きが大変である	特にない	その他	無回答
全体	367 100.0	44 12.0	27 7.4	43 11.7	35 9.5	119 32.4	135 36.8	19 5.2
身体障がい	246 100.0	23 9.3	18 7.3	34 13.8	18 7.3	74 30.1	101 41.1	13 5.3
知的障がい	36 100.0	5 13.9	1 2.8	2 5.6	4 11.1	16 44.4	8 22.2	4 11.1
精神障がい	97 100.0	19 19.6	13 13.4	9 9.3	16 16.5	30 30.9	29 29.9	4 4.1

(4) 訪問診療、訪問看護、訪問薬局の利用意向

問9 あなたは、医師が自宅で診察してくれる訪問診療や、看護師が自宅で看護、医療的ケアなどをしてくれる訪問看護、薬剤師が自宅で服薬支援をしてくれる訪問薬局を利用したいと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

全体では、「訪問診療を利用したい」が10.7%、「訪問看護を利用したい」が8.6%、「訪問薬局を利用したい」が7.3%、「今は必要ないが、将来利用できると良い」は53.6%となっています。



障がい別にみると、身体障がいでは「今は必要ないが、将来利用できると良い」、精神障がいでは「特に利用したいとは思わない」が多くなっています。

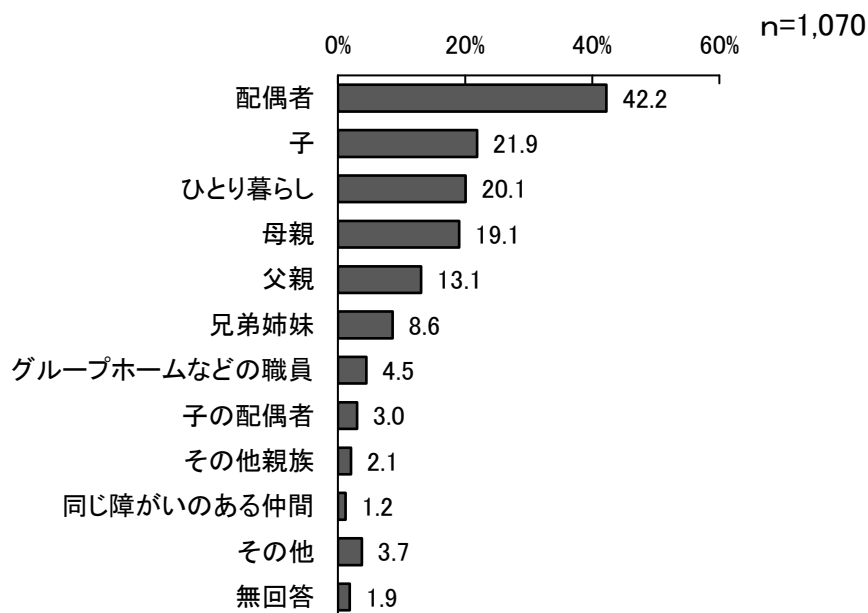
上段: 件 下段: %	合計	訪問診療 を利用し たい	訪問看護 を利用し たい	訪問薬局 を利用し たい	今は必要 ないが、 将来利用 できると 良い	特に利用 したいとは思 わない	どちらとも 言えない	無回答
全体	1,070 100.0	115 10.7	92 8.6	78 7.3	573 53.6	213 19.9	107 10.0	55 5.1
身体障がい	743 100.0	87 11.7	64 8.6	59 7.9	431 58.0	123 16.6	64 8.6	40 5.4
知的障がい	112 100.0	11 9.8	5 4.5	4 3.6	54 48.2	27 24.1	15 13.4	4 3.6
精神障がい	222 100.0	26 11.7	30 13.5	17 7.7	86 38.7	65 29.3	27 12.2	7 3.2

4 ご家族や介助者について

(1) 同居家族

問 10 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。(あてはまるもの全てに○)

全体では、「配偶者」が 42.2%と最も多く、次いで「子」が 21.9%、「ひとり暮らし」が 20.1%、「母親」が 19.1%などとなっています。



障がい別にみると、身体障がいでは「配偶者」、知的障害、精神障がいでは「母親」が特に多くなっています。

上段: 件 下段: %	合計	母親	父親	配偶者	兄弟姉妹	子	子の配偶者	その他親族	グループホームなどの職員
全体	1,070 100.0	204 19.1	140 13.1	452 42.2	92 8.6	234 21.9	32 3.0	22 2.1	48 4.5
身体障がい	743 100.0	58 7.8	32 4.3	393 52.9	24 3.2	195 26.2	30 4.0	10 1.3	22 3.0
知的障がい	112 100.0	87 77.7	61 54.5	3 2.7	43 38.4	2 1.8	0 0.0	5 4.5	18 16.1
精神障がい	222 100.0	70 31.5	56 25.2	54 24.3	27 12.2	35 15.8	0 0.0	4 1.8	14 6.3

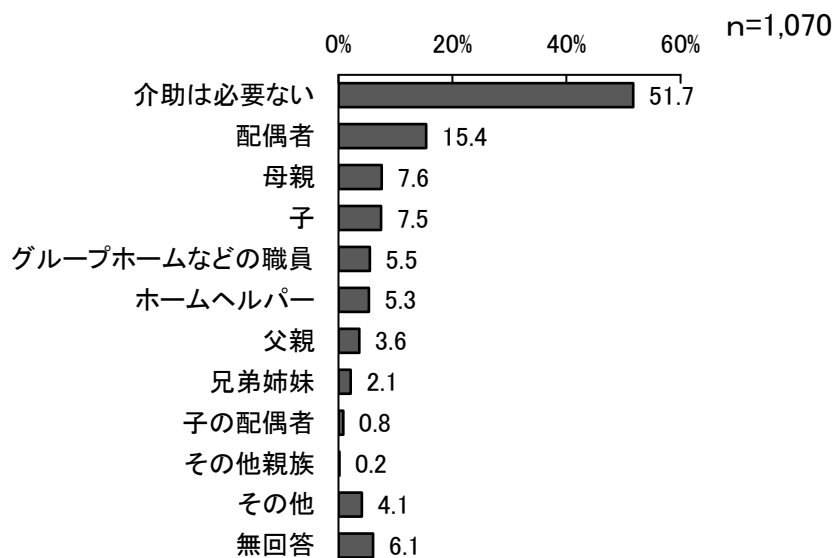
上段: 件 下段: %	合計	同じ障がいのある仲間	ひとり暮らし	その他	無回答
全体	1,070 100.0	13 1.2	215 20.1	40 3.7	20 1.9
身体障がい	743 100.0	3 0.4	151 20.3	31 4.2	13 1.7
知的障がい	112 100.0	8 7.1	5 4.5	1 0.9	0 0.0
精神障がい	222 100.0	5 2.3	57 25.7	8 3.6	4 1.8

(2) 主な介助者

問 11 あなたは、普段の生活で介助を必要としていますか。介助が必要な方は、主に介助している方をお答えください。（あてはまるもの一つに○）

全体では、「介助は必要ない」が51.7%と最も多くなっています。

「介助は必要ない」を除くと、「配偶者」が15.4%と最も多く、次いで「母親」が7.6%、「子」が7.5%、「グループホームなどの職員」が5.5%となっています。



障がい別にみると、身体、知的、精神障がいに共通して「介助は必要ない」が最も多いですが、それに次いで、身体障がい・精神障がいでは「配偶者」、知的障がいでは「母親」「父親」「グループホームなどの職員」が多くなっています。

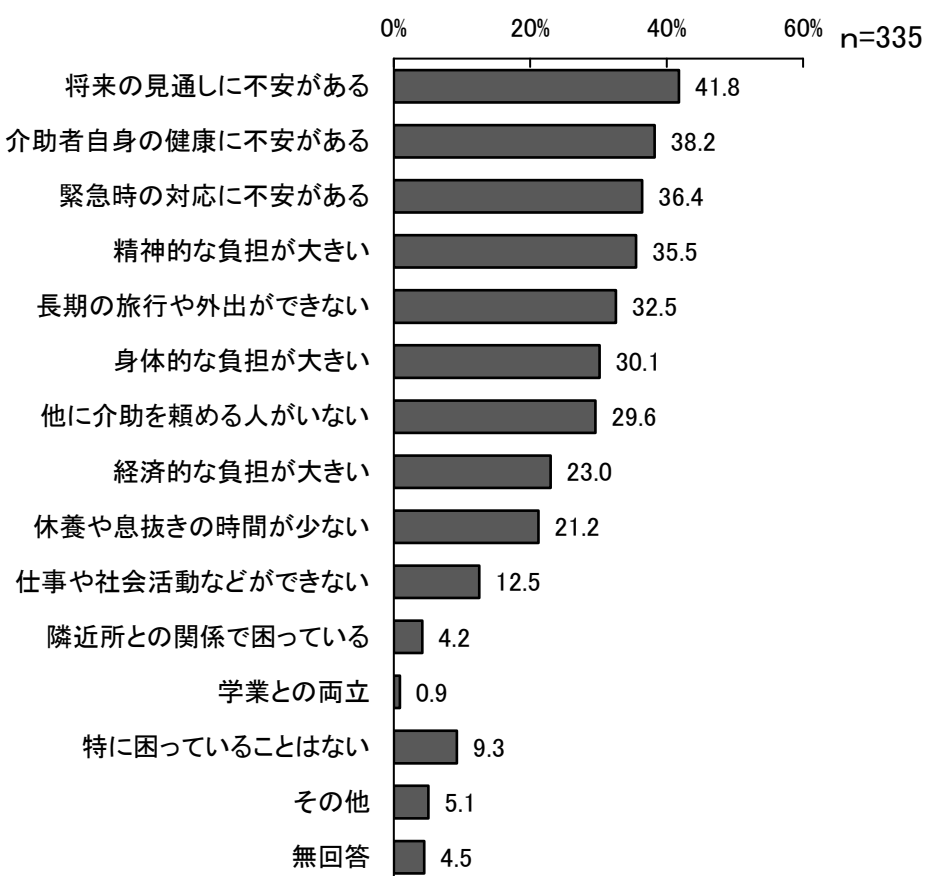
上段: 件 下段: %	合計	介助は必要ない	母親	父親	配偶者	兄弟姉妹	子	子の配偶者	その他親族
全体	1,070 100.0	553 51.7	81 7.6	39 3.6	165 15.4	23 2.1	80 7.5	9 0.8	2 0.2
身体障がい	743 100.0	377 50.7	29 3.9	13 1.7	139 18.7	14 1.9	75 10.1	7 0.9	0 0.0
知的障がい	112 100.0	45 40.2	44 39.3	21 18.8	1 0.9	5 4.5	0 0.0	0 0.0	1 0.9
精神障がい	222 100.0	126 56.8	22 9.9	12 5.4	29 13.1	4 1.8	4 1.8	1 0.5	1 0.5

上段: 件 下段: %	合計	ホームヘルパー	グループホームなどの職員	その他	無回答
全体	1,070 100.0	57 5.3	59 5.5	44 4.1	65 6.1
身体障がい	743 100.0	43 5.8	36 4.8	34 4.6	45 6.1
知的障がい	112 100.0	4 3.6	18 16.1	2 1.8	4 3.6
精神障がい	222 100.0	10 4.5	12 5.4	9 4.1	11 5.0

(3) 介助者が困っていること

問 12 主な介助者がご家族である方にお聞きします。 介助者の方が困っていることは何ですか。（あてはまるもの全てに○）

全体では、「将来の見通しに不安がある」が41.8%と最も多く、次いで「介助者自身の健康に不安がある」が38.2%、「緊急時の対応に不安がある」が36.4%、精神的な負担が大きい」が35.5%となっています。



障がい別にみると、身体障がいでは「介助者自身の健康に不安がある」、知的障がいでは「将来の見通しに不安がある」「介助者自身の健康に不安がある」「長期の旅行や外出ができない」、精神障がいでは「将来の見通しに不安がある」「精神的な負担が大きい」などが多くなっています。

上段:件 下段:%	合計	介助者自身の健康に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	他に介助を頼める人がいない	休養や息抜きの時間が少ない	長期の旅行や外出ができない	仕事や社会活動などできない
全体	335 100.0	128 38.2	101 30.1	119 35.5	77 23.0	99 29.6	71 21.2	109 32.5	42 12.5
身体障がい	240 100.0	93 38.8	79 32.9	74 30.8	47 19.6	70 29.2	46 19.2	73 30.4	24 10.0
知的障がい	48 100.0	24 50.0	16 33.3	21 43.8	6 12.5	20 41.7	14 29.2	25 52.1	9 18.8
精神障がい	63 100.0	23 36.5	13 20.6	32 50.8	27 42.9	19 30.2	18 28.6	16 25.4	13 20.6

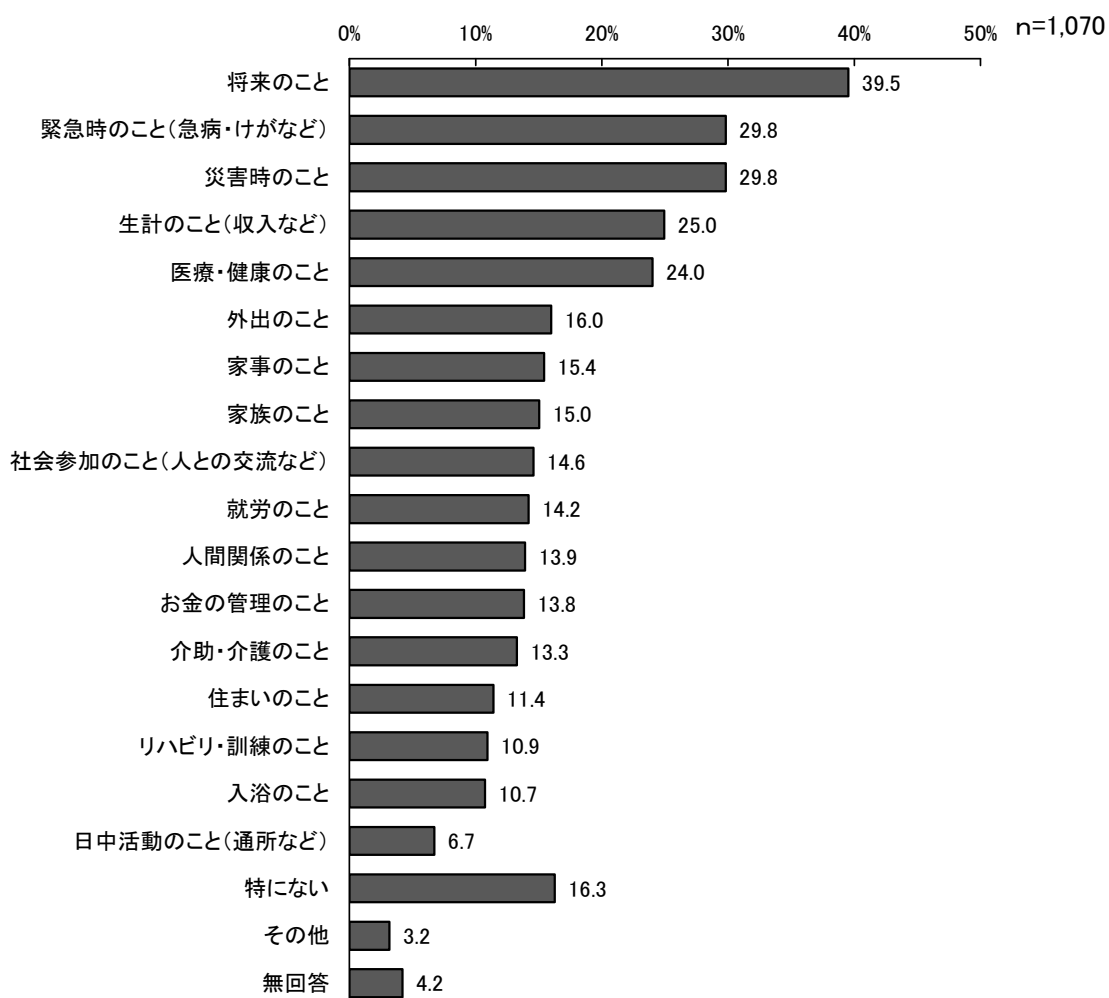
上段:件 下段:%	合計	緊急時の対応に不安がある	隣近所との関係で困っている	将来の見通しに不安がある	学業との両立	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	335 100.0	122 36.4	14 4.2	140 41.8	3 0.9	31 9.3	17 5.1	15 4.5
身体障がい	240 100.0	81 33.8	6 2.5	81 33.8	3 1.3	27 11.3	12 5.0	10 4.2
知的障がい	48 100.0	22 45.8	4 8.3	36 75.0	0 0.0	2 4.2	3 6.3	0 0.0
精神障がい	63 100.0	26 41.3	5 7.9	34 54.0	0 0.0	4 6.3	3 4.8	3 4.8

5 生活状況について

(1) 日常生活の中で改善したいこと

問 13 あなたには、日常生活の中で不安に思うことや改善したいことがありますか。
(あてはまるもの全てに○)

全体では、「将来のこと」が 39.5%と最も多く、次いで「緊急時のこと（急病・けがなど）」「災害時のこと」が 29.8%、「生計のこと（収入など）」が 25.0%などとなっています。



障がい別にみると、知的障がい、精神障がいでは「将来のこと」が特に多くなっています。また、知的障がいでは「お金の管理のこと」、精神障がいでは「生計のこと（収入など）」、「人間関係のこと」、「就労のこと」、「社会参加のこと（人との交流など）」が多くなっています。

上段:件 下段:%	合計	介助・介 護のこと	入浴のこ と	医療・健 康のこと	リハビリ 訓練のこ と	家事のこ と	家族のこ と	外出のこ と	住まいの こと
全体	1,070 100.0	142 13.3	115 10.7	257 24.0	117 10.9	165 15.4	161 15.0	171 16.0	122 11.4
身体障がい	743 100.0	114 15.3	82 11.0	176 23.7	102 13.7	90 12.1	94 12.7	116 15.6	70 9.4
知的障がい	112 100.0	16 14.3	15 13.4	28 25.0	5 4.5	17 15.2	16 14.3	16 14.3	15 13.4
精神障がい	222 100.0	18 8.1	22 9.9	62 27.9	14 6.3	56 25.2	56 25.2	42 18.9	43 19.4

上段:件 下段:%	合計	就労のこ と	日中活動 のこと(通 所など)	社会参加 のこと(人 との交流 など)	人間関係 のこと	緊急時の こと(急 病・けが など)	災害時の こと	生計のこ と(収入な ど)	お金の管 理のこと
全体	1,070 100.0	152 14.2	72 6.7	156 14.6	149 13.9	319 29.8	319 29.8	267 25.0	148 13.8
身体障がい	743 100.0	56 7.5	36 4.8	56 7.5	45 6.1	217 29.2	222 29.9	144 19.4	39 5.2
知的障がい	112 100.0	22 19.6	13 11.6	25 22.3	25 22.3	42 37.5	40 35.7	23 20.5	44 39.3
精神障がい	222 100.0	83 37.4	31 14.0	79 35.6	88 39.6	63 28.4	66 29.7	112 50.5	70 31.5

上段:件 下段:%	合計	将来のこ と	特にない	その他	無回答
全体	1,070 100.0	423 39.5	174 16.3	34 3.2	45 4.2
身体障がい	743 100.0	236 31.8	150 20.2	27 3.6	25 3.4
知的障がい	112 100.0	63 56.3	11 9.8	4 3.6	6 5.4
精神障がい	222 100.0	139 62.6	11 5.0	3 1.4	7 3.2

年齢別にみると、75歳未満では「将来のこと」、75歳以上では「緊急時のこと（急病・けがなど）」が最も多くなっています。また、年代が低い層ほど、就労や生計、災害、社会参加・人間関係など、不安に思うことや改善したいことをあげる割合が高くなっています。

上段:件 下段:%	合計	介助・介 護のこと	入浴のこ と	医療・健 康のこと	リハビリ ・訓練のこ と	家事のこ と	家族のこ と	外出のこ と	住まいの こと
全体	1070 100.0	142 13.3	115 10.7	257 24.0	117 10.9	165 15.4	161 15.0	171 16.0	122 11.4
18～39歳	169 100.0	17 10.1	19 11.2	46 27.2	8 4.7	39 23.1	39 23.1	31 18.3	24 14.2
40～64歳	320 100.0	29 9.1	27 8.4	84 26.3	27 8.4	52 16.3	57 17.8	48 15.0	58 18.1
65～74歳	189 100.0	19 10.1	18 9.5	35 18.5	23 12.2	18 9.5	18 9.5	22 11.6	12 6.3
75歳以上	372 100.0	72 19.4	49 13.2	88 23.7	57 15.3	55 14.8	45 12.1	68 18.3	25 6.7

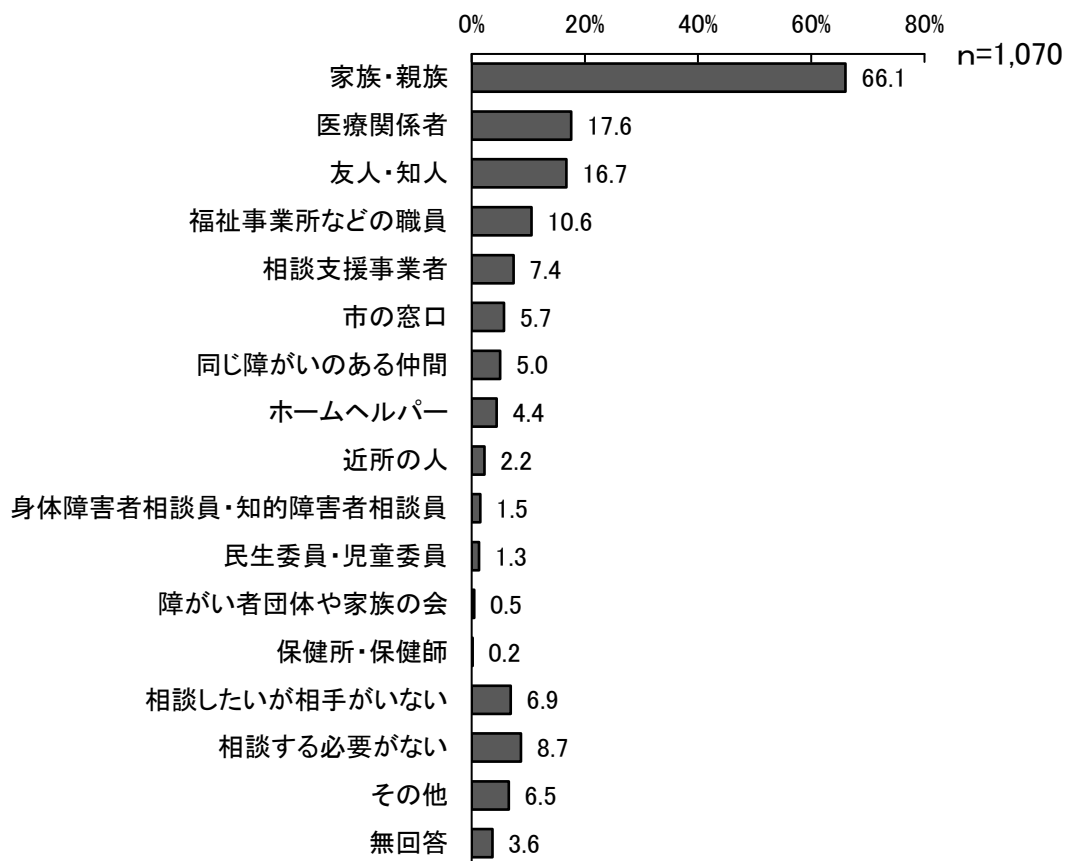
上段:件 下段:%	合計	就労のこ と	日中活動 のこと(通 所など)	社会参加 のこと(人 との交流 など)	人間関係 のこと	緊急時の こと(急 病・けが など)	災害時の こと	生計のこ と(収入な ど)	お金の管 理のこと
全体	1070 100.0	152 14.2	72 6.7	156 14.6	149 13.9	319 29.8	319 29.8	267 25.0	148 13.8
18～39歳	169 100.0	68 40.2	22 13.0	59 34.9	58 34.3	58 34.3	65 38.5	66 39.1	68 40.2
40～64歳	320 100.0	78 24.4	26 8.1	64 20.0	68 21.3	99 30.9	96 30.0	119 37.2	61 19.1
65～74歳	189 100.0	3 1.6	4 2.1	10 5.3	8 4.2	54 28.6	52 27.5	36 19.0	6 3.2
75歳以上	372 100.0	2 0.5	20 5.4	21 5.6	15 4.0	101 27.2	99 26.6	43 11.6	12 3.2

上段:件 下段:%	合計	将来のこ と	特にな い	その他	無回答
全体	1070 100.0	423 39.5	174 16.3	34 3.2	45 4.2
18～39歳	169 100.0	111 65.7	10 5.9	3 1.8	2 1.2
40～64歳	320 100.0	161 50.3	37 11.6	7 2.2	13 4.1
65～74歳	189 100.0	67 35.4	40 21.2	5 2.6	3 1.6
75歳以上	372 100.0	80 21.5	84 22.6	19 5.1	24 6.5

(2) 困ったときの相談先

問 14 あなたは、日常生活で困ったことや悩みについて、誰に相談していますか。
(あてはまるもの全てに○)

全体では、「家族・親族」が66.1%と最も多く、次いで「医療関係者」が17.6%、「友人・知人」が16.7%となっています。



障がい別にみると、「家族・親族」以外では、知的障がいでは「福祉事業所などの職員」「相談支援事業者」、精神障がいでは「医療関係者」が多くなっています。

上段:件 下段:%	合計	家族・親族	友人・知人	近所の人	ホームヘルパー	福祉事業所などの職員	相談支援事業者	医療関係者	障がい者団体や家族の会
全体	1,070 100.0	707 66.1	179 16.7	24 2.2	47 4.4	113 10.6	79 7.4	188 17.6	5 0.5
身体障がい	743 100.0	482 64.9	119 16.0	21 2.8	35 4.7	54 7.3	32 4.3	105 14.1	2 0.3
知的障がい	112 100.0	86 76.8	16 14.3	1 0.9	3 2.7	35 31.3	30 26.8	10 8.9	3 2.7
精神障がい	222 100.0	150 67.6	53 23.9	4 1.8	10 4.5	34 15.3	30 13.5	81 36.5	0 0.0

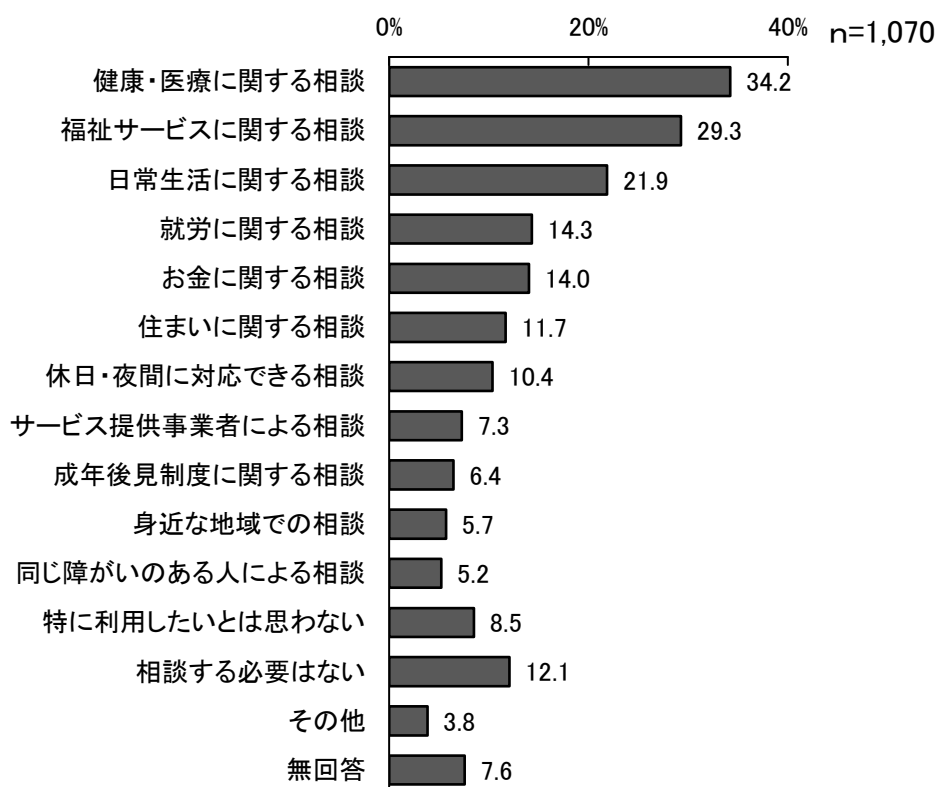
上段:件 下段:%	合計	同じ障がいのある仲間	民生委員・児童委員	身体障害者相談員・知的障害者相談員	市の窓口	保健所・保健師	相談したいが相手がいない	相談する必要がない	その他
全体	1,070 100.0	54 5.0	14 1.3	16 1.5	61 5.7	2 0.2	74 6.9	93 8.7	70 6.5
身体障がい	743 100.0	33 4.4	12 1.6	12 1.6	38 5.1	1 0.1	45 6.1	80 10.8	42 5.7
知的障がい	112 100.0	8 7.1	0 0.0	5 4.5	8 7.1	0 0.0	5 4.5	6 5.4	8 7.1
精神障がい	222 100.0	18 8.1	2 0.9	2 0.9	15 6.8	1 0.5	25 11.3	6 2.7	20 9.0

上段:件 下段:%	合計	無回答
全体	1,070 100.0	39 3.6
身体障がい	743 100.0	30 4.0
知的障がい	112 100.0	3 2.7
精神障がい	222 100.0	0 0.0

(3) 利用したい相談制度

問15 あなたは今後、どのような相談をしたいと思いますか。現在既に相談をしており、継続したい場合も含めます。（あてはまるもの全てに○）

全体では、「健康・医療に関する相談」が34.2%と最も多く、次いで「福祉サービスに関する相談」が29.3%、「日常生活に関する相談」が21.9%となっています。



障がい別にみると、知的障がいでは「福祉サービスに関する相談」が最も多く、「成年後見制度に関する相談」が他と比較して多くなっています。精神障がいでは「就労に関する相談」、「日常生活に関する相談」、「お金に関する相談」が他と比較して多くなっています。

上段:件 下段:%	合計	福祉サービスに関する相談	健康・医療に関する相談	日常生活に関する相談	就労に関する相談	就労に関する相談	成年後見制度に関する相談	お金に関する相談	サービス提供事業者による相談
全体	1,070 100.0	313 29.3	366 34.2	234 21.9	153 14.3	125 11.7	69 6.4	150 14.0	78 7.3
身体障がい	743 100.0	227 30.6	264 35.5	128 17.2	57 7.7	75 10.1	25 3.4	63 8.5	47 6.3
知的障がい	112 100.0	49 43.8	35 31.3	38 33.9	26 23.2	21 18.8	33 29.5	20 17.9	18 16.1
精神障がい	222 100.0	55 24.8	78 35.1	83 37.4	83 37.4	37 16.7	21 9.5	70 31.5	18 8.1

上段:件 下段:%	合計	休日・夜間に対応できる相談	同じ障がいのある人による相談	身近な地域での相談	特に利用したいとは思わない	相談する必要はない	その他	無回答
全体	1,070 100.0	111 10.4	56 5.2	61 5.7	91 8.5	129 12.1	41 3.8	81 7.6
身体障がい	743 100.0	78 10.5	27 3.6	37 5.0	63 8.5	106 14.3	26 3.5	62 8.3
知的障がい	112 100.0	13 11.6	4 3.6	3 2.7	6 5.4	8 7.1	4 3.6	8 7.1
精神障がい	222 100.0	24 10.8	28 12.6	22 9.9	18 8.1	12 5.4	11 5.0	3 1.4

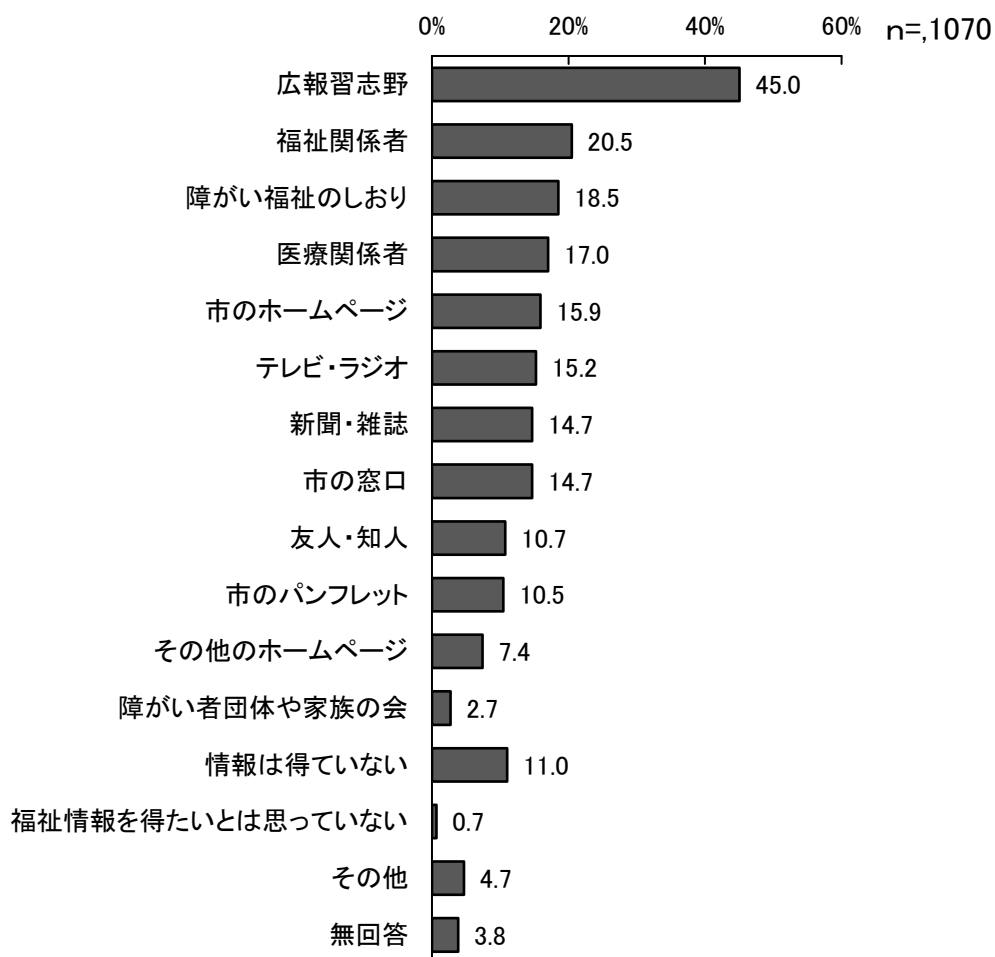
成年後見制度とは

成年後見制度とは、障害などの理由で判断能力が十分でない人（知的障害者、精神障害者、認知症高齢者等）を、不利益から守るための制度です。家庭裁判所によって選ばれた成年後見人等が、契約を結ぶ手続きなどを代わりに行ったり、本人が誤って結んでしまった契約などを取り消したりします。

(4) 福祉情報の入手先

問 16 あなたやご家族の方は、福祉に関する情報を主にどこから得ていますか。(あてはまるもの全てに○)

全体では、「広報習志野」が 45.0%と最も多く、次いで「福祉関係者」が 20.5%、「障がい福祉のしおり」が 18.5%、「医療関係者」が 17.0%などとなっています。



障がい別にみると、身体障がいでは「広報習志野」、知的障がいでは「福祉関係者」、「障がい福祉のしおり」、「障がい者団体や家族の会」、精神障がいでは「医療関係者」が他と比較して多くなっています。

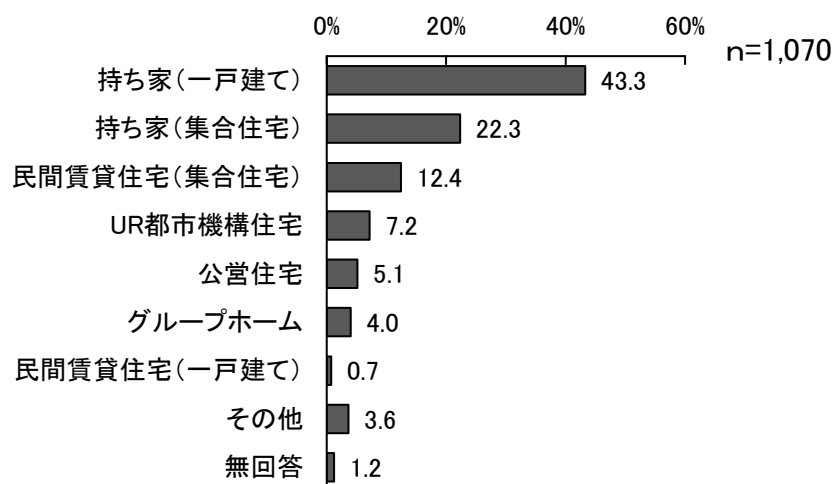
上段:件 下段:%	合計	広報習志野	障がい福祉のしおり	市のパンフレット	市のホームページ	その他のホームページ	新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	友人・知人
全体	1,070 100.0	482 45.0	198 18.5	112 10.5	170 15.9	79 7.4	157 14.7	163 15.2	115 10.7
身体障がい	743 100.0	377 50.7	125 16.8	75 10.1	112 15.1	33 4.4	130 17.5	137 18.4	78 10.5
知的障がい	112 100.0	51 45.5	37 33.0	14 12.5	17 15.2	10 8.9	10 8.9	11 9.8	21 18.8
精神障がい	222 100.0	57 25.7	41 18.5	24 10.8	44 19.8	41 18.5	17 7.7	11 5.0	19 8.6

上段:件 下段:%	合計	福祉関係者	医療関係者	障がい者団体や家族の会	市の窓口	情報は得ていない	福祉情報を得たいとは思っていない	その他	無回答
全体	1,070 100.0	219 20.5	182 17.0	29 2.7	157 14.7	118 11.0	7 0.7	50 4.7	41 3.8
身体障がい	743 100.0	139 18.7	114 15.3	11 1.5	97 13.1	76 10.2	4 0.5	30 4.0	24 3.2
知的障がい	112 100.0	47 42.0	7 6.3	16 14.3	20 17.9	10 8.9	1 0.9	3 2.7	4 3.6
精神障がい	222 100.0	48 21.6	62 27.9	3 1.4	46 20.7	30 13.5	2 0.9	15 6.8	8 3.6

(5) 住まいの種類

問 17 あなたのお住まいの種類をお聞きます。(あてはまるもの一つに○)

全体では、「持ち家（一戸建て）」が43.3%と最も多く、次いで「持ち家（集合住宅）」が22.3%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が12.4%となっています。



障がい別にみると、身体障がいでは「持ち家（一戸建て）」、知的障害では「グループホーム」、精神障がいでは「民間賃貸住宅（集合住宅）」が他と比較して多くなっています。

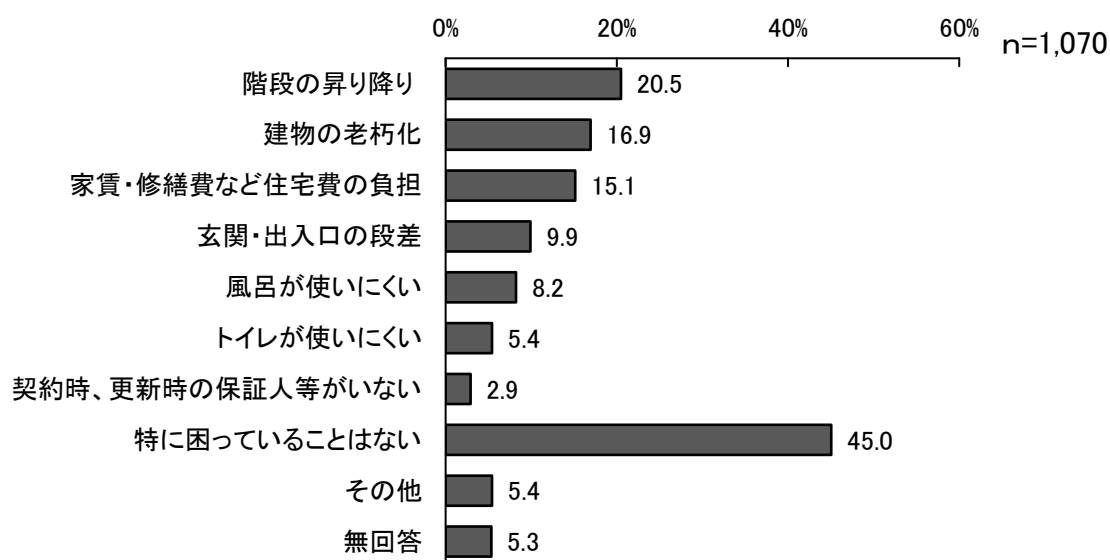
上段:件 下段:%	合計	持ち家 (一戸建て)	持ち家 (集合住宅)	民間賃貸 住宅(一 戸建て)	民間賃貸 住宅(集 合住宅)	公営住宅	UR都市機 構住宅	グループ ホーム	その他
全体	1,070 100.0	463 43.3	239 22.3	8 0.7	133 12.4	55 5.1	77 7.2	43 4.0	39 3.6
身体障がい	743 100.0	345 46.4	176 23.7	3 0.4	73 9.8	39 5.2	56 7.5	16 2.2	25 3.4
知的障がい	112 100.0	43 38.4	21 18.8	2 1.8	13 11.6	3 2.7	9 8.0	16 14.3	5 4.5
精神障がい	222 100.0	73 32.9	44 19.8	3 1.4	49 22.1	13 5.9	13 5.9	16 7.2	10 4.5

上段:件 下段:%	合計	無回答
全体	1,070 100.0	13 1.2
身体障がい	743 100.0	10 1.3
知的障がい	112 100.0	0 0.0
精神障がい	222 100.0	1 0.5

(6) 住まいについて困っていること

問 18 あなたには、住まいについて困っていることがありますか。（あてはまるもの全てに○）

全体では、「特に困っていることはない」を除くと、「階段の昇り降り」が20.5%と最も多く、次いで「建物の老朽化」が16.9%、「家賃・修繕費など住宅費の負担」が15.1%となっています。



障がい別にみると、身体障がいでは「階段の昇り降り」、精神障がいでは「家賃・修繕費などの住宅費の負担」が他と比較して多くなっています。

上段: 件 下段: %	合計	階段の昇り降り	玄関・出入口の段差	風呂が使いにくい	トイレが使いにくい	建物の老朽化	家賃・修繕費など住宅費の負担	契約時、更新時の保証人等がない	特に困っていることはない
全体	1,070 100.0	219 20.5	106 9.9	88 8.2	58 5.4	181 16.9	162 15.1	31 2.9	482 45.0
身体障がい	743 100.0	189 25.4	100 13.5	73 9.8	46 6.2	126 17.0	103 13.9	16 2.2	317 42.7
知的障がい	112 100.0	12 10.7	8 7.1	3 2.7	4 3.6	19 17.0	9 8.0	2 1.8	65 58.0
精神障がい	222 100.0	26 11.7	8 3.6	17 7.7	16 7.2	47 21.2	53 23.9	16 7.2	92 41.4

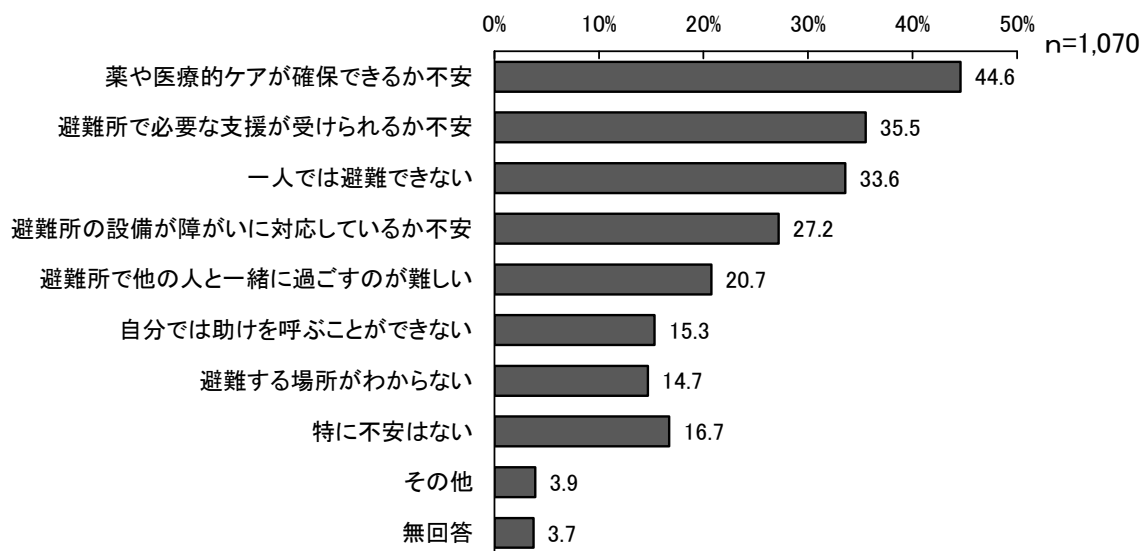
上段: 件 下段: %	合計	その他	無回答
全体	1,070 100.0	58 5.4	57 5.3
身体障がい	743 100.0	32 4.3	36 4.8
知的障がい	112 100.0	7 6.3	7 6.3
精神障がい	222 100.0	21 9.5	8 3.6

6 防災について

(1) 災害時不安に思うこと

問 19 あなたは、地震などの災害が起きたときのことについて、どのようなことに不安を感じていますか。（あてはまるもの全てに○）

全体では、「薬や医療的ケアが確保できるか不安」が 44.6%と最も多く、次いで「避難所で必要な支援が受けられるか不安」が 35.5%、「一人では避難できない」が 33.6%、「避難所の設備が障がいに対応しているか不安」が 27.2%となっています。



障がい別にみると、身体障がいと精神障がいでは「薬や医療的ケアが確保できるか不安」、知的障がいでは「一人では避難できない」が最も多くなっています。また、身体障がいでは「避難所の設備が障がいに対応しているか不安」、知的障がいでは「避難する場所がわからない」「自分では助けを呼ぶことができない」、精神障がいでは「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」などが他と比較して多くなっています。

上段:件 下段:%	合計	一人では 避難でき ない	避難する 場所がわ からない	自分では 助けを呼 ぶことが できない	避難所の 設備が障 がいに対 応してい るか不安	避難所で 必要な支 援が受け られるか 不安	避難所で 他の人と 一緒に過 ごすのが 難しい	薬や医療 的ケアが 確保でき るか不安	特に不安 はない
全体	1,070 100.0	359 33.6	157 14.7	164 15.3	291 27.2	380 35.5	222 20.7	477 44.6	179 16.7
身体障がい	743 100.0	271 36.5	84 11.3	109 14.7	229 30.8	264 35.5	124 16.7	331 44.5	119 16.0
知的障がい	112 100.0	49 43.8	39 34.8	37 33.0	31 27.7	45 40.2	31 27.7	43 38.4	21 18.8
精神障がい	222 100.0	48 21.6	40 18.0	27 12.2	45 20.3	81 36.5	74 33.3	115 51.8	38 17.1

上段:件 下段:%	合計	その他	無回答
全体	1,070 100.0	42 3.9	40 3.7
身体障がい	743 100.0	29 3.9	25 3.4
知的障がい	112 100.0	2 1.8	6 5.4
精神障がい	222 100.0	9 4.1	5 2.3

身体障がいの種類別にみると、視覚障がい、音声・言語・そしゃく機能障がい、肢体不自由で「一人では避難できない」、聴覚・平衡機能障がい「避難所の設備が障がいに対応しているか不安」、内部障がい「薬や医療的ケアが確保できるか不安」が最も多くなっています。

上段:件 下段:%	合計	一人では 避難でき ない	避難する 場所がわ からない	自分では 助けを呼 ぶことが できない	避難所の 設備が障 がいに対 応してい るか不安	避難所で 必要な支 援が受け られるか 不安	避難所で 他の人と 一緒に過 ごすのが 難しい	薬や医療 的ケアが 確保でき るか不安	特に不安 はない
全体	1070 100.0	359 33.6	157 14.7	164 15.3	291 27.2	380 35.5	222 20.7	477 44.6	179 16.7
視覚障がい	48 100.0	26 54.2	9 18.8	16 33.3	17 35.4	19 39.6	7 14.6	19 39.6	7 14.6
聴覚・平衡機能障がい	68 100.0	23 33.8	11 16.2	14 20.6	26 38.2	24 35.3	12 17.6	25 36.8	10 14.7
音声・言語・そしゃく機 能障がい	24 100.0	17 70.8	3 12.5	15 62.5	13 54.2	8 33.3	5 20.8	10 41.7	4 16.7
肢体不自由	358 100.0	167 46.6	36 10.1	60 16.8	138 38.5	138 38.5	68 19.0	143 39.9	52 14.5
内部障がい	248 100.0	56 22.6	20 8.1	16 6.5	54 21.8	85 34.3	39 15.7	138 55.6	43 17.3

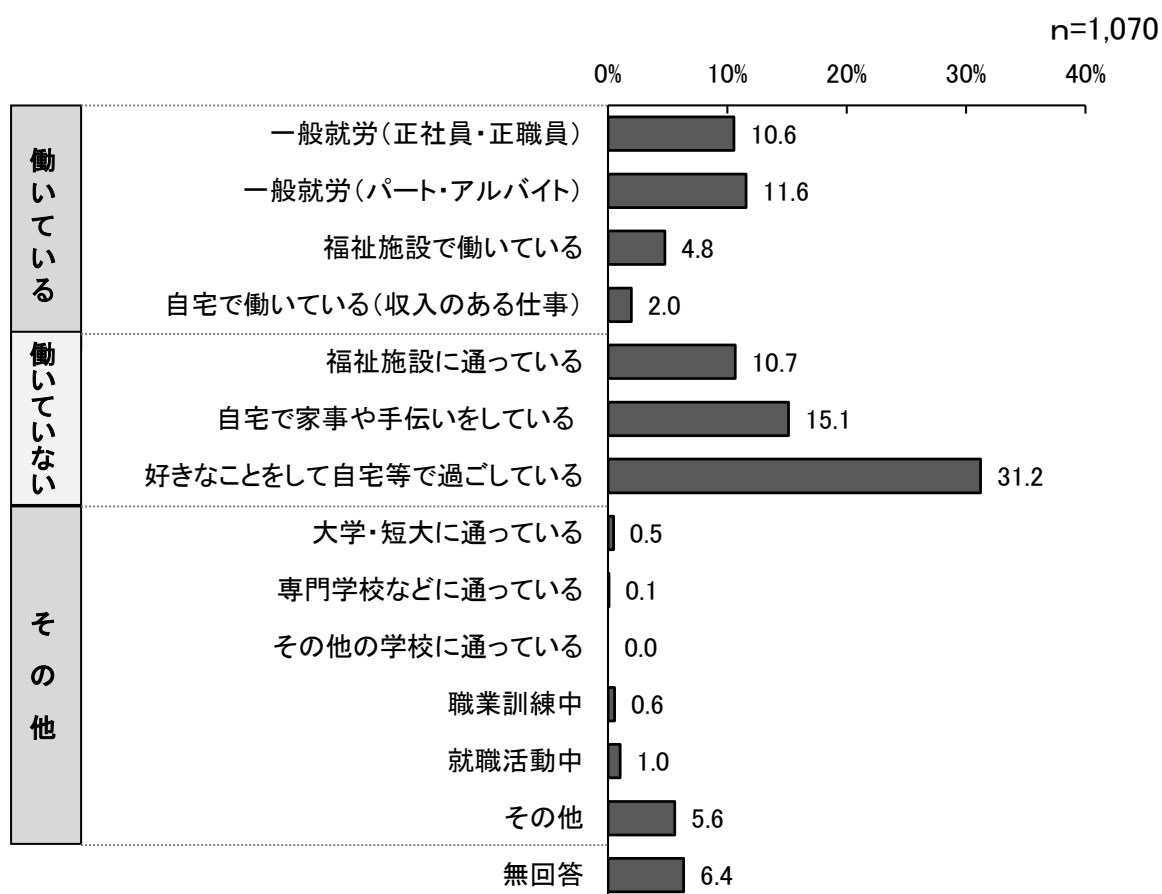
上段:件 下段:%	合計	その他	無回答
全体	1070 100.0	42 3.9	40 3.7
視覚障がい	48 100.0	2 4.2	2 4.2
聴覚・平衡機能障がい	68 100.0	6 8.8	2 2.9
音声・言語・そしゃく機 能障がい	24 100.0	1 4.2	0 0.0
肢体不自由	358 100.0	15 4.2	14 3.9
内部障がい	248 100.0	7 2.8	6 2.4

7 就労について

(1) 日中の過ごし方

問 20 あなたは、お休みの日以外の日中、主にどのように過ごしていますか。（あてはまる番号一つに○）

全体では、「一般就労（正社員・正職員）」が 10.6%、「一般就労（パート・アルバイト）」は 11.6%、「福祉施設で働いている」は 4.8%、「自宅で働いている（収入のある仕事）」は 2.0%となっています。「働いている」という回答は合わせて 3 割弱、「働いていない」という回答は 5 割台後半となっています。



障がい別にみると、身体障がいでは「好きなことをして自宅等で過ごしている」、知的障がいでは「一般就労（パート・アルバイト）」「福祉施設で働いている」、精神障がいでは「自宅で家事や手伝いをしている」が最も多くなっています。

上段:件 下段:%	合計	一般就労 (正社員・ 正職員)	一般就労 (パート・ アルバイト)	福祉施設 で働いて いる	自宅で働 いている (収入の ある仕事)	福祉施設 に通って いる	自宅で家 事や手伝 いをしてい る	好きなこと をして自 宅等で過 ごしている	大学・短 大に通っ ている
全体	1,070 100.0	113 10.6	124 11.6	51 4.8	21 2.0	114 10.7	162 15.1	334 31.2	5 0.5
身体障がい	743 100.0	76 10.2	60 8.1	11 1.5	16 2.2	74 10.0	116 15.6	283 38.1	4 0.5
知的障がい	112 100.0	10 8.9	30 26.8	30 26.8	0 0.0	25 22.3	5 4.5	7 6.3	0 0.0
精神障がい	222 100.0	25 11.3	39 17.6	19 8.6	4 1.8	21 9.5	42 18.9	39 17.6	0 0.0

上段:件 下段:%	合計	専門学校 などに 通ってい る	その他の 学校に 通ってい る	職業訓練 中	就職活動 中	その他	無回答
全体	1,070 100.0	1 0.1	0 0.0	6 0.6	11 1.0	60 5.6	68 6.4
身体障がい	743 100.0	0 0.0	0 0.0	1 0.1	5 0.7	42 5.7	55 7.4
知的障がい	112 100.0	0 0.0	0 0.0	1 0.9	2 1.8	0 0.0	2 1.8
精神障がい	222 100.0	0 0.0	0 0.0	4 1.8	4 1.8	18 8.1	7 3.2

年齢別にみると、18～39歳では「一般就労（パート・アルバイト）」、40～64歳では「一般就労（正社員・正職員）」が最も多くなっています。

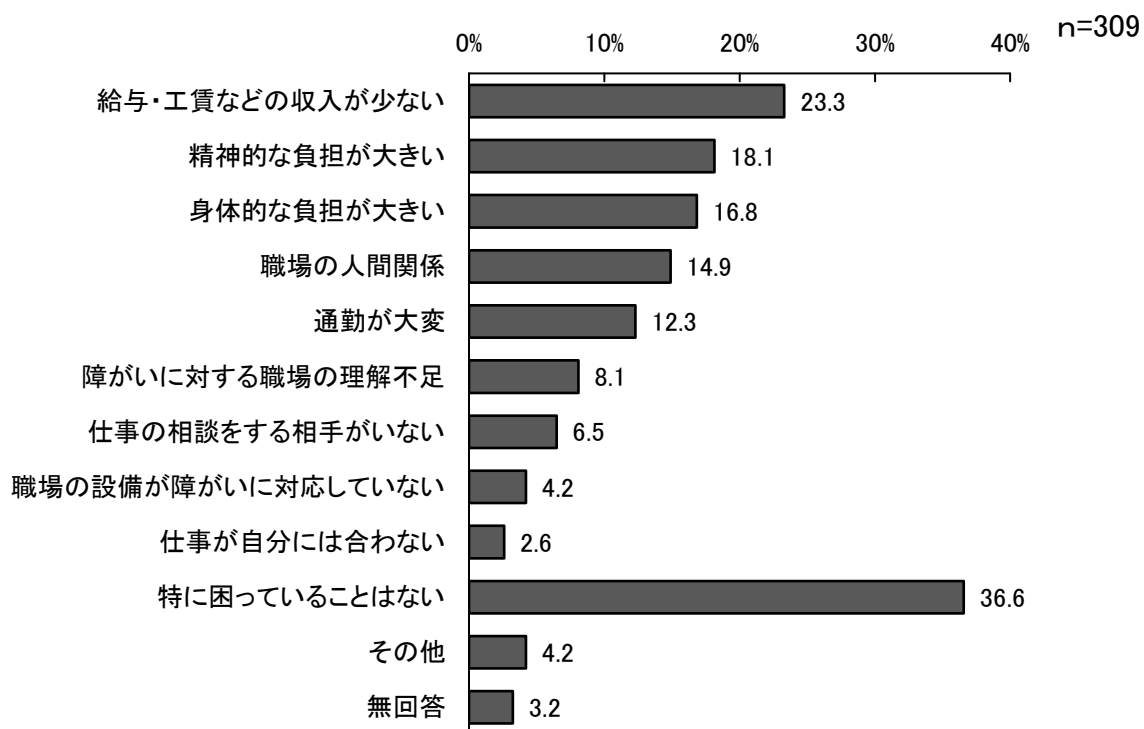
上段:件 下段:%	合計	一般就労 (正社員・ 正職員)	一般就労 (パート・ アルバイト)	福祉施設 で働いて いる	自宅で働 いている (収入の ある仕事)	福祉施設 に通って いる	自宅で家 事や手伝 いをしてい る	好きなこと をして自 宅等で過 ごしている	大学・短 大に通っ ている
全体	1070 100.0	113 10.6	124 11.6	51 4.8	21 2.0	114 10.7	162 15.1	334 31.2	5 0.5
18～39歳	169 100.0	31 18.3	43 25.4	18 10.7	1 0.6	18 10.7	20 11.8	15 8.9	4 2.4
40～64歳	320 100.0	71 22.2	58 18.1	28 8.8	8 2.5	25 7.8	45 14.1	47 14.7	0 0.0
65～74歳	189 100.0	7 3.7	15 7.9	1 0.5	5 2.6	13 6.9	38 20.1	90 47.6	0 0.0
75歳以上	372 100.0	1 0.3	8 2.2	3 0.8	7 1.9	55 14.8	57 15.3	179 48.1	1 0.3

上段:件 下段:%	合計	専門学校 などに 通ってい る	その他の 学校に 通ってい る	職業訓練 中	就職活動 中	その他	無回答
全体	1070 100.0	1 0.1	0 0.0	6 0.6	11 1.0	60 5.6	68 6.4
18～39歳	169 100.0	1 0.6	0 0.0	4 2.4	4 2.4	10 5.9	0 0.0
40～64歳	320 100.0	0 0.0	0 0.0	2 0.6	7 2.2	17 5.3	12 3.8
65～74歳	189 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 4.2	12 6.3
75歳以上	372 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	24 6.5	37 9.9

(2) 仕事をする上で困っていること

問21 問20で「働いている」と回答した方にお聞きします。あなたが、仕事をする上で困っていることは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

全体では、「特に困っていることはない」を除くと、「給与・工賃などの収入が少ない」が23.3%と最も多く、次いで「精神的な負担が大きい」が18.1%、「身体的な負担が大きい」が16.8%となっています。



障がい別にみると、精神障がいでは「精神的な負担が大きい」が最も多く、「給与・工賃などの収入が少ない」、「職場の人間関係」が他と比較して多くなっています。

上段:件 下段:%	合計	身体的な 負担が大 きい	精神的な 負担が大 きい	仕事が自 分には合 わない	職場の設 備が障が いに対応 していな い	障がいに 対する職 場の理解 不足	職場の人 間関係	仕事の相 談をする 相手が いない	通勤が大 変
全体	309 100.0	52 16.8	56 18.1	8 2.6	13 4.2	25 8.1	46 14.9	20 6.5	38 12.3
身体障がい	163 100.0	32 19.6	23 14.1	2 1.2	10 6.1	15 9.2	18 11.0	8 4.9	20 12.3
知的障がい	70 100.0	5 7.1	7 10.0	2 2.9	1 1.4	4 5.7	13 18.6	2 2.9	3 4.3
精神障がい	87 100.0	16 18.4	29 33.3	4 4.6	4 4.6	8 9.2	22 25.3	9 10.3	17 19.5

上段:件 下段:%	合計	給与・工 賃などの 収入が少 ない	特に困っ ているこ とはない	その他	無回答
全体	309 100.0	72 23.3	113 36.6	13 4.2	10 3.2
身体障がい	163 100.0	34 20.9	67 41.1	4 2.5	6 3.7
知的障がい	70 100.0	14 20.0	32 45.7	3 4.3	3 4.3
精神障がい	87 100.0	28 32.2	18 20.7	6 6.9	1 1.1

就労形態別にみると、福祉施設で働いているでは「給与・工賃などの収入が少ない」が最も多くなっています。

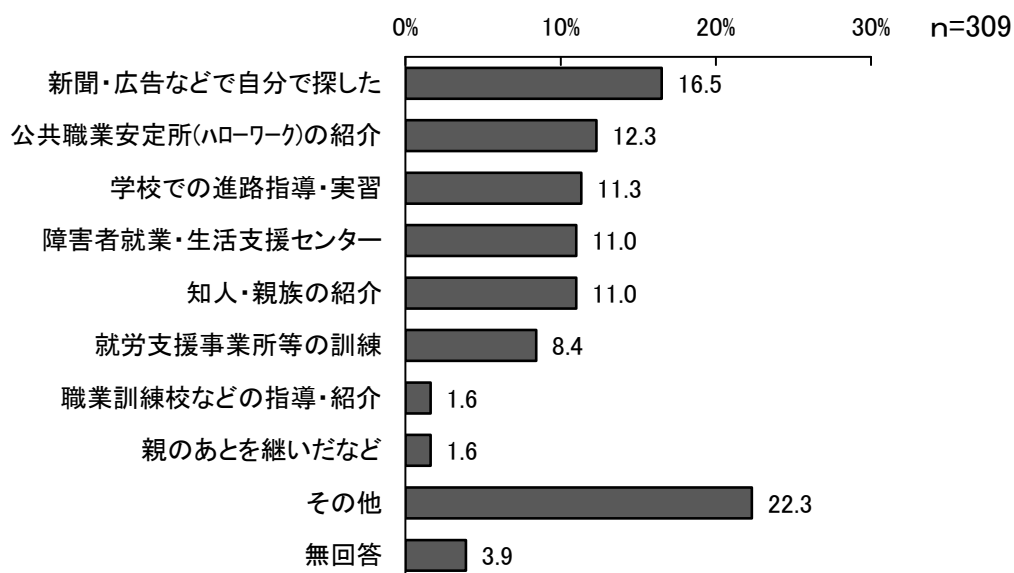
上段:件 下段:%	合計	身体的な 負担が大 きい	精神的な 負担が大 きい	仕事が自 分には合 わない	職場の設 備が障が いに対応 していな	障がい に対する職 場の理解 不足	職場の人 間関係	仕事の相 談をする 相手がい ない	通勤が大 変
全体	309 100.0	52 16.8	56 18.1	8 2.6	13 4.2	25 8.1	46 14.9	20 6.5	38 12.3
一般就労 (正社員・正職員)	113 100.0	18 15.9	21 18.6	4 3.5	8 7.1	15 13.3	13 11.5	8 7.1	21 18.6
一般就労 (パート・アルバイト)	124 100.0	26 21.0	21 16.9	1 0.8	5 4.0	6 4.8	17 13.7	7 5.6	11 8.9
福祉施設で 働いている	51 100.0	5 9.8	8 15.7	2 3.9	0 0.0	4 7.8	16 31.4	4 7.8	5 9.8
自宅で働いている (収入のある仕事)	21 100.0	3 14.3	6 28.6	1 4.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.8	1 4.8

上段:件 下段:%	合計	給与・工 賃などの 収入が少 ない	特に困っ ているこ とはない	その他	無回答
全体	309 100.0	72 23.3	113 36.6	13 4.2	10 3.2
一般就労 (正社員・正職員)	113 100.0	15 13.3	44 38.9	8 7.1	3 2.7
一般就労 (パート・アルバイト)	124 100.0	36 29.0	49 39.5	1 0.8	3 2.4
福祉施設で 働いている	51 100.0	20 39.2	10 19.6	3 5.9	3 5.9
自宅で働いている (収入のある仕事)	21 100.0	1 4.8	10 47.6	1 4.8	1 4.8

(3) どのように仕事を探したか

問22 問20で「働いている」と回答した方にお聞きします。 どのように仕事を探しましたか。（最もあてはまるもの一つに○）

全体では、「その他」を除くと、「新聞・広告などで自分で探した」が16.5%と最も多く、次いで「公共職業安定所(ハローワーク)の紹介」が12.3%、「学校での進路指導・実習」が11.3%となっています。



障がい別にみると、知的障がいでは「学校での進路指導・実習」、精神障がいでは「就労支援事業所等の訓練」が他と比較して多くなっています。

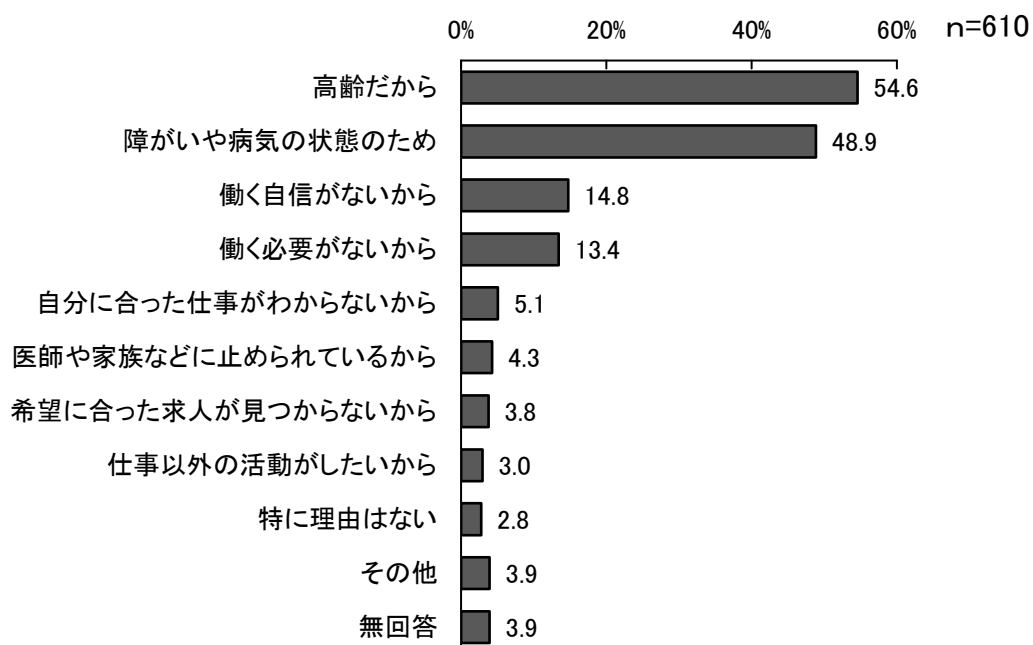
上段:件 下段:%	合計	公共職業 安定所(ハ ローワーク)の 紹介	障害者就 業・生活 支援セン ター	就労支援 事業所等 の訓練	学校での 進路指 導・実習	職業訓練 校などの 指導・紹 介	知人・親 族の紹介	親のあと を継いだ など	新聞・広 告などで 自分で探 した
全体	309 100.0	38 12.3	34 11.0	26 8.4	35 11.3	5 1.6	34 11.0	5 1.6	51 16.5
身体障がい	163 100.0	22 13.5	8 4.9	4 2.5	15 9.2	4 2.5	19 11.7	3 1.8	30 18.4
知的障がい	70 100.0	5 7.1	19 27.1	7 10.0	21 30.0	1 1.4	6 8.6	0 0.0	2 2.9
精神障がい	87 100.0	11 12.6	12 13.8	19 21.8	1 1.1	0 0.0	10 11.5	1 1.1	18 20.7

上段:件 下段:%	合計	その他	無回答
全体	309 100.0	69 22.3	12 3.9
身体障がい	163 100.0	52 31.9	6 3.7
知的障がい	70 100.0	5 7.1	4 5.7
精神障がい	87 100.0	12 13.8	3 3.4

(4) 働いていない理由

問23 問20で「働いていない」と回答した方にお聞きします。あなたが、働いていない理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

全体では、「高齢だから」が54.6%と最も多く、次いで「障がいや病気の状態のため」が48.9%、「働く自信がないから」が14.8%となっています。



障がい別にみると、身体障がいでは「高齢だから」、知的障がいと精神障がいでは「障がいや病気の状態のため」が最も多くなっています。

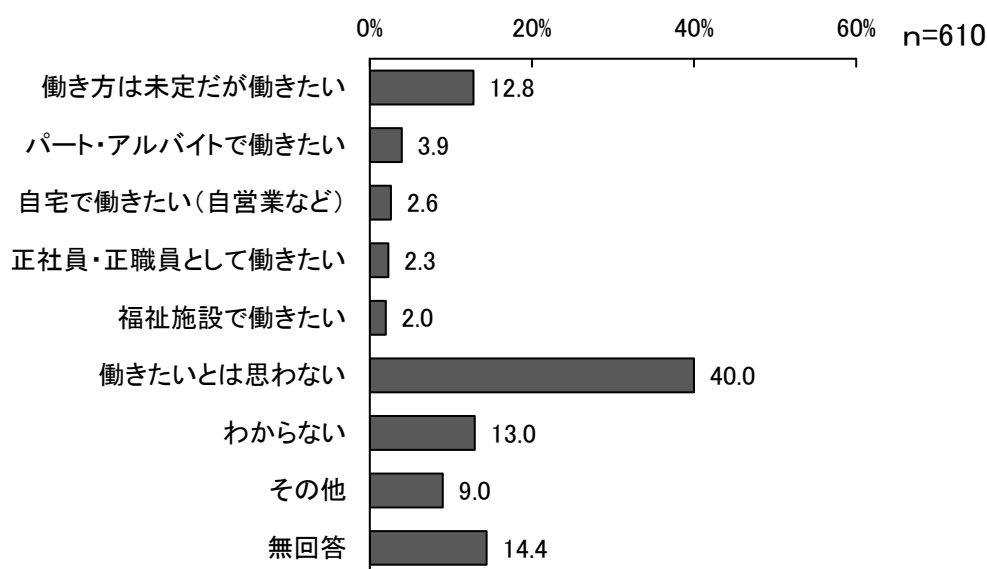
上段:件 下段:%	合計	障がいや 病気の状 態のため	高齢だか ら	医師や家 族などに 止められ ているか ら	自分 に 合った仕 事がわか らないか ら	希望に 合った求 人が見つ からない から	働く自信 がないか ら	仕事以外 の活動が したいか ら	働く必要 がないか ら
全体	610 100.0	298 48.9	333 54.6	26 4.3	31 5.1	23 3.8	90 14.8	18 3.0	82 13.4
身体障がい	473 100.0	203 42.9	316 66.8	13 2.7	12 2.5	11 2.3	41 8.7	13 2.7	75 15.9
知的障がい	37 100.0	29 78.4	1 2.7	0 0.0	5 13.5	3 8.1	8 21.6	2 5.4	1 2.7
精神障がい	102 100.0	73 71.6	12 11.8	13 12.7	16 15.7	11 10.8	45 44.1	5 4.9	4 3.9

上段:件 下段:%	合計	特に理由 はない	その他	無回答
全体	610 100.0	17 2.8	24 3.9	24 3.9
身体障がい	473 100.0	12 2.5	17 3.6	18 3.8
知的障がい	37 100.0	1 2.7	3 8.1	0 0.0
精神障がい	102 100.0	0 0.0	4 3.9	5 4.9

(5) 希望する就労形態

問24 問20で「働いていない」と回答した方にお聞きします。あなたは今後、機会があれば働きたいと思いますか。働きたい方は、希望する働き方をお答えください。
(最もあてはまるもの一つに○)

全体では、「働きたい」という回答の中では、「働き方は未定だが働きたい」が12.8%と最も多く、次いで「パート・アルバイトで働きたい」が3.9%、「自宅で働きたい(自営業など)」が2.6%となっています。



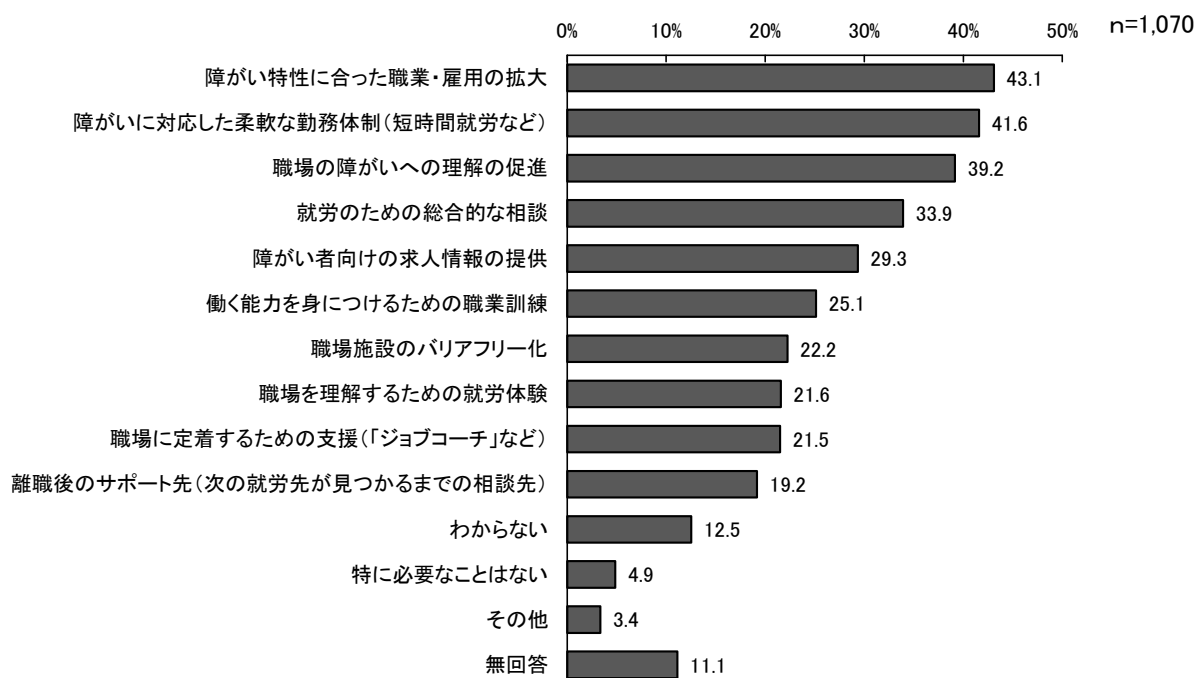
障がい別にみると、「働きたい」という回答の中では、知的障がいと精神障がいで「働き方は未定だが働きたい」が他と比較して多くなっています。

上段: 件 下段: %	合計	正社員・ 正職員と して働 きたい	パート・ア ルバイ トで働 きた い	福祉施設 で働 きた い	自宅で働 きたい(自 営業など)	働き方は 未定だが 働 きたい	働 きたい とは思 わ ない	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
全体	610 100.0	14 2.3	24 3.9	12 2.0	16 2.6	78 12.8	244 40.0	79 13.0	55 9.0	88 14.4
身体障がい	473 100.0	6 1.3	13 2.7	4 0.8	7 1.5	46 9.7	219 46.3	51 10.8	49 10.4	78 16.5
知的障がい	37 100.0	2 5.4	2 5.4	4 10.8	1 2.7	8 21.6	6 16.2	10 27.0	2 5.4	2 5.4
精神障がい	102 100.0	9 8.8	10 9.8	5 4.9	8 7.8	26 25.5	15 14.7	18 17.6	5 4.9	6 5.9

(6) 一般就労に必要なこと

問25 全ての方にお聞きします。障がいのある人が企業などで働くためには、どのような支援が必要だと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

全体では、「障がい特性に合った職業・雇用の拡大」が43.1%と最も多く、次いで「障がいに対応した柔軟な勤務体制（短時間就労など）」が41.6%、「職場の障がいへの理解の促進」が39.2%となっています。



障がい別にみると、身体障がいでは「障がいに対応した柔軟な勤務体制（短時間就労など）」、知的障がいと精神障がいでは「職場の障がいに対する理解の促進」が最も多くなっています。

上段:件 下段:%	合計	就労のための総合的な相談	働く能力を身につけるための職業訓練	職場を理解するための就労体験	障がい特性に合った職業・雇用の拡大	障がい者向けの求人情報の提供	職場の障がいへの理解の促進	職場施設のバリアフリー化	障がいに対応した柔軟な勤務体制（短時間就労など）
全体	1,070 100.0	363 33.9	269 25.1	231 21.6	461 43.1	314 29.3	419 39.2	238 22.2	445 41.6
身体障がい	743 100.0	220 29.6	153 20.6	121 16.3	289 38.9	197 26.5	247 33.2	174 23.4	290 39.0
知的障がい	112 100.0	49 43.8	46 41.1	46 41.1	60 53.6	31 27.7	61 54.5	28 25.0	43 38.4
精神障がい	222 100.0	103 46.4	80 36.0	74 33.3	122 55.0	91 41.0	125 56.3	44 19.8	119 53.6

上段:件 下段:%	合計	職場に定着するための支援（「ジョブコーチ」など）	離職後のサポート先（次の就労先が見つかるまでの相談先）	わからない	特に必要なことはない	その他	無回答
全体	1,070 100.0	230 21.5	205 19.2	134 12.5	52 4.9	36 3.4	119 11.1
身体障がい	743 100.0	112 15.1	108 14.5	108 14.5	42 5.7	19 2.6	95 12.8
知的障がい	112 100.0	48 42.9	42 37.5	7 6.3	6 5.4	4 3.6	6 5.4
精神障がい	222 100.0	79 35.6	66 29.7	18 8.1	2 0.9	14 6.3	10 4.5

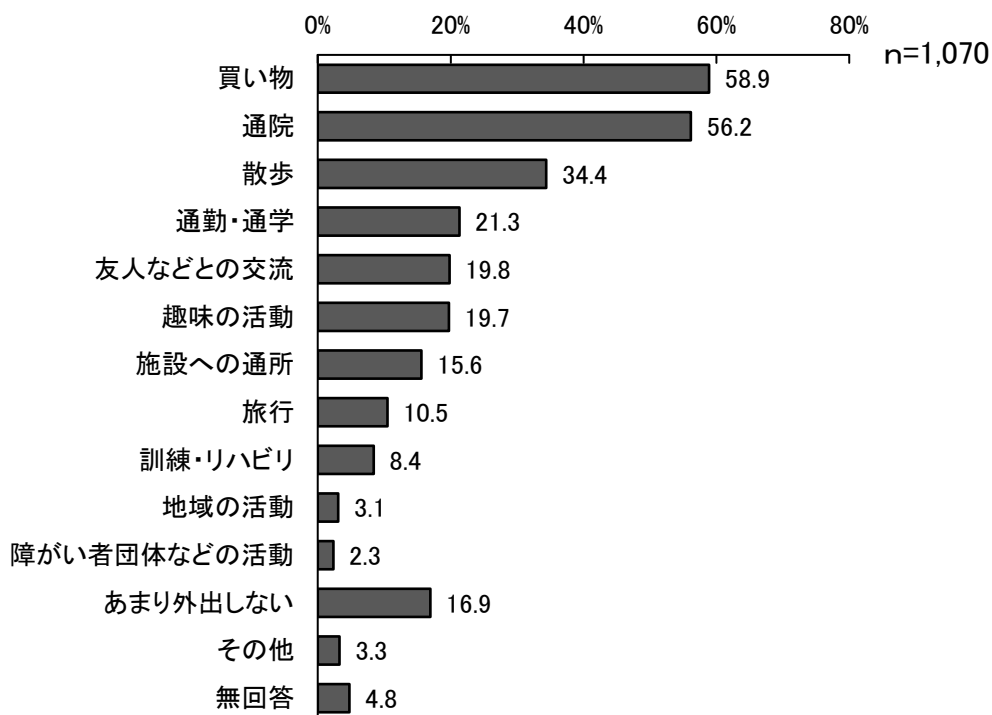
8 社会参加について

(1) 外出の目的

問26 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。

(あてはまるもの全てに○)

全体では、「買い物」が 58.9%と最も多く、次いで「通院」が 56.2%、「散歩」が 34.4%となっています。



障がい別にみると、身体障がいでは「通院」、知的障がいと精神障がいでは「買い物」が最も多くなっています。また、知的障がいでは「施設への通所」、「通勤・通学」、精神障がいでは「通院」が他と比較して多くなっています。

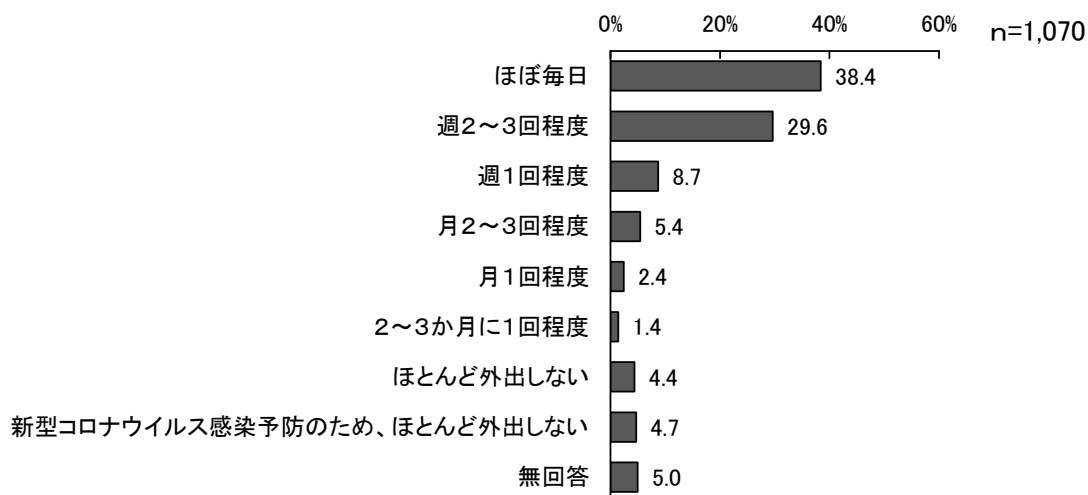
上段:件 下段:%	合計	通勤・通 学	施設への 通所	通院	訓練・リハ ビリ	買い物	散歩	旅行	趣味の活 動
全体	1,070 100.0	228 21.3	167 15.6	601 56.2	90 8.4	630 58.9	368 34.4	112 10.5	211 19.7
身体障がい	743 100.0	132 17.8	96 12.9	430 57.9	79 10.6	422 56.8	259 34.9	78 10.5	135 18.2
知的障がい	112 100.0	44 39.3	47 42.0	45 40.2	6 5.4	66 58.9	39 34.8	17 15.2	26 23.2
精神障がい	222 100.0	58 26.1	37 16.7	136 61.3	8 3.6	150 67.6	75 33.8	21 9.5	53 23.9

上段:件 下段:%	合計	地域の活 動	障がい者 団体など の活動	友人など との交流	あまり外 出しない	その他	無回答
全体	1,070 100.0	33 3.1	25 2.3	212 19.8	181 16.9	35 3.3	51 4.8
身体障がい	743 100.0	24 3.2	13 1.7	161 21.7	132 17.8	26 3.5	37 5.0
知的障がい	112 100.0	5 4.5	10 8.9	13 11.6	10 8.9	1 0.9	2 1.8
精神障がい	222 100.0	4 1.8	2 0.9	41 18.5	37 16.7	9 4.1	11 5.0

(2) 外出の頻度

問27 あなたは、どのくらいの頻度で外出しますか。(あてはまるもの一つに○)

全体では、「ほぼ毎日」が38.4%と最も多く、次いで「週2～3回程度」が29.6%、「週1回程度」が8.7%となっています。



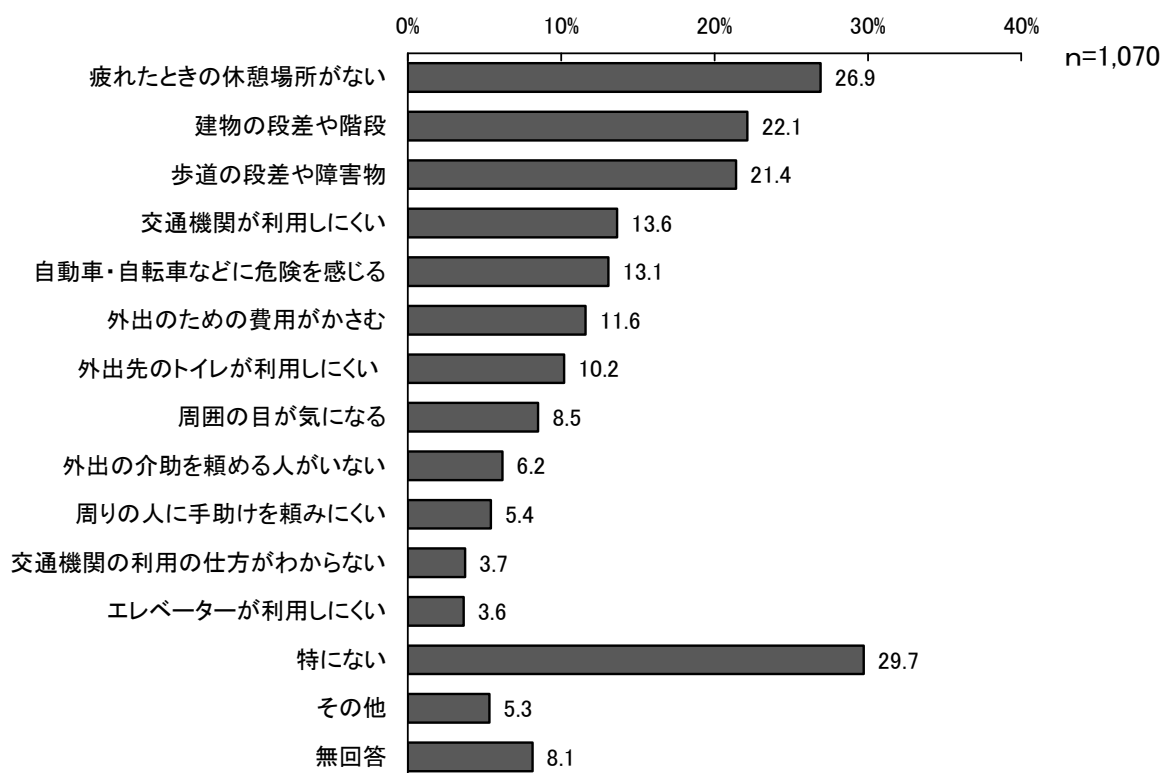
障がい別にみると、知的障がいでは「ほぼ毎日」が、他と比較して多くなっています。

上段:件 下段:%	合計	ほぼ毎日	週2～3回程度	週1回程度	月2～3回程度	月1回程度	2～3か月に1回程度	ほとんど外出しない	新型コロナウイルス感染予防のため、ほとんど外出しない	無回答
全体	1,070 100.0	411 38.4	317 29.6	93 8.7	58 5.4	26 2.4	15 1.4	47 4.4	50 4.7	53 5.0
身体障がい	743 100.0	250 33.6	247 33.2	64 8.6	48 6.5	17 2.3	13 1.7	30 4.0	37 5.0	37 5.0
知的障がい	112 100.0	69 61.6	16 14.3	6 5.4	1 0.9	2 1.8	1 0.9	5 4.5	8 7.1	4 3.6
精神障がい	222 100.0	103 46.4	56 25.2	22 9.9	11 5.0	7 3.2	0 0.0	8 3.6	6 2.7	9 4.1

(3) 外出するとき困っていること

問 28 あなたには、外出するとき困っていることはありますか。(あてはまるもの全てに○)

全体では、「特にない」を除くと、「疲れたときの休憩場所がない」が 26.9%と最も多く、次いで「建物の段差や階段」が 22.1%、「歩道の段差や障害物」が 21.4%となっています。



障がい別にみると、身体障がいでは「歩道の段差や障害物」、「建物の段差や階段」、知的障がいと精神障がいでは「周囲の目が気になる」が他と比較して多くなっています。

上段:件 下段:%	合計	歩道の段差や障害物	建物の段差や階段	交通機関が利用しにくい	交通機関の利用の仕方がわからない	自動車・自転車などに危険を感じる	エレベーターが利用しにくい	外出先のトイレが利用しにくい	疲れたときの休憩場所がない
全体	1,070 100.0	229 21.4	237 22.1	146 13.6	40 3.7	140 13.1	39 3.6	109 10.2	288 26.9
身体障がい	743 100.0	208 28.0	208 28.0	110 14.8	18 2.4	102 13.7	34 4.6	88 11.8	216 29.1
知的障がい	112 100.0	12 10.7	15 13.4	16 14.3	12 10.7	16 14.3	5 4.5	12 10.7	15 13.4
精神障がい	222 100.0	18 8.1	21 9.5	27 12.2	11 5.0	30 13.5	3 1.4	18 8.1	67 30.2

上段:件 下段:%	合計	周囲の目が気になる	外出の介助を頼める人がいない	周りの人に手助けを頼みにくい	外出のための費用がかさむ	特にない	その他	無回答
全体	1,070 100.0	91 8.5	66 6.2	58 5.4	124 11.6	318 29.7	57 5.3	87 8.1
身体障がい	743 100.0	26 3.5	45 6.1	35 4.7	70 9.4	202 27.2	39 5.2	60 8.1
知的障がい	112 100.0	19 17.0	15 13.4	14 12.5	7 6.3	45 40.2	3 2.7	7 6.3
精神障がい	222 100.0	51 23.0	14 6.3	14 6.3	49 22.1	66 29.7	16 7.2	16 7.2

身体障がいの種類別にみると、視覚障がいでは「建物の段差や階段」、音声・言語・そしゃく機能障がい、肢体不自由では「歩道の段差や障害物」が最も多くなっています。視覚障害では「歩道の段差や障害物」、「建物の段差や階段」などが他と比較して特に多くなっています。

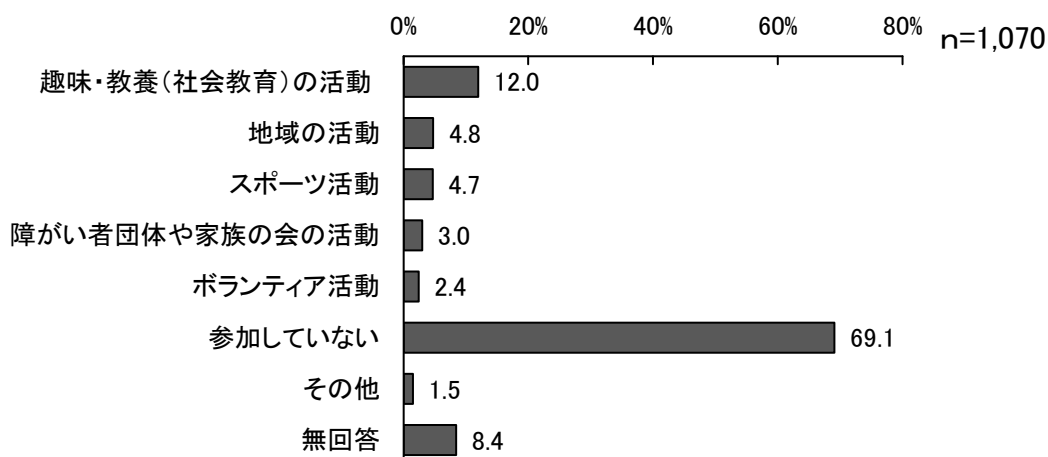
上段:件 下段:%	合計	歩道の段差や障害物	建物の段差や階段	交通機関が利用しにくい	交通機関の利用の仕方がわからない	自動車・自転車などに危険を感じる	エレベーターが利用しにくい	外出先のトイレが利用しにくい	疲れたときの休憩場所がない
全体	1,070 100.0	229 21.4	237 22.1	146 13.6	40 3.7	140 13.1	39 3.6	109 10.2	288 26.9
視覚障がい	48 100.0	27 56.3	28 58.3	14 29.2	4 8.3	13 27.1	9 18.8	12 25.0	9 18.8
聴覚・平衡機能障がい	68 100.0	18 26.5	14 20.6	8 11.8	4 5.9	12 17.6	3 4.4	7 10.3	17 25.0
音声・言語・そしゃく機能障がい	24 100.0	10 41.7	8 33.3	5 20.8	1 4.2	3 12.5	2 8.3	8 33.3	6 25.0
肢体不自由	358 100.0	133 37.2	125 34.9	62 17.3	7 2.0	55 15.4	18 5.0	49 13.7	116 32.4
内部障がい	248 100.0	33 13.3	48 19.4	28 11.3	6 2.4	22 8.9	7 2.8	23 9.3	67 27.0

上段:件 下段:%	合計	周囲の目が気になる	外出の介助を頼める人がいない	周りの人に手助けを頼みにくい	外出のための費用がかさむ	特にない	その他	無回答
全体	1,070 100.0	91 8.5	66 6.2	58 5.4	124 11.6	318 29.7	57 5.3	87 8.1
視覚障がい	48 100.0	4 8.3	6 12.5	6 12.5	5 10.4	6 12.5	4 8.3	6 12.5
聴覚・平衡機能障がい	68 100.0	2 2.9	2 2.9	2 2.9	6 8.8	21 30.9	6 8.8	6 8.8
音声・言語・そしゃく機能障がい	24 100.0	0 0.0	6 25.0	6 25.0	4 16.7	4 16.7	1 4.2	2 8.3
肢体不自由	358 100.0	13 3.6	28 7.8	22 6.1	38 10.6	69 19.3	16 4.5	34 9.5
内部障がい	248 100.0	4 1.6	6 2.4	5 2.0	18 7.3	95 38.3	9 3.6	16 6.5

(4) 社会活動への参加状況

問 29 あなたは、次のような社会活動に参加していますか。(あてはまるもの全てに)

全体では、「参加していない」を除くと、「趣味の活動」が 12.0%と最も多く、次いで「地域の活動」が 4.8%、「スポーツ活動」が 4.7%となっています。



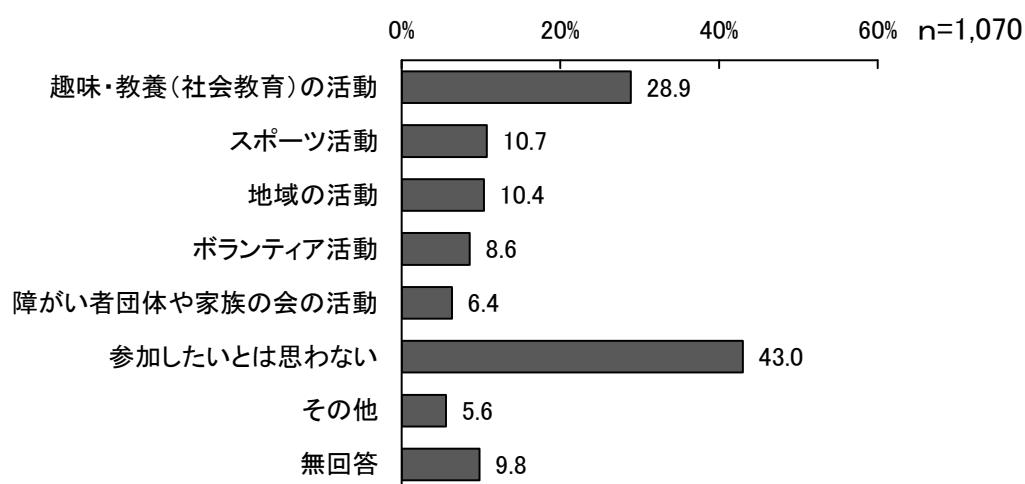
障がい別にみると、「参加していない」を除くと、知的障がいでは「障がい者団体や家族の会の活動」が他と比較して多くなっています。

上段: 件 下段: %	合計	趣味・教養(社会教育)の活動	スポーツ活動	地域の活動	ボランティア活動	障がい者団体や家族の会の活動	参加していない	その他	無回答
全体	1,070 100.0	128 12.0	50 4.7	51 4.8	26 2.4	32 3.0	739 69.1	16 1.5	90 8.4
身体障がい	743 100.0	91 12.2	38 5.1	39 5.2	22 3.0	15 2.0	508 68.4	11 1.5	69 9.3
知的障がい	112 100.0	12 10.7	5 4.5	7 6.3	0 0.0	12 10.7	75 67.0	1 0.9	5 4.5
精神障がい	222 100.0	27 12.2	6 2.7	5 2.3	4 1.8	6 2.7	165 74.3	4 1.8	11 5.0

(5) 社会活動への参加意向

問 30 あなたは今後、次のような社会活動に参加したいと思いますか。既に参加している方も、今後参加したいかどうかお答えください。(あてはまるもの全てに○)

全体では、「参加したいとは思わない」を除くと、「趣味・教養（社会教育）の活動」が28.9%と最も多く、次いで「スポーツ活動」が10.7%、「地域の活動」が10.4%となっています。



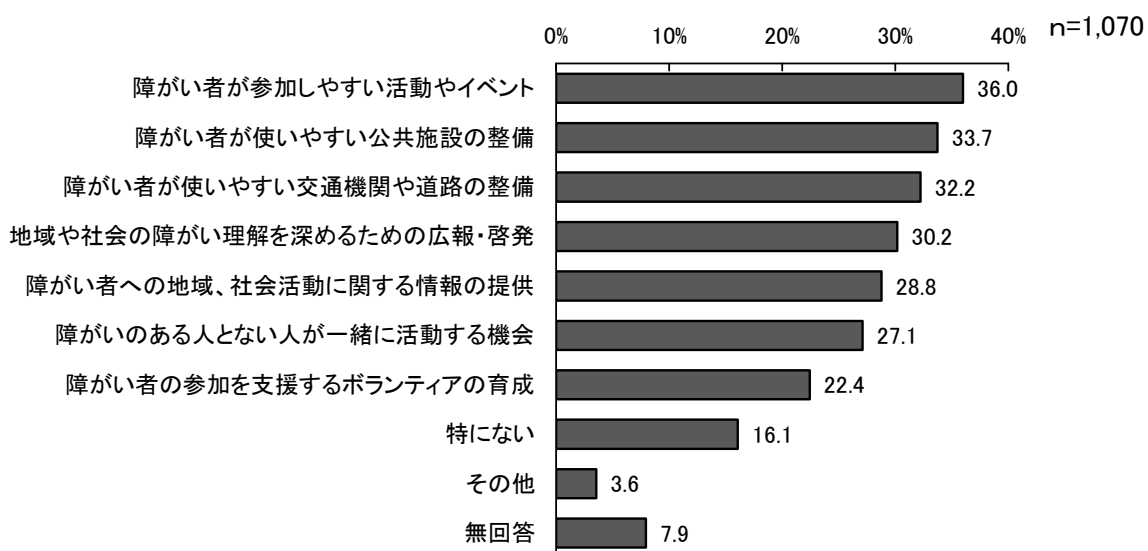
障がい別にみると、知的障がいでは「障害者団体や家族の会の活動」、精神障がいでは「趣味・教養（社会教育）の活動」、「ボランティア活動」が他と比較して多くなっています。

上段:件 下段:%	合計	趣味・教養(社会教育)の活動	スポーツ活動	地域の活動	ボランティア活動	障がい者団体や家族の会の活動	参加したいとは思わない	その他	無回答
全体	1,070 100.0	309 28.9	115 10.7	111 10.4	92 8.6	68 6.4	460 43.0	60 5.6	105 9.8
身体障がい	743 100.0	210 28.3	68 9.2	78 10.5	61 8.2	34 4.6	322 43.3	41 5.5	79 10.6
知的障がい	112 100.0	29 25.9	16 14.3	11 9.8	6 5.4	18 16.1	44 39.3	10 8.9	6 5.4
精神障がい	222 100.0	77 34.7	34 15.3	27 12.2	27 12.2	20 9.0	95 42.8	12 5.4	14 6.3

(6) 社会参加のために必要なこと

問 31 あなたは、障がいのある人が地域や社会に積極的に参加できるようにするために、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

全体では、「障がい者が参加しやすい活動やイベント」が 36.0%と最も多く、次いで「障がい者が使いやすい公共施設の整備」が 33.7%、「障がい者が使いやすい交通機関や道路の整備」が 32.2%となっています。



障がい別にみると、身体障がいでは「障がい者が使いやすい公共施設の整備」、知的障がいと精神障がいでは「障がい者が参加しやすい活動やイベント」、精神障がいでは「地域や社会の障がい理解を深めるための広報・啓発」が最も多くなっています。また、知的障がいでは「障がいのある人とない人が一緒に活動する機会」「障がい者の参加を支援するボランティアの育成」が他と比較して多くなっています。

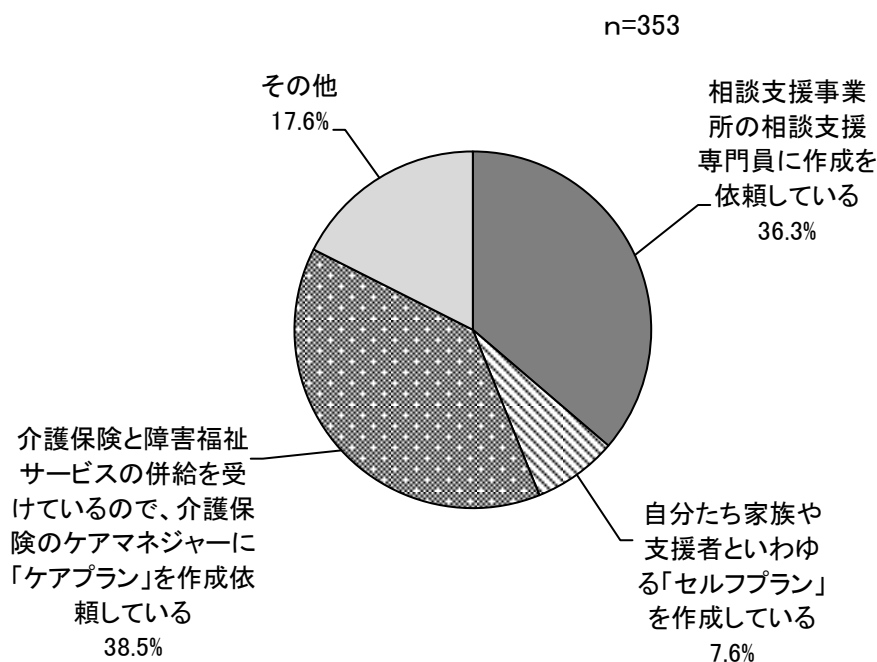
上段:件 下段:%	合計	障がい者が参加しやすい活動やイベント	障がいのある人とない人が一緒に活動する機会	障がい者が使いやすい公共施設の整備	障がい者が使いやすい交通機関や道路の整備	障がい者への地域、社会活動に関する情報の提供	障がい者の参加を支援するボランティアの育成	地域や社会の障がい理解を深めるための広報・啓発	特になし
全体	1,070 100.0	385 36.0	290 27.1	361 33.7	345 32.2	308 28.8	240 22.4	323 30.2	172 16.1
身体障がい	743 100.0	248 33.4	182 24.5	265 35.7	256 34.5	207 27.9	141 19.0	196 26.4	122 16.4
知的障がい	112 100.0	60 53.6	52 46.4	39 34.8	36 32.1	31 27.7	45 40.2	47 42.0	17 15.2
精神障がい	222 100.0	86 38.7	63 28.4	67 30.2	63 28.4	75 33.8	55 24.8	86 38.7	33 14.9

上段:件 下段:%	合計	その他	無回答
全体	1,070 100.0	38 3.6	85 7.9
身体障がい	743 100.0	26 3.5	65 8.7
知的障がい	112 100.0	3 2.7	4 3.6
精神障がい	222 100.0	11 5.0	10 4.5

9 障害福祉サービスについて

問32 現在、障害福祉サービスを利用している方にお聞きします。あなたの、「サービス等利用計画」に関する現状をお教えてください。（あてはまるもの一つに○）

全体では、「介護保険と障害福祉サービスの併給を受けているので、介護保険のケアマネジャーに「ケアプラン」を作成依頼している」が38.5%と最も多く、次いで「相談支援事業所の相談支援専門員に作成を依頼している」が36.3%、「自分たち家族や支援者といわゆる「セルフプラン」を作成している」が7.6%となっています。



※無回答を除く集計

障がい別にみると、身体障がいでは「介護保険と障害福祉サービスの併給を受けているので、介護保険のケアマネジャーに「ケアプラン」を作成依頼している」、知的障がい、精神障がいでは「相談支援事業所の相談支援専門員に作成を依頼している」が最も多くなっています。

上段: 件 下段: %	合計	相談支援事業所の相談支援専門員に作成を依頼している	自分たち家族や支援者といわゆる「セルフプラン」を作成している	介護保険と障害福祉サービスの併給を受けているので、介護保険のケアマネジャーに「ケアプラン」を作成依頼している	その他
全体	353 100.0	128 36.3	27 7.6	136 38.5	62 17.6
身体障がい	221 100.0	36 16.3	15 6.8	131 59.3	39 17.6
知的障がい	68 100.0	57 83.8	3 4.4	0 0.0	8 11.8
精神障がい	78 100.0	48 61.5	11 14.1	5 6.4	14 17.9

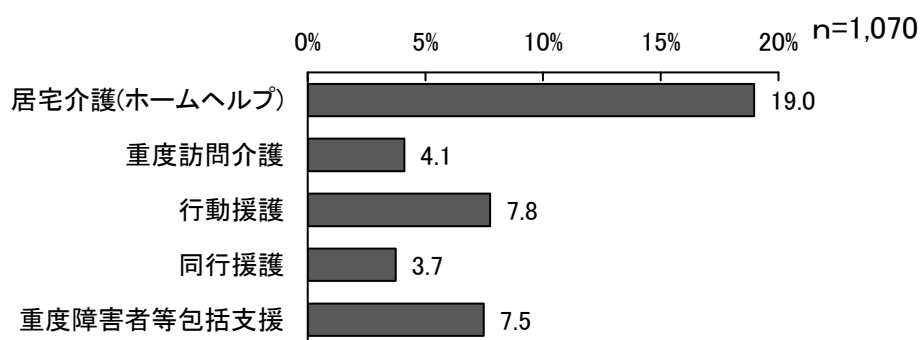
(2) 障がい福祉サービス等の利用意向

問 33 あなたは、次のようなサービスについて、今後3年以内に利用したいと思えますか。既に利用している方も、今後利用したいかどうかお答えください。（あてはまるもの全てにつき、右端の欄に○印を記入）

①訪問系サービスの利用意向

全体では、「居宅介護（ホームヘルプ）」が19.0%と最も多く、次いで「行動援護」が7.8%、「重度障害者等包括支援」が7.5%となっています。

障がい別にみると、知的障がいでは「行動援護」が最も多くなっています。

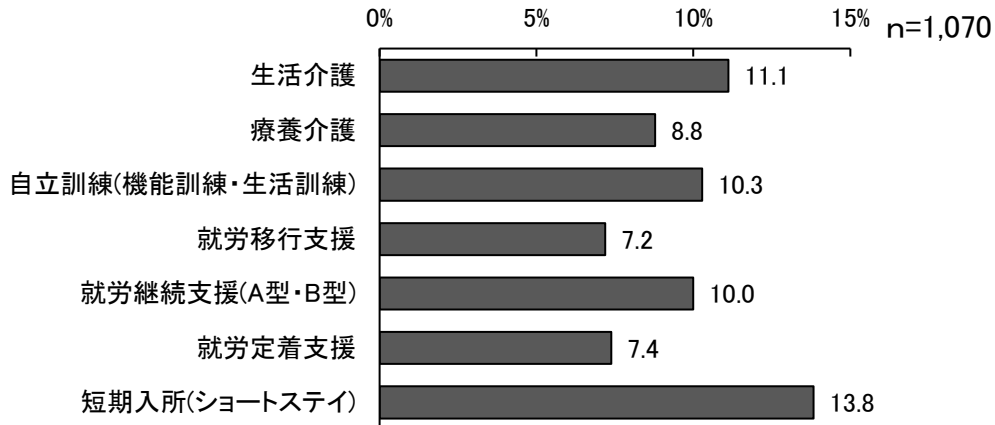


上段: 件 下段: %	合計	居宅介護 (ホームヘルプ)	重度訪問 介護	行動援護	同行援護	重度障害 者等包括 支援
全体	1,070 100.0	203 19.0	44 4.1	83 7.8	40 3.7	80 7.5
身体障がい	743 100.0	153 20.6	37 5.0	59 7.9	30 4.0	62 8.3
知的障がい	112 100.0	14 12.5	2 1.8	19 17.0	8 7.1	12 10.7
精神障がい	222 100.0	39 17.6	5 2.3	11 5.0	4 1.8	6 2.7

②日中活動系サービスの利用意向

全体では、「短期入所（ショートステイ）」が13.8%と最も多く、次いで、「生活介護」が11.1%、「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」が10.3%となっています。

障がい別にみると、身体障がい、知的障がいでは「短期入所（ショートステイ）」、精神障がいでは「就労継続支援（A型・B型）」が最も多くなっています。

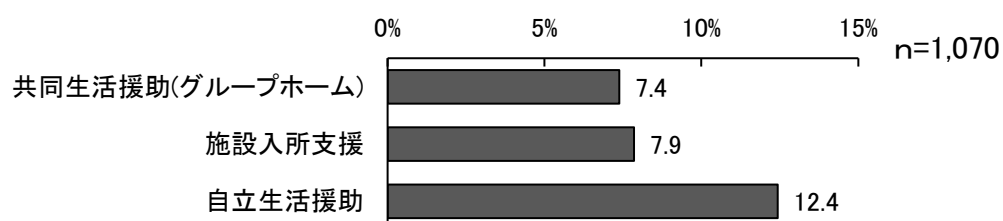


上段: 件 下段: %	合計	生活介護	療養介護	自立訓練 (機能訓練・生活 訓練)	就労移行 支援	就労継続 支援(A 型・B型)	就労定着 支援	短期入所 (ショートス テイ)
全体	1,070 100.0	119 11.1	94 8.8	110 10.3	77 7.2	107 10.0	79 7.4	148 13.8
身体障がい	743 100.0	77 10.4	80 10.8	71 9.6	26 3.5	35 4.7	22 3.0	103 13.9
知的障がい	112 100.0	25 22.3	6 5.4	14 12.5	7 6.3	30 26.8	12 10.7	33 29.5
精神障がい	222 100.0	18 8.1	9 4.1	31 14.0	51 23.0	54 24.3	52 23.4	14 6.3

③居住系サービスの利用意向

全体では、「自立生活援助」が12.4%と最も多く、「施設入所支援」が7.9%、「共同生活援助（グループホーム）」が7.4%となっています。

障がい別にみると、身体障がい、精神障がいでは「自立生活援助」、知的障がいでは「共同生活援助（グループホーム）」が最も多くなっています。

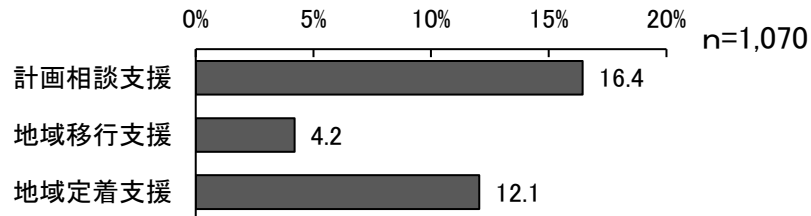


上段: 件 下段: %	合計	共同生活 援助(グ ループ ホーム)	施設入所 支援	自立生活 援助
全体	1,070 100.0	79 7.4	84 7.9	133 12.4
身体障がい	743 100.0	26 3.5	62 8.3	87 11.7
知的障がい	112 100.0	35 31.3	16 14.3	10 8.9
精神障がい	222 100.0	24 10.8	8 3.6	40 18.0

④相談支援（「サービス等利用計画」）の利用意向

全体では、「計画相談支援」が 16.4%と最も多く、次いで「地域定着支援」が 12.1%、「地域移行支援」が 4.2%となっています。

障がい別にみると、身体障がいでは「地域定着支援」、知的障がいと精神障がいでは「計画相談支援」が最も多くなっています。

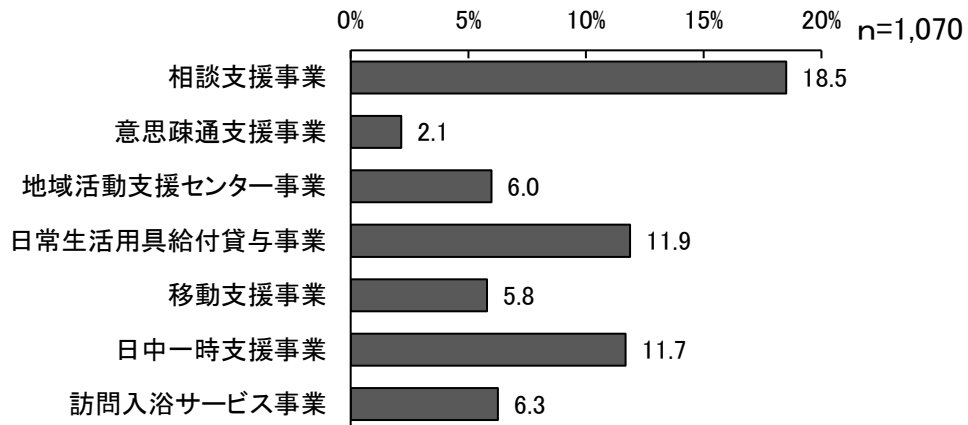


上段: 件 下段: %	合計	計画相談 支援	地域移行 支援	地域定着 支援
全体	1,070 100.0	176 16.4	45 4.2	129 12.1
身体障がい	743 100.0	90 12.1	29 3.9	97 13.1
知的障がい	112 100.0	45 40.2	10 8.9	4 3.6
精神障がい	222 100.0	54 24.3	7 3.2	29 13.1

⑤地域生活支援事業の利用意向

全体では、「相談支援事業」が18.5%と最も多く、次いで「日常生活用具給付貸与事業」が11.9%、「日中一時支援事業」が11.7%となっています。

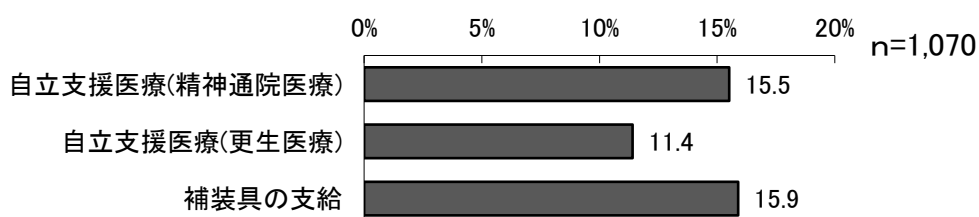
障がい別にみると、身体障がいでは「相談支援事業」とともに「日常生活用具給付貸与事業」が最も多くなっています。また、知的障がいでは「相談支援事業」「日中一時支援事業」「移動支援事業」などが特に多くなっています。



上段:件 下段:%	合計	相談支援 事業	意思疎通 支援事業	地域活動 支援セン ター事業	日常生活 用具給付 貸与事業	移動支援 事業	日中一時 支援事業	訪問入浴 サービス 事業
全体	1,070 100.0	198 18.5	23 2.1	64 6.0	127 11.9	62 5.8	125 11.7	67 6.3
身体障がい	743 100.0	115 15.5	19 2.6	29 3.9	115 15.5	33 4.4	83 11.2	56 7.5
知的障がい	112 100.0	36 32.1	3 2.7	18 16.1	5 4.5	24 21.4	35 31.3	7 6.3
精神障がい	222 100.0	56 25.2	4 1.8	24 10.8	9 4.1	11 5.0	14 6.3	4 1.8

⑥その他のサービスの利用意向

身体障がいでは、「補装具の支給」が21.3%となっています。精神障がいでは「自立支援医療（精神通院医療）」が55.9%と特に多くなっています。

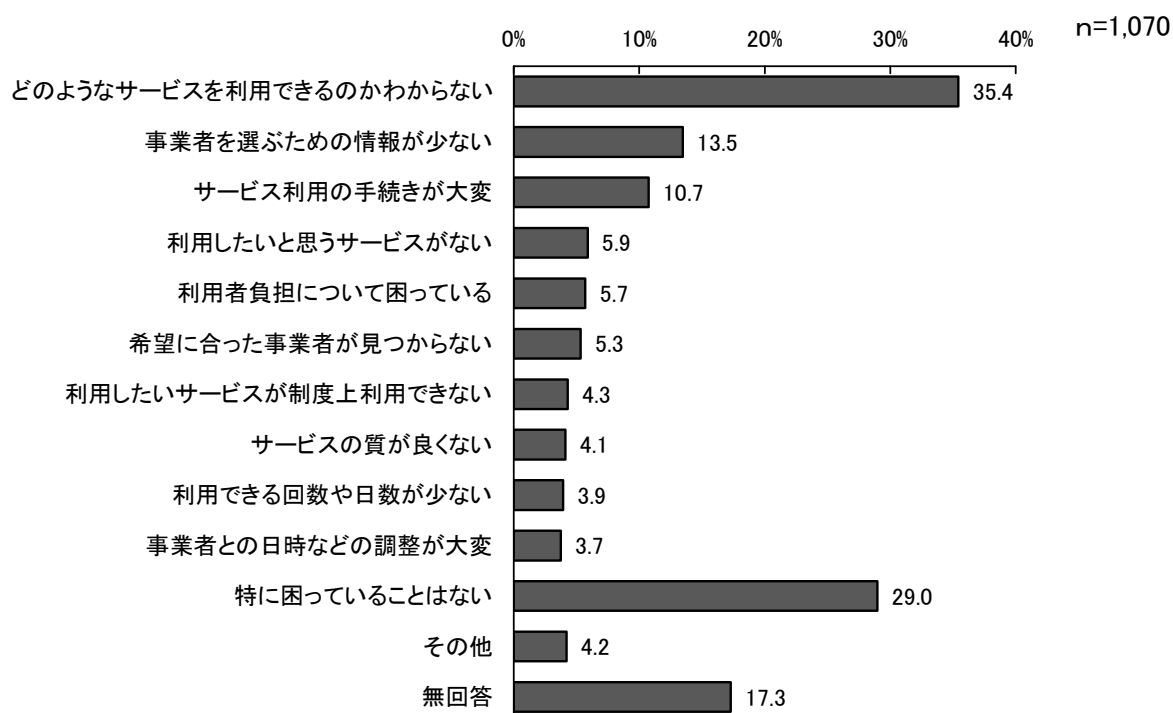


上段: 件 下段: %	合計	自立支援 医療(精神 通院医療)	自立支援 医療(更生 医療)	補装具の 支給
全体	1,070 100.0	166 15.5	122 11.4	170 15.9
身体障がい	743 100.0	31 4.2	106 14.3	158 21.3
知的障がい	112 100.0	22 19.6	7 6.3	7 6.3
精神障がい	222 100.0	124 55.9	12 5.4	11 5.0

(3) サービス利用に関して困っていること

問34 全ての方にお聞きします。あなたは、障害者福祉サービスの利用に関して困っていることはありますか。（あてはまるもの全てに○）

全体では、「どのようなサービスを利用できるのかわからない」が 35.4%と最も多く、次いで「事業者を選ぶための情報が少ない」が 13.5%、「サービス利用の手続きが大変」が 10.7%となっています。



障がい別にみると、精神障がいでは「どのようなサービスを利用できるのかわからない」が特に多く、知的障がいと精神障がいでは「事業者を選ぶための情報が少ない」が他と比較して多くなっています。

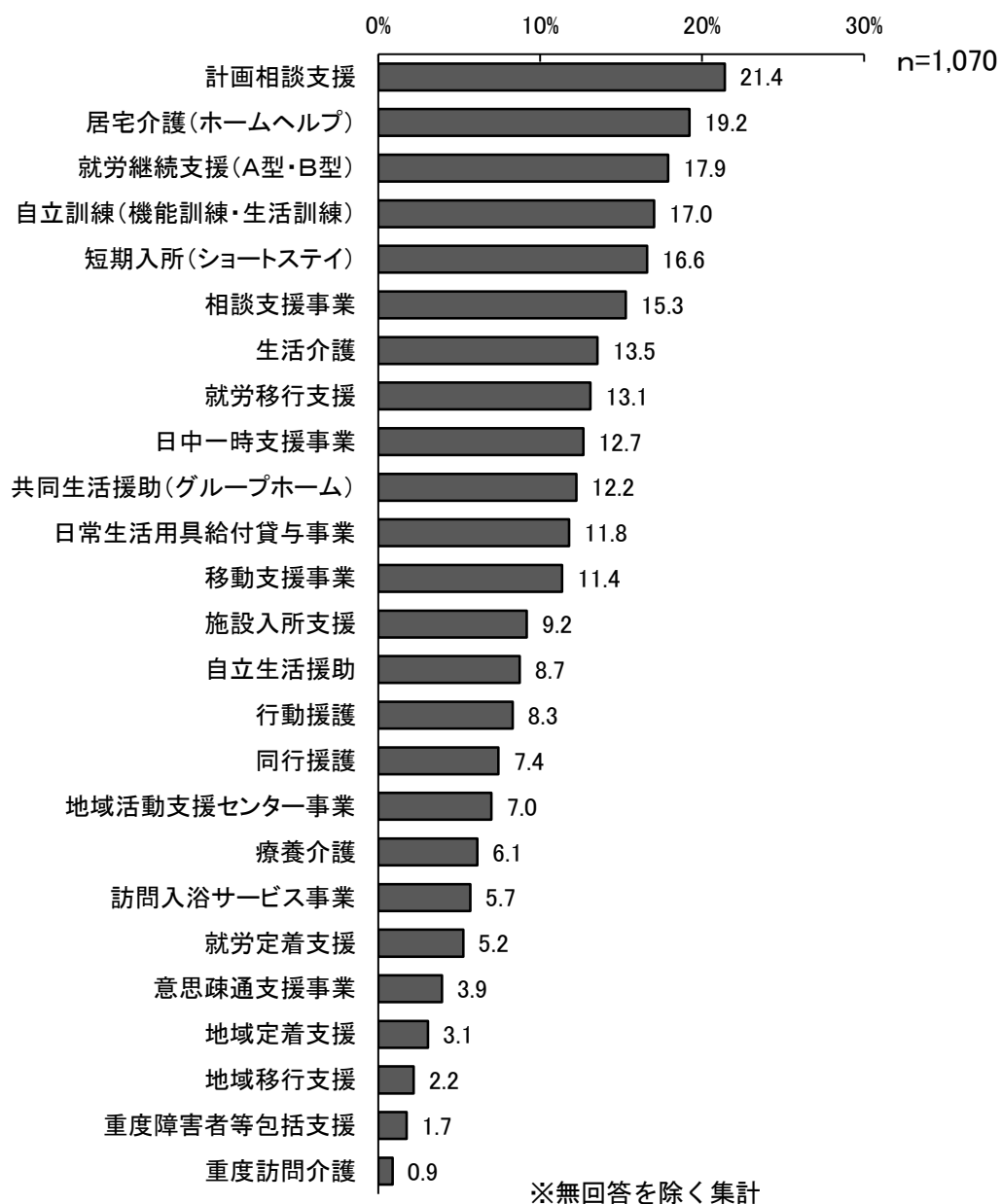
上段:件 下段:%	合計	どのようなサービスを利用できるのかわからない	利用したいと思うサービスがない	利用したいサービスが制度上利用できない	事業者を選ぶための情報が少ない	希望に合った事業者が見つからない	サービス利用の手続きが大変	事業者との日時などの調整が大変	利用できる回数や日数が少ない
全体	1,070 100.0	379 35.4	63 5.9	46 4.3	144 13.5	57 5.3	115 10.7	40 3.7	42 3.9
身体障がい	743 100.0	253 34.1	33 4.4	28 3.8	84 11.3	26 3.5	58 7.8	24 3.2	27 3.6
知的障がい	112 100.0	31 27.7	4 3.6	5 4.5	23 20.5	15 13.4	18 16.1	10 8.9	9 8.0
精神障がい	222 100.0	98 44.1	28 12.6	16 7.2	45 20.3	21 9.5	44 19.8	13 5.9	10 4.5

上段:件 下段:%	合計	サービスの質が良くない	利用者負担について困っている	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	1,070 100.0	44 4.1	61 5.7	310 29.0	45 4.2	185 17.3
身体障がい	743 100.0	23 3.1	39 5.2	218 29.3	31 4.2	140 18.8
知的障がい	112 100.0	8 7.1	5 4.5	39 34.8	3 2.7	17 15.2
精神障がい	222 100.0	17 7.7	19 8.6	50 22.5	11 5.0	23 10.4

(4) 不足しているサービス

問35 障害福祉サービスを利用している方にお聞きします。あなたがこれまでに利用したことのあるサービスで、サービスの内容や量が不足していると感じているものはありますか。(あてはまるもの全てに○)

全体では、「計画相談支援」が21.4%と最も多く、次いで「居宅介護（ホームヘルプ）」（19.2%）、「就労継続支援（A型・B型）」（17.9%）が比較的多く挙げられています。



障がい別にみると、身体障がいでは「居宅介護（ホームヘルプ）」、知的障がい、精神障がいでは「就労継続支援（A型・B型）」が最も多くなっています。

上段:件 下段:%	合計	居宅介護 (ホームヘルプ)	重度訪問 介護	行動援護	同行援護	重度障害 者等包括 支援	生活介護	療養介護	自立訓練 (機能訓練・生活 訓練)	就労移行 支援
全体	229 100.0	44 19.2	2 0.9	19 8.3	17 7.4	4 1.7	31 13.5	14 6.1	39 17.0	30 13.1
身体障がい	132 100.0	30 22.7	1 0.8	15 11.4	13 9.8	3 2.3	17 12.9	10 7.6	28 21.2	6 4.5
知的障がい	46 100.0	3 6.5	0 0.0	5 10.9	3 6.5	0 0.0	8 17.4	2 4.3	8 17.4	6 13.0
精神障がい	63 100.0	9 14.3	1 1.6	5 7.9	4 6.3	1 1.6	7 11.1	2 3.2	6 9.5	20 31.7

上段:件 下段:%	合計	就労継続 支援(A 型・B型)	就労定着 支援	短期入所 (ショート ステイ)	共同生活 援助(グ ループ ホーム)	施設入所 支援	自立生活 援助	計画相談 支援	地域移行 支援	地域定着 支援
全体	229 100.0	41 17.9	12 5.2	38 16.6	28 12.2	21 9.2	20 8.7	49 21.4	5 2.2	7 3.1
身体障がい	132 100.0	7 5.3	2 1.5	22 16.7	6 4.5	13 9.8	16 12.1	24 18.2	3 2.3	5 3.8
知的障がい	46 100.0	17 37.0	3 6.5	15 32.6	14 30.4	7 15.2	3 6.5	11 23.9	1 2.2	0 0.0
精神障がい	63 100.0	24 38.1	7 11.1	4 6.3	10 15.9	2 3.2	3 4.8	20 31.7	1 1.6	2 3.2

上段:件 下段:%	合計	相談支援 事業	意思疎通 支援事業	地域活動 支援セン ター事業	日常生活 用具給付 貸与事業	移動支援 事業	日中一時 支援事業	訪問入浴 サービス 事業	無回答
全体	229 100.0	35 15.3	9 3.9	16 7.0	27 11.8	26 11.4	29 12.7	13 5.7	841 78.6
身体障がい	132 100.0	16 12.1	5 3.8	9 6.8	24 18.2	15 11.4	12 9.1	11 8.3	611 82.2
知的障がい	46 100.0	9 19.6	2 4.3	4 8.7	1 2.2	11 23.9	15 32.6	3 6.5	66 58.9
精神障がい	63 100.0	15 23.8	2 3.2	6 9.5	2 3.2	4 6.3	5 7.9	0 0.0	159 71.6

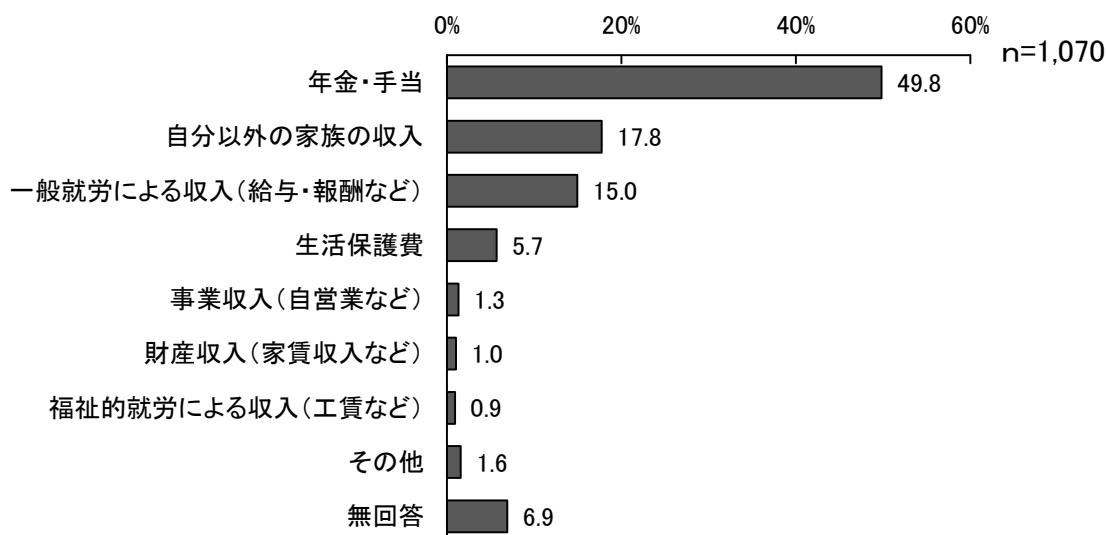
※無回答を除く集計

10 生計について

(1) 主な収入源

問36 あなたの生計を支える、最も重要な収入源は何ですか。（最もあてはまるもの一つに○）

全体では、「年金・手当」が 49.8%と最も多く、次いで「自分以外の家族の収入」が 17.8%、「一般就労による収入（給与・報酬など）」が 15.0%となっています。



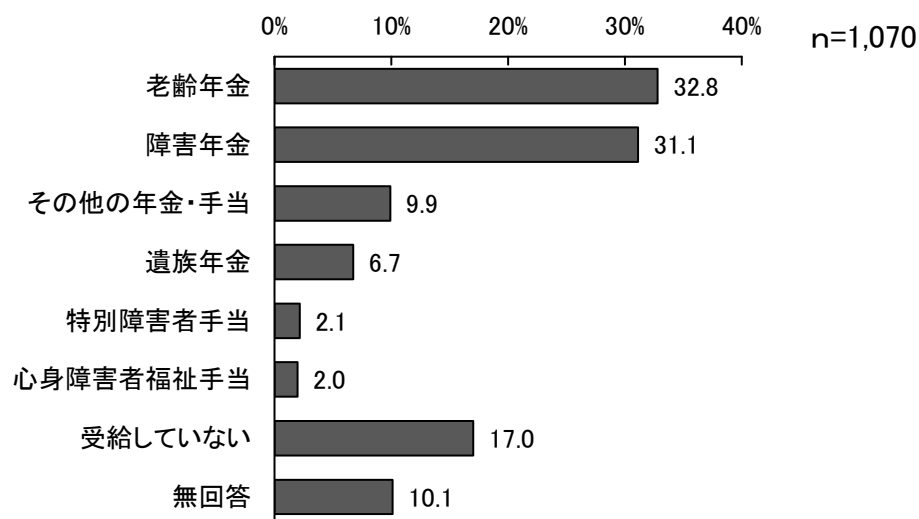
障がい別にみると、身体障がいでは「年金・手当」が特に多くなっています。また、精神障がい、知的障がいでは「自分以外の家族の収入」が多く、精神障がいでは「生活保護費」が他と比較して多くなっています。

上段:件 下段:%	合計	一般就労 による収 入(給与・ 報酬など)	福祉的就 労による 収入(工 賃など)	事業収入 (自営業 など)	財産収入 (家賃収 入など)	年金・手 当	生活保護 費	自分以外 の家族の 収入	その他	無回答
全体	1,070 100.0	160 15.0	10 0.9	14 1.3	11 1.0	533 49.8	61 5.7	190 17.8	17 1.6	74 6.9
身体障がい	743 100.0	92 12.4	0 0.0	9 1.2	9 1.2	426 57.3	28 3.8	115 15.5	12 1.6	52 7.0
知的障がい	112 100.0	26 23.2	6 5.4	0 0.0	0 0.0	51 45.5	1 0.9	23 20.5	1 0.9	4 3.6
精神障がい	222 100.0	43 19.4	4 1.8	4 1.8	1 0.5	66 29.7	32 14.4	57 25.7	4 1.8	11 5.0

(2) 年金・手当の受給状況

問37 あなたは、年金や手当などを受給していますか。受給している方は、その種類をお答えください。（あてはまるもの全てに○）

全体では、「老齢年金」が32.8%と最も多く、次いで「障害年金」が31.1%、「その他の年金・手当」が9.9%となっています。



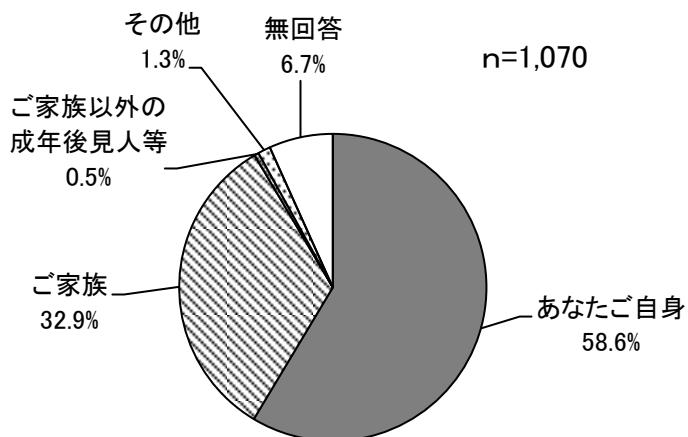
障がい別にみると、身体障がいでは「老齢年金」が特に多く、知的障がい、精神障がいでは「障害年金」が最も多くなっています。

	合計	老齢年金	障害年金	遺族年金	特別障害者手当	心身障害者福祉手当	その他の年金・手当	受給していない	無回答
全体	1,070 100.0	351 32.8	333 31.1	72 6.7	23 2.1	21 2.0	106 9.9	182 17.0	108 10.1
身体障がい	743 100.0	330 44.4	148 19.9	62 8.3	12 1.6	7 0.9	93 12.5	98 13.2	85 11.4
知的障がい	112 100.0	2 1.8	82 73.2	2 1.8	9 8.0	11 9.8	3 2.7	14 12.5	7 6.3
精神障がい	222 100.0	15 6.8	121 54.5	4 1.8	4 1.8	6 2.7	7 3.2	70 31.5	13 5.9

(3) 金銭の管理者

問38 あなたのお金を主に管理しているのは誰ですか。(あてはまるもの一つに○)

全体では、「あなたご自身」が 58.6%、「ご家族」が 32.9%、「ご家族以外の成年後見人等」が 0.5%となっています。



障がい別にみると、知的障がいでは「ご家族」が多くなっています。

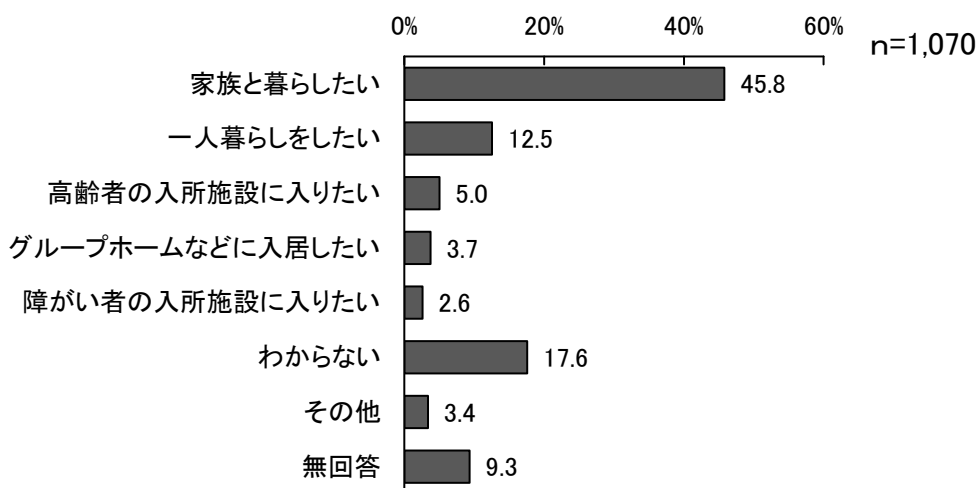
上段: 件 下段: %	合計	あなたご 自身	ご家族	ご家族以 外の成年 後見人等	その他	無回答
全体	1,070 100.0	627 58.6	352 32.9	5 0.5	14 1.3	72 6.7
身体障がい	743 100.0	456 61.4	227 30.6	2 0.3	6 0.8	52 7.0
知的障がい	112 100.0	21 18.8	82 73.2	2 1.8	1 0.9	6 5.4
精神障がい	222 100.0	150 67.6	58 26.1	1 0.5	4 1.8	9 4.1

11 今後の生活について

(1) 将来の暮らし方

問39 あなたは将来、どのように暮らしたいと思いますか。(最もあてはまるもの一つに○)

全体では、「家族と暮らしたい」が45.8%と最も多く、次いで「一人暮らしをしたい」が12.5%、「高齢者の入所施設に入りたい」が5.0%となっています。



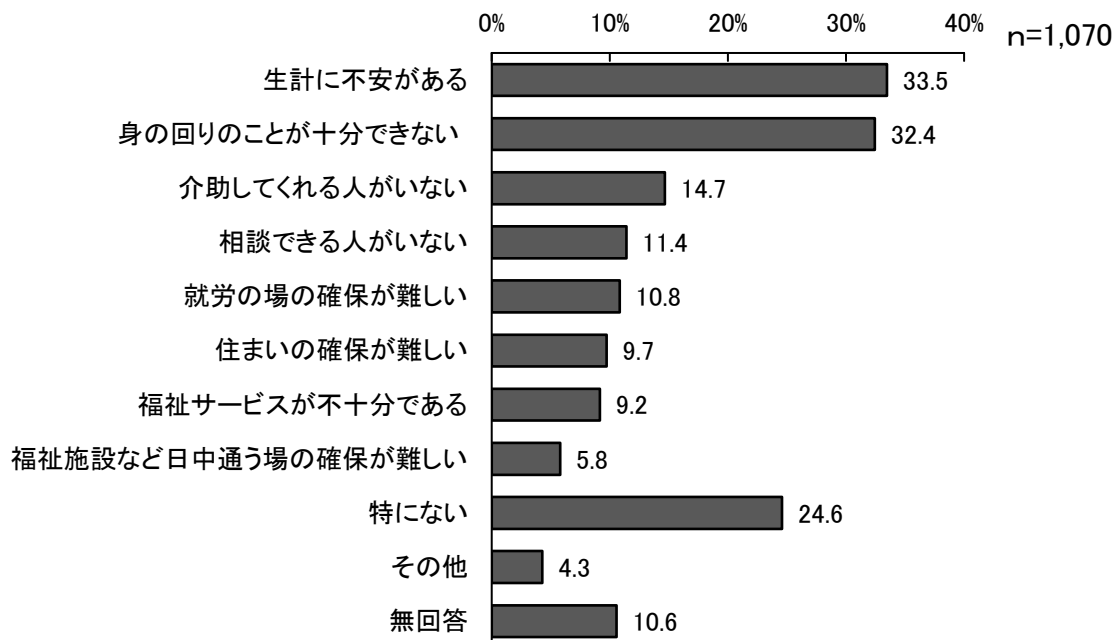
障がい別にみると、身体障がいでは「家族と暮らしたい」が特に多く、知的障がいでは「グループホームなどに入居したい」、「障がい者の入所施設に入りたい」、精神障がいでは「一人暮らしをしたい」が他と比較して多くなっています。

上段: 件 下段: %	合計	家族と暮らしたい	一人暮らしをしたい	グループホームなどに入居したい	障がい者の入所施設に入りたい	高齢者の入所施設に入りたい	わからない	その他	無回答
全体	1,070 100.0	490 45.8	134 12.5	40 3.7	28 2.6	54 5.0	188 17.6	36 3.4	100 9.3
身体障がい	743 100.0	373 50.2	79 10.6	9 1.2	16 2.2	45 6.1	129 17.4	17 2.3	75 10.1
知的障がい	112 100.0	39 34.8	8 7.1	24 21.4	9 8.0	3 2.7	15 13.4	5 4.5	9 8.0
精神障がい	222 100.0	84 37.8	47 21.2	9 4.1	4 1.8	4 1.8	44 19.8	16 7.2	14 6.3

(2) 地域生活の課題

問40 あなたが将来にわたって地域で暮らし続けるためには、どのようなことが課題になると思いますか。(あてはまるもの全てに○)

全体では、「生計に不安がある」が33.5%と最も多く、次いで「身の回りのことが十分できない」が32.4%、「介助してくれる人がいない」が14.7%となっています。



障がい別にみると、身体障がい、知的障がいでは、「身のまわりのことが十分できない」、精神障がいでは「生計に不安がある」が最も多くなっています。また、知的障がいでは「介助してくれる人がいない」、精神障がいでは「就労の場の確保が難しい」「相談できる人がいない」などが他と比較して多くなっています。

上段:件 下段:%	合計	身の回りのことが 十分できない	介助してく れる人が いない	福祉サー ビスが不 十分であ る	住まいの 確保が難 しい	就労の場 の確保が 難しい	福祉施設 など日中 通う場の 確保が難 しい	生計に不 安がある	相談でき る人がい ない
全体	1,070 100.0	347 32.4	157 14.7	98 9.2	104 9.7	116 10.8	62 5.8	358 33.5	122 11.4
身体障がい	743 100.0	245 33.0	113 15.2	68 9.2	47 6.3	43 5.8	35 4.7	190 25.6	59 7.9
知的障がい	112 100.0	50 44.6	27 24.1	13 11.6	24 21.4	20 17.9	13 11.6	41 36.6	14 12.5
精神障がい	222 100.0	61 27.5	26 11.7	24 10.8	41 18.5	60 27.0	16 7.2	138 62.2	58 26.1

上段:件 下段:%	合計	特にない	その他	無回答
全体	1,070 100.0	263 24.6	46 4.3	113 10.6
身体障がい	743 100.0	208 28.0	36 4.8	84 11.3
知的障がい	112 100.0	21 18.8	6 5.4	9 8.0
精神障がい	222 100.0	33 14.9	6 2.7	18 8.1

将来の暮らし方の希望別にみると、グループホームなどに入居したい方や障がい者や高齢者の入所施設に入りたい方では「身の回りのことが十分できない」が多く、「介助してくれる人がいない」が他と比較して多くなっています。また、一人暮らしをしたい方では「生計に不安がある」が最も多くなっています。

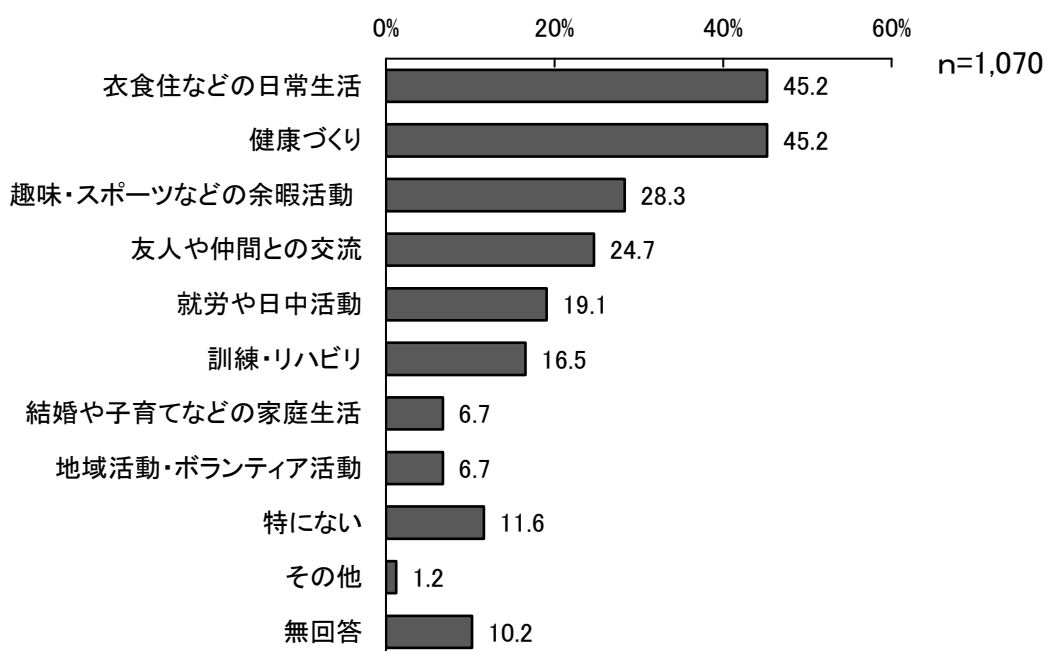
上段: 件 下段: %	合計	身の回りのことが 十分できない	介助してく れる人が いない	福祉サー ビスが不 十分であ る	住まいの 確保が難 しい	就労の場 の確保が 難しい	福祉施設 など日中 通う場の 確保が難 しい	生計に不 安がある	相談でき る人がい ない
全体	1,070 100.0	347 32.4	157 14.7	98 9.2	104 9.7	116 10.8	62 5.8	358 33.5	122 11.4
家族と暮らしたい	490 100.0	176 35.9	67 13.7	53 10.8	31 6.3	42 8.6	28 5.7	161 32.9	44 9.0
一人暮らしをしたい	134 100.0	37 27.6	19 14.2	7 5.2	20 14.9	29 21.6	5 3.7	50 37.3	25 18.7
グループホームなどに 入居したい	40 100.0	24 60.0	12 30.0	7 17.5	14 35.0	12 30.0	9 22.5	21 52.5	8 20.0
障がい者の入所施設に 入りたい	28 100.0	17 60.7	10 35.7	4 14.3	2 7.1	1 3.6	6 21.4	11 39.3	3 10.7
高齢者の入所施設に 入りたい	54 100.0	26 48.1	12 22.2	7 13.0	4 7.4	4 7.4	1 1.9	16 29.6	4 7.4

上段: 件 下段: %	合計	特にない	その他	無回答
全体	1,070 100.0	263 24.6	46 4.3	113 10.6
家族と暮らしたい	490 100.0	147 30.0	21 4.3	10 2.0
一人暮らしをしたい	134 100.0	37 27.6	6 4.5	5 3.7
グループホームなどに 入居したい	40 100.0	2 5.0	3 7.5	1 2.5
障がい者の入所施設に 入りたい	28 100.0	2 7.1	1 3.6	3 10.7
高齢者の入所施設に 入りたい	54 100.0	8 14.8	3 5.6	1 1.9

(3) 今後の生活で充実させたいこと

問41 あなたは、今後の生活の中でどのようなことに取り組みたい、または充実させたいと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

全体では、「衣食住などの日常生活」「健康づくり」が45.2%と最も多く、次いで「趣味・スポーツなどの余暇活動」が28.3%、「友人や仲間との交流」が24.7%となっています。



障がい別にみると、身体障がいでは「訓練・リハビリ」、知的障がい、精神障がいでは「就労や日中活動」「趣味・スポーツなどの余暇活動」などが他と比較して多くなっています。

上段:件 下段:%	合計	衣食住などの日常生活	健康づくり	訓練・リハビリ	就労や日中活動	趣味・スポーツなどの余暇活動	結婚や子育てなどの家庭生活	友人や仲間との交流	地域活動・ボランティア活動
全体	1,070 100.0	484 45.2	484 45.2	177 16.5	204 19.1	303 28.3	72 6.7	264 24.7	72 6.7
身体障がい	743 100.0	324 43.6	334 45.0	153 20.6	88 11.8	177 23.8	22 3.0	168 22.6	42 5.7
知的障がい	112 100.0	53 47.3	44 39.3	14 12.5	43 38.4	44 39.3	7 6.3	27 24.1	8 7.1
精神障がい	222 100.0	115 51.8	115 51.8	19 8.6	87 39.2	96 43.2	44 19.8	77 34.7	26 11.7

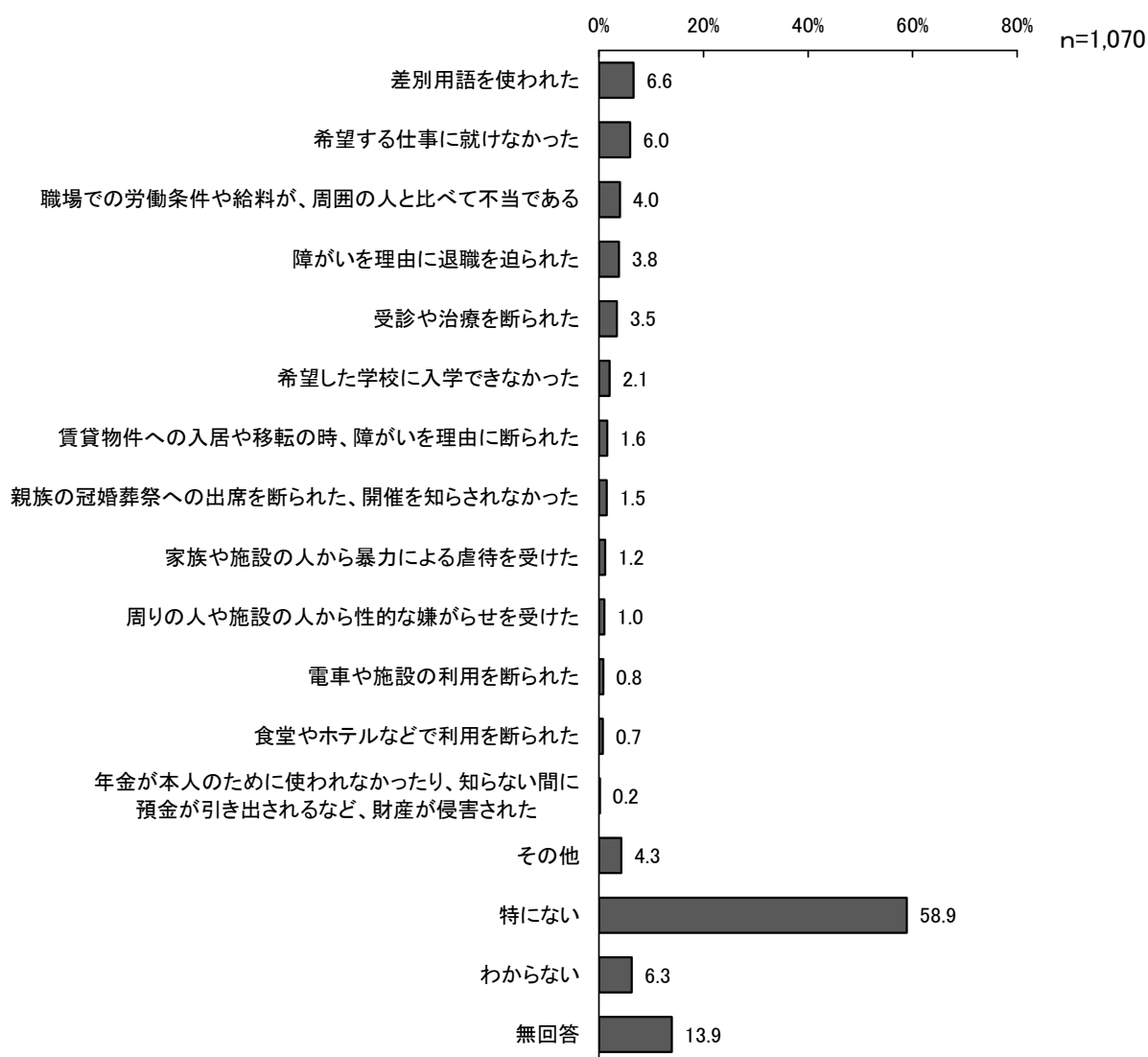
上段:件 下段:%	合計	特にない	その他	無回答
全体	1,070 100.0	124 11.6	13 1.2	109 10.2
身体障がい	743 100.0	87 11.7	7 0.9	82 11.0
知的障がい	112 100.0	12 10.7	1 0.9	7 6.3
精神障がい	222 100.0	17 7.7	6 2.7	17 7.7

12 障がい者施策について

(1) 差別や虐待を受けた経験

問42 あなたは、障がいがあることが原因で、日常生活の中で下記のような、差別や虐待に当たるのではないかとと思われる扱いを受けた経験がありますか。(あてはまるもの全てに○)

全体では、「特にない」を除くと、「差別用語が使われた」が6.6%と最も多く、次いで「希望する仕事に就けなかった」が6.0%、「職場での労働条件や給料が、周囲の人と比べて不当である」が4.0%となっています。



障がい別にみると、「特にない」を除くと、知的障がい、精神障がいでは「差別用語が使われた」、「希望する仕事に就けなかった」が他と比較してやや多くなっています。

上段:件 下段:%	合計	希望した 学校に入 学できな かった	希望する 仕事に就 けなかつ た	職場での 労働条件 や給料 が、周囲 の人と比 べて不当 である	障がいを 理由に退 職を迫ら れた	差別用語 が使われ た	電車や施 設の利用 を断られ た	親族の冠 婚葬祭へ の出席を 断られ た、開催 を知らされ なかった	家族や施 設の人か ら暴力に よる虐待 を受けた
全体	1,070 100.0	22 2.1	64 6.0	43 4.0	41 3.8	71 6.6	9 0.8	16 1.5	13 1.2
身体障がい	743 100.0	8 1.1	29 3.9	20 2.7	18 2.4	31 4.2	4 0.5	5 0.7	7 0.9
知的障がい	112 100.0	9 8.0	8 7.1	5 4.5	5 4.5	15 13.4	3 2.7	6 5.4	1 0.9
精神障がい	222 100.0	9 4.1	30 13.5	20 9.0	22 9.9	31 14.0	3 1.4	6 2.7	7 3.2

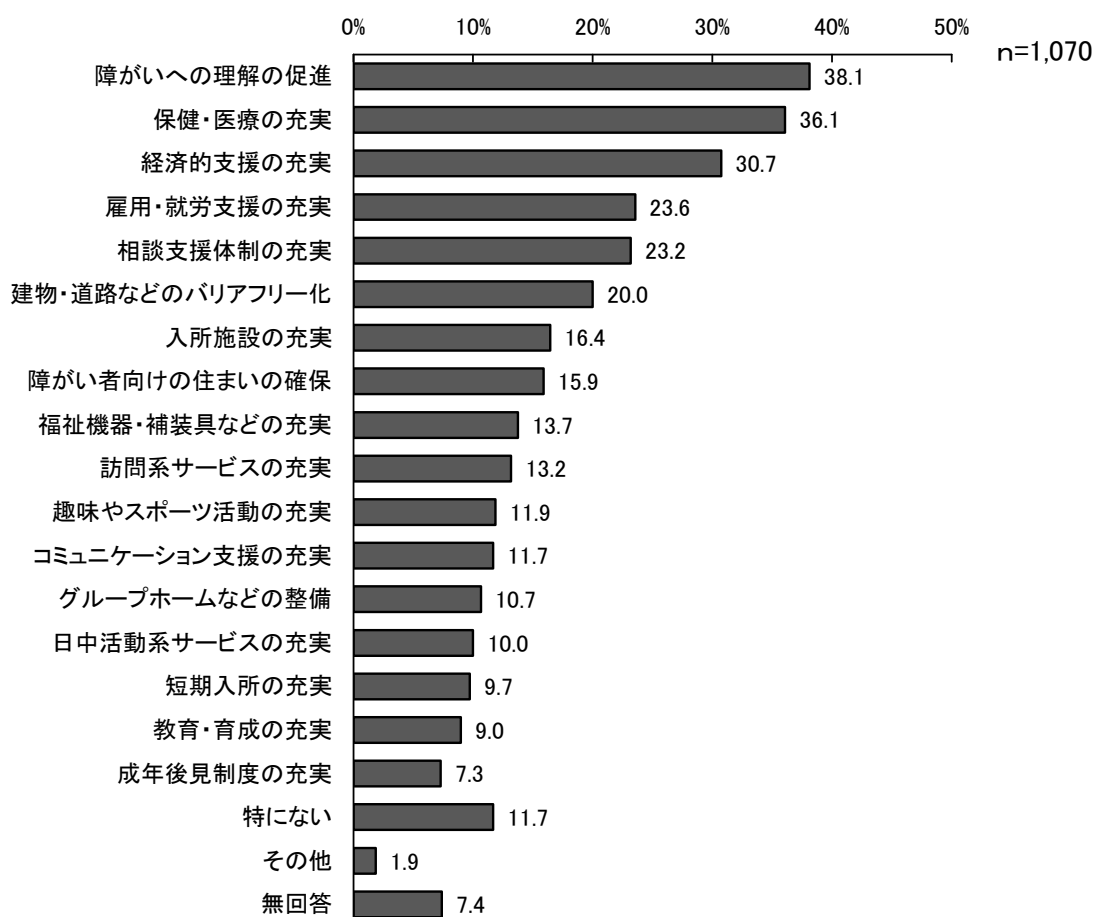
上段:件 下段:%	合計	周りの人 や施設の 人から性 的な嫌が らせを受 けた	年金が本 人のため に使われ なかった り、知ら ない間に 預金が引 き出され るなど、 財産が侵 害された	賃貸物件 への入居 や移転の 時、障が いを理由 に断られ た	食堂やホ テルなど で利用を 断られた	受診や治 療を断ら れた	その他	特にない	わからな い
全体	1,070 100.0	11 1.0	2 0.2	17 1.6	8 0.7	37 3.5	46 4.3	630 58.9	67 6.3
身体障がい	743 100.0	3 0.4	0 0.0	8 1.1	6 0.8	17 2.3	22 3.0	491 66.1	35 4.7
知的障がい	112 100.0	3 2.7	0 0.0	0 0.0	1 0.9	5 4.5	8 7.1	48 42.9	13 11.6
精神障がい	222 100.0	5 2.3	2 0.9	9 4.1	1 0.5	17 7.7	18 8.1	88 39.6	21 9.5

上段:件 下段:%	合計	無回答
全体	1,070 100.0	149 13.9
身体障がい	743 100.0	111 14.9
知的障がい	112 100.0	15 13.4
精神障がい	222 100.0	21 9.5

(2) 今後力を入れてほしい施策

問43 あなたは、今後の障がい者施策で、どのような面にもっと力を入れてほしいと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

全体では、「障がいへの理解の促進」が38.1%と最も多く、次いで「保健・医療の充実」が36.1%、「経済的支援の充実」が30.7%となっています。



障がい別にみると、身体障がいでは「保健・医療の充実」が最も多く、「建物・道路などのバリアフリー化」が他と比較するとやや多くなっています。知的障がいでは「グループホームなどの整備」「雇用・就労支援の充実」、精神障がいでは「経済的支援の充実」「雇用・就労支援の充実」などが他と比較して多くなっています。

上段:件 下段:%	合計	障がいへの理解の促進	保健・医療の充実	教育・育成の充実	雇用・就労支援の充実	相談支援体制の充実	訪問系サービスの充実	日中活動系サービスの充実	短期入所の充実
全体	1,070 100.0	408 38.1	386 36.1	96 9.0	252 23.6	248 23.2	141 13.2	107 10.0	104 9.7
身体障がい	743 100.0	244 32.8	280 37.7	50 6.7	126 17.0	145 19.5	100 13.5	59 7.9	68 9.2
知的障がい	112 100.0	55 49.1	36 32.1	18 16.1	39 34.8	32 28.6	18 16.1	26 23.2	28 25.0
精神障がい	222 100.0	119 53.6	74 33.3	29 13.1	94 42.3	79 35.6	24 10.8	28 12.6	11 5.0

上段:件 下段:%	合計	コミュニケーション支援の充実	福祉機器・補装具などの充実	グループホームなどの整備	入所施設の充実	障がい者向けの住まいの確保	建物・道路などのバリアフリー化	趣味やスポーツ活動の充実	経済的支援の充実
全体	1,070 100.0	125 11.7	147 13.7	114 10.7	176 16.4	170 15.9	214 20.0	127 11.9	329 30.7
身体障がい	743 100.0	69 9.3	132 17.8	50 6.7	123 16.6	93 12.5	181 24.4	65 8.7	196 26.4
知的障がい	112 100.0	19 17.0	8 7.1	42 37.5	36 32.1	29 25.9	11 9.8	24 21.4	32 28.6
精神障がい	222 100.0	44 19.8	6 2.7	28 12.6	19 8.6	52 23.4	25 11.3	43 19.4	103 46.4

上段:件 下段:%	合計	成年後見制度の充実	特にない	その他	無回答
全体	1,070 100.0	78 7.3	125 11.7	20 1.9	79 7.4
身体障がい	743 100.0	27 3.6	94 12.7	12 1.6	58 7.8
知的障がい	112 100.0	32 28.6	12 10.7	2 1.8	7 6.3
精神障がい	222 100.0	28 12.6	18 8.1	7 3.2	11 5.0

13 自由意見

問44 障がい者施策について、ご意見・ご要望・ご提案などがありましたら、ご自由にお書きください。

回答総数は 251 件でした。「行政・制度」が 72 件と最も多く、次いで「福祉サービス」が 35 件、「経済事情・経済的支援」が 29 件となっています。

意見		件数	意見		件数
1	行政・制度	72	6	障がい理解	18
2	福祉サービス	35	7	就労	17
3	経済事情・経済的支援	29	8	保健・医療	13
4	将来	24	—	その他	37
5	生活環境	20	総計		265

※ 複数の内容を含む回答もあるため、個々の意見数の合計は回答総数より多くなります。

◆ 主な意見の概要（内容は一部要約・省略してあります）

①行政・制度

主な意見の概要	障がいの種類	年齢性別回答者
市役所には情報が少なすぎる。聞いてもわからないようだった。もっとアンテナをはってサービスの事業所など紹介してほしい。	知的障がい	30～39 歳 女性 ご本人
毎年医療費の申請の手続きが大変。デジタル化などより使いやすいものにしてほしい。	内部障がい	40～49 歳 男性 ご本人
現在、相談支援事業所、障害者就労生活支援センター、障害福祉のケースワーカー、生活相談課のケースワーカー、生活自律訓練を利用しているが、こちらから提案しないと自分の状況についての情報連携が行われないためそれぞれの立場で意見が食い違うことがあるので障害者支援の情報や支援の連携を充実させてほしい。	精神障がい	50～59 歳 男性 ご本人
「障害福祉サービス」と「介護保険サービス」との違いや、重複適用や優先適用の考え方、運用、制度の分かりやすい説明が必要だと思います。	肢体不自由	60～69 歳 男性 ご本人
他の障がいがある方とあまり接点が持てません。障がい者同士で情報や考えを共有できる機会があれば良いと思います。	精神障がい	18～29 歳 男性 ご本人
障がい者本人が生活全般について気軽に何でも相談できる窓口があればいいと思います。たとえば担当の方が決まっていいつでも小さなことでも将来に渡って相談できるなどです。	内部障がい	80 歳以上 女性 不明
生まれ育った地域で生活の質、人生の質を大切に安心して暮らしていけるようにお願いします。	知的障がい	30～39 歳 男性 ご家族

②福祉サービス

主な意見の概要	障がいの種類	年齢性別回答者
現在は妻が生活全般をしているが妻が動けなくなったら買物が出来ないで簡単に御用聞きのようなサービスがあると安心です。	内部障がい	80歳以上 男性 ご家族
いつもお世話になり、ありがとうございます。タクシー券、コロナ禍で利用しておりませんが、とてもありがたい制度です。これからも引き続き宜しくお願い致します。	肢体不自由	70～79歳 女性 ご本人
とにかくどういうサービスがあるのかがわかりづらい。	精神障がい	18～29歳 女性 ご本人
生活介護やグループホーム、日中一時などを利用していますが、スキルがある支援員が不足していると感じることがあります。支援員の確保、教育に力をいれていただきたいと思います。	知的障がい	18～29歳 男性 ご家族
市内に入所施設、グループホーム、短期入所の施設が少なく、利用を考えても近くにないため、利用をあきらめてしまうことが多い。もっと障がい者施設を増やしてほしい（福祉作業所を含め）。障がい者が暮らしやすい街＝誰でもが暮らしやすい街になってほしいと思います。	知的障がい	18～29歳 男性 ご家族

③経済事情・経済的支援

主な意見の概要	障がいの種類	年齢性別回答者
足が悪いので自家用車が必要であったり、家を選ぶ時もフラットな立地で交通機関が利用しやすい場所である必要があるため障害のない方より経済的な負担が大きいと思います。障害年金をもらっていると厚生年金のくり下げができません、老後資金が足りるかどうか不安です。老後の不安も障害のない方より大きいのではないかと思います。	肢体不自由	60～69歳 女性 ご本人
電車の割り引きがあると良い。精神は目に見えないからか、判断がむずかしい為、利用できるサービスが少ない。いつまたうつ病がひどくなり働けなくなるかもしれないと思うと不安。	精神障がい	40～49歳 女性 ご本人
障害基礎年金をもらっているおかげで生活によゆうが生まれました。とても感謝しています。今後もらえたら非常にありがたいです。	知的障がい	18～29歳 男性 ご本人
障がい者年金が少ない。	精神障がい	18～29歳 女性 ご本人
障がい者雇用でもらえる給料がとても少なく、どうにかして補填したい。	精神障がい	18～29歳 男性 ご本人

④将来

主な意見の概要	障がいの種類	年齢性別回答者
介護者が元気であれば不足がないが居なくなった時には不安である。	肢体不自由	80歳以上 男性 ご本人
親なき後の生活の不安を解消できるような施策を行ってほしい。	精神障がい	40～49歳 男性 ご本人
親亡き後の支援、サポート体制をしっかり作ってほしい。	知的障がい	30～39歳 男性 ご家族
身体障がい者ですが、現在仕事をしています。今後、いつ動けなくなったり、けがをしたり、ゴミ出しも大変になると思い不安があります。すぐに相談できる担当の方を知りたいです。	肢体不自由	60～69歳 女性 ご本人

⑤生活環境

主な意見の概要	障がいの種類	年齢性別回答者
近くに薬局（本屋）も少なくスーパー等一番近くて往復200歩です。高齢者用のネット注文も利用していますがそれが出来ない方は大変の様です。	肢体不自由	80歳以上 女性 ご本人
もっとエレベーターを増やしてほしい（実家の駅にはエレベーターがないため）。道路をデコボコ道ではなくコンクリート、平坦な道路にしてほしい（車イス使用のため）。	肢体不自由	50～59歳 女性 ご本人
手話のできる者が欲しい。筆談機を置いてほしい。駅、店などに手話のできる職員が良いなと思っている。	聴覚・平衡機能障がい	60～69歳 女性 ご本人

⑥障がい理解

主な意見の概要	障がいの種類	年齢性別回答者
私は内部障害で外見ではわからないので、いつも階段などが登れないのでエレベーターをまわっているとイヤミを言われる。電車でシルバーシートにすわると若いのにと言われたり、私がすわると若い人がみんなすわる。内部障害である事がわかるようにしてほしい。	内部障がい	40～49歳 女性 ご本人
障がい者に対して優しく、温かい気持ちを持っていただきたいです。	精神障がい	50～59歳 女性 ご本人
障がい者に対してと言うより、健常者の方々に障害の程度や種類などもっと知識や理解を広めてほしいと思っています。	内部障がい	50～59歳 男性 ご本人

⑦就労

主な意見の概要	障がいの種類	年齢性別回答者
(精神の) 障害とは関係ない病気が改善してきたので働きたい。しかし自分の精神の病気や性格を考えると自営がいいと思っています。市の? 商業会議所で、若者向けに独立や自営のセミナーはありますが、障害を持つ人向けにフリーランスや独立のセミナーがあると嬉しいです。	精神障がい	40～49 歳 女性 ご本人
障がい者雇用のある企業を市内に充実させてほしい。	肢体不自由	40～49 歳 女性 ご本人
「人生 100 年」時代を迎えている。その中で、生涯現役を目標にしている人もおり、それは障がい者であっても同じである。高齢になっても仕事を続けていけるような施策が必要。仕事を続けるというのは、自らの収入を確保するとともに、社会への貢献という意味合いもある。公的な支援を受けつつも、自ら社会貢献しているという意識を持つことはモチベーションを上げるため、また自己肯定感上げるためにも有効と考える。	聴覚・平衡機能障がい	60～69 歳 男性 ご本人

⑧保健・医療

主な意見の概要	障がいの種類	年齢性別回答者
障がいの種類、程度によって異なると思うが、軽度の障害の人のためのプランを考えてもらいたい。現在の状態を少しでも長く保ってられるように、整形外科でのリハビリ等をわずかな費用で受けられたら助かると思う。	肢体不自由	70～79 歳 女性 ご本人
日々の中で困ったことがあった場合通所施設、障がい福祉課等そのつど相談にのって頂いておりますので大変有難くおもいます。今後は訪問看護や医師による訪問診療等の充実を希望致します。	肢体不自由 知的障がい	70～79 歳 女性 ご家族
精神障がいカウンセラーの充実	精神障がい	50～59 歳 男性 ご本人

⑨その他

主な意見の概要	障がいの種類	年齢性別回答者
障害の種類、程度で内容も色々なのでその人その人が自分で出来る事は頑張っ助けていけるやり方がいい。世話にばかりなるのではなく、自分の出来る事で人の役に立つ事がないか、そんな考えで生活出来れば良いと思う。	肢体不自由	70～79 歳 女性 ご本人
特にコロナ以降、高齢障害者は外出が出来ず、社会、人との接点を失い、一層孤独になり易いです。そのためそれを回避するためのサポートは現在非常に少ないと思います。	肢体不自由 視覚障がい	80 歳以上 男性 ご家族
私は個人的に障害が軽いので、日常生活の中で特に不自由を感じることはあまりありませんが、高齢になった現在ではその孤立感などで淋しさを感じる事が多くなりました。特に AI などの発達により、社会全体が昔と違って不得意な我々世代の人間がとて困ることが多いです。この分野でのサポートなどをしていただくととてもありがたく思います。	肢体不自由	70～79 歳 女性 ご本人

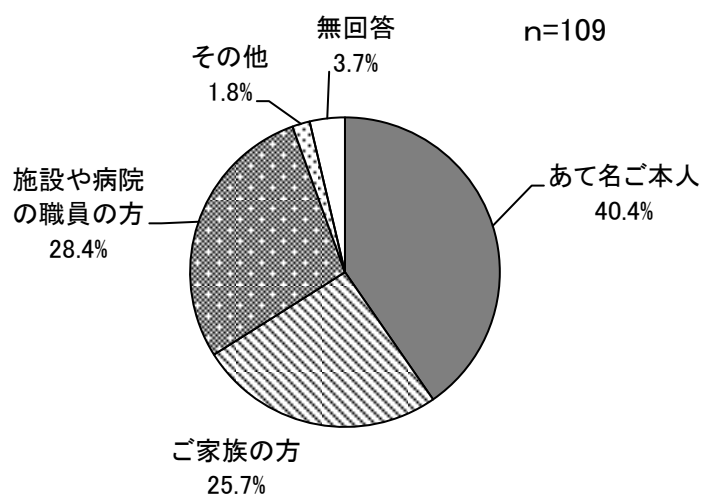
Ⅱ 施設や病院に入所・入院している方を
対象とした調査

1 はじめに

(1) 調査票の回答者

問1 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。(あてはまるもの一つに○)

「あて名ご本人」が 40.4%、「ご家族の方」が 25.7%、「施設や病院の職員の方」が 28.4%となっています。



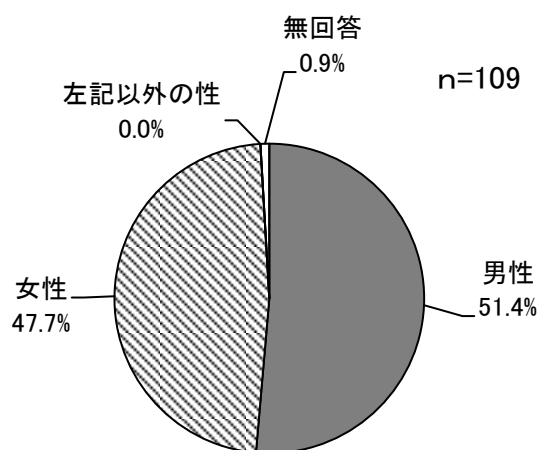
No.	選択肢	n	%
1	あて名ご本人	44	40.4
2	ご家族の方	28	25.7
3	施設や病院の職員の方	31	28.4
4	その他	2	1.8
	無回答	4	3.7
	全体	109	100.0

2 ご本人について

(1) 性別

問2 あなたの性別をお聞きします。(あてはまるもの一つに○)

「男性」が51.4%、「女性」が47.7%となっています。

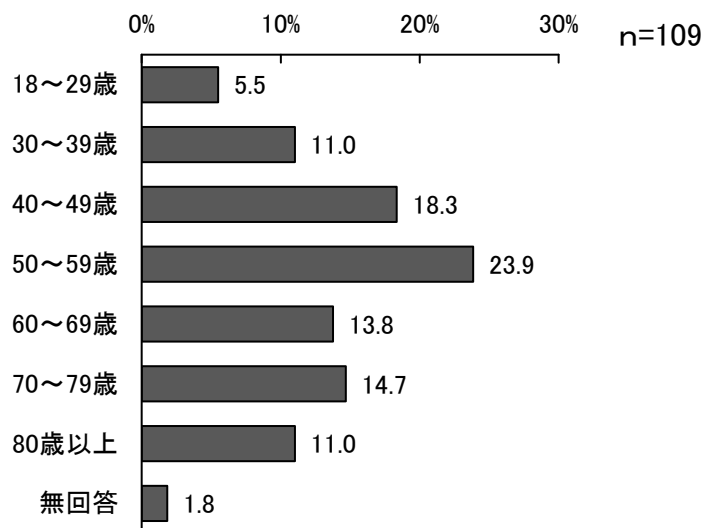


No.	選択肢	n	%
1	男性	56	51.4
2	女性	52	47.7
3	左記以外の性	0	0.0
	無回答	1	0.9
	全体	109	100.0

(2) 年齢

問3 あなたの年齢をお聞きします。令和4年9月1日現在の年齢をご記入ください。

「50～59歳」が23.9%と最も多く、次いで「40～49歳」が18.3%となっています。



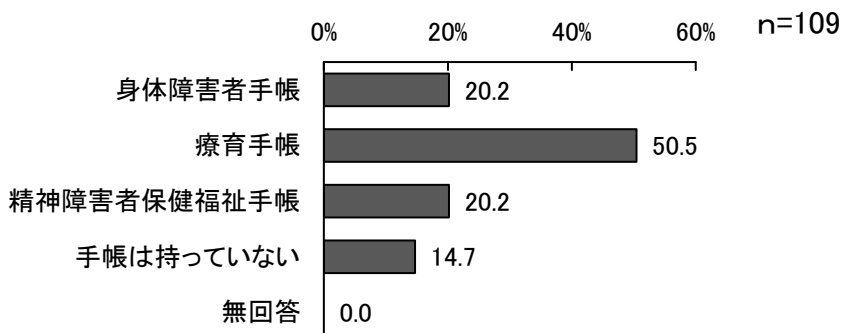
No.	選択肢	n	%
1	18～29歳	6	5.5
2	30～39歳	12	11.0
3	40～49歳	20	18.3
4	50～59歳	26	23.9
5	60～69歳	15	13.8
6	70～79歳	16	14.7
7	80歳以上	12	11.0
	無回答	2	1.8
	全体	109	100.0

(3) 手帳の種類

問4 手帳の種類と、手帳の等級（程度）をお聞きします。あてはまる手帳の番号に○印をつけ、カッコ内の等級（程度）にも○印をつけてください。

①手帳の種類

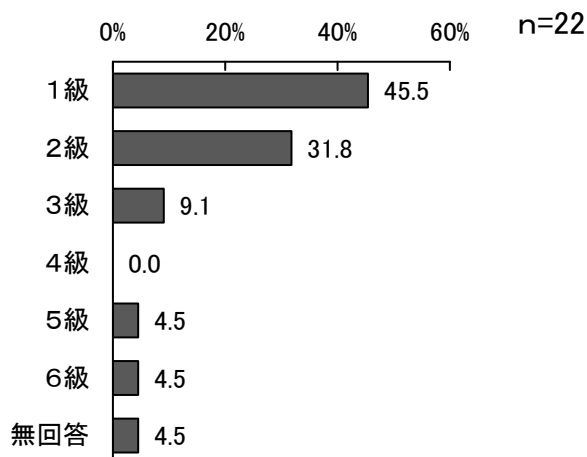
「療育手帳」が50.5%、「身体障害者手帳」と「精神障害者保健福祉手帳」が20.2%、「持っていない」が14.7%となっています。



No.	選択肢	n	%
1	身体障害者手帳	22	20.2
2	療育手帳	55	50.5
3	精神障害者保健福祉手帳	22	20.2
4	手帳は持っていない	16	14.7
	無回答	0	0.0
	全体	109	100.0

②身体障害者手帳の等級

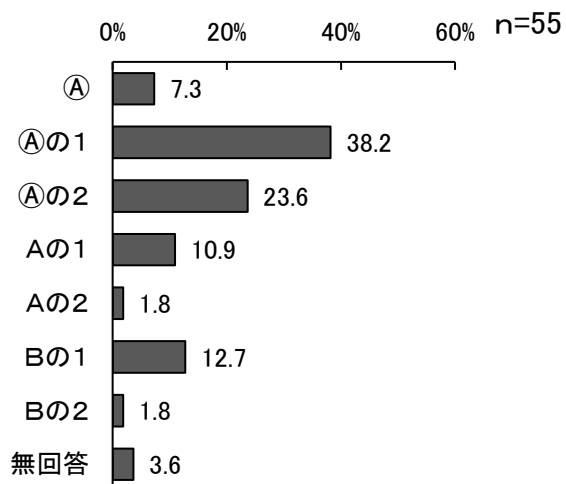
「1級」が45.5%と最も多く、次いで「2級」が31.8%、「3級」が9.1%となっています。



No.	選択肢	n	%
1	1級	10	45.5
2	2級	7	31.8
3	3級	2	9.1
4	4級	0	0.0
5	5級	1	4.5
6	6級	1	4.5
	無回答	1	4.5
	全体	22	100.0

③療育手帳の程度

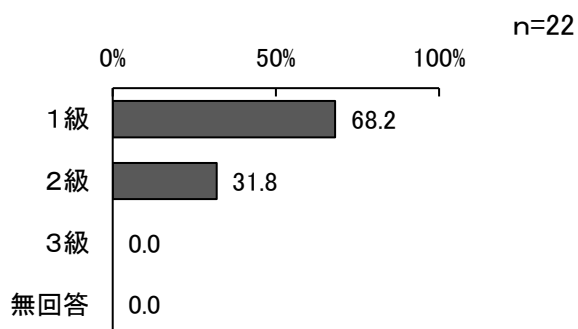
「**Ⓐの1**」が38.2%と最も多く、次いで「**Ⓐの2**」が23.6%、「**Bの1**」が12.7%となっています。



No.	選択肢	n	%
1	Ⓐ	4	7.3
2	Ⓐの1	21	38.2
3	Ⓐの2	13	23.6
4	Aの1	6	10.9
5	Aの2	1	1.8
6	Bの1	7	12.7
7	Bの2	1	1.8
	無回答	2	3.6
	全体	55	100.0

④精神障害者保健福祉手帳の等級

「1級」が68.2%、2級が31.8%となっています。



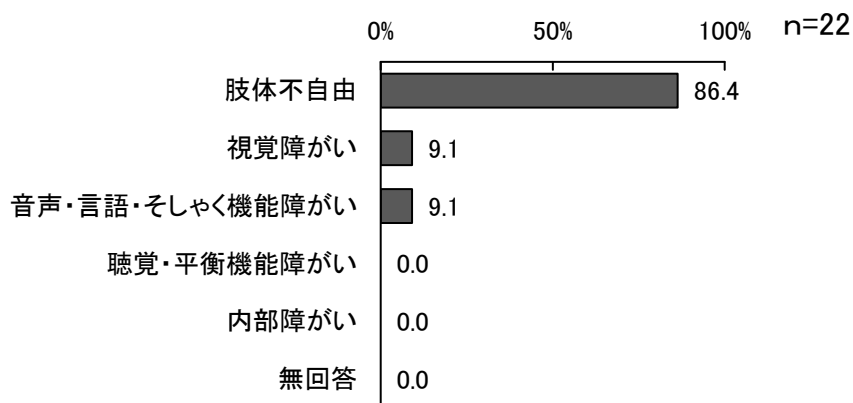
No.	選択肢	n	%
1	1級	15	68.2
2	2級	7	31.8
3	3級	0	0.0
	無回答	0	0.0
	全体	22	100.0

(4) 身体障がいの種類

問5 身体障害者手帳をお持ちの方にお聞きします。

障がいの種類は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

「肢体不自由」が 86.4%、「視覚障がい」と「音声・言語・そしゃく機能障がい」が 9.1%となっています。



No.	選択肢	n	%
1	視覚障がい	2	9.1
2	聴覚・平衡機能障がい	0	0.0
3	音声・言語・そしゃく機能障がい	2	9.1
4	肢体不自由	19	86.4
5	内部障がい	0	0.0
	無回答	0	0.0
	全体	22	100.0

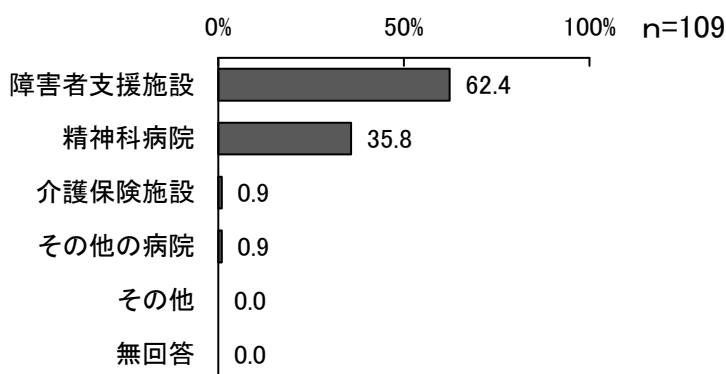
3 施設や病院への入所・入院について

(1) 入所・入院先

問6 あなたが入所・入院している施設や病院の種類をお聞きします。

(あてはまるもの一つに○)

「障害者支援施設」が62.4%、「精神科病院」が35.8%、「介護保険施設」が0.9%となっています。



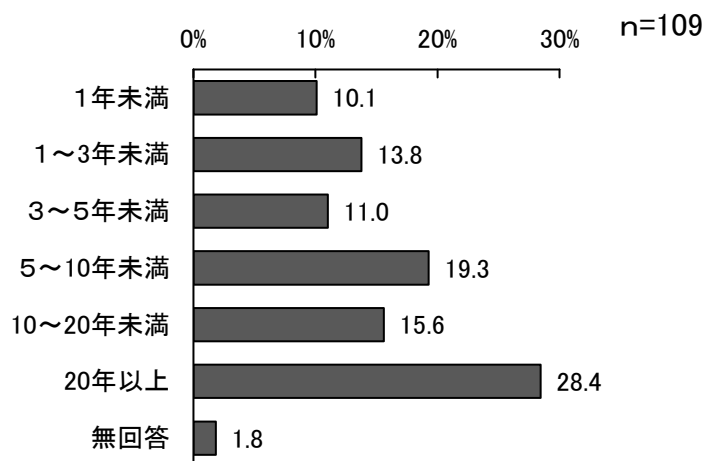
No.	選択肢	n	%
1	障害者支援施設	68	62.4
2	介護保険施設	1	0.9
3	精神科病院	39	35.8
4	その他の病院	1	0.9
5	その他	0	0.0
	無回答	0	0.0
	全体	109	100.0

(2) 入所・入院している期間

問7 あなたが現在の施設や病院に入所・入院している期間をお聞きします。

(あてはまるもの一つに○)

「20年以上」が28.4%と最も多く、次いで「5～10年未満」が19.3%、「10～20年未満」が15.6%となっています。



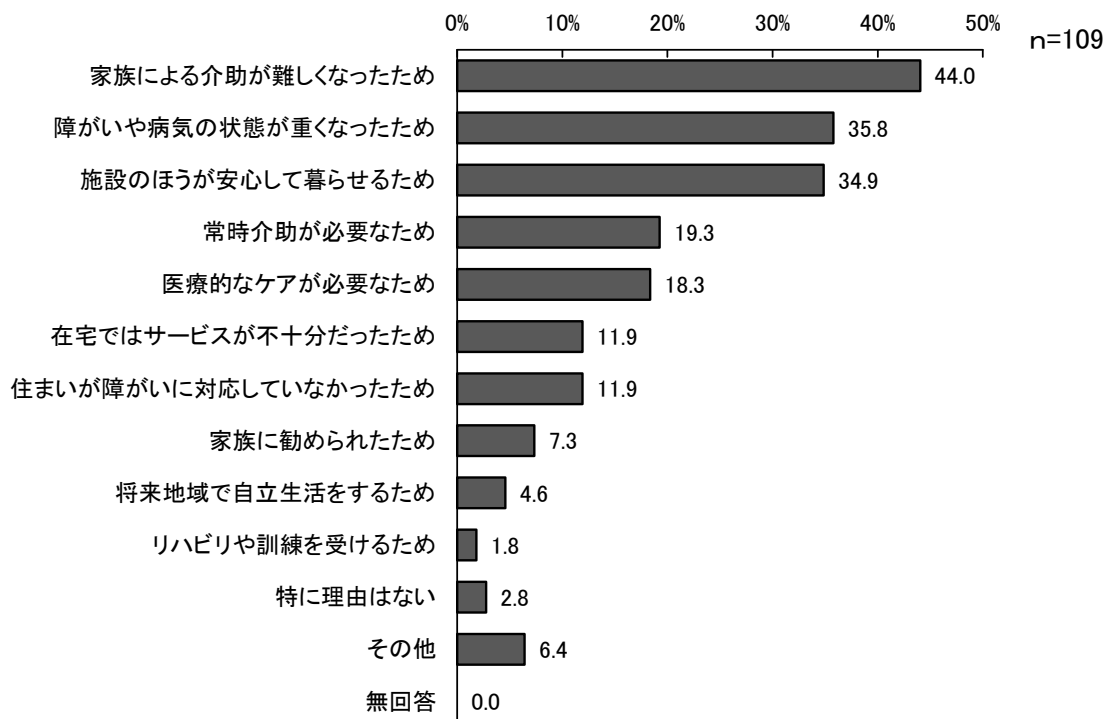
No.	選択肢	n	%
1	1年未満	11	10.1
2	1～3年未満	15	13.8
3	3～5年未満	12	11.0
4	5～10年未満	21	19.3
5	10～20年未満	17	15.6
6	20年以上	31	28.4
	無回答	2	1.8
	全体	109	100.0

(3) 入所・入院した理由

問8 あなたが現在の施設や病院に入所・入院することになった理由は何ですか。

(あてはまるもの全てに○)

「家族による介助が難しくなったため」が44.0%と最も多く、次いで「障がいや病気の状態が重くなったため」が35.8%、「施設のほうで安心して暮らせるため」が34.9%となっています。



No.	選択肢	n	%
1	障がいや病気の状態が重くなったため	39	35.8
2	常時介助が必要なため	21	19.3
3	医療的なケアが必要なため	20	18.3
4	家族による介助が難しくなったため	48	44.0
5	リハビリや訓練を受けるため	2	1.8
6	家族に勧められたため	8	7.3
7	在宅ではサービスが不十分だったため	13	11.9
8	住まいが障がいに対応していなかったため	13	11.9
9	将来地域で自立生活をするため	5	4.6
10	施設のほうで安心して暮らせるため	38	34.9
11	特に理由はない	3	2.8
12	その他	7	6.4
	無回答	0	0.0
	全体	109	100.0

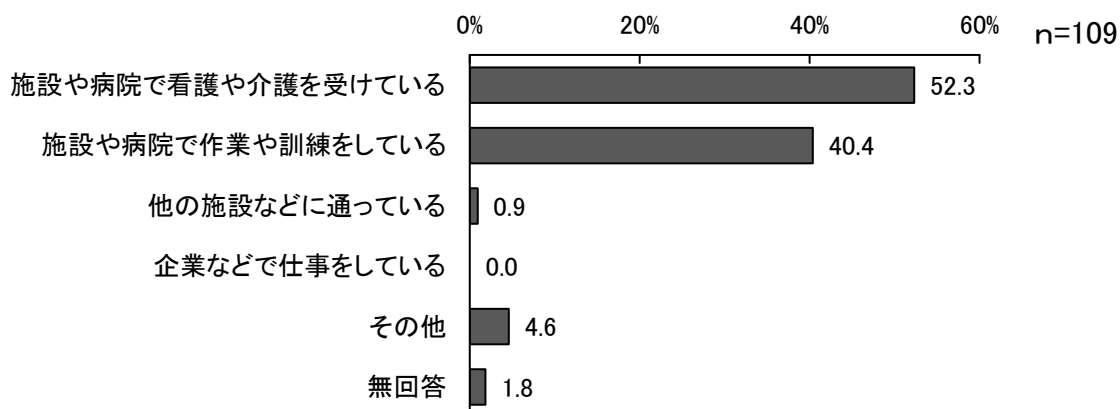
4 施設や病院での生活について

(1) 日中の過ごし方

問9 あなたは普段、日中を主にどのように過ごしていますか。

(最もあてはまるもの一つに○)

「施設や病院で看護や介護を受けている」が52.3%と最も多く、次いで「施設や病院で作業や訓練をしている」が40.4%と多くなっています。



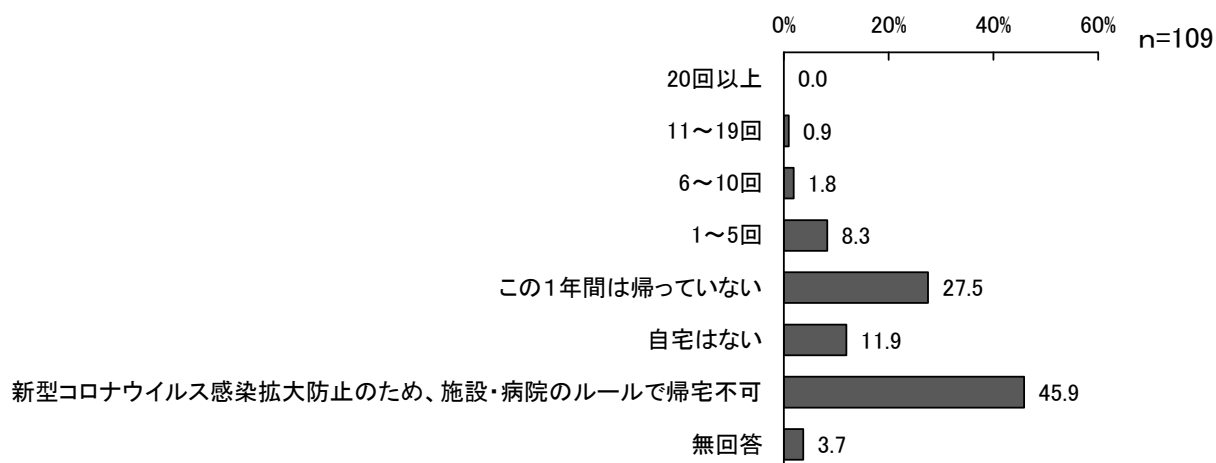
No.	選択肢	n	%
1	施設や病院で作業や訓練をしている	44	40.4
2	施設や病院で看護や介護を受けている	57	52.3
3	他の施設などに通っている	1	0.9
4	企業などで仕事をしている	0	0.0
5	その他	5	4.6
	無回答	2	1.8
	全体	109	100.0

(2) 自宅に帰る回数

問 10 あなたは、最近 1 年間で、何回くらいご自宅に帰りましたか。

(あてはまるもの一つに○)

「新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設・病院のルールで帰宅不可」が最も多く、次いで「この1年間は帰っていない」が27.5%、「自宅はない」が11.9%となっています。

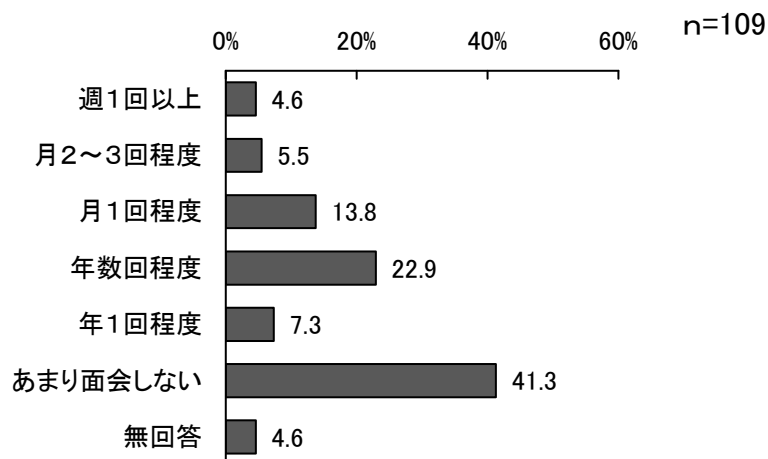


No.	選択肢	n	%
1	20回以上	0	0.0
2	11~19回	1	0.9
3	6~10回	2	1.8
4	1~5回	9	8.3
5	この1年間は帰っていない	30	27.5
6	自宅はない	13	11.9
7	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設・病院のルールで帰宅不可	50	45.9
	無回答	4	3.7
	全体	109	100.0

(3) 面会の頻度

問 11 あなたのご家族の方などは、どのくらいの頻度で面会（オンラインを含む）をしていますか。（あてはまるもの一つに○）

「あまり面会しない」が 41.3%と最も多く、次いで「年数回程度」が 22.9%、「月1回程度」が 13.8%となっています。



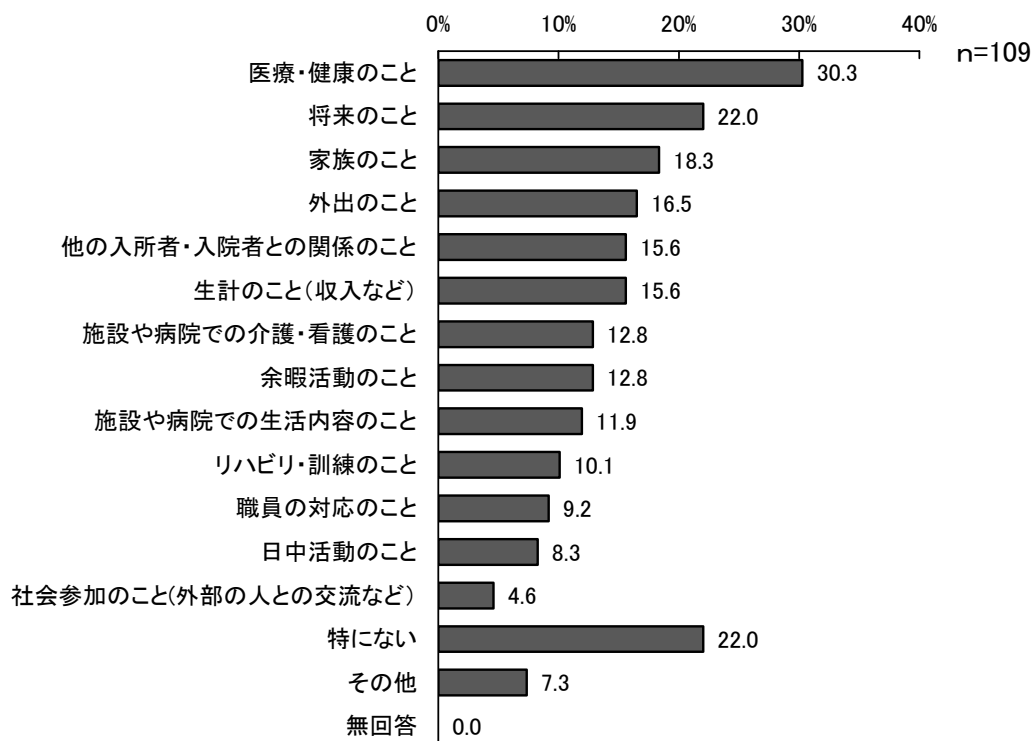
No.	選択肢	n	%
1	週1回以上	5	4.6
2	月2~3回程度	6	5.5
3	月1回程度	15	13.8
4	年数回程度	25	22.9
5	年1回程度	8	7.3
6	あまり面会しない	45	41.3
	無回答	5	4.6
	全体	109	100.0

(4) 日常生活の中で改善したいこと

問 12 あなたには、日常生活の中で不安に思うことや改善したいことがありますか。

(あてはまるもの全てに○)

「医療・健康のこと」が 30.3%と最も多く、次いで「将来のこと」が 22.0%、「家族のこと」が 18.3%となっています。

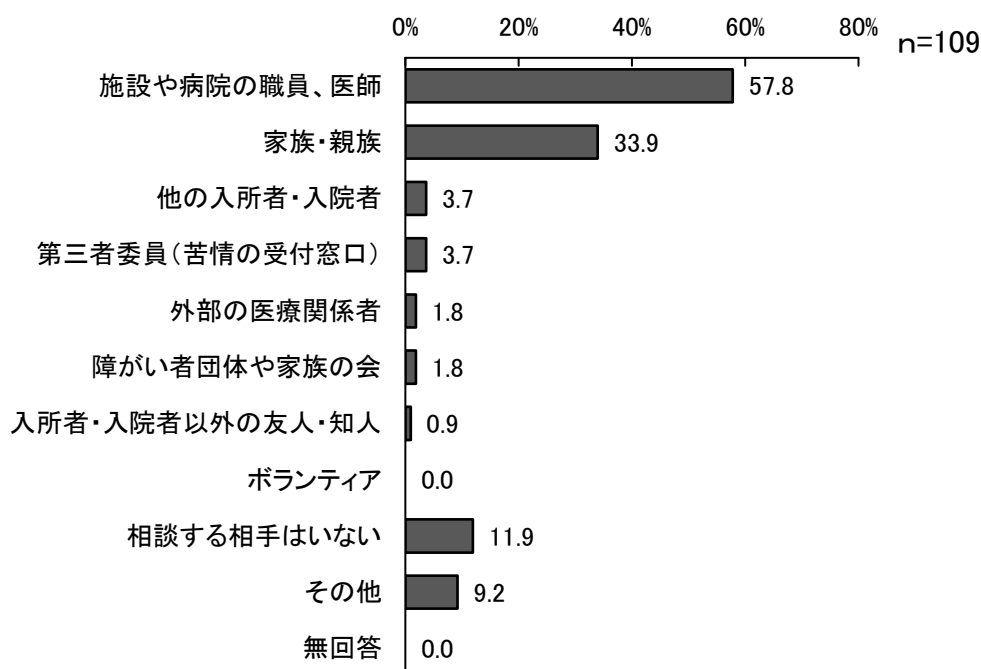


No.	選択肢	n	%
1	施設や病院での介護・看護のこと	14	12.8
2	医療・健康のこと	33	30.3
3	施設や病院での生活内容のこと	13	11.9
4	リハビリ・訓練のこと	11	10.1
5	日中活動のこと	9	8.3
6	外出のこと	18	16.5
7	余暇活動のこと	14	12.8
8	職員の対応のこと	10	9.2
9	他の入所者・入院者との関係のこと	17	15.6
10	社会参加のこと(外部の人との交流など)	5	4.6
11	家族のこと	20	18.3
12	生計のこと(収入など)	17	15.6
13	将来のこと	24	22.0
14	特にない	24	22.0
15	その他	8	7.3
	無回答	0	0.0
	全体	109	100.0

(5) 困ったときの相談先

問 13 あなたは、日常生活で困ったことや悩みについて、誰に相談していますか。
(あてはまるもの全てに○)

「施設や病院の職員、医師」が57.8%と最も多く、次いで「家族・親族」が33.9%となっています。

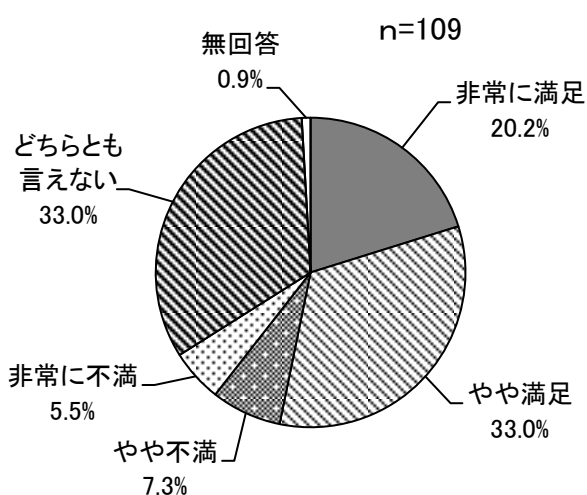


No.	選択肢	n	%
1	家族・親族	37	33.9
2	施設や病院の職員、医師	63	57.8
3	ボランティア	0	0.0
4	他の入所者・入院者	4	3.7
5	入所者・入院者以外の友人・知人	1	0.9
6	外部の医療関係者	2	1.8
7	障がい者団体や家族の会	2	1.8
8	第三者委員(苦情の受付窓口)	4	3.7
9	相談する相手はいない	13	11.9
10	その他	10	9.2
	無回答	0	0.0
	全体	109	100.0

(6) 施設や病院での生活の満足度

問 14 あなたは、現在入所・入院している施設や病院での生活に満足していますか。
(あてはまるもの一つに○)

「どちらとも言えない」と「やや満足」が共に 33.0%と最も多く、次いで「非常に満足」(20.2%)が多く、「やや不満」が 7.3%、「非常に不満」は 5.5%となっています。「満足」という回答は合わせて5割を超えています。

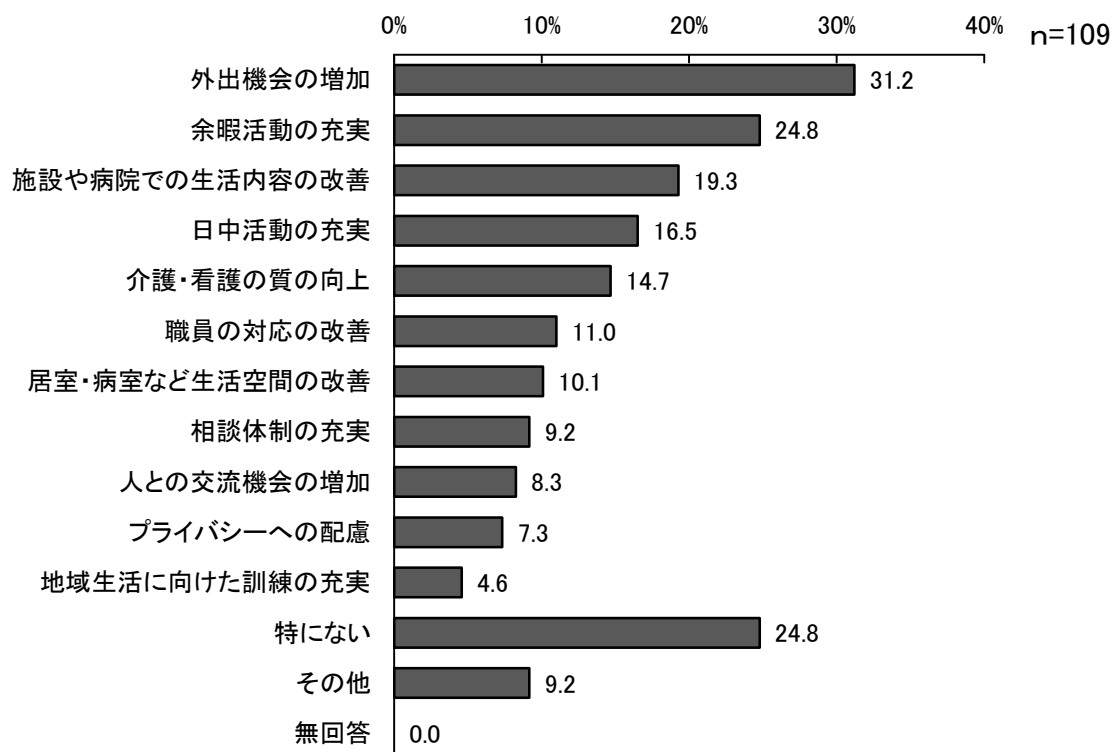


No.	選択肢	n	%
1	非常に満足	22	20.2
2	やや満足	36	33.0
3	やや不満	8	7.3
4	非常に不満	6	5.5
5	どちらとも言えない	36	33.0
	無回答	1	0.9
	全体	109	100.0

(7) 施設や病院に対する要望

問 15 あなたは、現在入所・入院している施設や病院に対して、どのような要望がありますか。（あてはまるもの全てに○）

「外出機会の増加」が31.2%と最も多く、次いで「余暇活動の充実」が24.8%、「施設や病院での生活内容の改善」が19.3%となっています。



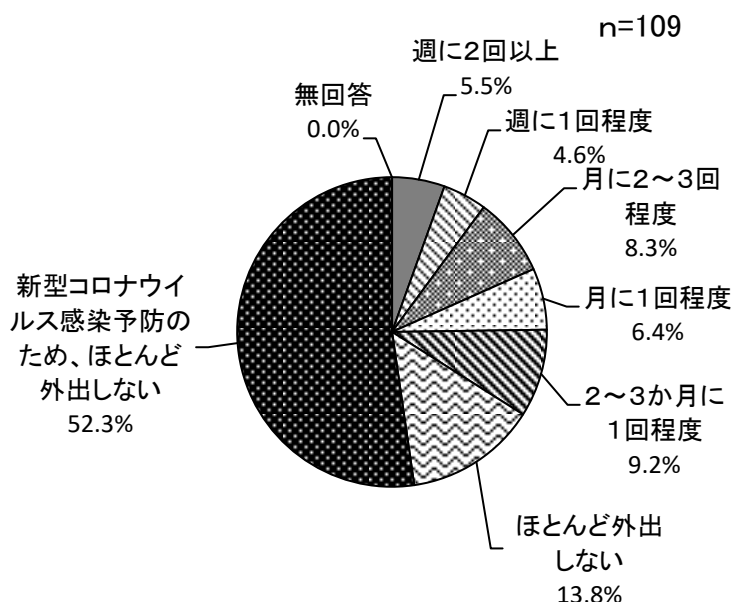
No.	選択肢	n	%
1	介護・看護の質の向上	16	14.7
2	施設や病院での生活内容の改善	21	19.3
3	居室・病室など生活空間の改善	11	10.1
4	プライバシーへの配慮	8	7.3
5	日中活動の充実	18	16.5
6	外出機会の増加	34	31.2
7	余暇活動の充実	27	24.8
8	職員の対応の改善	12	11.0
9	人との交流機会の増加	9	8.3
10	相談体制の充実	10	9.2
11	地域生活に向けた訓練の充実	5	4.6
12	特にない	27	24.8
13	その他	10	9.2
	無回答	0	0.0
	全体	109	100.0

5 社会参加について

(1) 外出の頻度

問 16 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。（施設や病院の敷地内での散歩などは含めないでください）（あてはまるもの一つに○）

「新型コロナウイルス感染予防のため、ほとんど外出しない」が 52.3%と最も多く、次いで「ほとんど外出しない」が 13.8%、「2～3か月に1回程度」が 9.2%となっています。



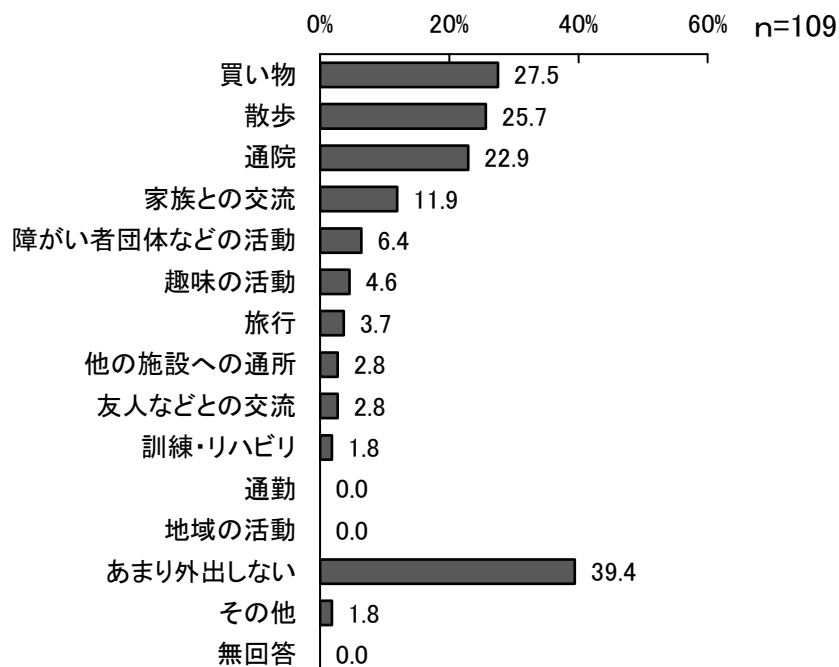
No.	選択肢	n	%
1	週に2回以上	6	5.5
2	週に1回程度	5	4.6
3	月に2～3回程度	9	8.3
4	月に1回程度	7	6.4
5	2～3か月に1回程度	10	9.2
6	ほとんど外出しない	15	13.8
7	新型コロナウイルス感染予防のため、ほとんど外出しない	57	52.3
	無回答	0	0.0
	全体	109	100.0

(2) 外出の目的

問 17 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。

(あてはまるもの全てに○)

「買い物」が27.5%と最も多く、次いで「散歩」が25.7%、「通院」が22.9%となっています。



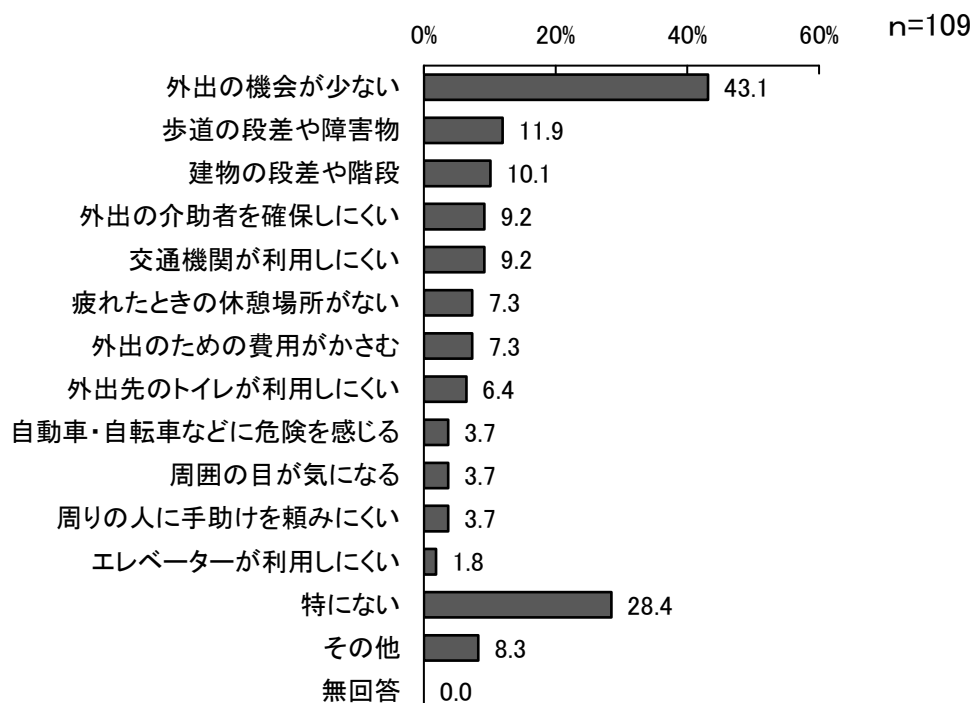
No.	選択肢	n	%
1	通勤	0	0.0
2	他の施設への通所	3	2.8
3	通院	25	22.9
4	訓練・リハビリ	2	1.8
5	買い物	30	27.5
6	散歩	28	25.7
7	旅行	4	3.7
8	趣味の活動	5	4.6
9	地域の活動	0	0.0
10	障がい者団体などの活動	7	6.4
11	家族との交流	13	11.9
12	友人などとの交流	3	2.8
13	あまり外出しない	43	39.4
14	その他	2	1.8
	無回答	0	0.0
	全体	109	100.0

(3) 外出するとき困っていること

問 18 あなたには、外出するとき困っていることはありますか。

(あてはまるもの全てに○)

「外出の機会が少ない」が 43.1%と最も多く、「特にない」を除くと、次いで「歩道の段差や障害物」が 11.9%、「建物の段差や階段」が 10.1%となっています。

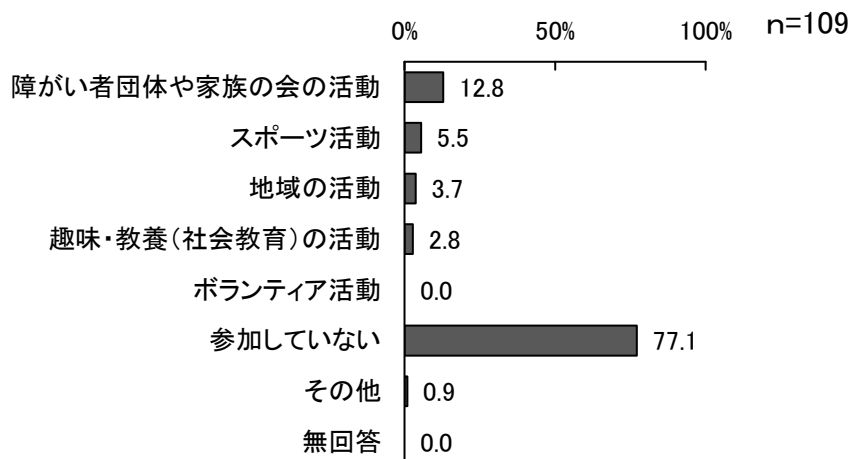


No.	選択肢	n	%
1	外出の機会が少ない	47	43.1
2	外出の介助者を確保しにくい	10	9.2
3	歩道の段差や障害物	13	11.9
4	建物の段差や階段	11	10.1
5	交通機関が利用しにくい	10	9.2
6	自動車・自転車などに危険を感じる	4	3.7
7	エレベーターが利用しにくい	2	1.8
8	外出先のトイレが利用しにくい	7	6.4
9	疲れたときの休憩場所がない	8	7.3
10	周囲の目が気になる	4	3.7
11	周りの人に手助けを頼みにくい	4	3.7
12	外出のための費用がかさむ	8	7.3
13	特にない	31	28.4
14	その他	9	8.3
	無回答	0	0.0
	全体	109	100.0

(4) 社会活動への参加状況

問 19 あなたは、次のような社会活動に参加していますか。(あてはまるもの全てに)

「参加していない」を除くと、「障がい者団体や家族の会の活動」が 12.8%と最も多く、次いで「スポーツ活動」が 5.5%、「地域の活動」が 3.7%となっています。

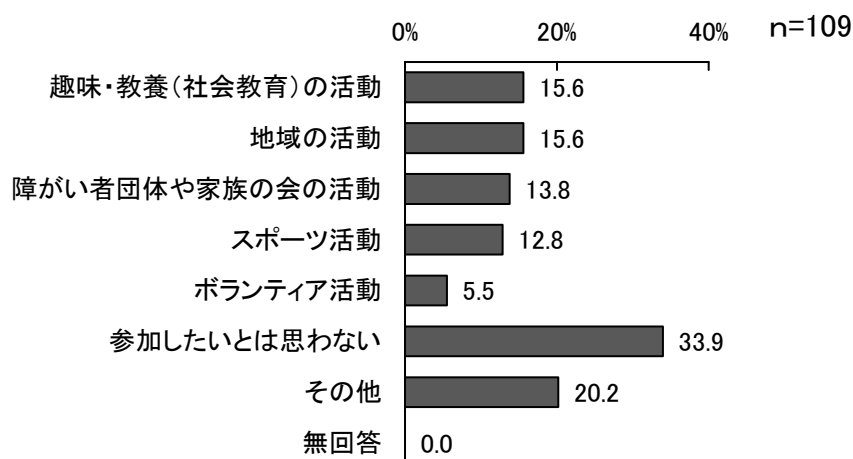


No.	選択肢	n	%
1	趣味・教養(社会教育)の活動	3	2.8
2	スポーツ活動	6	5.5
3	地域の活動	4	3.7
4	ボランティア活動	0	0.0
5	障がい者団体や家族の会の活動	14	12.8
6	参加していない	84	77.1
7	その他	1	0.9
	無回答	0	0.0
	全体	109	100.0

(5) 社会活動への参加意向

問 20 あなたは今後、次のような社会活動に参加したいと思いますか。既に参加している方も、今後参加したいかどうかお答えください。(あてはまるもの全てに○)

「参加したいと思わない」「その他」を除くと、「趣味・教養(社会教育)の活動」「地域の活動」が 15.6%と最も多く、次いで「障がい者団体や家族の会の活動」が 13.8%となっています。

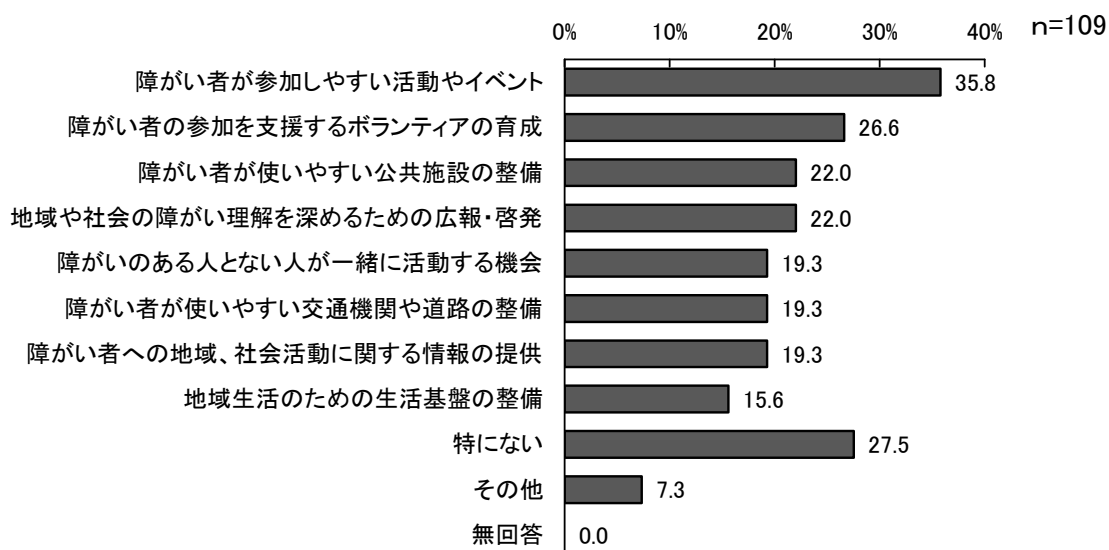


No.	選択肢	n	%
1	趣味・教養(社会教育)の活動	17	15.6
2	スポーツ活動	14	12.8
3	地域の活動	17	15.6
4	ボランティア活動	6	5.5
5	障がい者団体や家族の会の活動	15	13.8
6	参加したいと思わない	37	33.9
7	その他	22	20.2
	無回答	0	0.0
	全体	109	100.0

(6) 社会参加のために必要なこと

問 21 あなたは、障がいのある人が地域や社会に積極的に参加できるようにするために、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

「障がい者が参加しやすい活動やイベント」が 35.8%と最も多く、次いで「障がい者の参加を支援するボランティアの育成」が 26.6%、「障がい者が使いやすい公共施設の整備」「地域や社会の障がい理解を深めるための広報・啓発」が 22.0%となっています。



No.	選択肢	n	%
1	地域生活のための生活基盤の整備	17	15.6
2	障がい者が参加しやすい活動やイベント	39	35.8
3	障がいのある人とない人が一緒に活動する機会	21	19.3
4	障がい者が使いやすい公共施設の整備	24	22.0
5	障がい者が使いやすい交通機関や道路の整備	21	19.3
6	障がい者への地域、社会活動に関する情報の提供	21	19.3
7	障がい者の参加を支援するボランティアの育成	29	26.6
8	地域や社会の障がい理解を深めるための広報・啓発	24	22.0
9	特にない	30	27.5
10	その他	8	7.3
	無回答	0	0.0
	全体	109	100.0

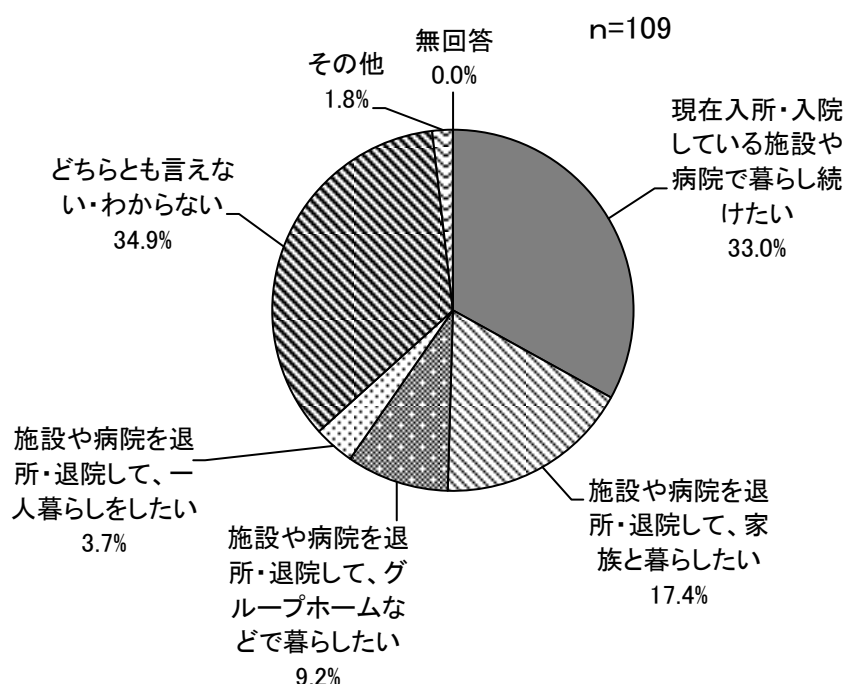
6 今後の生活について

(1) 将来の暮らし方

問 22 あなたは将来、どのように暮らしたいと思いますか。

(最もあてはまるもの一つに○)

「どちらとも言えない・わからない」を除くと、「現在入所・入院している施設や病院で暮らし続けたい」が 33.0%と最も多く、次いで「施設や病院を退所・退院して、家族と暮らしたい」が 17.4%、「施設や病院を退所・退院して、グループホームなどで暮らしたい」が 9.2%、「施設や病院を退所・退院して、一人暮らしをしたい」が 3.7%となっています。



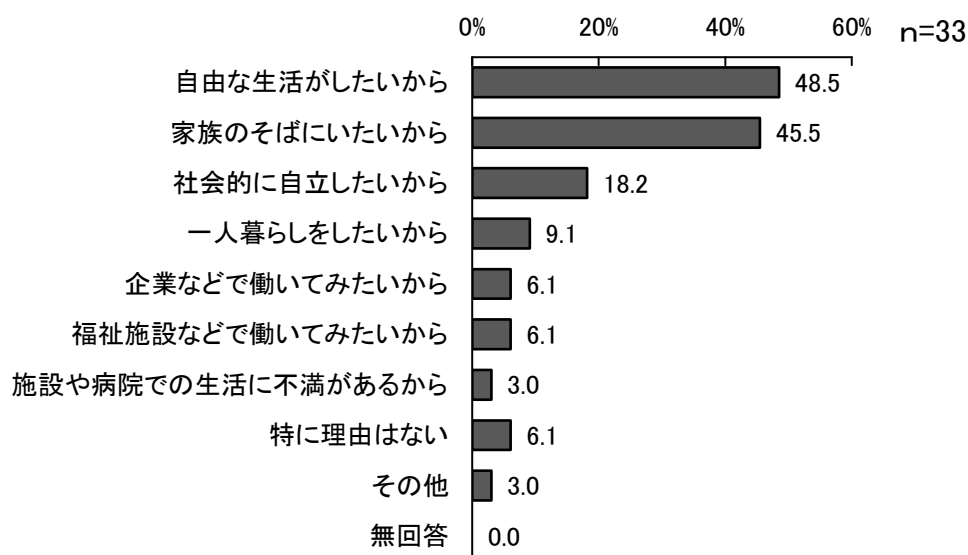
No.	選択肢	n	%
1	施設や病院を退所・退院して、家族と暮らしたい	19	17.4
2	施設や病院を退所・退院して、一人暮らしをしたい	4	3.7
3	施設や病院を退所・退院して、グループホームなどで暮らしたい	10	9.2
4	現在入所・入院している施設や病院で暮らし続けたい	36	33.0
5	どちらとも言えない・わからない	38	34.9
6	その他	2	1.8
	無回答	0	0.0
	全体	109	100.0

(2) 地域で暮らしたい理由

問 23 問 22 で「施設や病院を退所・退院したい(1~3)」と回答した方にお聞きします。退所・退院して、地域で暮らしたい理由は何ですか。

(あてはまるもの全てに○)

「自由な生活がしたいから」が 48.5%と最も多く、次いで「家族のそばにいたいから」が 45.5%、「社会的に自立したいから」が 18.2%となっています。



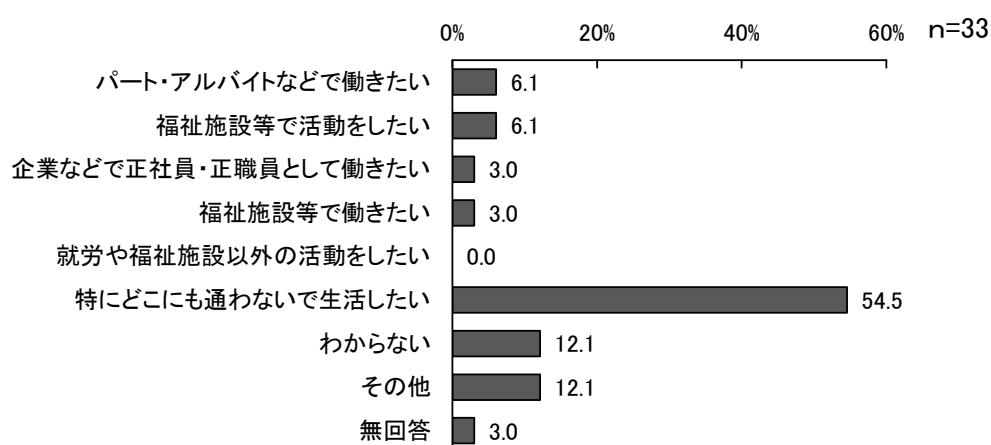
No.	選択肢	n	%
1	家族のそばにいたいから	15	45.5
2	一人暮らしをしたいから	3	9.1
3	自由な生活がしたいから	16	48.5
4	社会的に自立したいから	6	18.2
5	企業などで働いてみたいから	2	6.1
6	福祉施設などで働いてみたいから	2	6.1
7	施設や病院での生活に不満があるから	1	3.0
8	特に理由はない	2	6.1
9	その他	1	3.0
	無回答	0	0.0
	全体	33	100.0

(3) 地域での暮らし方の希望

問 24 問 22 で「施設や病院を退所・退院したい(1~3)」と回答した方にお聞きします。退所・退院して、地域でどのような生活を送りたいと思いますか。

(最もあてはまるもの一つに○)

「特にどこにも通わないで生活したい」「わからない」「その他」を除くと、「パート・アルバイトなどで働きたい」「福祉施設等で活動をしたい」が6.1%、「企業などで正社員・正職員として働きたい」「福祉施設等で働きたい」が3.0%となっています。



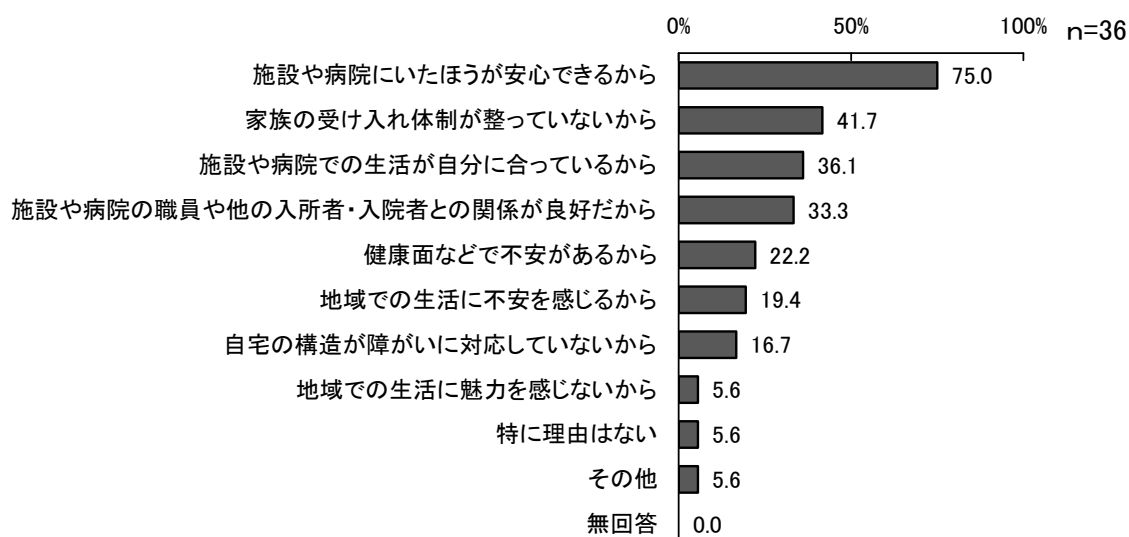
No.	選択肢	n	%
1	企業などで正社員・正職員として働きたい	1	3.0
2	パート・アルバイトなどで働きたい	2	6.1
3	福祉施設等で働きたい	1	3.0
4	福祉施設等で活動をしたい	2	6.1
5	就労や福祉施設以外の活動をしたい	0	0.0
6	特にどこにも通わないで生活したい	18	54.5
7	わからない	4	12.1
8	その他	4	12.1
	無回答	1	3.0
	全体	33	100.0

(4) 施設で暮らし続けたい理由

問 25 問 22 で「4 現在入所・入院している施設や病院で暮らし続けたい」と回答した方にお聞きします。 施設で暮らし続けたい理由は何ですか。

(あてはまるもの全てに○)

「施設や病院にいたほうが安心できるから」が 75.0%と最も多く、次いで「家族の受け入れ体制が整っていないから」が 41.7%、「施設や病院での生活が自分に合っているから」が 36.1%となっています。

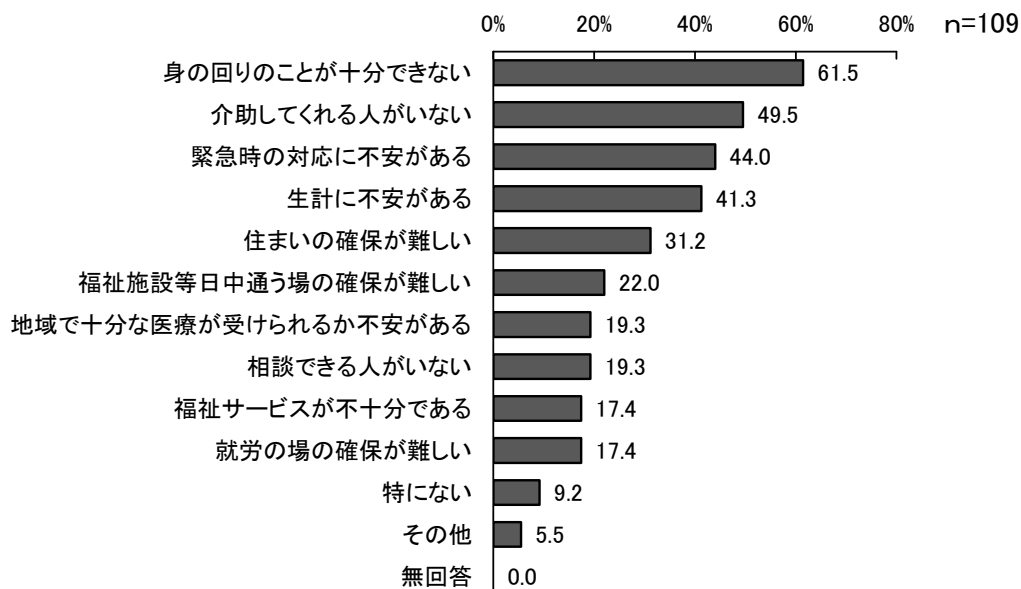


No.	選択肢	n	%
1	施設や病院にいたほうが安心できるから	27	75.0
2	施設や病院での生活が自分に合っているから	13	36.1
3	施設や病院の職員や他の入所者・入院者との関係が良好だから	12	33.3
4	地域での生活に魅力を感じないから	2	5.6
5	地域での生活に不安を感じるから	7	19.4
6	健康面などで不安があるから	8	22.2
7	家族の受け入れ体制が整っていないから	15	41.7
8	自宅の構造が障がいに対応していないから	6	16.7
9	特に理由はない	2	5.6
10	その他	2	5.6
	無回答	0	0.0
	全体	36	100.0

(5) 地域生活の課題

問 26 全ての方にお聞きします。あなたが地域で暮らすことを想定した場合、どのようなことが課題になると思いますか。（あてはまるもの全てに○）

「身の回りのことが十分できない」が61.5%と最も多く、次いで「介助してくれる人がいない」が49.5%、「緊急時の対応に不安がある」が44.0%となっています。



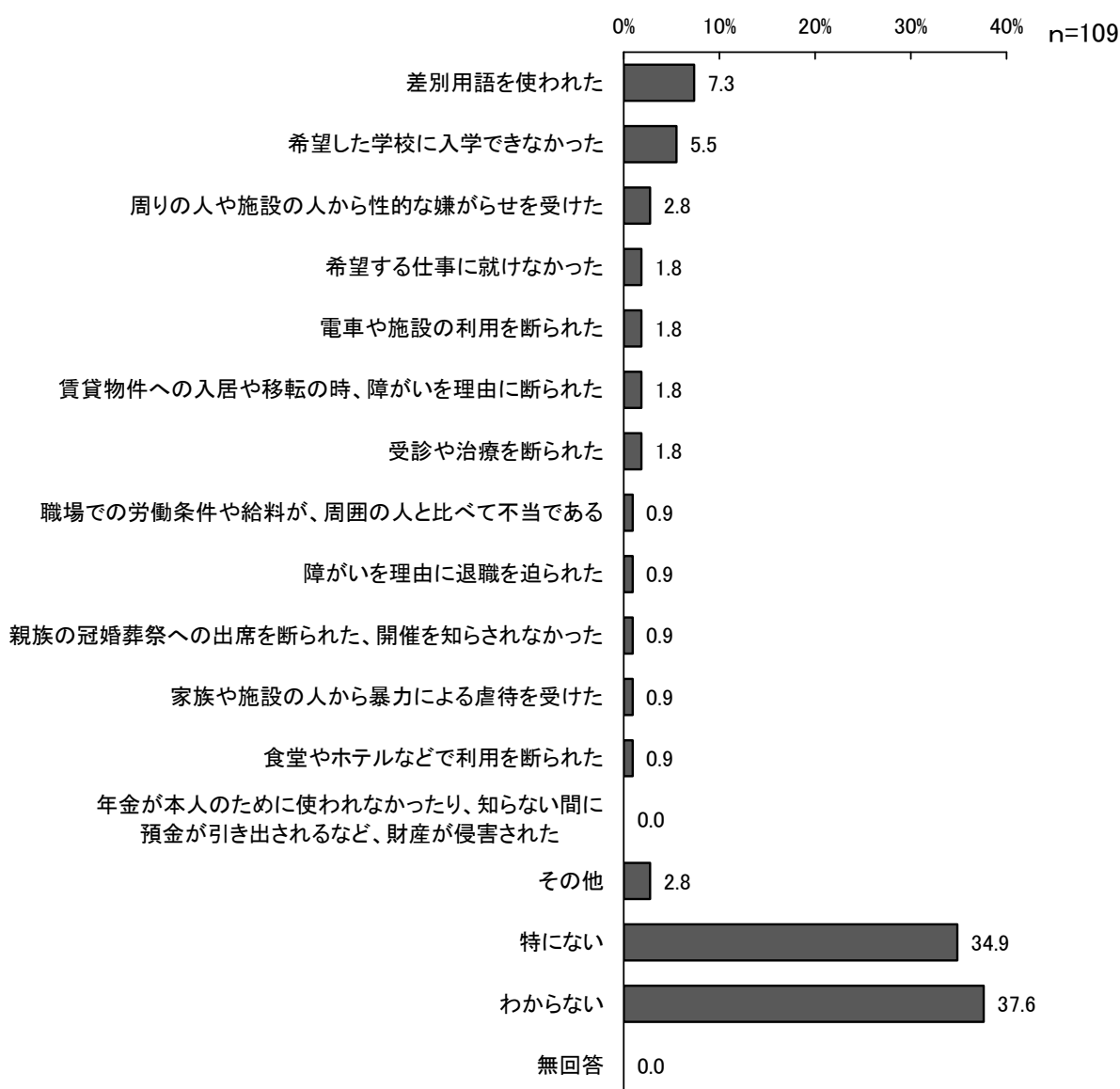
No.	選択肢	n	%
1	身の回りのことが十分できない	67	61.5
2	介助してくれる人がいない	54	49.5
3	福祉サービスが不十分である	19	17.4
4	地域で十分な医療が受けられるか不安がある	21	19.3
5	住まいの確保が難しい	34	31.2
6	就労の場の確保が難しい	19	17.4
7	福祉施設等日中通う場の確保が難しい	24	22.0
8	緊急時の対応に不安がある	48	44.0
9	生計に不安がある	45	41.3
10	相談できる人がいない	21	19.3
11	特にない	10	9.2
12	その他	6	5.5
	無回答	0	0.0
	全体	109	100.0

7 障がい者施策について

(1) 人権を損なう扱いを受けた経験

問27 あなたは、障がいがあることが原因で、日常生活の中で下記のような人権を損なう扱いを受けた経験がありますか。(あてはまるもの全てに○)

「差別用語が使われた」が7.3%と最も多く、次いで「希望した学校に入学できなかった」が5.5%、「周りの人や施設の人から性的な嫌がらせを受けた」が2.8%となっています。

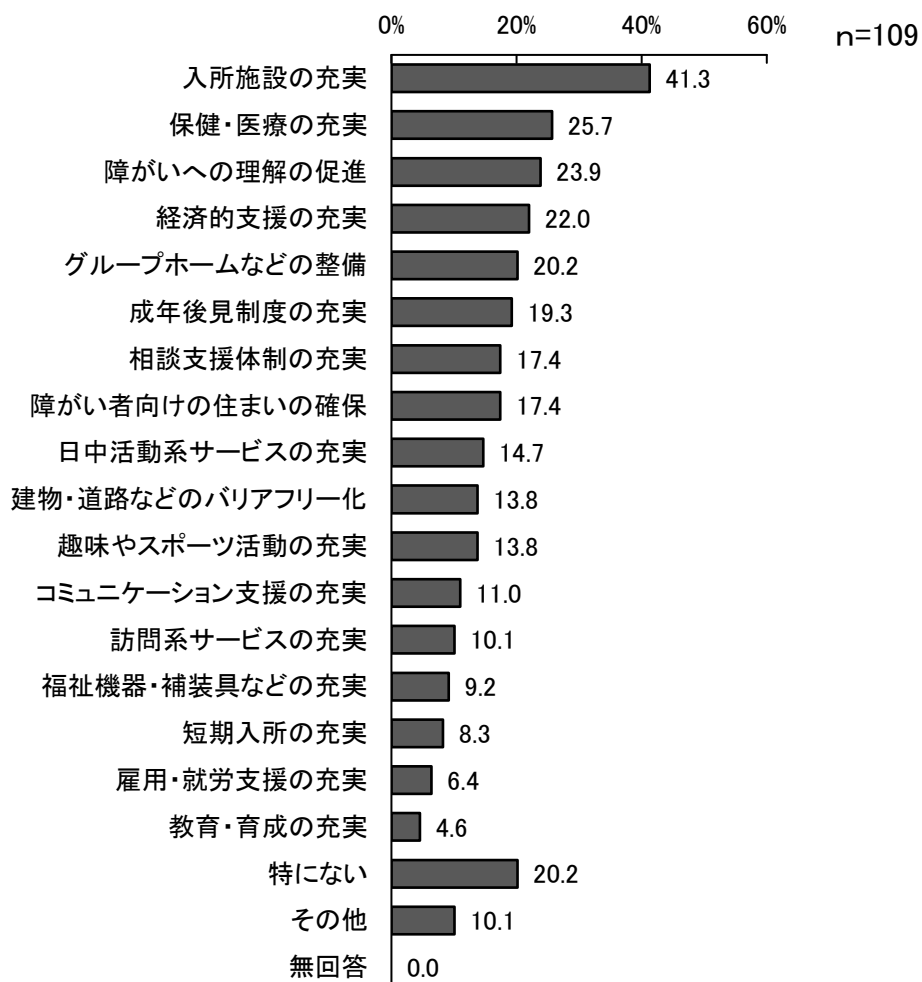


No.	選択肢	n	%
1	希望した学校に入学できなかった	6	5.5
2	希望する仕事に就けなかった	2	1.8
3	職場での労働条件や給料が、周囲の人と比べて不当である	1	0.9
4	障がいを理由に退職を迫られた	1	0.9
5	差別用語を使われた	8	7.3
6	電車や施設の利用を断られた	2	1.8
7	親族の冠婚葬祭への出席を断られた、開催を知らされなかった	1	0.9
8	家族や施設の人から暴力による虐待を受けた	1	0.9
9	周りの人や施設の人から性的な嫌がらせを受けた	3	2.8
10	年金が本人のために使われなかったり、知らない間に預金が引き出されるなど、財産が侵害された	0	0.0
11	賃貸物件への入居や移転の時、障がいを理由に断られた	2	1.8
12	食堂やホテルなどで利用を断られた	1	0.9
13	受診や治療を断られた	2	1.8
14	その他	3	2.8
15	特にない	38	34.9
16	わからない	41	37.6
	無回答	0	0.0
	全体	109	100.0

(2) 今後力を入れてほしい施策

問 28 あなたは、今後の障がい者施策で、どのような面にもっと力を入れてほしいと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

「入所施設の充実」が 41.3%と最も多く、次いで「保健・医療の充実」が 25.7%、「障がいへの理解の促進」が 23.9%となっています。



No.	選択肢	n	%
1	障がいへの理解の促進	26	23.9
2	保健・医療の充実	28	25.7
3	教育・育成の充実	5	4.6
4	雇用・就労支援の充実	7	6.4
5	相談支援体制の充実	19	17.4
6	訪問系サービスの充実	11	10.1
7	日中活動系サービスの充実	16	14.7
8	短期入所の充実	9	8.3
9	コミュニケーション支援の充実	12	11.0
10	福祉機器・補装具などの充実	10	9.2
11	グループホームなどの整備	22	20.2
12	入所施設の充実	45	41.3
13	障がい者向けの住まいの確保	19	17.4
14	建物・道路などのバリアフリー化	15	13.8
15	趣味やスポーツ活動の充実	15	13.8
16	経済的支援の充実	24	22.0
17	成年後見制度の充実	21	19.3
18	特にない	22	20.2
19	その他	11	10.1
	無回答	0	0.0
	全体	109	100.0

8 自由意見

問 29 障がい者施策について、ご意見・ご要望・ご提案などがありましたら、ご自由にお書きください。

回答総数は 13 件で、「施設生活、支援体制の充実」についてが 4 件、そのほか「入所施設等の整備」「将来、親亡き後」「医療」などについての回答がありました。

意見		件数
1	施設生活、支援体制の充実	4
2	入所施設等の整備	2
	将来、親亡き後	2
	医療	2
	災害時対応	1
	障がい理解	1
—	その他	1
総計		13

◆ 主な意見の概要（内容は一部要約・省略してあります）

主な意見の概要	障がいの種類	年齢性別回答者
新型コロナウイルス感染予防もあり、帰宅ができない状況に伴い、支援員の不足を実感致しました。支援員フル回転で入居者の支援をしていただき感謝でいっぱいです。	知的障がい 肢体不自由	40～49 歳 女性 ご家族
大人数を少数で支援する施設であると、日中の外出や付き添いながらの長時間のレクリエーションが難しいので、月一度でも良いので、そういったところをカバーしていける制度があると良いと思いました。	身体障がい	30～39 歳 男性 施設や病院の職員
市内での入所施設の設置及び充実。廃校等市有財産の福祉サービス施設への有効活用。	知的障がい	40～49 歳 男性 ご家族
親亡き後の” 成年後見制度” がもっと柔軟に使えるようにしてもらいたい。	知的障がい	40～49 歳 女性 ご家族
家族や地域社会との交流をもう少し密に図れるような組織の育成を図ってほしい。	知的障がい	80 歳以上 男性 ご家族
災害時など避難しなくてはならない時、一般の方と同じ所へは行けない（大きな声を出してしまったり、順番を守れない、歩き回ってしまうなどがある）ので、障がい専用の場所を作ってもらい（一度見た気もしますが…）、それを一般の人への周知をもっとしてほしい。各地区に何ヶ所も欲しい。歩けるかも心配。	知的障がい	30～39 歳 男性 ご家族

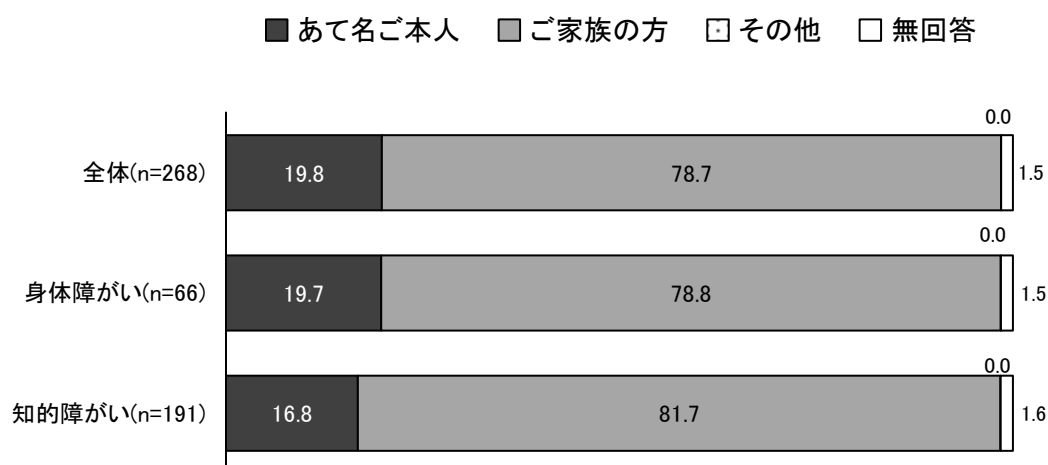
Ⅲ 18歳未満の方と保護者の方を対象とした調査

1 はじめに

(1) 調査票の回答者

問1 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。（あてはまるもの一つに○）

全体では、「あて名ご本人（ご本人の回答を他のの方が代筆する場合も含みます）」が19.8%、「ご家族の方」が78.7%となっています。



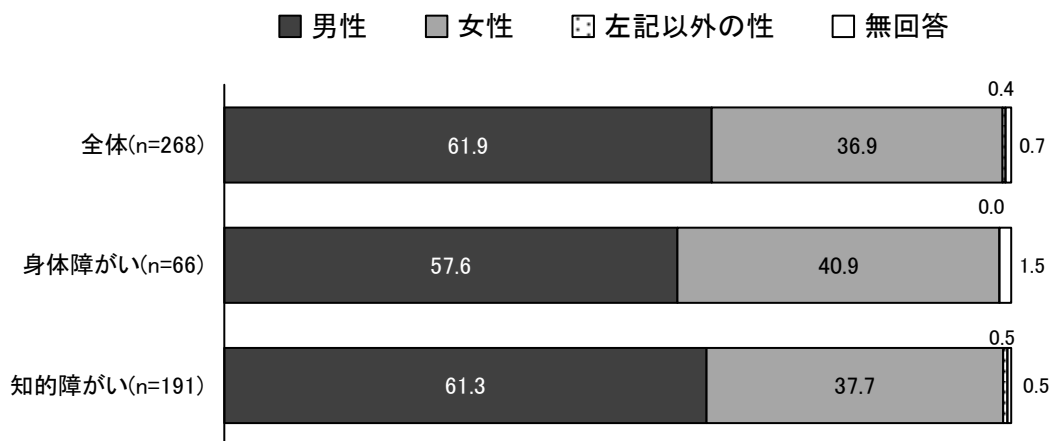
上段:件 下段:%	合計	あて名ご 本人	ご家族の 方	その他	無回答
全体	268 100.0	53 19.8	211 78.7	0 0.0	4 1.5
身体障がい	66 100.0	13 19.7	52 78.8	0 0.0	1 1.5
知的障がい	191 100.0	32 16.8	156 81.7	0 0.0	3 1.6

2 ご本人について

(1) 性別

問2 あなたの性別をお聞きします。(あてはまるもの一つに○)

全体では「男性」が61.9%、「女性」が36.9%と、男性のほうが多くなっています。



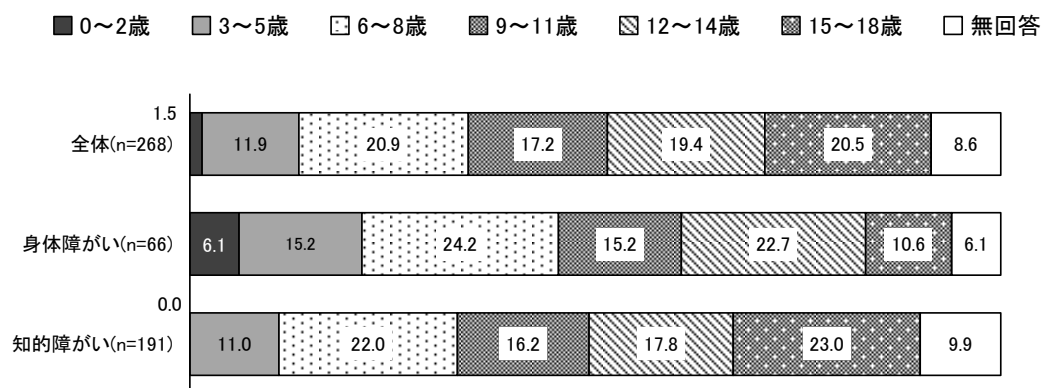
障がい別に見ても、身体障がい、知的障がいともに男性のほうが多くなっています。

上段:件 下段:%	合計	男性	女性	左記以外 の性	無回答
全体	268 100.0	166 61.9	99 36.9	1 0.4	2 0.7
身体障がい	66 100.0	38 57.6	27 40.9	0 0.0	1 1.5
知的障がい	191 100.0	117 61.3	72 37.7	1 0.5	1 0.5

(2) 年齢

問3 あなたの年齢をお聞きします。令和4年9月1日現在の年齢をご記入ください。

全体では「6～8歳」が20.9%と最も多く、次いで「15～18歳」が20.5%、「12～14歳」が19.4%となっています。



障がい別で見ると、身体障がいでは「6～8歳」、知的障がいでは「15～18歳」が多くなっています。

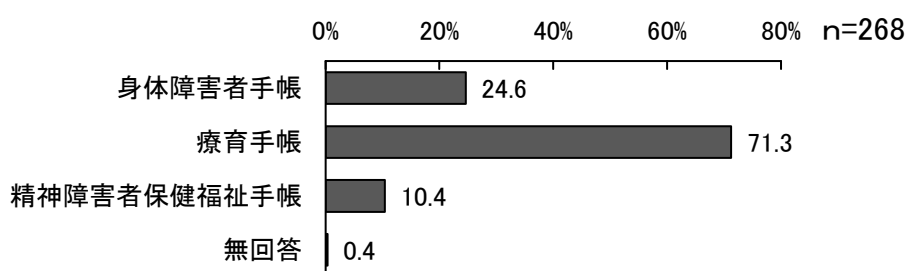
上段: 件 下段: %	合計	0～2歳	3～5歳	6～8歳	9～11歳	12～14歳	15～18歳	無回答
全体	268 100.0	4 1.5	32 11.9	56 20.9	46 17.2	52 19.4	55 20.5	23 8.6
身体障がい	66 100.0	4 6.1	10 15.2	16 24.2	10 15.2	15 22.7	7 10.6	4 6.1
知的障がい	191 100.0	0 0.0	21 11.0	42 22.0	31 16.2	34 17.8	44 23.0	19 9.9

(3) 手帳の種類

問4 手帳の種類と、手帳の等級（程度）をお聞きします。あてはまる手帳の番号に○印をつけ、カッコ内の等級（程度）にも○印をつけてください。

①手帳の種類

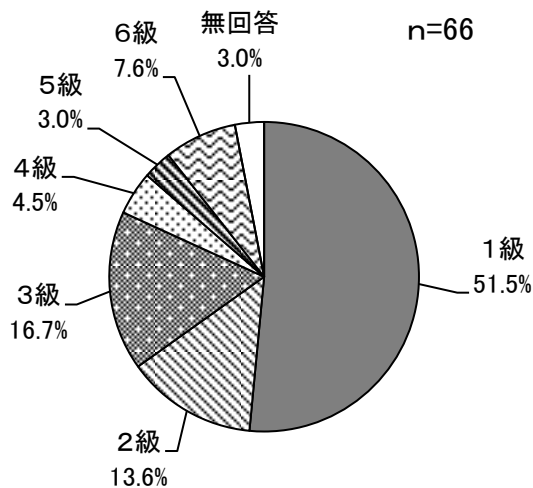
「身体障害者手帳」が 24.6%、「療育手帳」が 71.3%、「精神障害者保健福祉手帳」が 10.4%となっています。



上段:件 下段:%	合計	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者保健福祉手帳	無回答
全体	268 100.0	66 24.6	191 71.3	28 10.4	1 0.4

②身体障害者手帳の等級

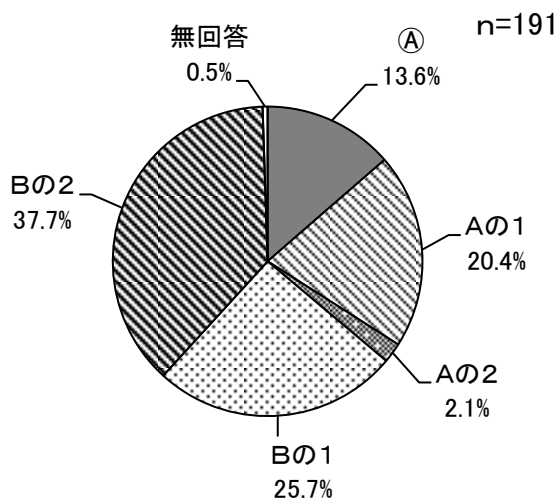
「1級」が51.5%と最も多く、次いで「3級」が16.7%、「2級」が13.6%となっています。



上段:件 下段:%	合計	1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答
全体	66 100.0	34 51.5	9 13.6	11 16.7	3 4.5	2 3.0	5 7.6	2 3.0

③療育手帳の程度

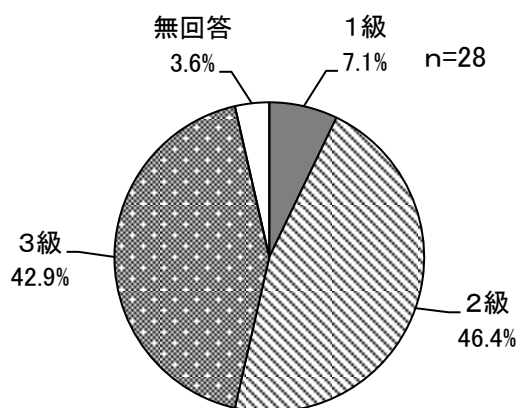
「Bの2」が37.7%と最も多く、次いで「Bの1」が25.7%、「Aの1」が20.4%、「A」が13.6%となっています。



上段:件 下段:%	合計	Ⓐ	Aの1	Aの2	Bの1	Bの2	無回答
全体	191 100.0	26 13.6	39 20.4	4 2.1	49 25.7	72 37.7	1 0.5

④精神障害者保健福祉手帳の等級

「2級」が46.4%、「3級」が42.9%、「1級」が7.1%となっています。

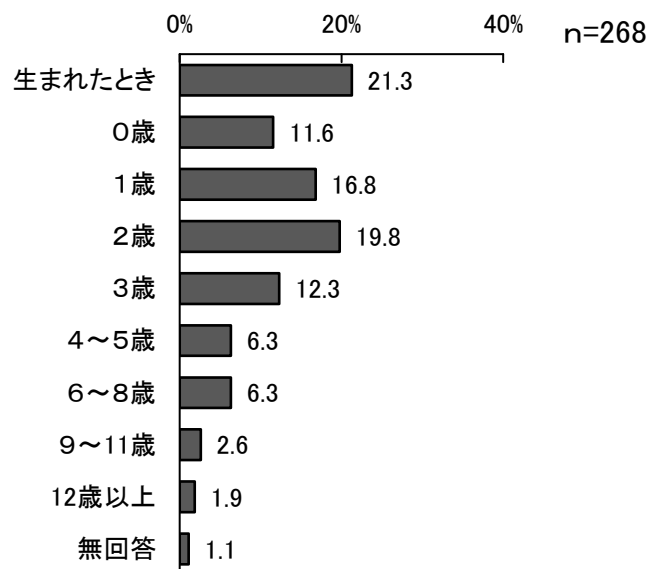


上段:件 下段:%	合計	1級	2級	3級	無回答
全体	28 100.0	2 7.1	13 46.4	12 42.9	1 3.6

(4) 障がいがあった時期

問5 あなたに障がいや発達の遅れがあることがわかったのは、あなたが何歳のときですか。(あてはまるもの一つに○)

全体では「生まれたとき」が21.3%と最も多く、次いで「2歳」が19.8%、「1歳」が16.8%となっています。



障がい別にみると、身体障がいでは「生まれたとき」「0歳」が多いのに対し、知的障がいでは「2歳」が多くなっています。

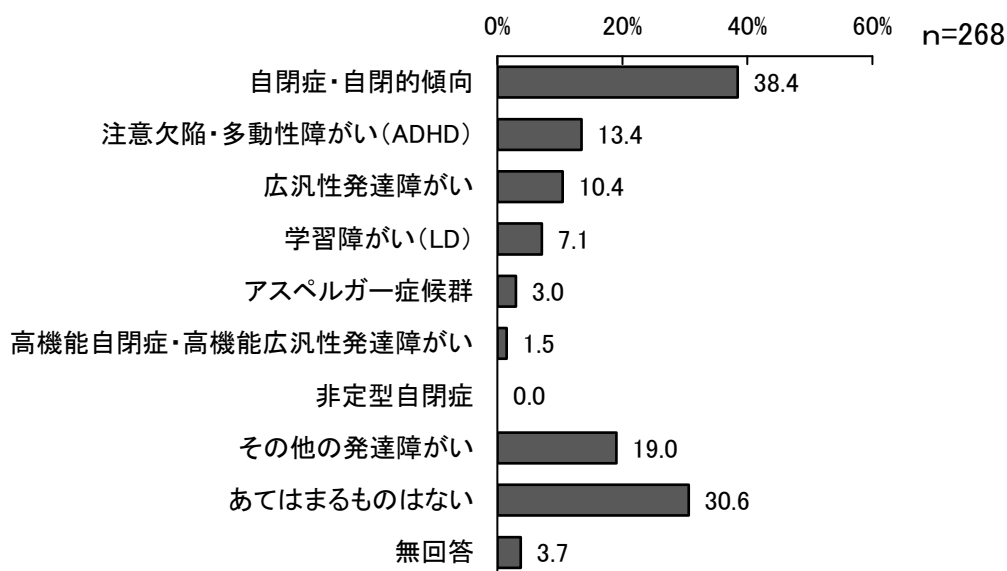
上段:件 下段:%	合計	生まれたとき	0歳	1歳	2歳	3歳	4～5歳	6～8歳	9～11歳
全体	268 100.0	57 21.3	31 11.6	45 16.8	53 19.8	33 12.3	17 6.3	17 6.3	7 2.6
身体障がい	66 100.0	27 40.9	17 25.8	9 13.6	5 7.6	2 3.0	2 3.0	3 4.5	0 0.0
知的障がい	191 100.0	36 18.8	14 7.3	33 17.3	46 24.1	29 15.2	12 6.3	10 5.2	6 3.1

上段:件 下段:%	合計	12歳以上	無回答
全体	268 100.0	5 1.9	3 1.1
身体障がい	66 100.0	0 0.0	1 1.5
知的障がい	191 100.0	3 1.6	2 1.0

(5) 発達障がいの種類

問6 あなたは現在、次のような診断を受けていますか。(あてはまるもの全てに○)

「自閉症・自閉的傾向」が 38.4%と最も多く、次いで「あてはまるものはない」「その他」を除くと、「注意欠陥・多動性障がい (ADHD)」が 13.4%、「広汎性発達障がい」が 10.4%となっています。



上段:件 下段:%	合計	自閉症・ 自閉的傾 向	広汎性発 達障がい	高機能自 閉症・高 機能広汎 性発達障 がい	アスペル ガー症候 群	注意欠 陥・多動 性障がい (ADHD)	学習障が い (LD)	非定型自 閉症	その他の 発達障が い
全体	268 100.0	103 38.4	28 10.4	4 1.5	8 3.0	36 13.4	19 7.1	0 0.0	51 19.0
身体障がい	66 100.0	3 4.5	1 1.5	0 0.0	1 1.5	2 3.0	1 1.5	0 0.0	10 15.2
知的障がい	191 100.0	91 47.6	22 11.5	1 0.5	3 1.6	26 13.6	15 7.9	0 0.0	47 24.6

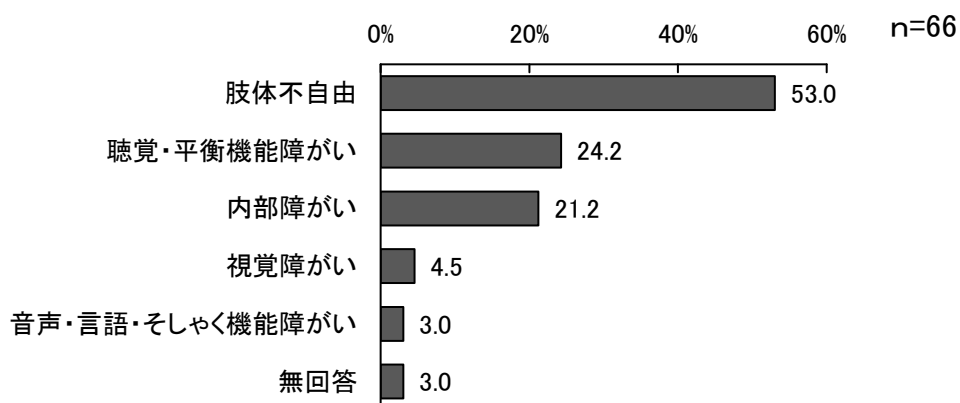
上段:件 下段:%	合計	あてはま るもの はない	無回答
全体	268 100.0	82 30.6	10 3.7
身体障がい	66 100.0	50 75.8	2 3.0
知的障がい	191 100.0	34 17.8	8 4.2

(6) 身体障がいの種類

問7 身体障害者手帳をお持ちの方にお聞きします。

障がいの種類は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

「肢体不自由」が53.0%と最も多く、次いで「聴覚・平衡機能障がい」が24.2%、「内部障がい」が21.2%となっています。



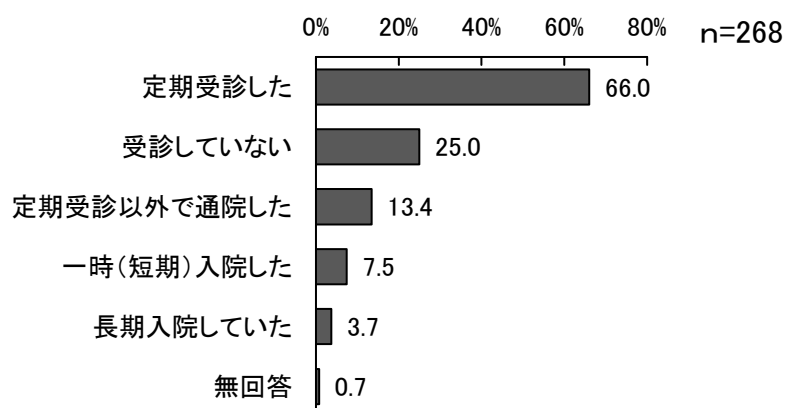
上段: 件 下段: %	合計	視覚障がい	聴覚・平衡機能障がい	音声・言語・そしゃく機能障がい	肢体不自由	内部障がい	無回答
全体	66 100.0	3 4.5	16 24.2	2 3.0	35 53.0	14 21.2	2 3.0

3 医療について

(1) 医療機関の受診状況

問8 あなたは、最近1年間に、障がいや疾病が理由で医療機関を受診しましたか。
(あてはまるもの全てに○)

「定期受診した」が66.0%と最も多く、次いで「受診していない」が25.0%、「定期受診以外で通院した」が13.4%となっています。



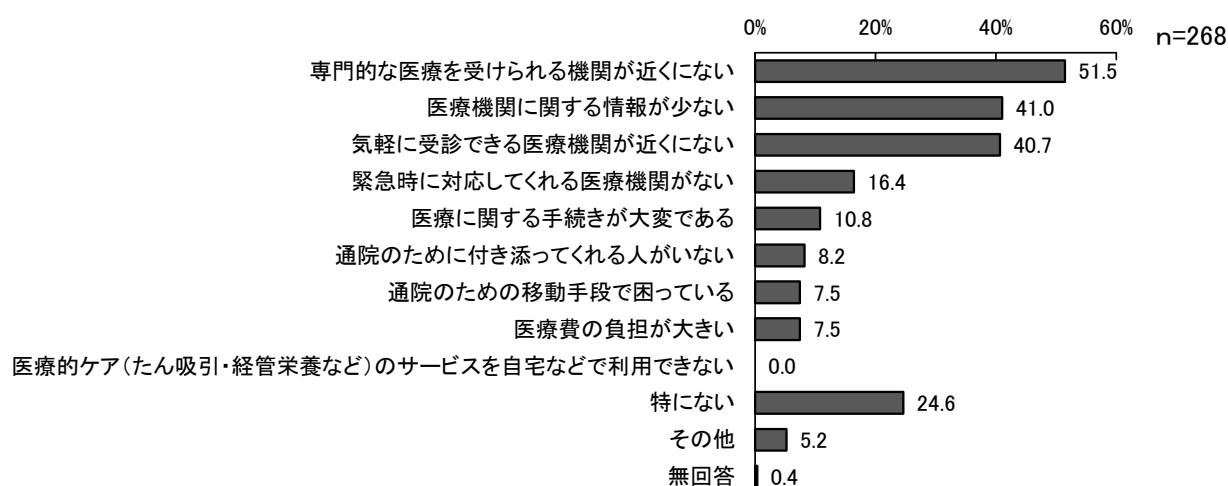
障がい別にみると、身体障がいでは「定期受診した」が比較的多くなっています。

上段:件 下段:%	合計	受診して いない	定期受診 した	定期受診 以外で通 院した	一時(短 期)入院し た	長期入院 していた	無回答
全体	268 100.0	67 25.0	177 66.0	36 13.4	20 7.5	10 3.7	2 0.7
身体障がい	66 100.0	0 0.0	58 87.9	14 21.2	15 22.7	8 12.1	0 0.0
知的障がい	191 100.0	63 33.0	113 59.2	20 10.5	8 4.2	4 2.1	2 1.0

(2) 医療に関して困っていること

問9 あなたや保護者の方には、医療に関して困っていることがありますか。（あてはまるもの全てに○）

全体では「専門的な医療を受けられる機関が近くにない」が51.5%と最も多く、次いで「医療機関に関する情報が少ない」が41.0%、「気軽に受診できる医療機関が近くにない」が40.7%となっています。



障がい別にみると、身体障がいでは「医療に関する手続きが大変である」、知的障がいでは「医療機関に関する情報が少ない」が、他と比較して特に多くなっています。

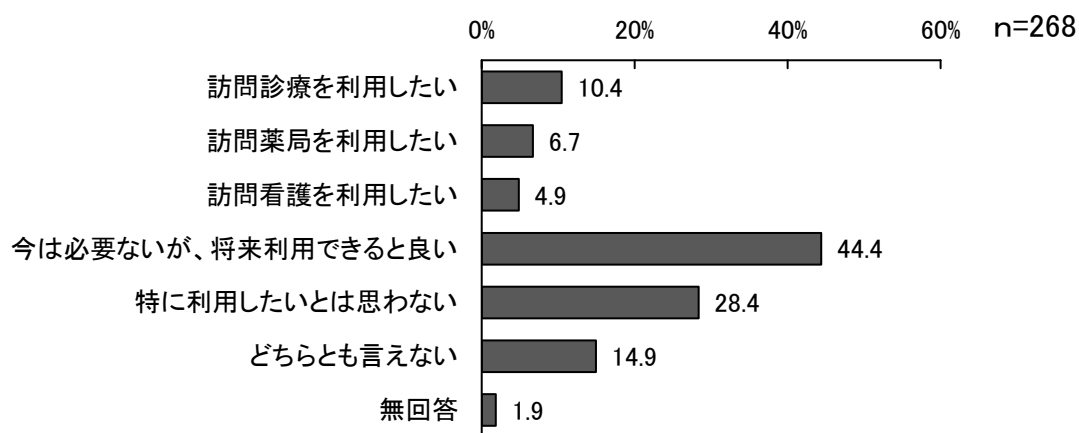
上段:件 下段:%	合計	医療機関に関する情報が少ない	気軽に受診できる医療機関が近くにない	専門的な医療を受けられる機関が近くにない	緊急時に対応してくれる医療機関がない	通院のために付き添ってくれる人がいない	通院のための移動手段で困っている	医療的ケア(たん吸引・経管栄養など)のサービスを自宅などで利用できない	医療費の負担が大きい
全体	268 100.0	110 41.0	109 40.7	138 51.5	44 16.4	22 8.2	20 7.5	0 0.0	20 7.5
身体障がい	66 100.0	14 21.2	19 28.8	31 47.0	9 13.6	6 9.1	7 10.6	0 0.0	5 7.6
知的障がい	191 100.0	85 44.5	83 43.5	103 53.9	37 19.4	16 8.4	13 6.8	0 0.0	15 7.9

上段:件 下段:%	合計	医療に関する手続きが大変である	特にない	その他	無回答
全体	268 100.0	29 10.8	66 24.6	14 5.2	1 0.4
身体障がい	66 100.0	19 28.8	19 28.8	3 4.5	0 0.0
知的障がい	191 100.0	10 5.2	43 22.5	11 5.8	1 0.5

(3) 訪問医療の利用意向

問 10 あなたは、医師が自宅で診察してくれる訪問診療や、看護師が自宅で看護、医療的ケアなどをしてくれる訪問看護、薬剤師が自宅で服薬支援をしてくれる訪問薬局を利用したいと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

全体では、利用したいという回答の中では、「訪問診療を利用したい」が10.4%、「訪問薬局を利用したい」が6.7%、「訪問看護を利用したい」が4.9%となっています。一方、「今は必要ないが、将来利用できると良い」は44.4%、「利用したいと思わない」は28.4%となっています。



障がい別にみると、身体障がいでは「訪問看護を利用したい」「訪問薬局を利用したい」が多くなっています。

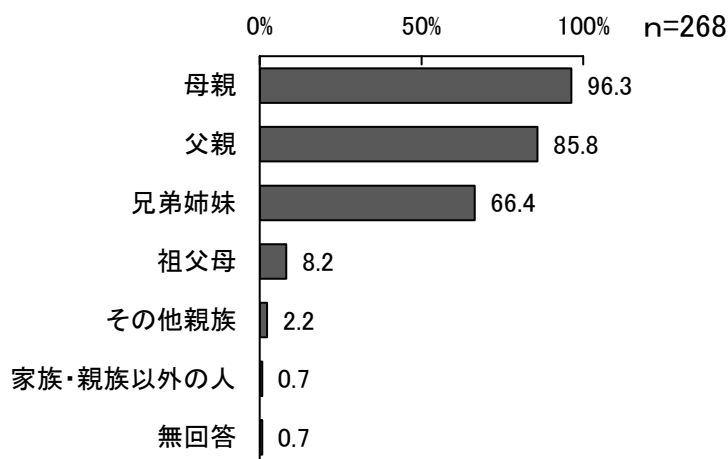
上段: 件 下段: %	合計	訪問診療 を利用し たい	訪問看護 を利用し たい	訪問薬局 を利用し たい	今は必要 ないが、 将来利用 できると 良い	特に利用 したいとは 思わない	どちらとも 言えない	無回答
全体	268 100.0	28 10.4	13 4.9	18 6.7	119 44.4	76 28.4	40 14.9	5 1.9
身体障がい	66 100.0	9 13.6	7 10.6	8 12.1	23 34.8	18 27.3	13 19.7	1 1.5
知的障がい	191 100.0	21 11.0	7 3.7	11 5.8	91 47.6	53 27.7	24 12.6	4 2.1

4 ご家族や介助者について

(1) 同居家族

問 11 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。(あてはまるもの全てに○)

全体では、「母親」が96.3%、「父親」が85.8%、「兄弟姉妹」が66.4%となっています。



障がい別の結果も、ほぼ同様の傾向でした。

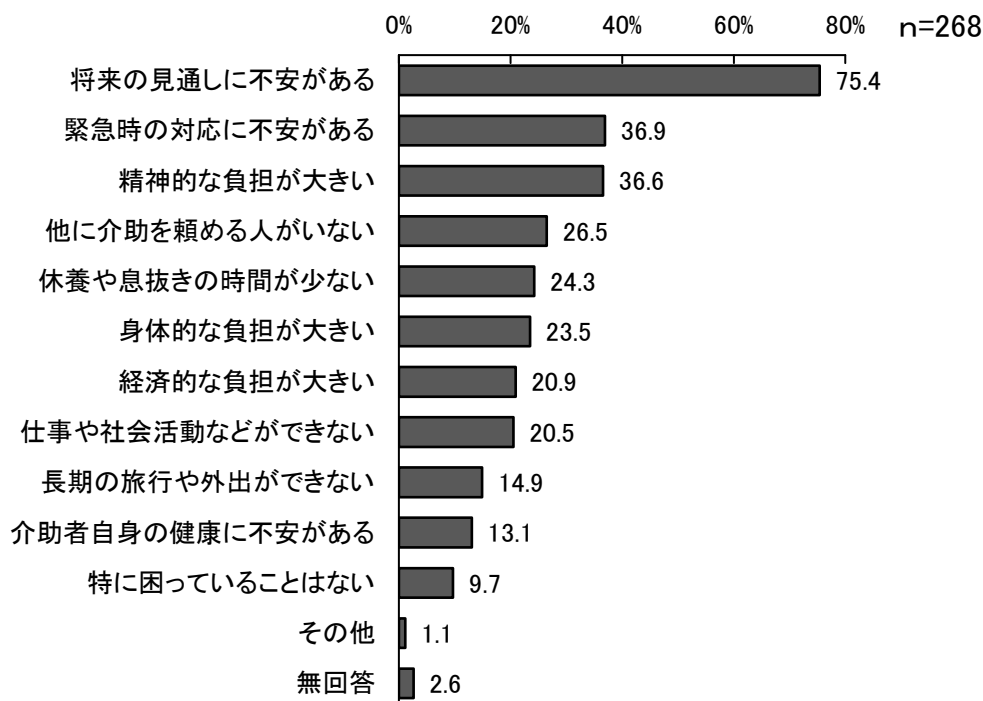
上段: 件 下段: %	合計	母親	父親	兄弟姉妹	祖父母	その他親族	家族・親族以外の人	無回答
全体	268 100.0	258 96.3	230 85.8	178 66.4	22 8.2	6 2.2	2 0.7	2 0.7
身体障がい	66 100.0	64 97.0	60 90.9	45 68.2	6 9.1	0 0.0	0 0.0	2 3.0
知的障がい	191 100.0	184 96.3	163 85.3	127 66.5	16 8.4	6 3.1	1 0.5	0 0.0

(2) 介助者が困っていること

問 12 主に介助しているご家族の方には、困っていることがありますか。

(あてはまるもの全てに○)

全体では、「将来の見通しに不安がある」が75.4%と最も多く、次いで「緊急時の対応に不安がある」が36.9%、「精神的な負担が大きい」が36.6%となっています。



障がい別にみると、身体障がいでは「緊急時の対応に不安がある」「身体的な負担が大きい」、知的障がいでは「将来の見通しに不安がある」が他と比較してやや多くなっています。

上段: 件 下段: %	合計	介助者自身の健康に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	他に介助を頼める人がいない	休養や息抜きの時間が少ない	長期の旅行や外出ができない	仕事や社会活動などができない
全体	268 100.0	35 13.1	63 23.5	98 36.6	56 20.9	71 26.5	65 24.3	40 14.9	55 20.5
身体障がい	66 100.0	8 12.1	25 37.9	19 28.8	16 24.2	21 31.8	15 22.7	17 25.8	13 19.7
知的障がい	191 100.0	25 13.1	37 19.4	69 36.1	33 17.3	49 25.7	46 24.1	24 12.6	42 22.0

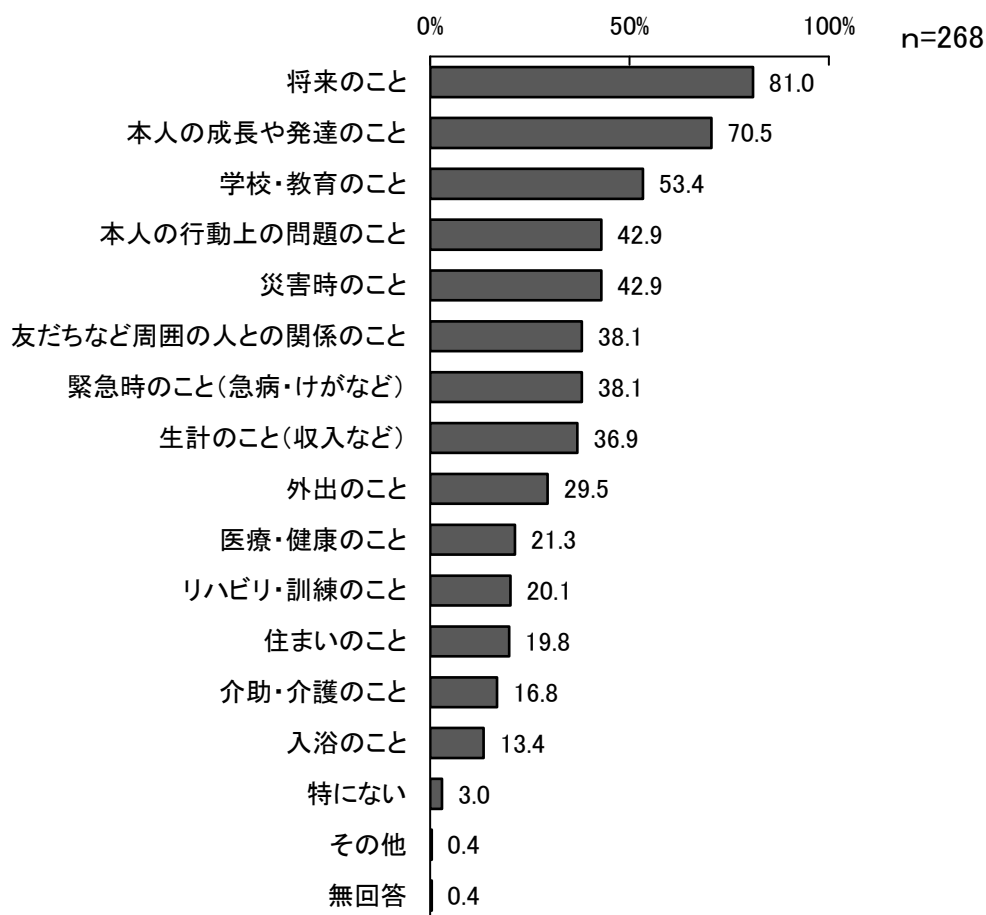
上段: 件 下段: %	合計	緊急時の対応に不安がある	将来の見通しに不安がある	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	268 100.0	99 36.9	202 75.4	26 9.7	3 1.1	7 2.6
身体障がい	66 100.0	28 42.4	43 65.2	8 12.1	1 1.5	1 1.5
知的障がい	191 100.0	70 36.6	150 78.5	16 8.4	2 1.0	6 3.1

5 生活状況について

(1) 日常生活で改善したいこと

問 13 あなたや保護者の方には、日常生活の中で不安に思うことや改善したいことがありますか。（あてはまるもの全てに○）

全体では、「将来のこと」が81.0%と最も多く、次いで「本人の成長や発達のこと」が70.5%、「学校・教育のこと」が53.4%となっています。



障がい別にみると、身体障がいでは「リハビリ・訓練のこと」「入浴のこと」「介助・介護のこと」、知的障がいでは「将来のこと」「本人の行動上の問題のこと」などが他と比較して多くなっています。

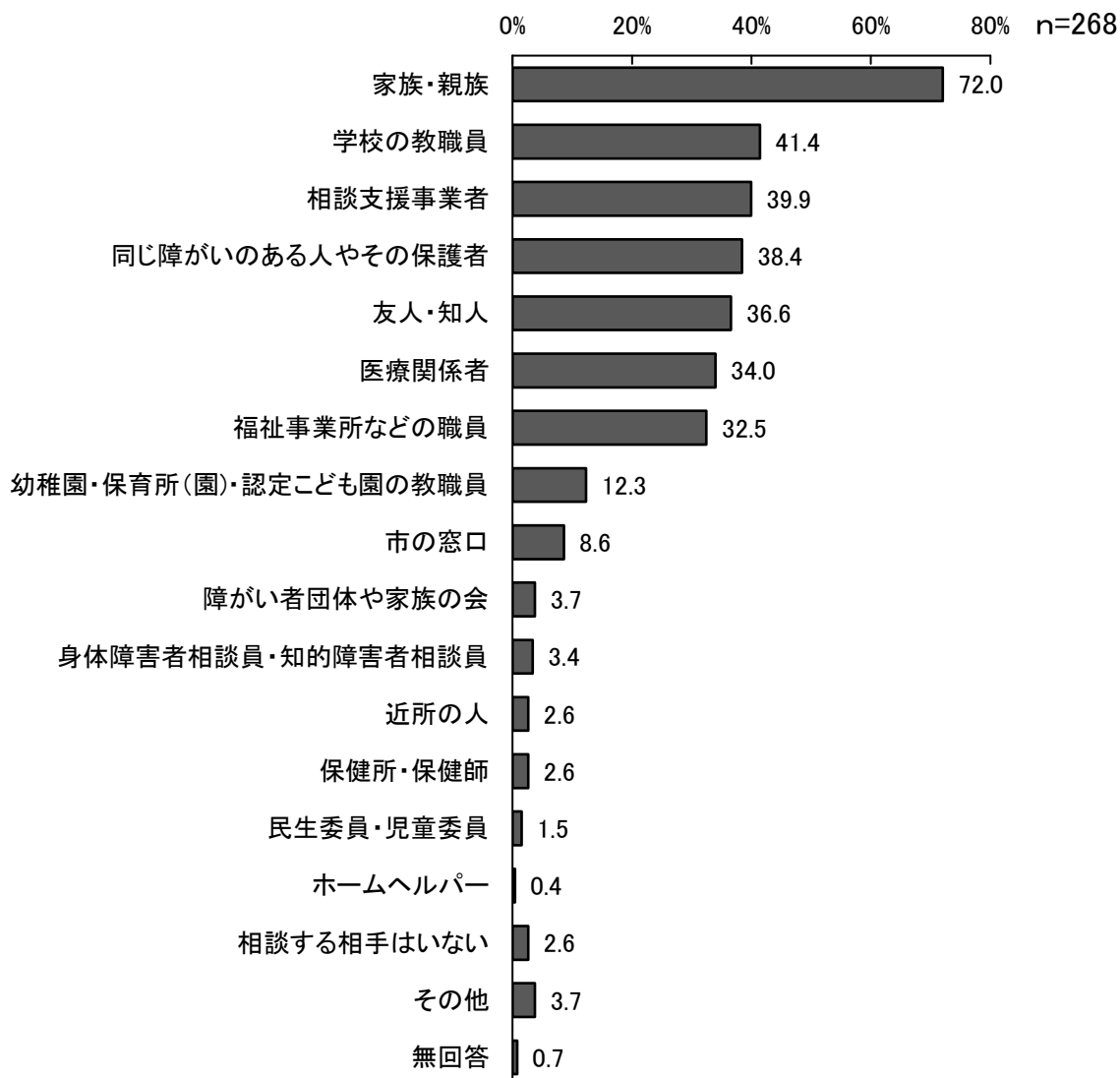
上段:件 下段:%	合計	本人の成長や発達のこと	本人の行動上の問題のこと	介助・介護のこと	入浴のこと	医療・健康のこと	リハビリ・訓練のこと	学校・教育のこと	外出のこと	住まいのこと
全体	268 100.0	189 70.5	115 42.9	45 16.8	36 13.4	57 21.3	54 20.1	143 53.4	79 29.5	53 19.8
身体障がい	66 100.0	45 68.2	11 16.7	20 30.3	18 27.3	20 30.3	24 36.4	35 53.0	19 28.8	20 30.3
知的障がい	191 100.0	136 71.2	94 49.2	31 16.2	23 12.0	40 20.9	34 17.8	100 52.4	59 30.9	32 16.8

上段:件 下段:%	合計	友だちなど周囲の人との関係のこと	緊急時のこと(急病・けがなど)	災害時のこと	生計のこと(収入など)	将来のこと	特にない	その他	無回答
全体	268 100.0	102 38.1	102 38.1	115 42.9	99 36.9	217 81.0	8 3.0	1 0.4	1 0.4
身体障がい	66 100.0	22 33.3	28 42.4	30 45.5	21 31.8	47 71.2	2 3.0	0 0.0	0 0.0
知的障がい	191 100.0	66 34.6	76 39.8	83 43.5	73 38.2	161 84.3	4 2.1	1 0.5	1 0.5

(2) 困ったときの相談先

問 14 あなたや保護者の方は、日常生活で困ったことや悩みについて、誰に相談していますか。（あてはまるもの全てに○）

全体では、「家族・親族」が72.0%と最も多く、次いで「学校の教職員」が41.4%、「相談支援事業者」が39.9%となっています。



障がい別にみると、「家族・親族」以外では、身体障がいでは「医療関係者」、知的障がいでは「学校の教職員」「相談支援事業者」「同じ障がいのある人やその保護者」などが多くなっています。

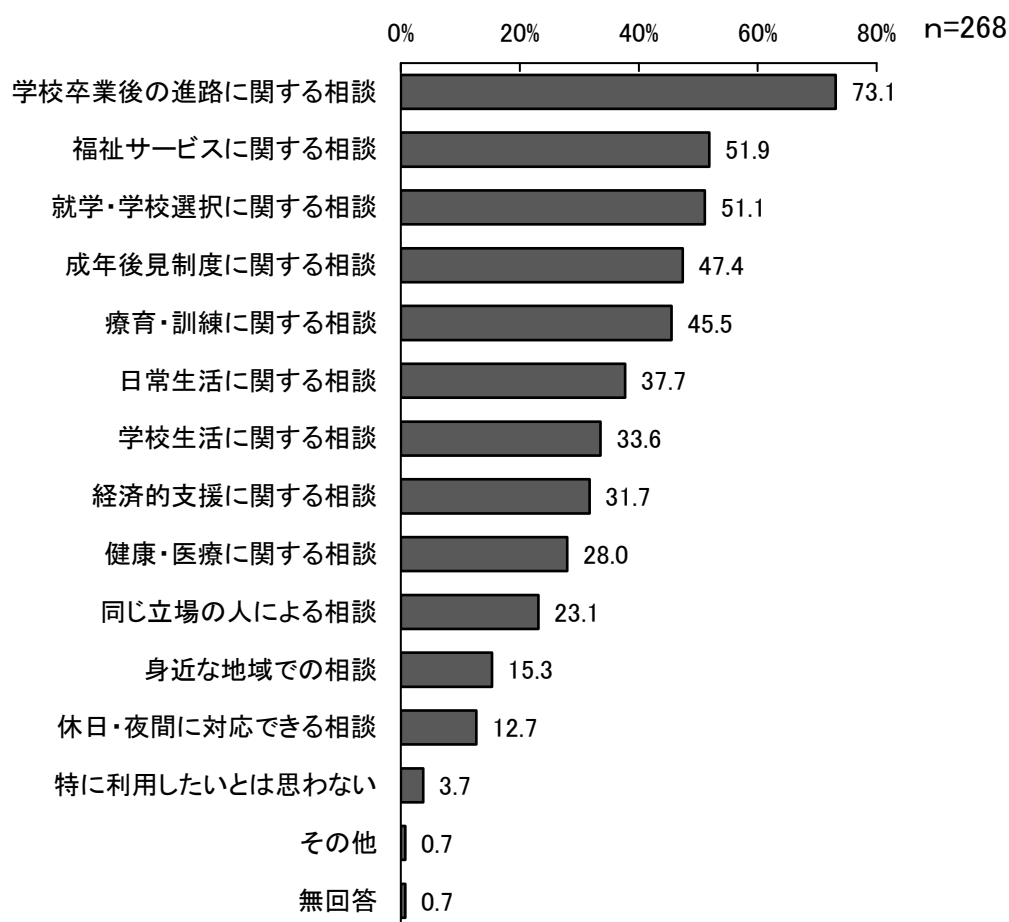
上段:件 下段:%	合計	家族・親族	友人・知人	近所の人	幼稚園・保育所(園)・認定こども園の教職員	学校の教職員	ホームヘルパー	福祉事業所などの職員	相談支援事業者	医療関係者
全体	268 100.0	193 72.0	98 36.6	7 2.6	33 12.3	111 41.4	1 0.4	87 32.5	107 39.9	91 34.0
身体障がい	66 100.0	46 69.7	23 34.8	4 6.1	12 18.2	18 27.3	0 0.0	14 21.2	14 21.2	35 53.0
知的障がい	191 100.0	137 71.7	73 38.2	4 2.1	21 11.0	91 47.6	1 0.5	69 36.1	91 47.6	50 26.2

上段:件 下段:%	合計	障がい者団体や家族の会	同じ障がいのある人やその保護者	民生委員・児童委員	身体障害者相談員・知的障害者相談員	市の窓口	保健所・保健師	相談する相手はいない	その他	無回答
全体	268 100.0	10 3.7	103 38.4	4 1.5	9 3.4	23 8.6	7 2.6	7 2.6	10 3.7	2 0.7
身体障がい	66 100.0	1 1.5	22 33.3	0 0.0	2 3.0	9 13.6	1 1.5	3 4.5	3 4.5	0 0.0
知的障がい	191 100.0	10 5.2	80 41.9	4 2.1	7 3.7	15 7.9	6 3.1	4 2.1	6 3.1	2 1.0

(3) 利用したい相談制度

問 15 あなたや保護者の方は、今後どのような相談を利用したいと思いますか。現在既に相談をしており、継続したい場合も含めます。（あてはまるもの全てに○）

全体では、「学校卒業後の進路に関する相談」が73.1%と最も多く、次いで「福祉サービスに関する相談」が51.9%、「就学・学校選択に関する相談」が51.1%となっています。



障がい別にみると、知的障がいでは「学校卒業後の進路に関する相談」「成年後見制度に関する相談」が他と比較して多くなっています。

上段:件 下段:%	合計	福祉サービスに関する相談	健康・医療に関する相談	療育・訓練に関する相談	就学・学校選択に関する相談	学校生活に関する相談	学校卒業後の進路に関する相談	日常生活に関する相談	成年後見制度に関する相談
全体	268 100.0	139 51.9	75 28.0	122 45.5	137 51.1	90 33.6	196 73.1	101 37.7	127 47.4
身体障がい	66 100.0	32 48.5	23 34.8	23 34.8	33 50.0	23 34.8	36 54.5	25 37.9	14 21.2
知的障がい	191 100.0	105 55.0	53 27.7	94 49.2	97 50.8	60 31.4	152 79.6	71 37.2	112 58.6

上段:件 下段:%	合計	経済的支援に関する相談	休日・夜間に対応できる相談	同じ立場の人による相談	身近な地域での相談	特に利用したいとは思わない	その他	無回答
全体	268 100.0	85 31.7	34 12.7	62 23.1	41 15.3	10 3.7	2 0.7	2 0.7
身体障がい	66 100.0	10 15.2	10 15.2	14 21.2	7 10.6	5 7.6	1 1.5	1 1.5
知的障がい	191 100.0	72 37.7	25 13.1	42 22.0	32 16.8	2 1.0	1 0.5	1 0.5

成年後見制度とは

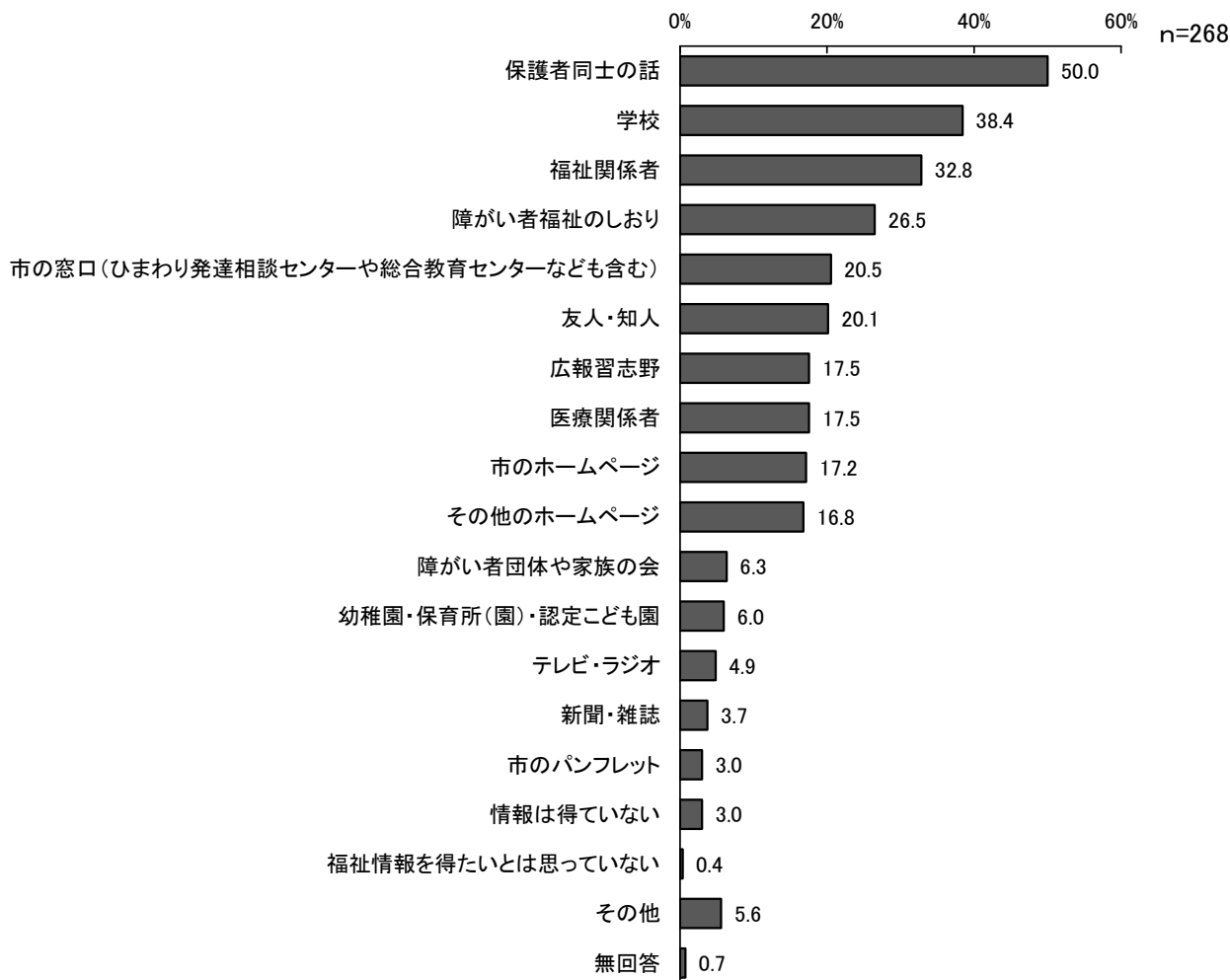
成年後見制度とは、障害などの理由で判断能力が十分でない人を、不利益から守るための制度です。家庭裁判所によって選ばれた成年後見人等が、契約を結ぶ手続きなどを代わりに行ったり、本人が誤って結んでしまった契約などを取り消したりします。

(4) 福祉情報の入手先

問 16 あなたや保護者の方は、福祉に関する情報を主にどこから得ていますか。

(あてはまるもの全てに○)

全体では、「保護者同士の話」が 50.0%と最も多く、次いで「学校」が 38.4%、「福祉関係者」が 32.8%となっています。



障がい別にみると、身体障がいでは「医療関係者」、知的障がいでは「保護者同士の話」「学校」「福祉関係者」が多くなっています。

上段:件 下段:%	合計	広報習志 野	障がい者 福祉のし おり	市のパン フレット	市のホー ムページ	その他の ホーム ページ	新聞・雑 誌	テレビ・ラ ジオ	保護者同 士の話	友人・知 人	学校
全体	268 100.0	47 17.5	71 26.5	8 3.0	46 17.2	45 16.8	10 3.7	13 4.9	134 50.0	54 20.1	103 38.4
身体障がい	66 100.0	15 22.7	21 31.8	3 4.5	13 19.7	9 13.6	2 3.0	2 3.0	22 33.3	12 18.2	19 28.8
知的障がい	191 100.0	30 15.7	43 22.5	5 2.6	32 16.8	28 14.7	9 4.7	12 6.3	110 57.6	43 22.5	85 44.5

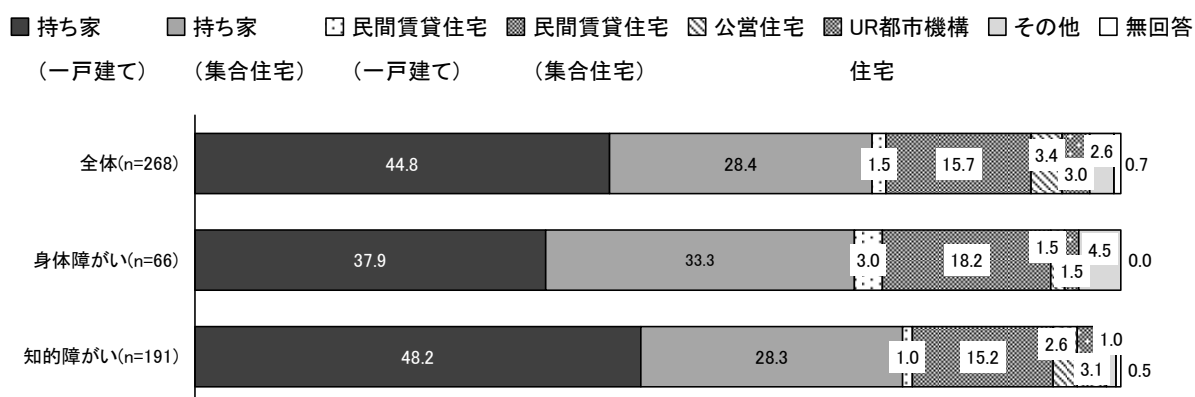
上段:件 下段:%	合計	幼稚園・ 保育所 (園)・認 定こども 園	福祉関係 者	医療関係 者	障がい者 団体や家 族の会	市の窓口 (ひまわり 発達相談 センター や総合教 育セン ターなど 含む)	情報は得 ていない	福祉情報 を得たい とは思っ ていない	その他	無回答
全体	268 100.0	16 6.0	88 32.8	47 17.5	17 6.3	55 20.5	8 3.0	1 0.4	15 5.6	2 0.7
身体障がい	66 100.0	4 6.1	12 18.2	22 33.3	3 4.5	14 21.2	1 1.5	1 1.5	5 7.6	1 1.5
知的障がい	191 100.0	11 5.8	72 37.7	25 13.1	15 7.9	41 21.5	6 3.1	0 0.0	10 5.2	1 0.5

(5) 住まいの種類

問 17 あなたのお住まいの種類をお聞きします。(あてはまるもの一つに○)

全体では、「持ち家（一戸建て）」が44.8%と最も多く、次いで「持ち家（集合住宅）」が28.4%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が15.7%となっています。

障がい別にみると、「持ち家（一戸建て）」は知的障がいの方が多くなっています。



上段:件 下段:%	合計	持ち家 (一戸建 て)	持ち家 (集合住 宅)	民間賃貸 住宅(一 戸建て)	民間賃貸 住宅(集 合住宅)	公営住宅	UR都市機 構住宅	その他	無回答
全体	268 100.0	120 44.8	76 28.4	4 1.5	42 15.7	9 3.4	8 3.0	7 2.6	2 0.7
身体障がい	66 100.0	25 37.9	22 33.3	2 3.0	12 18.2	1 1.5	1 1.5	3 4.5	0 0.0
知的障がい	191 100.0	92 48.2	54 28.3	2 1.0	29 15.2	5 2.6	6 3.1	2 1.0	1 0.5

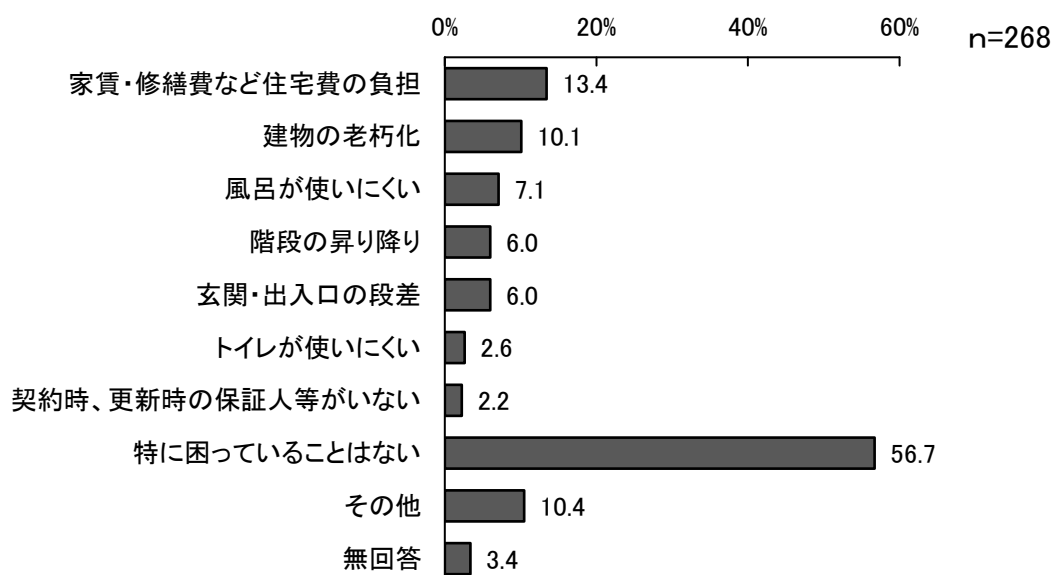
(6) 住まいについて困っていること

問 18 あなたや保護者の方には、住まいについて困っていることがありますか。

(あてはまるもの全てに○)

全体では、「家賃・修繕費など住宅費の負担」が 13.4%と最も多く、次いで「建物の老朽化」が 10.1%、「風呂が使いにくい」が 7.1%、となっています。

障がい別にみると、身体障がいでは「玄関・出入口の段差」「階段の昇り降り」「風呂が使いにくい」が多くなっています。



上段: 件 下段: %	合計	階段の昇り降り	玄関・出入口の段差	風呂が使いにくい	トイレが使いにくい	建物の老朽化	家賃・修繕費など住宅費の負担	契約時、更新時の保証人等がない	特に困っていることはない
全体	268 100.0	16 6.0	16 6.0	19 7.1	7 2.6	27 10.1	36 13.4	6 2.2	152 56.7
身体障がい	66 100.0	13 19.7	14 21.2	14 21.2	5 7.6	5 7.6	8 12.1	0 0.0	29 43.9
知的障がい	191 100.0	5 2.6	4 2.1	5 2.6	2 1.0	21 11.0	26 13.6	5 2.6	115 60.2

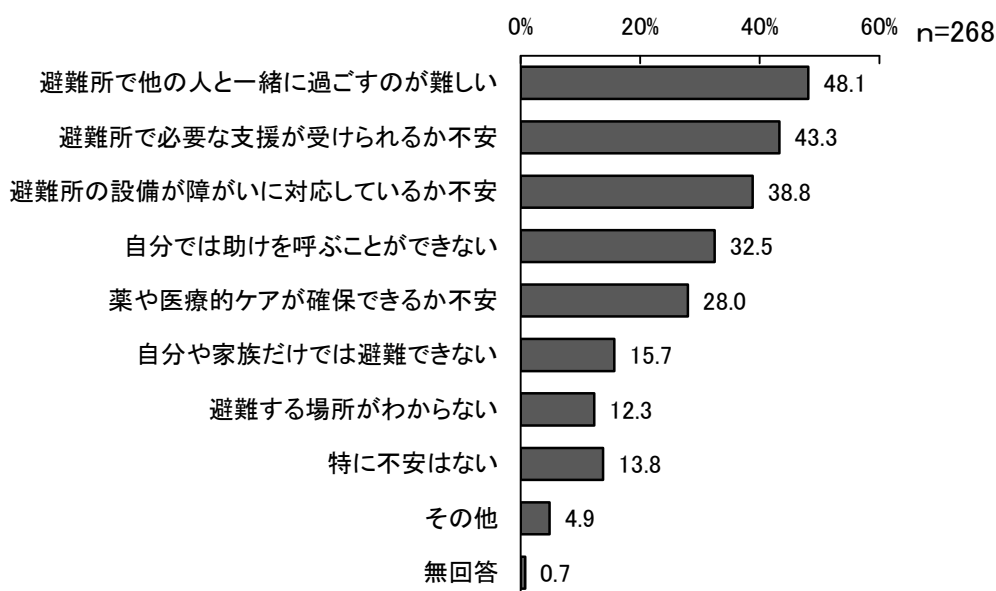
上段: 件 下段: %	合計	その他	無回答
全体	268 100.0	28 10.4	9 3.4
身体障がい	66 100.0	6 9.1	1 1.5
知的障がい	191 100.0	19 9.9	9 4.7

6 防災について

(1) 災害時不安に思うこと

問 19 あなたや保護者の方は、地震などの災害が起きたときのことについて、どのようなことに不安を感じていますか。（あてはまるもの全てに○）

全体では、「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」が 48.1%と最も多く、次いで「避難所で必要な支援が受けられるか不安」が 43.3%、「避難所の設備が障がいに対応しているか不安」が 38.8%となっています。



障がい別にみると、身体障がいでは「薬や医療的ケアが確保できるか不安」「避難所の設備が障がいに対応しているか不安」、知的障がいでは「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」などが多くなっています。

上段: 件 下段: %	合計	自分や家族だけでは避難できない	避難する場所がわからない	自分では助けを呼ぶことができない	避難所の設備が障がいに対応しているか不安	避難所で必要な支援が受けられるか不安	避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい	薬や医療的ケアが確保できるか不安	特に不安はない
全体	268 100.0	42 15.7	33 12.3	87 32.5	104 38.8	116 43.3	129 48.1	75 28.0	37 13.8
身体障がい	66 100.0	21 31.8	6 9.1	13 19.7	33 50.0	32 48.5	18 27.3	34 51.5	8 12.1
知的障がい	191 100.0	22 11.5	24 12.6	72 37.7	74 38.7	80 41.9	104 54.5	42 22.0	24 12.6

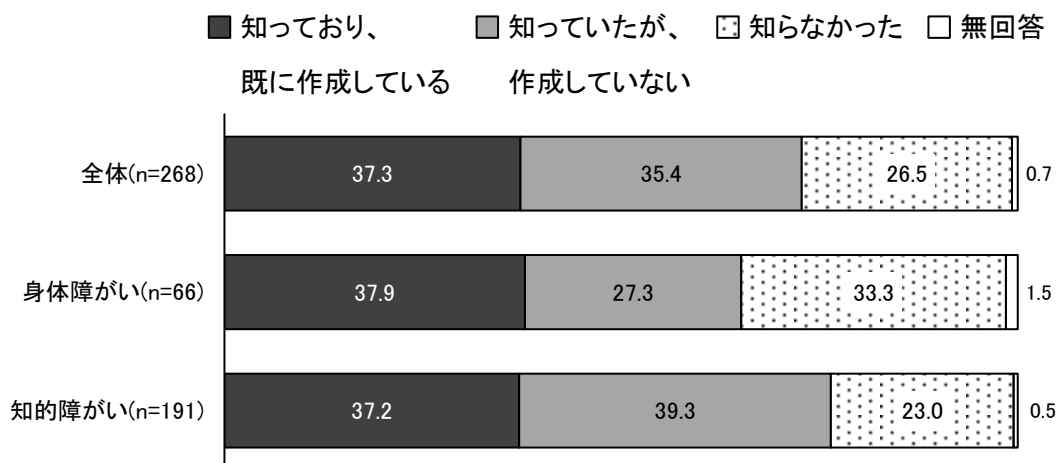
上段: 件 下段: %	合計	その他	無回答
全体	268 100.0	13 4.9	2 0.7
身体障がい	66 100.0	5 7.6	0 0.0
知的障がい	191 100.0	7 3.7	2 1.0

7 保育・教育について

(1) ライフサポートファイルの認知・作成状況

問 20 保護者の方は、ライフサポートファイル(*)をご存じですか。また、ご存じの方は、既に作成しているかどうかもお答えください。(あてはまるもの一つに○)

全体では、「知っており、既に作成している」が37.3%と最も多く、次いで「知っていたが、作成していない」が35.4%、「知らなかった」が26.5%となっています。



障がい別で見ると、身体障がいでは「知らなかった」、知的障がいでは「知っていたが、作成していない」が多くなっています。

上段: 件 下段: %	合計	知っており、既に作成している	知っていたが、作成していない	知らなかった	無回答
全体	268 100.0	100 37.3	95 35.4	71 26.5	2 0.7
身体障がい	66 100.0	25 37.9	18 27.3	22 33.3	1 1.5
知的障がい	191 100.0	71 37.2	75 39.3	44 23.0	1 0.5

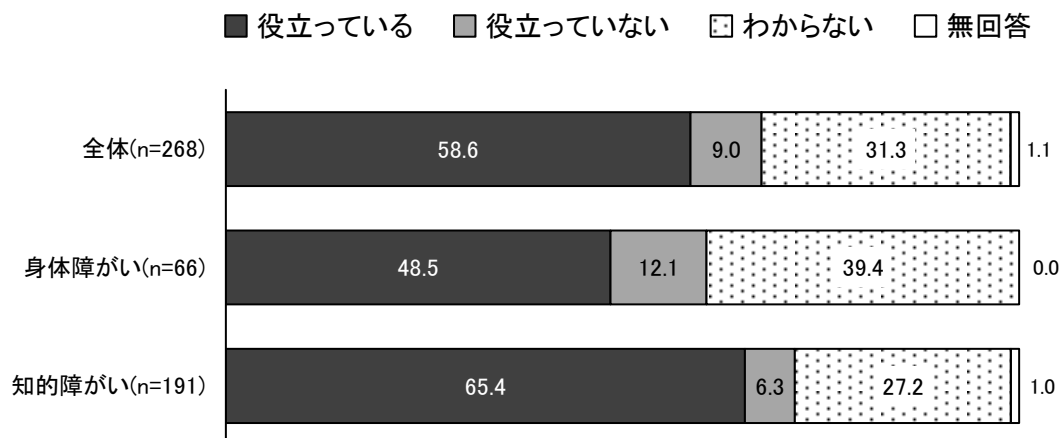
ライフサポートファイルについて

「ライフサポートファイル」は、保護者の皆さんがお子さんの成長の記録として残したいことや、保育施設・学校・相談、医療機関などに伝えたい事をまとめるためのツールです。

(2) 個別支援計画について

問 21 保護者の方にお聞きします。所属園や在籍校と作成する「個別支援計画」(*)は役立っていますか。(あてはまるもの一つに○)

全体では、「役立っている」が 58.6%、「役立っていない」が 9.0%、「わからない」が 31.3%となっています。



障がい別にみると、知的障がいでは「役立っている」が多くなっています。

上段: 件 下段: %	合計	役立って いる	役に立 てない	わから ない	無回答
全体	268 100.0	157 58.6	24 9.0	84 31.3	3 1.1
身体障がい	66 100.0	32 48.5	8 12.1	26 39.4	0 0.0
知的障がい	191 100.0	125 65.4	12 6.3	52 27.2	2 1.0

個別支援計画について

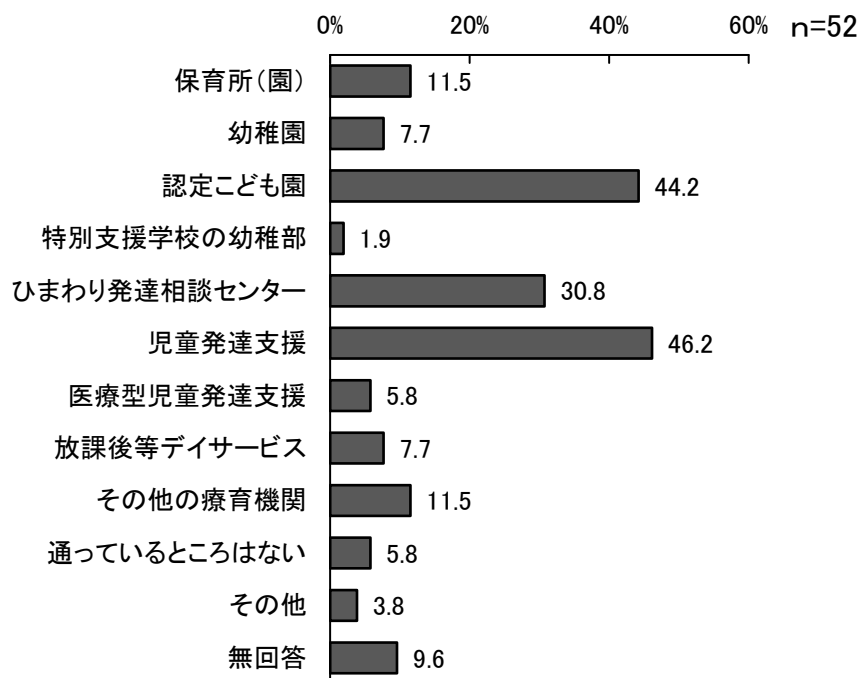
「個別支援計画」は、成長・発達に心配のあるお子さんを支援するための計画です。お子さんの状態やこれまでの経過、支援方針などの情報がまとめてあり、支援者や支援環境が変わっても継続した支援を行うことができます。

問 22 から問 24 は、あて名ご本人が **小学校入学前** の方にお聞きしました。

(3) 現在通っているところ (小学校入学前)

問 22 あなたには、現在通っているところがありますか。(あてはまるもの全てに○)

全体では、「児童発達支援」が 46.2%と最も多く、次いで「認定こども園」が 44.2%、「ひまわり発達相談センター」が 30.8%となっています。



障がい別にみると、身体障がいでは「認定こども園」、知的障がいでは「児童発達支援」が多くなっています。

上段:件 下段:%	合計	保育所 (園)	幼稚園	認定こど も園	特別支援 学校の幼 稚部	ひまわり 発達相談 センター	児童発達 支援	医療型児 童発達支 援	放課後等 デイサー ビス
全体	52 100.0	6 11.5	4 7.7	23 44.2	1 1.9	16 30.8	24 46.2	3 5.8	4 7.7
身体障がい	19 100.0	1 5.3	1 5.3	11 57.9	1 5.3	3 15.8	2 10.5	3 15.8	0 0.0
知的障がい	32 100.0	5 15.6	2 6.3	12 37.5	0 0.0	11 34.4	21 65.6	1 3.1	3 9.4

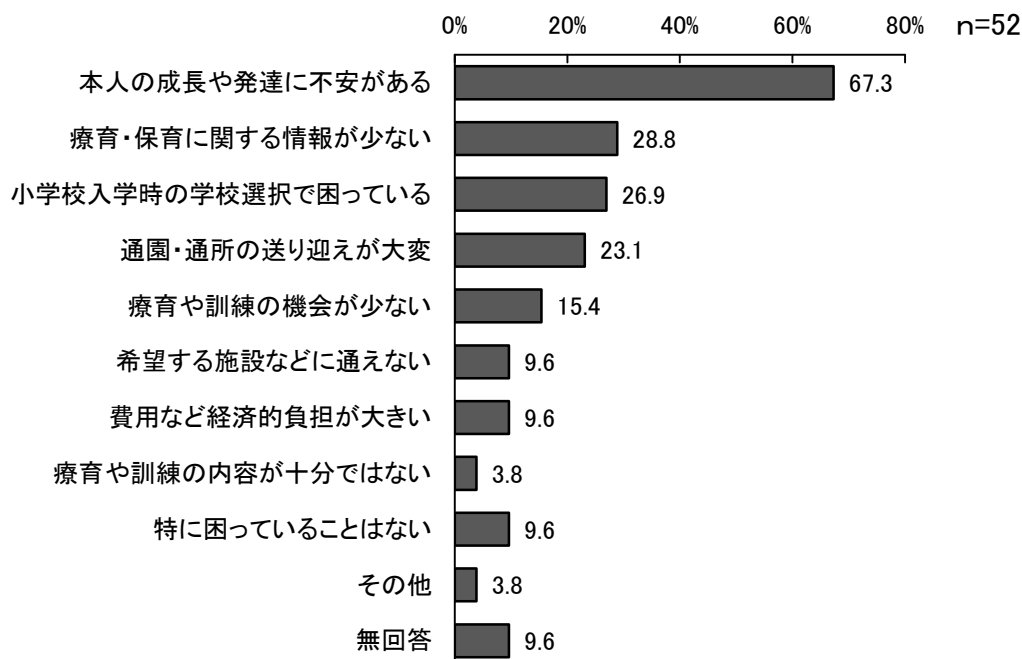
上段:件 下段:%	合計	その他の 療育機関	通ってい るところは ない	その他	無回答
全体	52 100.0	6 11.5	3 5.8	2 3.8	5 9.6
身体障がい	19 100.0	4 21.1	3 15.8	1 5.3	1 5.3
知的障がい	32 100.0	2 6.3	0 0.0	1 3.1	4 12.5

(4) 療育・保育に関する困りごと

問 23 保護者の方には、療育・保育に関して困っていることがありますか。

(あてはまるもの全てに○)

全体では、「本人の成長や発達に不安がある」が67.3%と最も多く、次いで「療育・保育に関する情報が少ない」が28.8%、「小学校入学時の学校選択で困っている」が26.9%となっています。



障がい別の結果も、ほぼ同様の傾向でした。

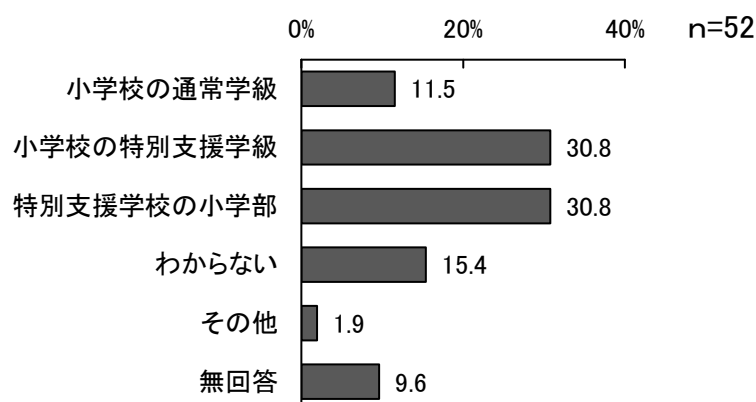
上段:件 下段:%	合計	本人の成長や発達に不安がある	療育・保育に関する情報が少ない	希望する施設などに通えない	療育や訓練の機会が少ない	療育や訓練の内容が十分ではない	通園・通所の送り迎えが大変	費用など経済的負担が大きい	小学校入学時の学校選択で困っている
全体	52 100.0	35 67.3	15 28.8	5 9.6	8 15.4	2 3.8	12 23.1	5 9.6	14 26.9
身体障がい	19 100.0	12 63.2	5 26.3	1 5.3	2 10.5	0 0.0	5 26.3	1 5.3	5 26.3
知的障がい	32 100.0	23 71.9	10 31.3	4 12.5	6 18.8	2 6.3	7 21.9	4 12.5	9 28.1

上段:件 下段:%	合計	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	52 100.0	5 9.6	2 3.8	5 9.6
身体障がい	19 100.0	1 5.3	2 10.5	1 5.3
知的障がい	32 100.0	3 9.4	0 0.0	4 12.5

(5) 小学校入学時の進路希望

問 24 小学校（小学部）に入学するとき、保護者の方は、どの学校・学級に通わせたいと思いますか。（最もあてはまるもの一つに○）

全体では、「小学校の特別支援学級」と「特別支援学校の小学部」が 30.8%、「小学校の通常学級」が 11.5%、「わからない」が 15.4%となっています。



障がい別にみると、身体障がいでは「小学校の通常学級」、知的障がいでは「特別支援学校の小学部」が多くなっています。

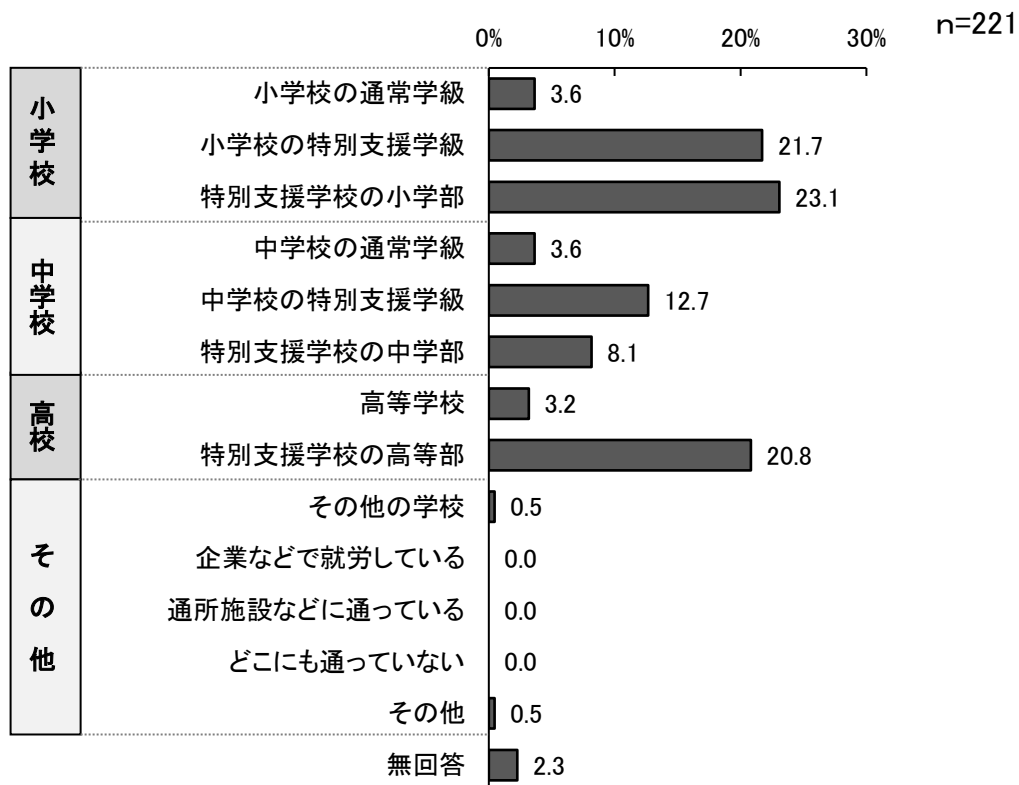
上段:件 下段:%	合計	小学校の 通常学級	小学校の 特別支援 学級	特別支援 学校の小 学部	わからな い	その他	無回答
全体	52 100.0	6 11.5	16 30.8	16 30.8	8 15.4	1 1.9	5 9.6
身体障がい	19 100.0	6 31.6	4 21.1	5 26.3	2 10.5	1 5.3	1 5.3
知的障がい	32 100.0	0 0.0	11 34.4	13 40.6	4 12.5	0 0.0	4 12.5

問25から問28は、あて名ご本人が **在学中** または **学校卒業後** の方にお聞きしました。

(6) 現在通っているところ (在学中・学校卒業後)

問25 あなたは現在、主にどこに通っていますか。(あてはまる番号一つに○)

全体では、「特別支援学校の小学部」が23.1%と最も多く、次いで「小学校の特別支援学級」が21.7%、「特別支援学校の高等部」が20.8%となっています。



上段:件 下段:%	合計	小学校の 通常学級	小学校の 特別支援 学級	特別支援 学校の小 学部	中学校の 通常学級	中学校の 特別支援 学級	特別支援 学校の中 学部	高等学校	特別支援 学校の高 等部
全体	221 100.0	8 3.6	48 21.7	51 23.1	8 3.6	28 12.7	18 8.1	7 3.2	46 20.8
身体障がい	48 100.0	5 10.4	4 8.3	19 39.6	4 8.3	0 0.0	8 16.7	0 0.0	7 14.6
知的障がい	163 100.0	0 0.0	42 25.8	35 21.5	2 1.2	25 15.3	12 7.4	3 1.8	39 23.9

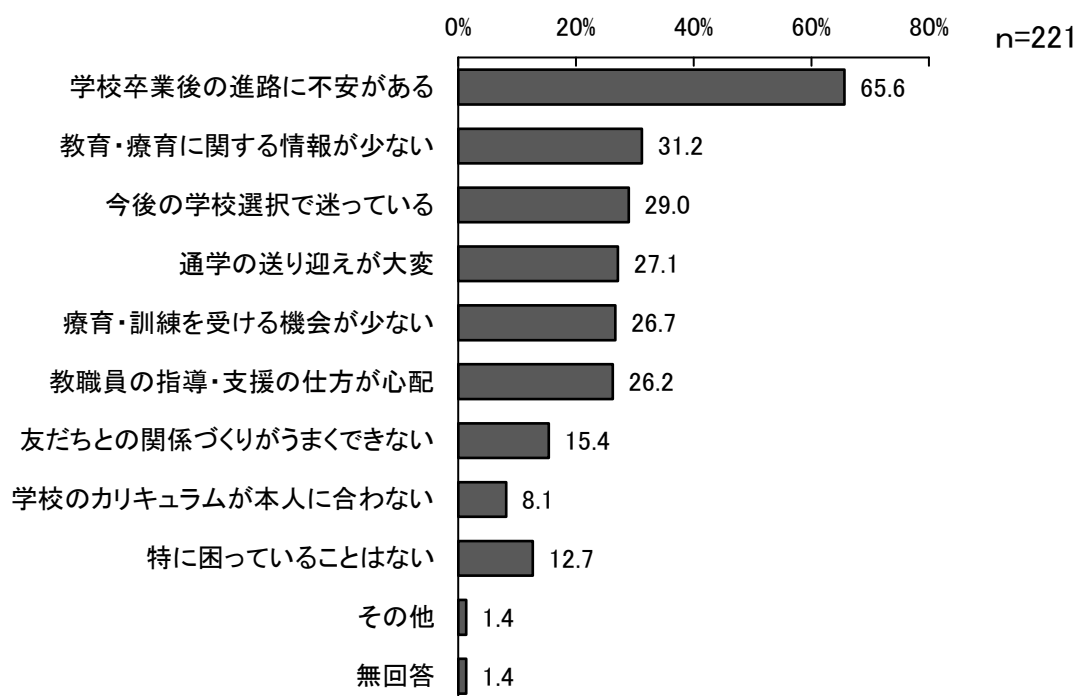
上段:件 下段:%	合計	その他の 学校	企業など で就労し ている	通所施設 などに 通ってい る	どこにも 通ってい ない	その他	無回答
全体	221 100.0	1 0.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.5	5 2.3
身体障がい	48 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.1
知的障がい	163 100.0	1 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 2.5

(7) 学校・教育について困っていること

問 26 あなたや保護者の方には、学校・教育について困っていることがありますか。

(あてはまるもの全てに○)

全体では、「学校卒業後の進路に不安がある」が65.6%と最も多く、次いで「教育・療育に関する情報が少ない」が31.2%、「今後の学校選択で迷っている」が29.0%となっています。



障がい別でみると、知的障がいでは「学校卒業後の進路に不安がある」が特に多くなっています。

上段: 件 下段: %	合計	教育・療育に関する情報が少ない	療育・訓練を受ける機会が少ない	通学の送り迎えが大変	教職員の指導・支援の仕方が心配	学校のカリキュラムが本人に合わない	友だちとの関係づくりがうまくできない	今後の学校選択で迷っている	学校卒業後の進路に不安がある
全体	221 100.0	69 31.2	59 26.7	60 27.1	58 26.2	18 8.1	34 15.4	64 29.0	145 65.6
身体障がい	48 100.0	12 25.0	13 27.1	15 31.3	11 22.9	3 6.3	6 12.5	13 27.1	23 47.9
知的障がい	163 100.0	55 33.7	45 27.6	48 29.4	43 26.4	13 8.0	21 12.9	44 27.0	114 69.9

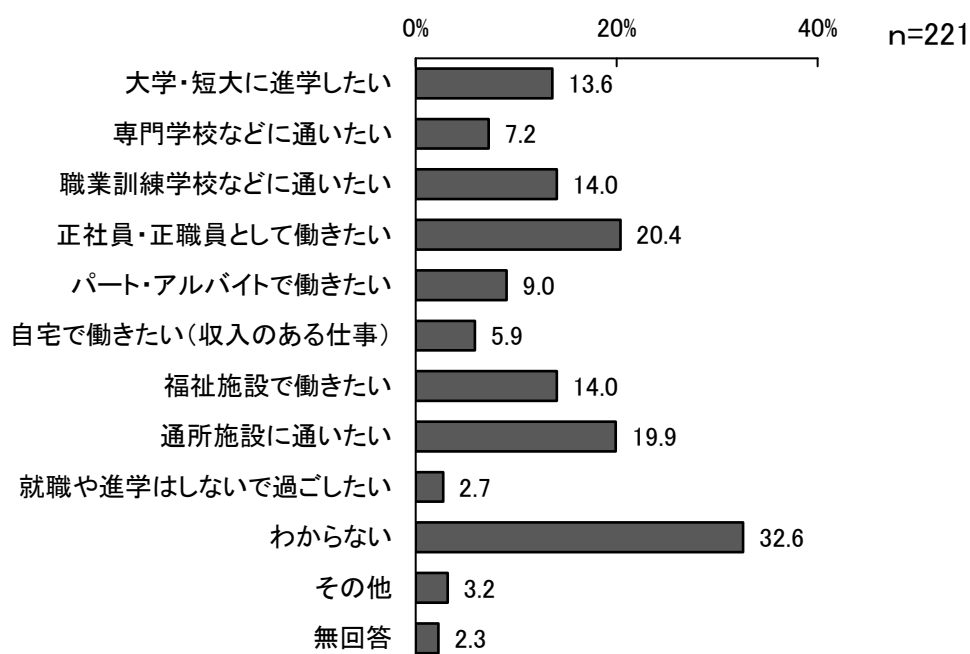
上段: 件 下段: %	合計	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	221 100.0	28 12.7	3 1.4	3 1.4
身体障がい	48 100.0	9 18.8	0 0.0	1 2.1
知的障がい	163 100.0	17 10.4	3 1.8	2 1.2

(7) 学校卒業後の進路希望

問27 あなたは、学校卒業後、どのような進路を希望していますか。

(あてはまるもの全てに○)

全体では、「わからない」を除くと、「正社員・正職員として働きたい」が20.4%と最も多く、次いで「通所施設に通いたい」が19.9%、「職業訓練学校などに通いたい」「福祉施設で働きたい」が14.0%となっています。



障がい別にみると、身体障がいでは「大学・短大に進学したい」、知的障がいでは「通所施設に通いたい」が多くなっています。

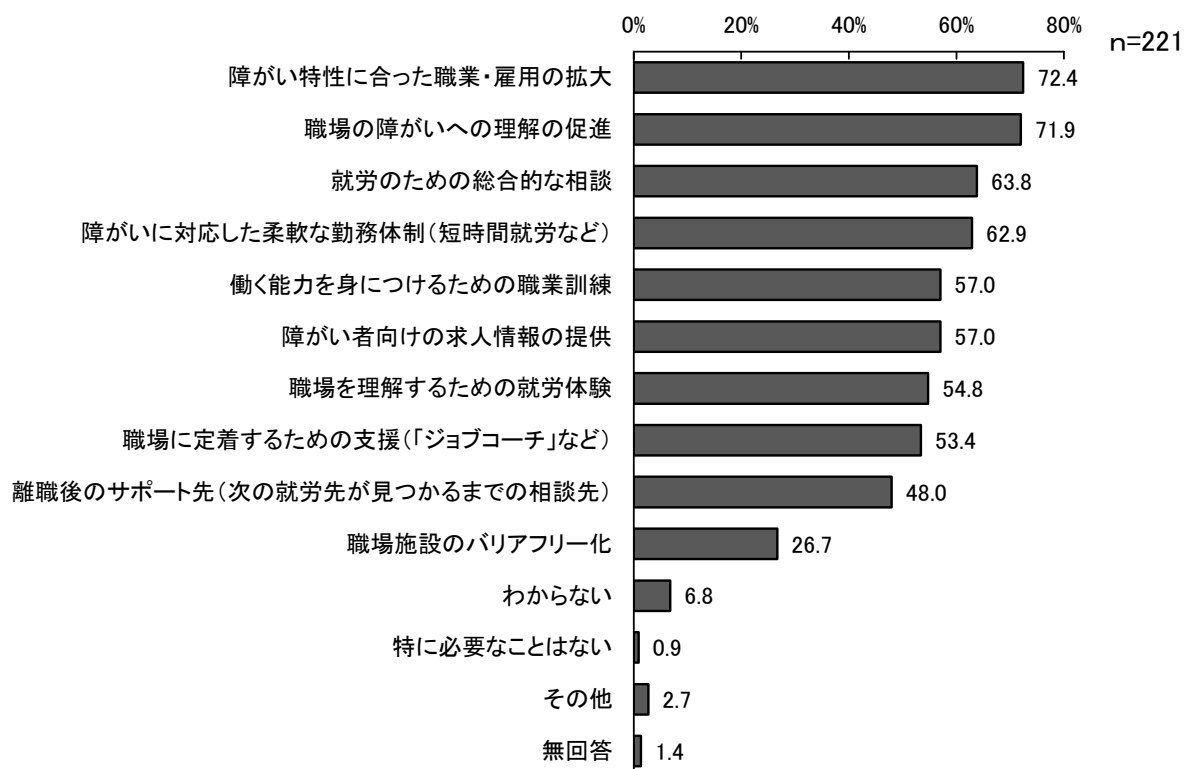
上段:件 下段:%	合計	大学・短大に進学したい	専門学校などに通いたい	職業訓練学校などに通いたい	正社員・正職員として働きたい	パート・アルバイトで働きたい	自宅で働きたい(収入のある仕事)	福祉施設で働きたい	通所施設に通いたい
全体	221 100.0	30 13.6	16 7.2	31 14.0	45 20.4	20 9.0	13 5.9	31 14.0	44 19.9
身体障がい	48 100.0	16 33.3	5 10.4	2 4.2	4 8.3	0 0.0	4 8.3	3 6.3	8 16.7
知的障がい	163 100.0	6 3.7	8 4.9	30 18.4	36 22.1	18 11.0	7 4.3	29 17.8	39 23.9

上段:件 下段:%	合計	就職や進学はしないで過ごしたい	わからない	その他	無回答
全体	221 100.0	6 2.7	72 32.6	7 3.2	5 2.3
身体障がい	48 100.0	1 2.1	14 29.2	2 4.2	1 2.1
知的障がい	163 100.0	4 2.5	54 33.1	5 3.1	4 2.5

(8) 一般就労に必要なこと

問28 あなたは、障がいのある人が企業などで働くためには、どのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

全体では、「障がい特性に合った職業・雇用の拡大」が72.4%と最も多く、次いで「職場の障がいへの理解の促進」が71.9%、「就労のための総合的な相談」が63.8%となっています。



障がい別にみると、身体障がいでは「職場の障がいへの理解の促進」、知的障がいでは「障がい特性に合った職業・雇用の拡大」が多くなっています。

上段:件 下段:%	合計	就労のための総合的な相談	働く能力を身につけるための職業訓練	職場を理解するための就労体験	障がい特性に合った職業・雇用の拡大	障がい者向けの求人情報の提供	職場の障がいへの理解の促進	職場施設のバリアフリー化	障がいに対応した柔軟な勤務体制(短時間就労など)
全体	221 100.0	141 63.8	126 57.0	121 54.8	160 72.4	126 57.0	159 71.9	59 26.7	139 62.9
身体障がい	48 100.0	28 58.3	17 35.4	17 35.4	24 50.0	20 41.7	34 70.8	24 50.0	25 52.1
知的障がい	163 100.0	111 68.1	108 66.3	99 60.7	129 79.1	101 62.0	120 73.6	38 23.3	109 66.9

上段:件 下段:%	合計	職場に定着するための支援(「ジョブコーチ」など)	離職後のサポート先(次の就労先が見つかるまでの相談先)	わからない	特に必要なことはない	その他	無回答
全体	221 100.0	118 53.4	106 48.0	15 6.8	2 0.9	6 2.7	3 1.4
身体障がい	48 100.0	17 35.4	16 33.3	7 14.6	1 2.1	0 0.0	1 2.1
知的障がい	163 100.0	96 58.9	83 50.9	5 3.1	0 0.0	5 3.1	2 1.2

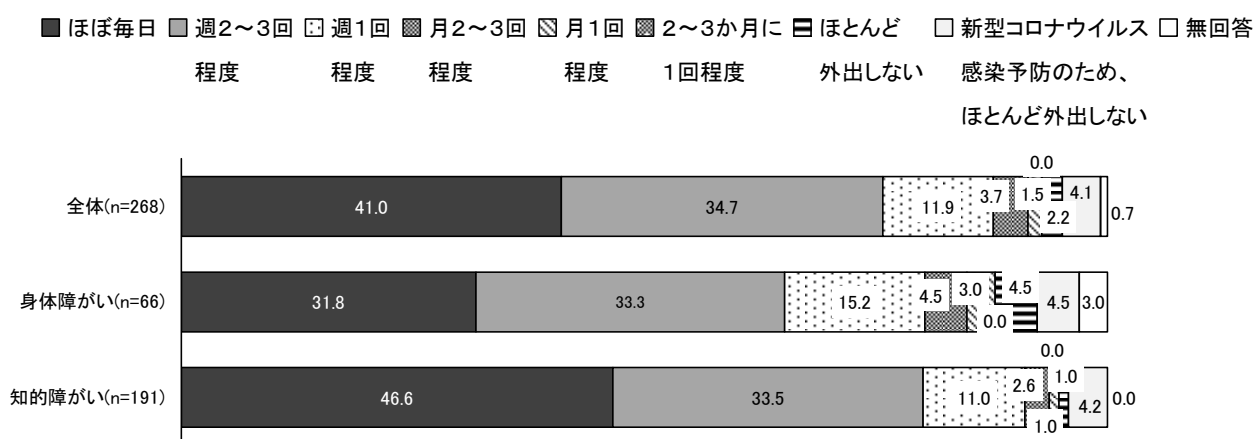
8 社会参加について

(1) 外出の頻度

問 29 あなたは、通園・通学以外に、どのくらいの頻度で外出しますか。通園・通学した日でも、通っている学校等以外にどこかへ出かけている場合は、外出した日に含めてお答えください。（あてはまるもの一つに○）

全体では、「ほぼ毎日」が41.0%と最も多く、次いで「週2～3回程度」が34.7%、「週1回程度」が11.9%となっています。

障がい別にみると、知的障がいでは「ほぼ毎日」が多くなっています。

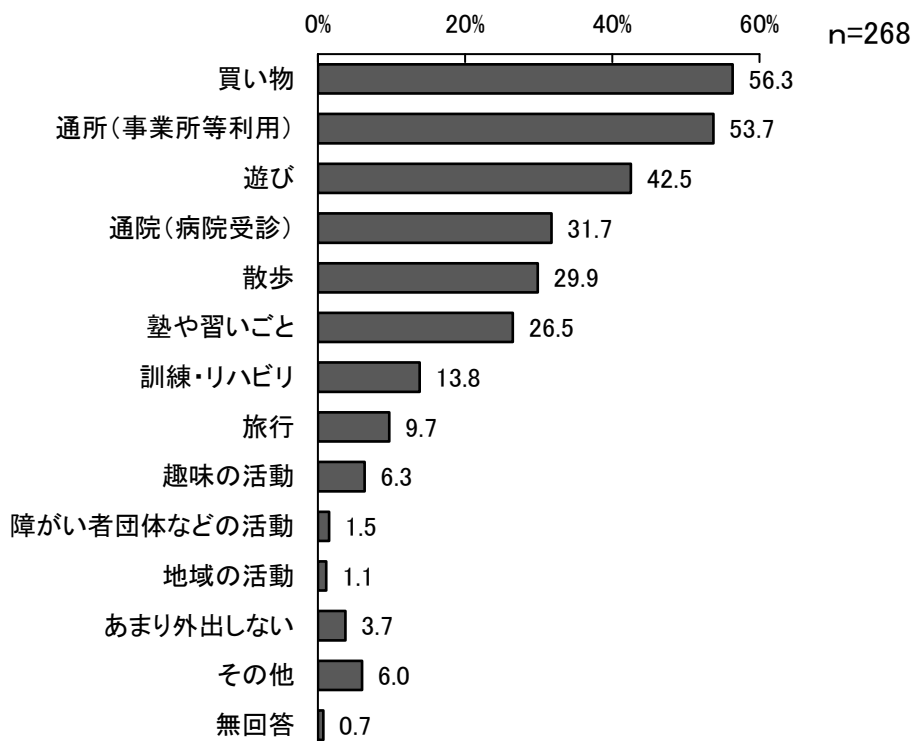


上段: 件 下段: %	合計	ほぼ毎日	週2～3回程度	週1回程度	月2～3回程度	月1回程度	2～3か月に1回程度	ほとんど外出しない	新型コロナウイルス感染予防のため、ほとんど外出しない	無回答
全体	268 100.0	110 41.0	93 34.7	32 11.9	10 3.7	4 1.5	0 0.0	6 2.2	11 4.1	2 0.7
身体障がい	66 100.0	21 31.8	22 33.3	10 15.2	3 4.5	2 3.0	0 0.0	3 4.5	3 4.5	2 3.0
知的障がい	191 100.0	89 46.6	64 33.5	21 11.0	5 2.6	2 1.0	0 0.0	2 1.0	8 4.2	0 0.0

(2) 外出の目的

問 30 あなたは、通園・通学以外では、どのような目的で外出することが多いですか。（あてはまるもの全てに○）

全体では、「買い物」が 56.3%と最も多く、次いで「通所（事業所等利用）」が 53.7%、「遊び」が 42.5%となっています。



障がい別にみると、身体障がいでは「買い物」に次いで「通院（病院受診）」が多く、知的障がいでは「通所（事業所等利用）」が最も多くなっています。

上段: 件 下段: %	合計	通所(事業所等利用)	通院(病院受診)	訓練・リハビリ	塾や習いごと	遊び	買い物	散歩	旅行
全体	268 100.0	144 53.7	85 31.7	37 13.8	71 26.5	114 42.5	151 56.3	80 29.9	26 9.7
身体障がい	66 100.0	22 33.3	31 47.0	19 28.8	16 24.2	28 42.4	36 54.5	21 31.8	7 10.6
知的障がい	191 100.0	117 61.3	55 28.8	22 11.5	47 24.6	83 43.5	112 58.6	60 31.4	20 10.5

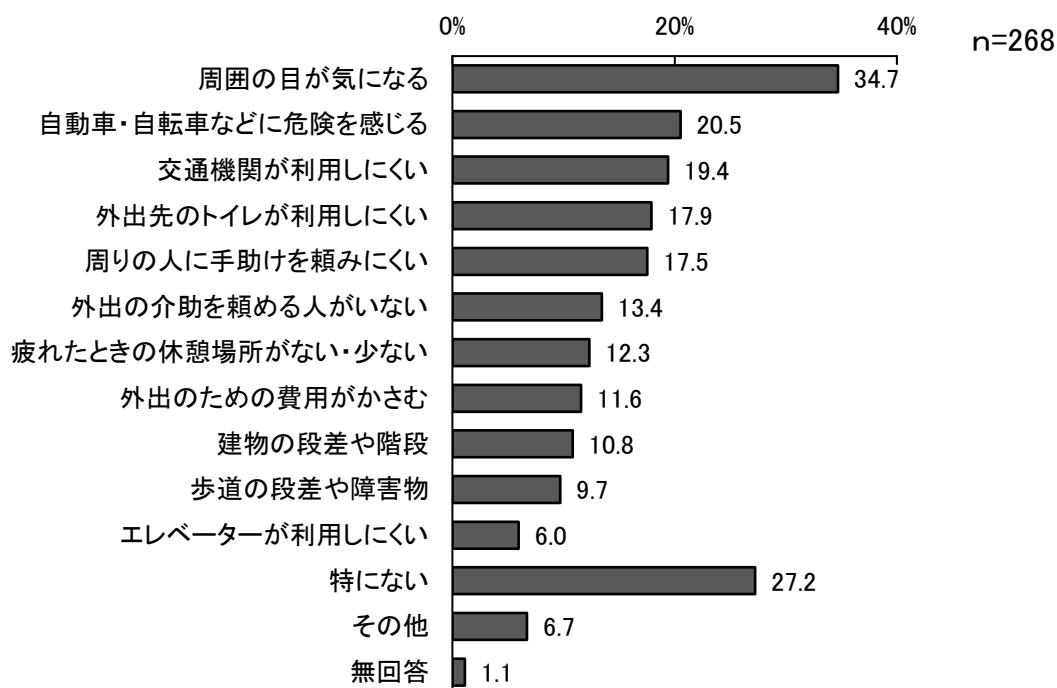
上段: 件 下段: %	合計	趣味の活動	地域の活動	障がい者団体などの活動	あまり外出しない	その他	無回答
全体	268 100.0	17 6.3	3 1.1	4 1.5	10 3.7	16 6.0	2 0.7
身体障がい	66 100.0	1 1.5	0 0.0	1 1.5	3 4.5	2 3.0	2 3.0
知的障がい	191 100.0	15 7.9	3 1.6	4 2.1	6 3.1	11 5.8	0 0.0

(3) 外出するとき困っていること

問31 あなたや保護者の方には、外出するとき困っていることはありますか。

(あてはまるもの全てに○)

全体では、「周囲の目が気になる」が34.7%と最も多く、次いで、「特にない」を除くと、「自動車・自転車などに危険を感じる」が20.5%、「交通機関が利用しにくい」が19.4%となっています。



障がい別にみると、身体障がいでは「建物の段差や階段」、知的障がいでは「周囲の目が気になる」が特に多くなっています。

上段:件 下段:%	合計	歩道の段差や障害物	建物の段差や階段	交通機関が利用しにくい	自動車・自転車などに危険を感じる	エレベーターが利用しにくい	外出先のトイレが利用しにくい	疲れたときの休憩場所がない・少ない	周囲の目が気になる
全体	268 100.0	26 9.7	29 10.8	52 19.4	55 20.5	16 6.0	48 17.9	33 12.3	93 34.7
身体障がい	66 100.0	19 28.8	25 37.9	14 21.2	13 19.7	12 18.2	19 28.8	13 19.7	16 24.2
知的障がい	191 100.0	12 6.3	10 5.2	36 18.8	41 21.5	5 2.6	33 17.3	22 11.5	73 38.2

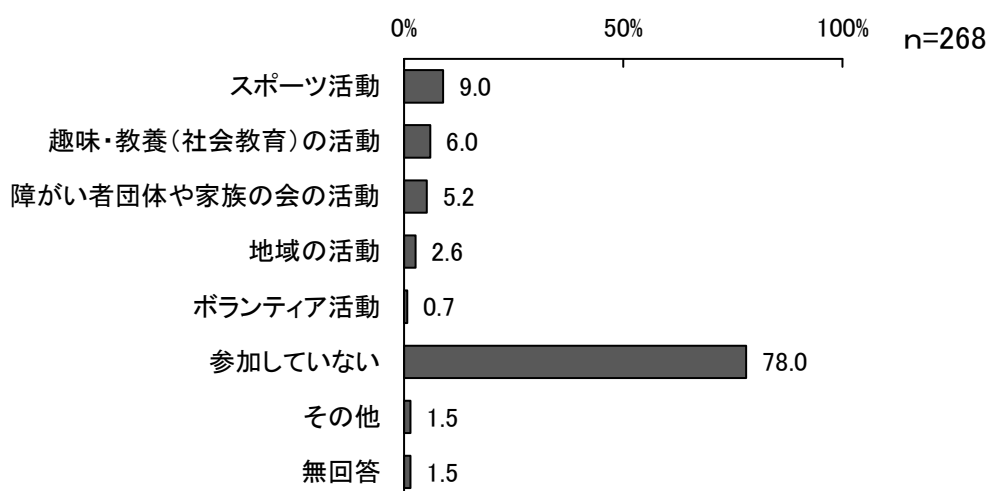
上段:件 下段:%	合計	外出の介助を頼める人がいない	周りの人に手助けを頼みにくい	外出のための費用がかさむ	特にない	その他	無回答
全体	268 100.0	36 13.4	47 17.5	31 11.6	73 27.2	18 6.7	3 1.1
身体障がい	66 100.0	10 15.2	12 18.2	4 6.1	18 27.3	8 12.1	2 3.0
知的障がい	191 100.0	27 14.1	34 17.8	24 12.6	51 26.7	11 5.8	2 1.0

(4) 社会活動への参加状況

問32 あなたは、学校以外で次のような社会活動に参加していますか。

(あてはまるもの全てに○)

全体では、「参加していない」を除くと、「スポーツ活動」が9.0%と最も多く、次いで、「趣味・教養(社会教育)の活動」が6.0%、「障がい者団体や家族の会の活動」が5.2%となっています。



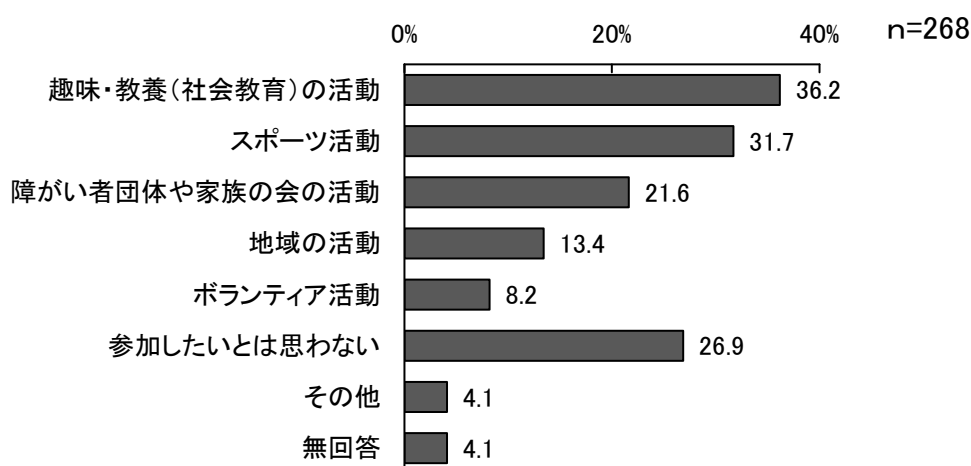
障がい別の結果も、ほぼ同様の傾向でした。

上段:件 下段:%	合計	趣味・教養(社会教育)の活動	スポーツ活動	地域の活動	ボランティア活動	障がい者団体や家族の会の活動	参加していない	その他	無回答
全体	268 100.0	16 6.0	24 9.0	7 2.6	2 0.7	14 5.2	209 78.0	4 1.5	4 1.5
身体障がい	66 100.0	2 3.0	4 6.1	1 1.5	0 0.0	4 6.1	52 78.8	0 0.0	3 4.5
知的障がい	191 100.0	12 6.3	16 8.4	5 2.6	2 1.0	13 6.8	150 78.5	3 1.6	1 0.5

(5) 社会活動への参加意向

問 33 あなたは今後、次のような社会活動に参加したいと思いますか。既に参加している方も、今後参加したいかどうかお答えください。(あてはまるもの全てに○)

全体では、「趣味・教養（社会教育）の活動」が36.2%と最も多く、次いで、「参加したいとは思わない」を除くと、「スポーツ活動」が31.7%、「障がい者団体や家族の会の活動」が21.6%となっています。



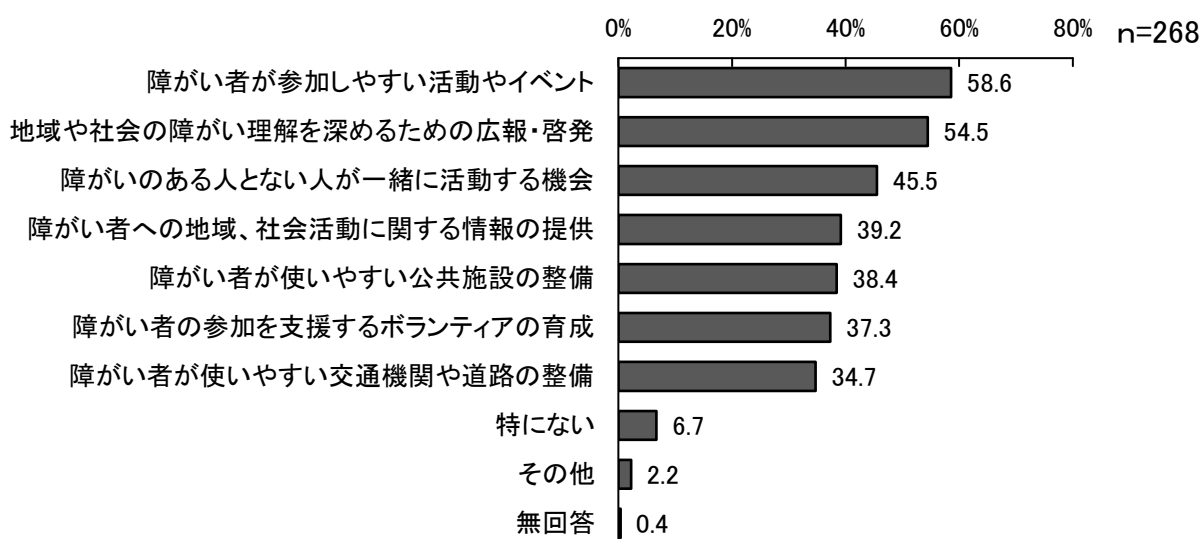
障がい別にみると、知的障がいでは「地域の活動」が、他と比較してやや多くなっています。

上段: 件 下段: %	合計	趣味・教養(社会教育)の活動	スポーツ活動	地域の活動	ボランティア活動	障がい者団体や家族の会の活動	参加したいとは思わない	その他	無回答
全体	268 100.0	97 36.2	85 31.7	36 13.4	22 8.2	58 21.6	72 26.9	11 4.1	11 4.1
身体障がい	66 100.0	24 36.4	18 27.3	6 9.1	4 6.1	16 24.2	20 30.3	4 6.1	3 4.5
知的障がい	191 100.0	71 37.2	63 33.0	29 15.2	17 8.9	46 24.1	45 23.6	7 3.7	8 4.2

(6) 社会参加のために必要なこと

問 34 あなたは、障がいのある人が地域や社会に積極的に参加できるようにするために、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

全体では、「障がい者が参加しやすい活動やイベント」が58.6%と最も多く、次いで「地域や社会の障がい理解を深めるための広報・啓発」が54.5%、「障がいのある人とない人が一緒に活動する機会」が45.5%となっています。



障がい別にみると、身体障がいでは「地域や社会の障がい理解を深めるための広報・啓発」、知的障がいでは「障がい者が参加しやすい活動やイベント」が最も多くなっています。

上段: 件 下段: %	合計	障がい者が参加しやすい活動やイベント	障がいのある人とない人が一緒に活動する機会	障がい者が使いやすい公共施設の整備	障がい者が使いやすい交通機関や道路の整備	障がい者への地域、社会活動に関する情報の提供	障がい者の参加を支援するボランティアの育成	地域や社会の障がい理解を深めるための広報・啓発	特にない
全体	268 100.0	157 58.6	122 45.5	103 38.4	93 34.7	105 39.2	100 37.3	146 54.5	18 6.7
身体障がい	66 100.0	33 50.0	32 48.5	29 43.9	28 42.4	23 34.8	20 30.3	34 51.5	4 6.1
知的障がい	191 100.0	121 63.4	91 47.6	69 36.1	60 31.4	80 41.9	77 40.3	103 53.9	12 6.3

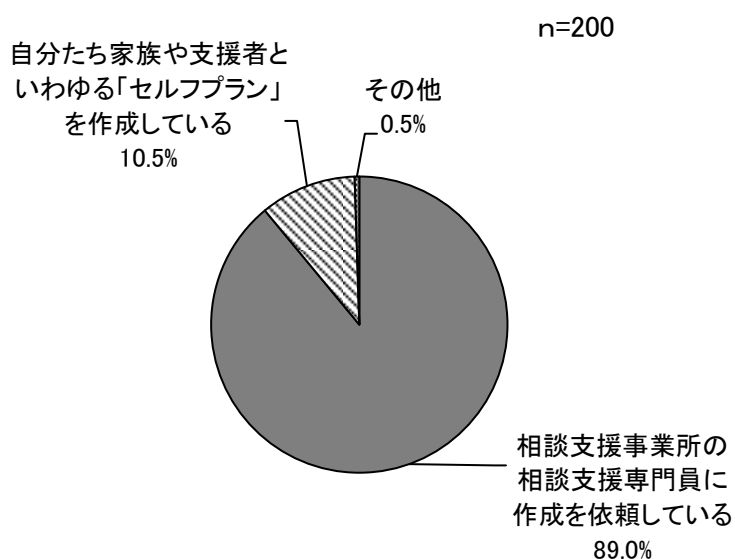
上段: 件 下段: %	合計	その他	無回答
全体	268 100.0	6 2.2	1 0.4
身体障がい	66 100.0	1 1.5	1 1.5
知的障がい	191 100.0	5 2.6	0 0.0

9 障害福祉サービスについて

(1) サービス等利用計画の現状

問 35 現在、障害福祉サービスを利用している方にお聞きします。あなたの、「サービス等利用計画」に関する現状をお教えてください。（あてはまるもの一つに○）

全体では「相談支援事業所の相談支援専門員に作成を依頼している」が 89.0%と約9割を占め、「自分たち家族や支援者といわゆる「セルフプラン」を作成している」が 10.5%となっています。



※無回答を除く集計

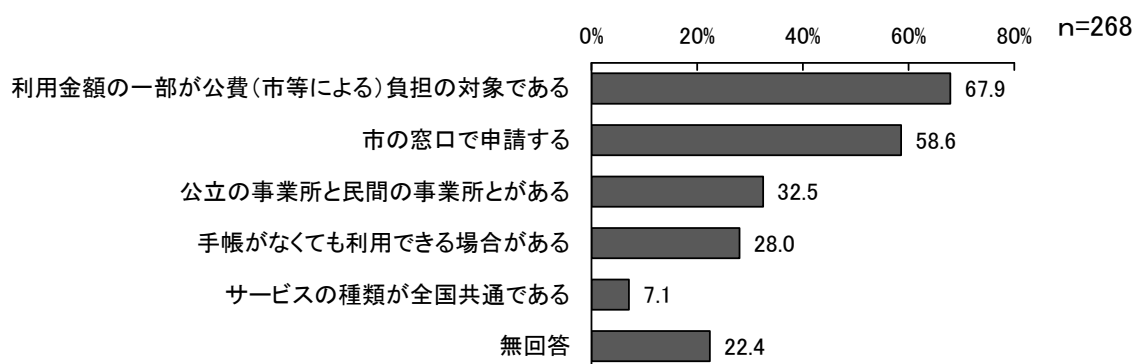
障がい別の結果も、ほぼ同様の傾向でした。

上段:件 下段:%	合計	相談支援事業所の相談支援専門員に作成を依頼している	自分たち家族や支援者といわゆる「セルフプラン」を作成している	その他
全体	200 100.0	178 89.0	21 10.5	1 0.5
身体障がい	36 100.0	32 88.9	4 11.1	0 0.0
知的障がい	159 100.0	142 89.3	16 10.1	1 0.6

(2) 障害福祉サービスについて知っていること

問 36 障害福祉サービス（児童福祉法によるものを含む）について、次の中で、あなたが知っていたものはどれですか。（知っていたもの全てに○）

全体では「利用金額の一部が公費（市等による）負担の対象である」が67.9%、「市の窓口で申請する」が58.6%、「公立の事業所と民間の事業所がある」が32.5%となっています。



障がい別にみると、全体的に知的障がいでは認知度が高くなっています。

上段:件 下段:%	合計	利用金額の一部が公費(市等による)負担の対象である	手帳がなくても利用できる場合がある	公立の事業所と民間の事業所とがある	サービスの種類が全国共通である	市の窓口で申請する	無回答
全体	268 100.0	182 67.9	75 28.0	87 32.5	19 7.1	157 58.6	60 22.4
身体障がい	66 100.0	36 54.5	8 12.1	13 19.7	3 4.5	33 50.0	22 33.3
知的障がい	191 100.0	138 72.3	58 30.4	68 35.6	12 6.3	118 61.8	34 17.8

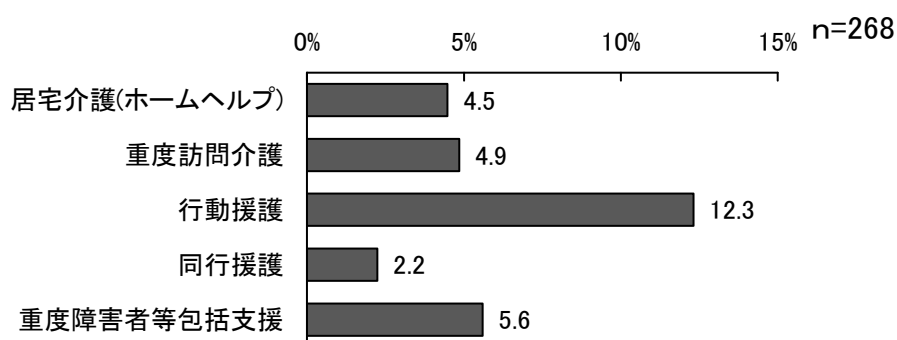
(3) 障害福祉サービス等の利用意向

問 37 あなたは、次のようなサービスについて、今後3年以内に利用したいと思えますか。既に利用している方も、今後利用したいかどうかお答えください。

(あてはまるもの全てにつき、右端の欄に○印を記入)

①訪問系サービスの利用意向

全体では、「行動援護」が 12.3%と最も多く、次いで「重度障害者等包括支援」が 5.6%、「重度訪問介護」が 4.9%となっています。

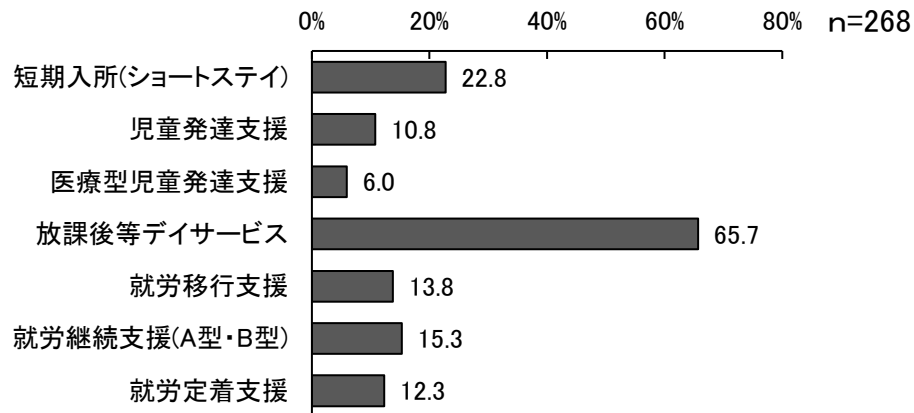


障がい別にみると、身体障がいでは「重度訪問介護」、知的障がいでは「行動援護」が多くなっています。

上段:件 下段:%	合計	居宅介護 (ホームヘルプ)	重度訪問 介護	行動援護	同行援護	重度障害 者等包括 支援
全体	268 100.0	12 4.5	13 4.9	33 12.3	6 2.2	15 5.6
身体障がい	66 100.0	8 12.1	10 15.2	3 4.5	1 1.5	7 10.6
知的障がい	191 100.0	4 2.1	6 3.1	30 15.7	5 2.6	11 5.8

②日中活動系サービスの利用意向

全体では、「放課後等デイサービス」が65.7%、「短期入所（ショートステイ）」が22.8%「就労継続支援（A型・B型）」が15.3%となっています。

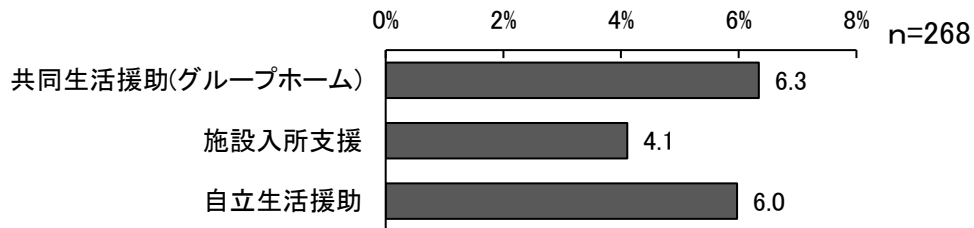


障がい別にみると、身体障がいでは「短期入所（ショートステイ）」「医療型児童発達支援」、知的障がいでは「放課後等デイサービス」「就労継続支援（A型・B型）」「就労移行支援」などが他と比較して多くなっています。

上段:件 下段:%	合計	短期入所 (ショート ステイ)	児童発達 支援	医療型児 童発達支 援	放課後等 デイサー ビス	就労移行 支援	就労継続 支援(A 型・B型)	就労定着 支援
全体	268 100.0	61 22.8	29 10.8	16 6.0	176 65.7	37 13.8	41 15.3	33 12.3
身体障がい	66 100.0	21 31.8	4 6.1	14 21.2	29 43.9	4 6.1	3 4.5	2 3.0
知的障がい	191 100.0	45 23.6	22 11.5	6 3.1	144 75.4	30 15.7	35 18.3	25 13.1

③居住系サービスの利用意向

全体では「共同生活援助(グループホーム)」が6.3%、「自立生活援助」が6.0%、「施設入所支援」が4.1%となっています。

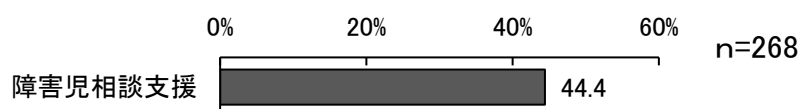


障がい別にみると、身体障がいでは「施設入所支援」、知的障がいでは「共同生活援助(グループホーム)」が最も多くなっています。

上段: 件 下段: %	合計	共同生活援助(グループホーム)	施設入所支援	自立生活援助
全体	268 100.0	17 6.3	11 4.1	16 6.0
身体障がい	66 100.0	1 1.5	4 6.1	1 1.5
知的障がい	191 100.0	15 7.9	9 4.7	11 5.8

④相談支援（「サービス等利用計画」）の利用意向

全体では、「障害児相談支援」が44.4%となっています。

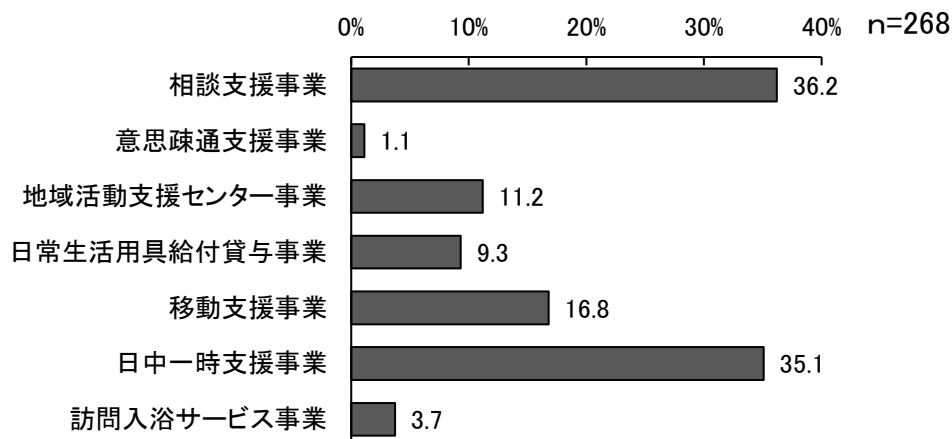


障がい別でみると、知的障がいでは利用意向が高くなっています。

上段: 件 下段: %	合計	障害児相談支援
全体	268 100.0	119 44.4
身体障がい	66 100.0	21 31.8
知的障がい	191 100.0	96 50.3

⑤地域生活支援事業の利用意向

全体では「相談支援事業」が36.2%と最も多く、次いで「日中一時支援事業」が35.1%、「移動支援事業」が16.8%となっています。

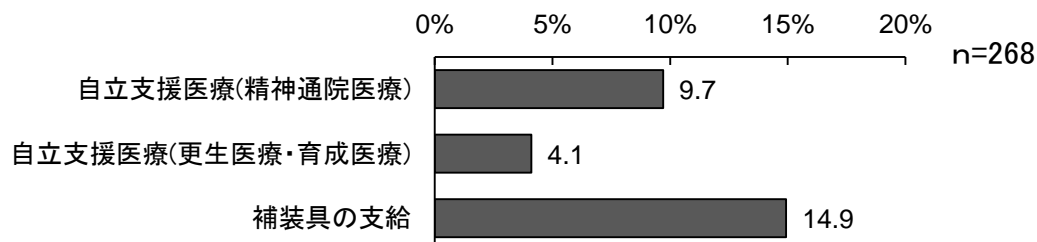


障がい別にみると、身体障がいでは「日常生活用具給付貸与事業」、知的障がいでは「相談支援事業」「日中一時支援事業」が多くなっています。

上段: 件 下段: %	合計	相談支援事業	意思疎通支援事業	地域活動支援センター事業	日常生活用具給付貸与事業	移動支援事業	日中一時支援事業	訪問入浴サービス事業
全体	268 100.0	97 36.2	3 1.1	30 11.2	25 9.3	45 16.8	94 35.1	10 3.7
身体障がい	66 100.0	17 25.8	2 3.0	5 7.6	21 31.8	10 15.2	18 27.3	8 12.1
知的障がい	191 100.0	80 41.9	1 0.5	25 13.1	8 4.2	36 18.8	80 41.9	3 1.6

⑥その他のサービスの利用意向

全体では「補装具の支給」が14.9%、「自立支援医療（精神通院医療）」が9.7%、「自立支援医療（更生医療・育成医療）」が4.1%となっています。



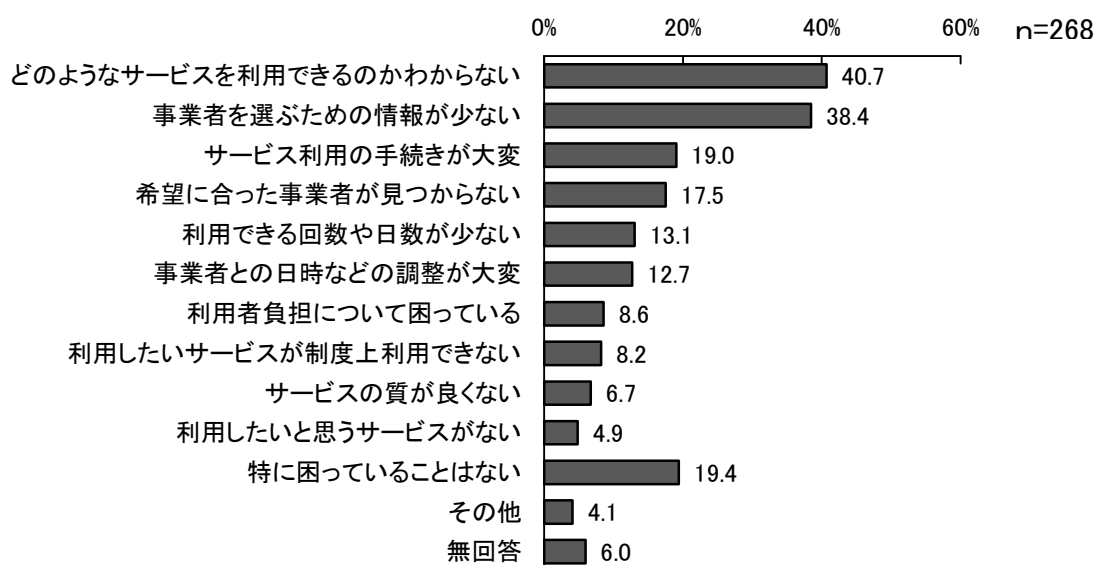
障がい別にみると、身体障がいでは「補装具費の支給」が特に多くなっています。

上段: 件 下段: %	合計	自立支援 医療(精神 通院医療)	自立支援 医療(更生 医療・育 成医療)	補装具の 支給
全体	268 100.0	26 9.7	11 4.1	40 14.9
身体障がい	66 100.0	1 1.5	10 15.2	36 54.5
知的障がい	191 100.0	18 9.4	1 0.5	9 4.7

(4) サービス利用に関して困っていること

問 38 全ての方にお聞きします。あなたは、障害者福祉サービスの利用に関して困っていることはありますか。(あてはまるもの全てに○)

全体では、「どのようなサービスを利用できるのかわからない」が40.7%と最も多く、次いで、「特に困っていることはない」を除くと、「事業者を選ぶための情報が少ない」が38.4%、「サービス利用の手続きが大変」が19.0%となっています。



障がい別にみると、身体障がいでは「どのようなサービスを利用できるのかわからない」、知的障がいでは「事業者を選ぶための情報が少ない」が最も多くなっています。

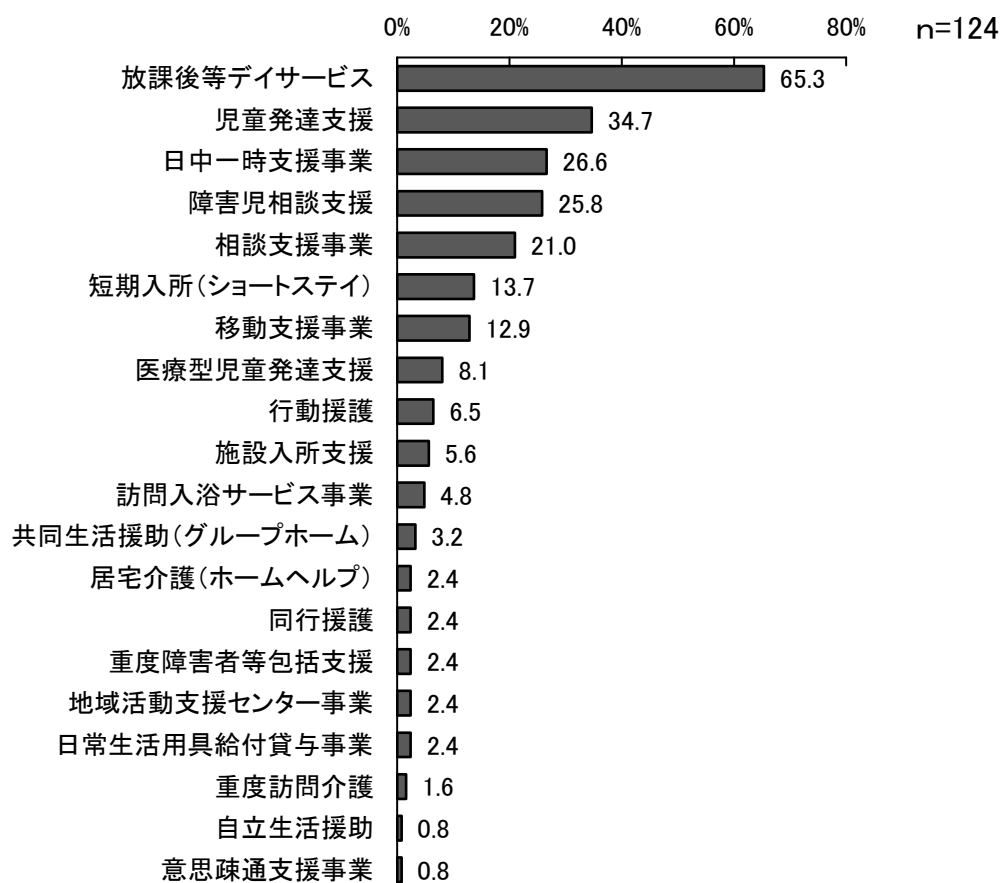
上段:件 下段:%	合計	どのようなサービスを利用できるのかわからない	利用したいと思うサービスがない	利用したいサービスが制度上利用できない	事業者を選ぶための情報が少ない	希望に合った事業者が見つからない	サービス利用の手続きが大変	事業者との日時などの調整が大変	利用できる回数や日数が少ない
全体	268 100.0	109 40.7	13 4.9	22 8.2	103 38.4	47 17.5	51 19.0	34 12.7	35 13.1
身体障がい	66 100.0	34 51.5	3 4.5	4 6.1	23 34.8	8 12.1	15 22.7	3 4.5	9 13.6
知的障がい	191 100.0	75 39.3	10 5.2	15 7.9	77 40.3	38 19.9	35 18.3	30 15.7	26 13.6

上段:件 下段:%	合計	サービスの質が良くない	利用者負担について困っている	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	268 100.0	18 6.7	23 8.6	52 19.4	11 4.1	16 6.0
身体障がい	66 100.0	2 3.0	5 7.6	12 18.2	2 3.0	2 3.0
知的障がい	191 100.0	16 8.4	18 9.4	35 18.3	8 4.2	14 7.3

(5) 不足しているサービス

問 39 障害福祉サービスを利用している方にお聞きします。 あなたがこれまでに利用したことのあるサービスで、サービスの内容や量が不足していると感じているものはありますか。(あてはまるもの全てに○)

全体では、「放課後等デイサービス」が65.3%と最も多く、次いで「児童発達支援」が34.7%、「日中一時支援事業」が26.6%となっています。



上段:件 下段:%	合計	居宅介護 (ホームヘルプ)	重度訪問 介護	行動援護	同行援護	重度障害 者等包括 支援	短期入所 (ショート ステイ)	児童発達 支援	医療型児 童発達支 援	放課後等 デイサー ビス	共同生活 援助(グ ループ ホーム)
全体	124 100.0	3 2.4	2 1.6	8 6.5	3 2.4	3 2.4	17 13.7	43 34.7	10 8.1	81 65.3	4 3.2
身体障がい	22 100.0	1 4.5	1 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 22.7	6 27.3	6 27.3	12 54.5	0 0.0
知的障がい	99 100.0	3 3.0	1 1.0	7 7.1	3 3.0	2 2.0	13 13.1	34 34.3	7 7.1	68 68.7	4 4.0

上段:件 下段:%	合計	施設入所 支援	自立生活 援助	障害児相 談支援	相談支援 事業	意思疎通 支援事業	地域活動 支援セン ター事業	日常生活 用具給付 貸与事業	移動支援 事業	日中一時 支援事業	訪問入浴 サービス 事業
全体	124 100.0	7 5.6	1 0.8	32 25.8	26 21.0	1 0.8	3 2.4	3 2.4	16 12.9	33 26.6	6 4.8
身体障がい	22 100.0	2 9.1	0 0.0	5 22.7	6 27.3	0 0.0	0 0.0	2 9.1	2 9.1	5 22.7	5 22.7
知的障がい	99 100.0	6 6.1	1 1.0	27 27.3	19 19.2	1 1.0	3 3.0	2 2.0	11 11.1	30 30.3	2 2.0

10 今後の生活について

(1) 将来の暮らし方

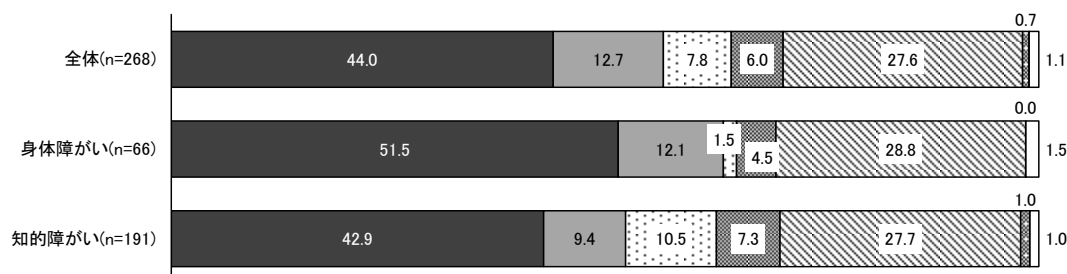
問 40 あなたは将来、どのように暮らしたいと思いますか。

(最もあてはまるもの一つに○)

全体では、「家族と暮らしたい」が 44.0%と最も多く、次いで「わからない」を除くと、「一人暮らしをしたい」が 12.7%、「グループホームなどに入居したい」が 7.8%となっています。

障がい別にみると、「家族と暮らしたい」以外では、知的障がいでは「グループホームなどに入居したい」が多くなっています。

家族と暮らしたい
 一人暮らしをしたい
 グループホームなどに入居したい
 障がいの入所施設に入りたい
 わからない
 その他
 無回答

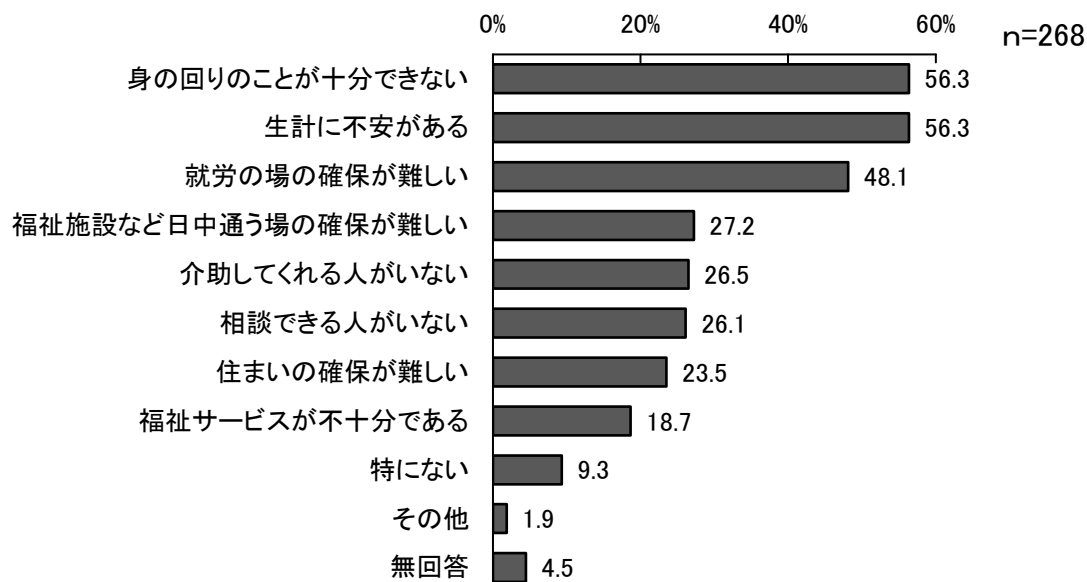


上段: 件 下段: %	合計	家族と暮らしたい	一人暮らしをしたい	グループホームなどに入居したい	障がいの入所施設に入りたい	わからない	その他	無回答
全体	268 100.0	118 44.0	34 12.7	21 7.8	16 6.0	74 27.6	2 0.7	3 1.1
身体障がい	66 100.0	34 51.5	8 12.1	1 1.5	3 4.5	19 28.8	0 0.0	1 1.5
知的障がい	191 100.0	82 42.9	18 9.4	20 10.5	14 7.3	53 27.7	2 1.0	2 1.0

(2) 地域生活の課題

問 41 あなたが将来にわたって地域で暮らし続けるためには、どのようなことが課題になるとお考えですか。（あてはまるもの全てに○）

全体では、「身の回りのことが十分できない」が56.3%と最も多く、次いで「生計に不安がある」が56.3%、「就労の場の確保が難しい」が48.1%となっています。



障がい別で見ると、身体障がいでは「身の回りのことが十分できない」、知的障がいでは「生計に不安がある」が最も多くなっています。

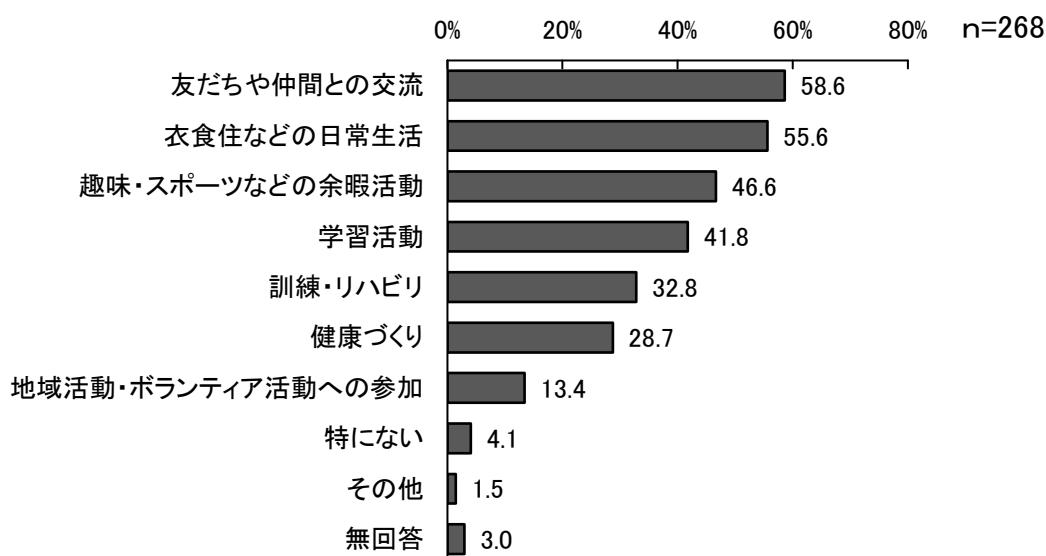
上段:件 下段:%	合計	身の回りのことが十分できない	介助してくれる人がいない	福祉サービスが不十分である	住まいの確保が難しい	就労の場の確保が難しい	福祉施設など日中通う場の確保が難しい	生計に不安がある	相談できる人がいない
全体	268 100.0	151 56.3	71 26.5	50 18.7	63 23.5	129 48.1	73 27.2	151 56.3	70 26.1
身体障がい	66 100.0	33 50.0	15 22.7	10 15.2	7 10.6	21 31.8	18 27.3	25 37.9	9 13.6
知的障がい	191 100.0	112 58.6	55 28.8	39 20.4	53 27.7	99 51.8	59 30.9	115 60.2	55 28.8

上段:件 下段:%	合計	特にない	その他	無回答
全体	268 100.0	25 9.3	5 1.9	12 4.5
身体障がい	66 100.0	11 16.7	1 1.5	5 7.6
知的障がい	191 100.0	11 5.8	4 2.1	7 3.7

(3) 今後の生活で充実させたいこと

問 42 あなたは、今後の生活の中で、どのような面をもっと充実させたいと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

全体では、「友だちや仲間との交流」が 58.6%と最も多く、次いで「衣食住などの日常生活」が 55.6%、「趣味・スポーツなどの余暇活動」が 46.6%となっています。



障がい別にみると、身体障がいでは「訓練・リハビリ」が多くなっています。

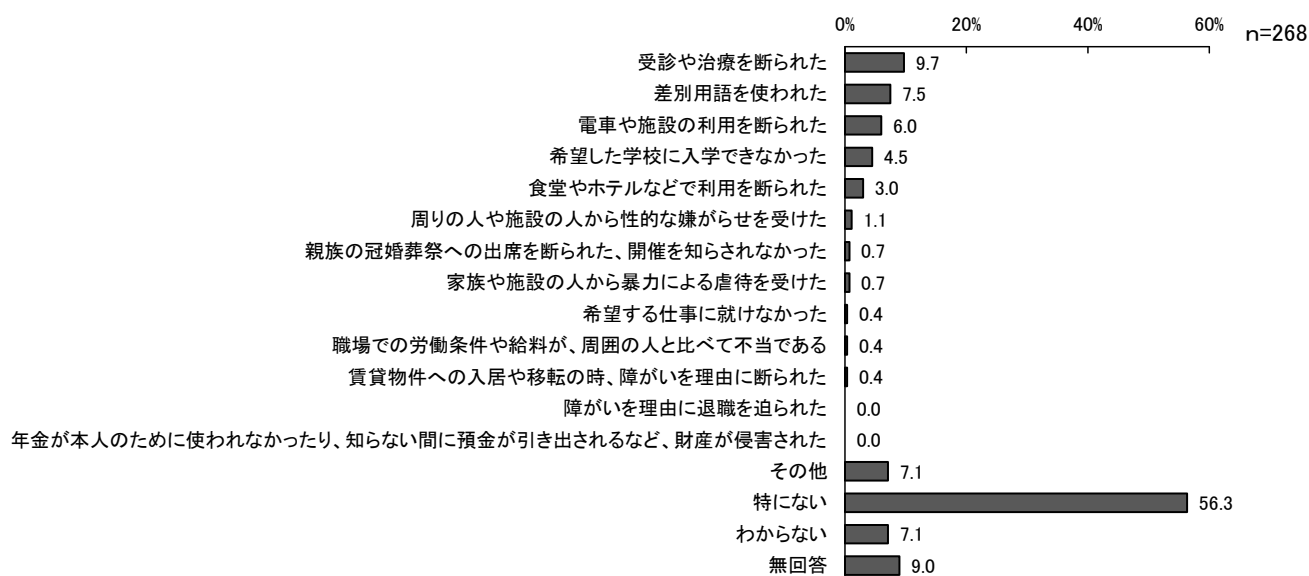
上段: 件 下段: %	合計	衣食住などの日常生活	健康づくり	訓練・リハビリ	学習活動	趣味・スポーツなどの余暇活動	友だちや仲間との交流	地域活動・ボランティア活動への参加	特にない	その他	無回答
全体	268 100.0	149 55.6	77 28.7	88 32.8	112 41.8	125 46.6	157 58.6	36 13.4	11 4.1	4 1.5	8 3.0
身体障がい	66 100.0	33 50.0	18 27.3	36 54.5	27 40.9	30 45.5	36 54.5	7 10.6	3 4.5	0 0.0	1 1.5
知的障がい	191 100.0	110 57.6	55 28.8	56 29.3	79 41.4	89 46.6	113 59.2	27 14.1	7 3.7	4 2.1	6 3.1

11 障がい児・障がい者施策について

(1) 差別や虐待を受けた経験

問 43 あなたや保護者の方は、障がいがあることが原因で、日常生活の中で下記のような、差別や虐待に当たるのではないかとと思われる扱いを受けた経験がありますか。(あてはまるもの全てに○)

全体では、「受診や治療を断られた」が9.7%と最も多く、次いで「差別用語が使われた」が7.5%、「電車や施設の利用を断られた」が6.0%となっています。



障がい別の結果も、ほぼ同様の傾向でした。

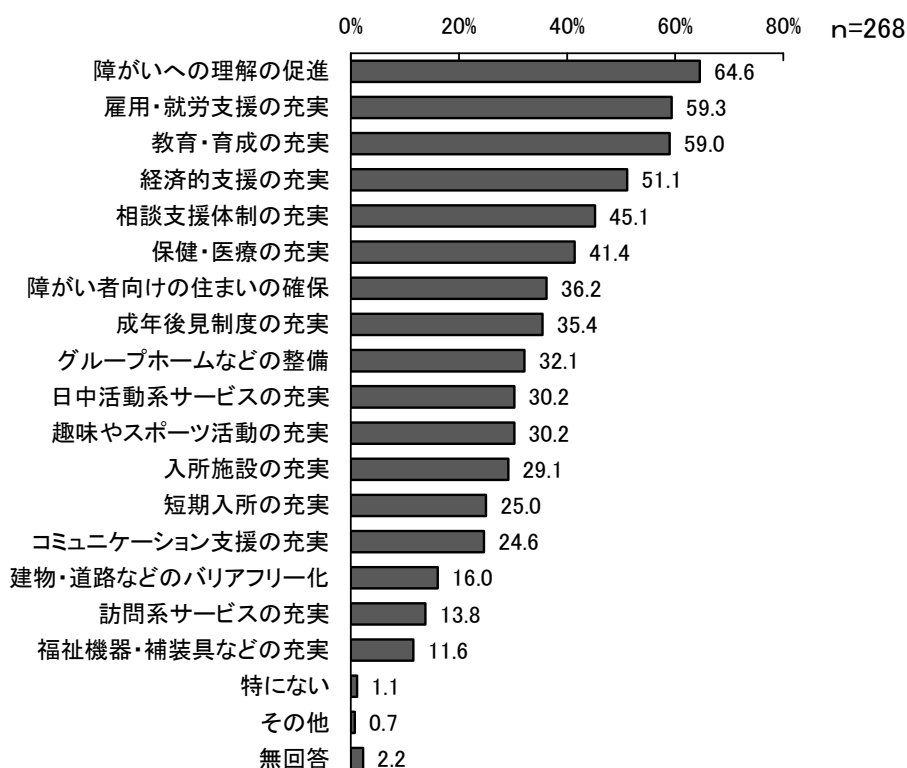
上段:件 下段:%	合計	希望した 学校に入 学できな かった	希望する 仕事に就 けなかつ た	職場での 労働条件 や給料 が、周囲 の人と比 べて不当 である	障がいを 理由に退 職を迫ら れた	差別用語 を使われ た	電車や施 設の利用 を断られ た	親族の冠 婚葬祭へ の出席を 断られ た、開催 を知らされ なかった	家族や施 設の人か ら暴力に よる虐待 を受けた	周りの人 や施設の 人から性 的な嫌が らせを受 けた
全体	268 100.0	12 4.5	1 0.4	1 0.4	0 0.0	20 7.5	16 6.0	2 0.7	2 0.7	3 1.1
身体障がい	66 100.0	3 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 4.5	5 7.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
知的障がい	191 100.0	8 4.2	1 0.5	1 0.5	0 0.0	15 7.9	11 5.8	2 1.0	1 0.5	2 1.0

上段:件 下段:%	合計	年金が本 人のため に使われ なかった り、知ら ない間に 預金が引 き出され るなど、 財産が侵 害された	賃貸物件 への入居 や移転の 時、障が いを理由 に断られ た	食堂やホ テルなど で利用を 断られた	受診や治 療を断ら れた	その他	特にない	わからな い	無回答
全体	268 100.0	0 0.0	1 0.4	8 3.0	26 9.7	19 7.1	151 56.3	19 7.1	24 9.0
身体障がい	66 100.0	0 0.0	0 0.0	3 4.5	5 7.6	3 4.5	35 53.0	7 10.6	6 9.1
知的障がい	191 100.0	0 0.0	1 0.5	4 2.1	20 10.5	14 7.3	107 56.0	11 5.8	20 10.5

(2) 今後力を入れてほしい施策

問 44 あなたは、今後の障がい児・障がい者施策で、どのような面にもっと力を入れてほしいと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

全体では、「障がいへの理解の促進」が64.6%と最も多く、次いで「雇用・就労支援の充実」が59.3%、「教育・育成の充実」が59.0%となっています。



障がい別にみると、身体障がいでは「障がいへの理解の促進」、知的障がいでは「雇用・就労支援の充実」が最も多くなっています。

上段:件 下段:%	合計	障がいへの 理解の 促進	保健・医 療の充実	教育・育 成の充実	雇用・就 労支援の 充実	相談支援 体制の充 実	訪問系 サービスの 充実	日中活動 系サービ スの充実	短期入所 の充実	コミュニ ケーション 支援の充 実	福祉機 器・補装 具などの 充実
全体	268 100.0	173 64.6	111 41.4	158 59.0	159 59.3	121 45.1	37 13.8	81 30.2	67 25.0	66 24.6	31 11.6
身体障がい	66 100.0	44 66.7	33 50.0	31 47.0	25 37.9	23 34.8	17 25.8	19 28.8	19 28.8	13 19.7	24 36.4
知的障がい	191 100.0	121 63.4	78 40.8	113 59.2	126 66.0	90 47.1	23 12.0	65 34.0	51 26.7	49 25.7	10 5.2

上段:件 下段:%	合計	グループ ホームな どの整備	入所施設 の充実	障がい者 向けの住 まいの確 保	建物・道 路などの バリアフ リー化	趣味やス ポーツ活 動の充実	経済的支 援の充実	成年後見 制度の充 実	特にない	その他	無回答
全体	268 100.0	86 32.1	78 29.1	97 36.2	43 16.0	81 30.2	137 51.1	95 35.4	3 1.1	2 0.7	6 2.2
身体障がい	66 100.0	10 15.2	17 25.8	19 28.8	25 37.9	16 24.2	33 50.0	8 12.1	1 1.5	1 1.5	0 0.0
知的障がい	191 100.0	78 40.8	67 35.1	78 40.8	20 10.5	64 33.5	98 51.3	84 44.0	2 1.0	1 0.5	6 3.1

12 自由意見

問 45 障がい児・障がい者施策について、ご意見・ご要望・ご提案などがありましたら、ご自由にお書きください。

回答総数は 111 件でした。「行政・制度」が 28 件と最も多く、次いで「教育・療育」が 25 件、「福祉サービス」が 20 件などとなっています。

意見		件数	意見		件数
1	行政・制度	28	7	保健・医療	5
2	教育・療育	25	8	就労	4
3	福祉サービス	20	9	生活環境	3
4	障がい理解	12	—	その他	4
5	将来	10	総計		119
6	経済的事情・経済的支援	8			

※ 複数の内容を含む回答もあるため、個々の意見数の合計は回答総数より多くなります。

◆ 主な意見の概要（内容は一部要約・省略してあります）

①行政・制度

主な意見の概要	障がいの種類	年齢性別回答者
習志野市は障がい児に対する病院や相談する場が少なく幼少より困っていました。他市や他県に足を運ばないといけない。経済的に負担もかかりますし、時間もかかります。もう少し障がい児、障がいの方に寄りそう定型発達の方と同じ位充実していただけると幸いです。	知的障がい	16 歳 男性 ご家族
習志野市に特別支援学校中等部・高等部を設置してほしい。習志野市に入所施設を設立するよう支援してほしい。いずれも生活の向上に必要です。グループホームに暮らせない人はたくさん居ます。	知的障がい	12 歳 男性 ご家族
もっと手続きを簡単にしたい。	知的障がい	15 歳 男性 ご家族
障がい児・障がい者本人に対する支援はもちろんですが、もっとその家族をサポートする体制を整えていただきたいです。医療的ケアが必要な子どもを預けられる場所が少なすぎるので、もっと増えると助かります。（きちんとした知識と安全を守ってくれる事業所）	知的障がい 肢体不自由	7 歳 女性 ご家族
就学後、通常学級に通っているが、発達支援が一切なくてどのようなサービスを受けられるか障がい福祉課に聞いても分からなかったのが不満です。リハビリ、理学療法など民間でもいいので引き継ぎしてほしい。	内部障がい	12 歳 男性 ご家族

②教育・療育

主な意見の概要	障がいの種類	年齢別回答者
学級の支援員さんが1人しかいなくていつも大変そう。特に個別の指導や外での活動時には手が足りず放置状態の時があるので何とか支援員さんを増やして下さい。	知的障がい	10歳 女性 ご家族
少しでも自立した生活を送れるよう小学校の時から将来を意識した教育をしてほしい。その子の能力に合わせた指導を求めるが担当する先生によって考えが違いすぎる。能力も違いすぎる。	知的障がい	15歳 男性 ご家族
各学校に知的障がいの専門の先生を1人配置してほしい。通常級の先生が支援級の担任ではわからないことだらけで安心して通わせられないのと相談もできない。人材の確保をしてから各学校に支援級をおくべきだと思う。先生への負担も大きい。	知的障がい	15歳 女性 不明

③福祉サービス

主な意見の概要	障がいの種類	年齢別回答者
短期入所できる所が市内になく、市外の施設も利用できる人数が少ない。もっと宿泊であずけられる所がほしい。育てている親の息抜きも必要だと思う。	知的障がい 肢体不自由	12歳 男性 ご家族
福祉サービスの情報が得づらい。利用する人みんなが公平に情報を得られるようにしてほしい。	内部障がい	12歳 男性 ご家族
学校卒業後の将来も習志野市で暮らせるように（自立した生活を送れるよう）障がいのある人が働ける場や暮らせる場（グループホーム、ショートステイなど）が増えたらいいと願っています。	知的障がい	16歳 男性 ご家族

④障がい理解

主な意見の概要	障がいの種類	年齢別回答者
障がいへの理解を深めるため、幼少期からの教育やふれ合いなど、家族や友達のようにあたりまえの存在になるといいなあと思います。知らないから不安だけで、小さい頃から知っていれば偏見などもなくなり、みんな生きやすくなると思います。1度や2度、知識として入れるのではなく、日常的にふれ合う事が大切だと思います。障がい者のくくりがなくなる事を切に願います。	知的障がい	4歳 女性 ご家族
子供の頃から健常児、障害児を分けることが問題だと思います。医療的ケア等色々な問題はありますが、一緒に育つことによって慣れることがあるかないかで違うと思います。障害のある人が奇異の目で見られたり、珍しい目で見られたり、とにかく「慣れ」がないことがいつまでたっても壁がなくなる原因だと思います。「共に」普通に生活できる環境がなければいつまでもこのままだと思います。	肢体不自由	16歳 男性 ご本人
障がいがある家族がいる人への様々な支援はもちろんのこと、色々な人がいることを理解してもらえよう政策をお願いいたします。	知的障がい	12歳 男性 ご家族

⑤将来

主な意見の概要	障がいの種類	年齢別回答者
親亡き後の不安が大きい。成年後見人制度は心配な事も多い。学生の際は学校という居場所があるが卒業後孤立しないか不安。趣味やスポーツ活動の場がもう少し増えるとありがたい。	知的障がい	9歳 男性 ご家族
学校に行ける間はなんとかなりますがどの家庭も卒業後が一番不安です。この情報はなかなか得られずどのようになってしまうのか不安しかありません。先輩ご家族の方から話が聞ける場があるといいと思っています。	知的障がい 肢体不自由	13歳 女性 ご家族
親として、親亡き後の子供の生活全般が不安でしかない。兄弟児へのサポートを充実させてほしい。	知的障がい	17歳 女性 ご家族

⑥経済的事情・経済的支援、保健・医療、就労、生活環境

主な意見の概要	障がいの種類	年齢別回答者
所得制限をなくしてほしい。放課後デイサービス、自立支援医療、就労移行支援等	精神障がい	12歳 女性 ご家族
特別児童扶養手当や児童発達支援の受給者証利用時の料金等が保護者の所得によって支給制限されたり、大きな差があったりすることを改善していただけると嬉しいです。	知的障がい	3歳 男性 ご家族
障がいのある子でも受入可能な病院の情報がほしいです。力のついてきた子の抵抗が強くても処置が可能な病院を探すのに苦労しています。現在耳鼻科をさがしています。	知的障がい	11歳 男性 ご家族
就労継続支援（A型、B型）の数が少ない。賃金も低すぎるのでどうやって生きていったらいいのかとても不安。相談員をつけてもらいたく連絡はしているが空きがないのか返事が3ヶ月ほどない。（できるだけ早く調整して連絡しますとのことでしたが・・・こんなにかかるのでしょいか。）	肢体不自由	14歳 男性 ご家族
歩道を広くしてほしい。建物、駅、学校にエレベーター、トイレの中にユニバーサルシートを作してほしい。（トイレがしっかりしていない所は行くのをあきらめています。）介護につかれても、毎日休めません。どうしたら良いか悩んでいます。障がい、どんな方でも居ることができる場所がほしい。（開放された所）（ユニバーサルシアター、ユニバーサル公演等）小・中・高校はエレベーターが必要だと思います。サービス制度がわかりにくいです。いつもありがとうございます！！どうぞよろしく願いいたします。他の市の良い所もどんどん取り入れていただきたいです。	肢体不自由	13歳 男性 ご本人

⑦その他

主な意見の概要	障がいの種類	年齢別回答者
同じ環境の子同士が集まれる会などがあれば。	聴覚・平衡機能障がい	11歳 男性 ご本人

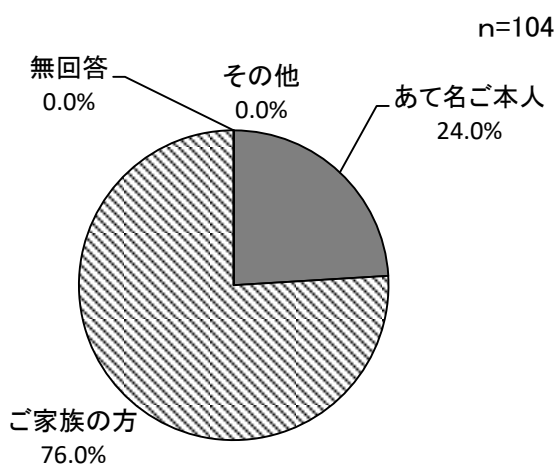
IV 発達障がいの方と保護者の方を対象とした
調査

1 はじめに

(1) 調査票回答者

問1 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。(あてはまるもの一つに○)

「あて名ご本人(ご本人の回答を他の方が代筆する場合も含みます。)」が24.0%、「ご家族の方」が76.0%となっています。



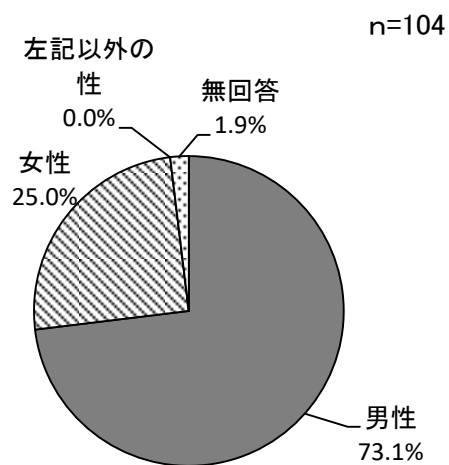
No.	選択肢	n	%
1	あて名ご本人	25	24.0
2	ご家族の方	79	76.0
3	その他	0	0.0
	無回答	0	0.0
	全体	104	100.0

2 ご本人について

(1) 性別

問2 あなたの性別をお聞きします。(あてはまるもの一つに○)

「男性」が73.1%、「女性」が25.0%と、男性のほうが多くなっています。

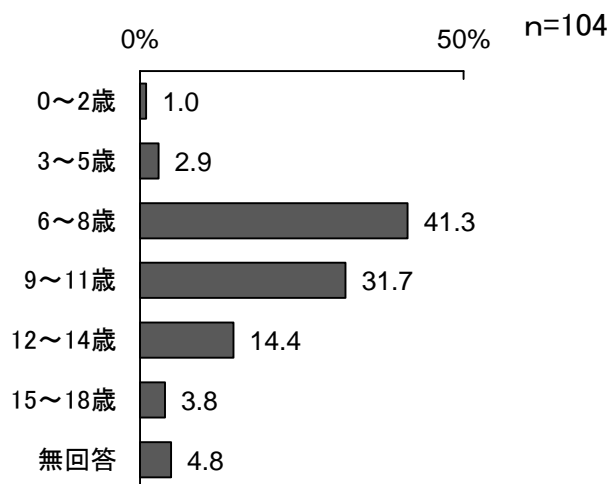


No.	選択肢	n	%
1	男性	76	73.1
2	女性	26	25.0
3	左記以外の性	0	0.0
	無回答	2	1.9
	全体	104	100.0

(2) 年齢

問3 あなたの年齢をお聞きます。令和4年9月1日現在の年齢をご記入ください。

「6～8歳」が41.3%と最も多く、次いで「9～11歳」が31.7%と多く、「12～14歳」が14.4%で続いています。

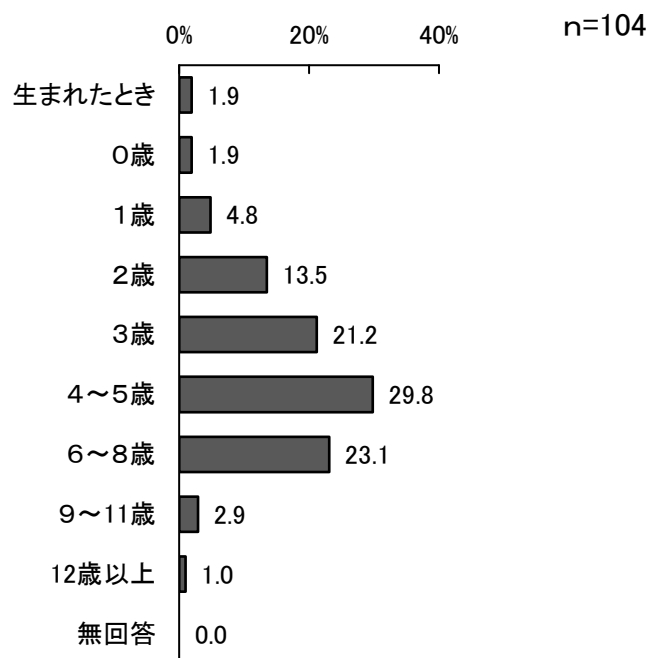


No.	選択肢	n	%
1	0～2歳	1	1.0
2	3～5歳	3	2.9
3	6～8歳	43	41.3
4	9～11歳	33	31.7
5	12～14歳	15	14.4
6	15～18歳	4	3.8
	無回答	5	4.8
	全体	104	100.0

(3) 発達上の課題がわかった時期

問4 あなたに発達上の課題があることがわかったのは、あなたが何歳のときですか。(あてはまるもの一つに○)

「4～5歳」が29.8%と最も多く、「6～8歳」が23.1%、「3歳」が21.2%、「2歳」が13.5%が続いています。

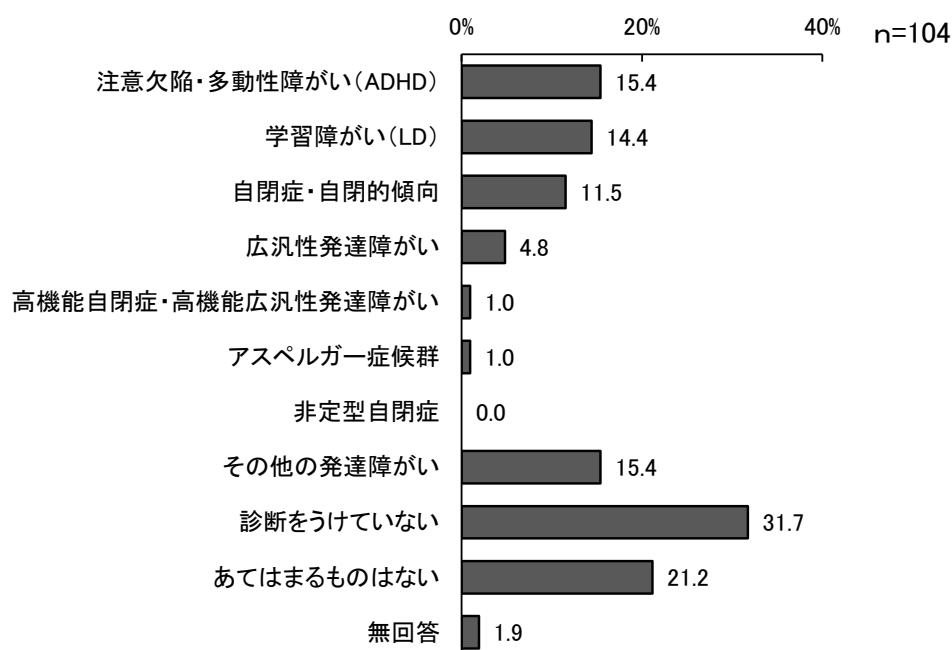


No.	選択肢	n	%
1	生まれたとき	2	1.9
2	0歳	2	1.9
3	1歳	5	4.8
4	2歳	14	13.5
5	3歳	22	21.2
6	4～5歳	31	29.8
7	6～8歳	24	23.1
8	9～11歳	3	2.9
9	12歳以上	1	1.0
	無回答	0	0.0
	全体	104	100.0

(4) 発達障がいの種類

問5 あなたは現在、次のような診断を受けていますか。(あてはまるもの全てに○)

「診断を受けていない」・「あてはまるものはない」以外では、「注意欠陥・多動性障がい (ADHD)」と「その他の発達障がい」がともに 15.4%と最も多く、次いで「学習障がい (LD)」(14.4%)が多く、「自閉症・自閉的傾向」(11.5%)が続いています。



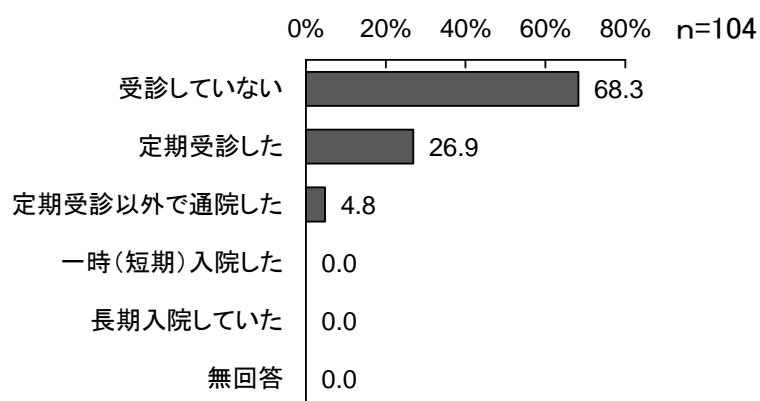
No.	選択肢	n	%
1	自閉症・自閉的傾向	12	11.5
2	広汎性発達障がい	5	4.8
3	高機能自閉症・高機能広汎性発達障がい	1	1.0
4	アスペルガー症候群	1	1.0
5	注意欠陥・多動性障がい (ADHD)	16	15.4
6	学習障がい (LD)	15	14.4
7	非定型自閉症	0	0.0
8	その他の発達障がい	16	15.4
9	診断を受けていない	33	31.7
10	あてはまるものはない	22	21.2
	無回答	2	1.9
	全体	104	100.0

3 医療について

(1) 医療機関受診状況

問6 あなたは、最近1年間に、発達に関することや疾病が理由で医療機関を受診しましたか。（あてはまるもの全てに○）

「受診していない」が68.3%と最も多く、次いで「定期受診した」が26.9%と多く、「定期受診以外で通院した」が4.8%で続いています。



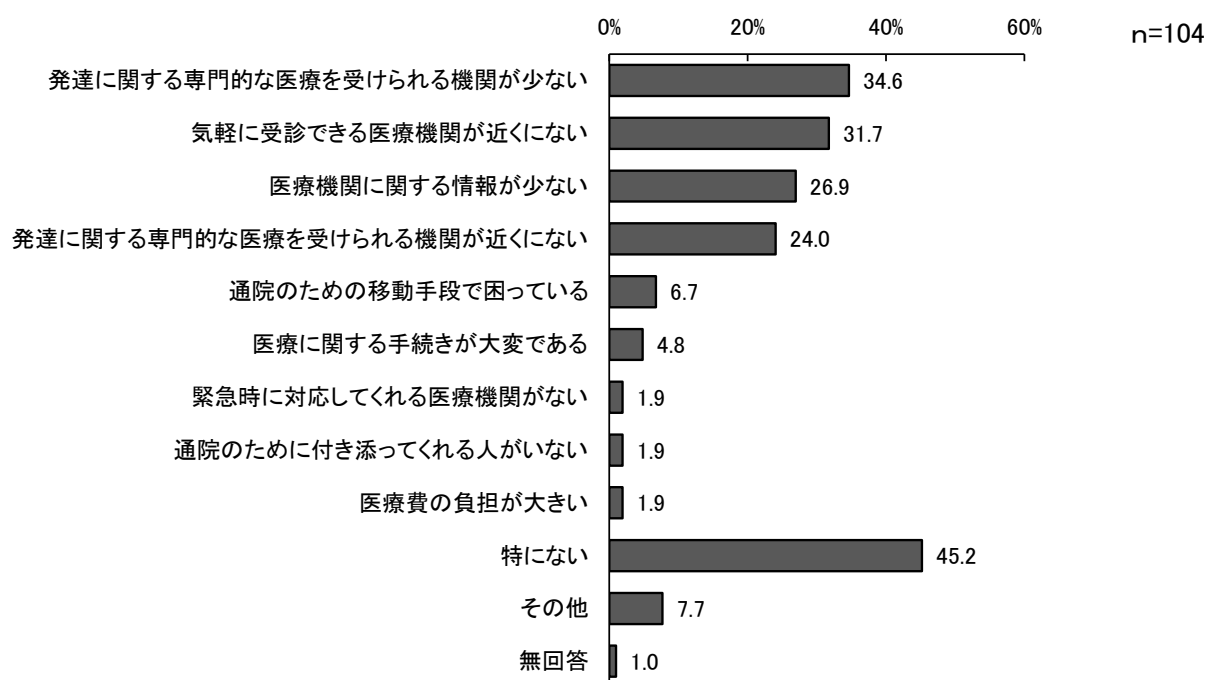
No.	選択肢	n	%
1	受診していない	71	68.3
2	定期受診した	28	26.9
3	定期受診以外で通院した	5	4.8
4	一時(短期)入院した	0	0.0
5	長期入院していた	0	0.0
	無回答	0	0.0
	全体	104	100.0

(2) 医療に関して困っていること

問7 あなたや保護者の方には、医療に関して困っていることがありますか。

(あてはまるもの全てに○)

「特にない」が45.2%と最も多く、次いで「発達に関する専門的な医療を受けられる機関が少ない」(34.6%)が多く、「気軽に受診できる医療機関が近くにない」(31.7%)、「医療機関に関する情報が少ない」(26.9%)、「発達に関する専門的な医療を受けられる機関が近くにない」(24.0%)が続いています。



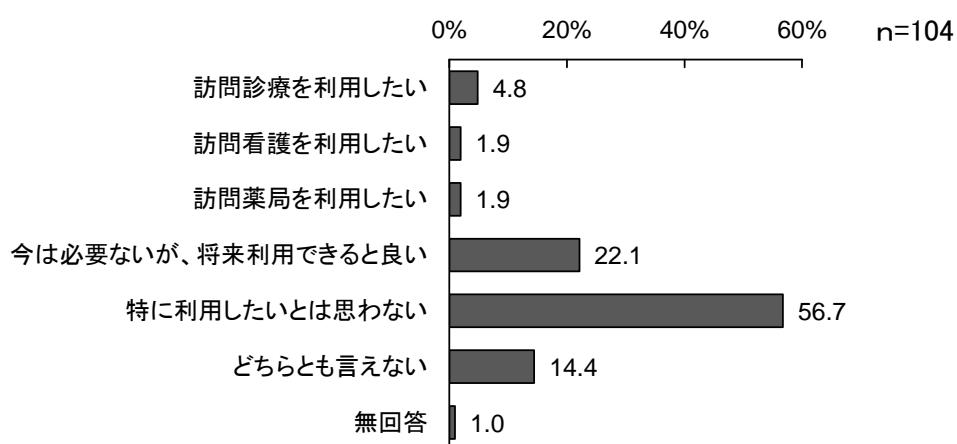
No.	選択肢	n	%
1	医療機関に関する情報が少ない	28	26.9
2	気軽に受診できる医療機関が近くにない	33	31.7
3	発達に関する専門的な医療を受けられる機関が少ない	36	34.6
4	発達に関する専門的な医療を受けられる機関が近くにない	25	24.0
5	緊急時に対応してくれる医療機関がない	2	1.9
6	通院のために付き添ってくれる人がいない	2	1.9
7	通院のための移動手段で困っている	7	6.7
8	医療費の負担が大きい	2	1.9
9	医療に関する手続きが大変である	5	4.8
10	特にない	47	45.2
11	その他	8	7.7
	無回答	1	1.0
	全体	104	100.0

(3) 訪問医療の利用意向

問8 あなたは、医師が自宅で診察してくれる訪問診療や、看護師が自宅で看護、医療的ケアなどをしてくれる訪問看護、薬剤師が自宅で服薬支援をしてくれる訪問薬局を利用したいと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

「特に利用したいとは思わない」が56.7%と最も多く、次いで「今は必要ないが、将来利用できる」と良い（22.1%）が多くなっています。

「訪問診療を利用したい」が4.8%、「訪問看護を利用したい」と「訪問薬局を利用したい」が共に1.9%となっています。



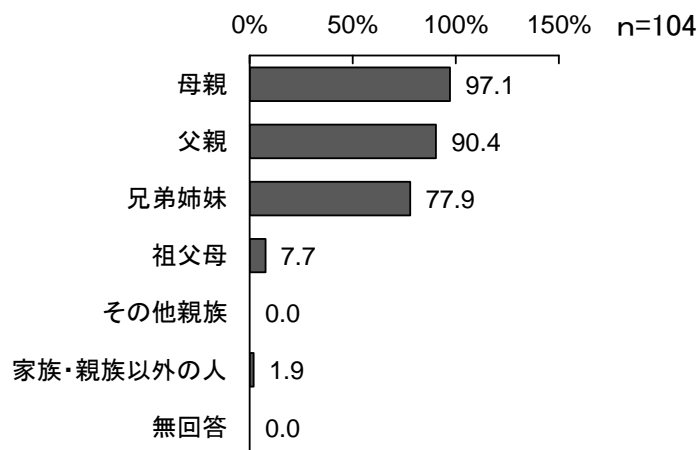
No.	選択肢	n	%
1	訪問診療を利用したい	5	4.8
2	訪問看護を利用したい	2	1.9
3	訪問薬局を利用したい	2	1.9
4	今は必要ないが、将来利用できる」と良い	23	22.1
5	特に利用したいとは思わない	59	56.7
6	どちらとも言えない	15	14.4
	無回答	1	1.0
	全体	104	100.0

4 ご家族について

(1) 同居家族

問9 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。(あてはまるもの全てに○)

「母親」が97.1%、「父親」が90.4%、「兄弟姉妹」が77.9%となっています。



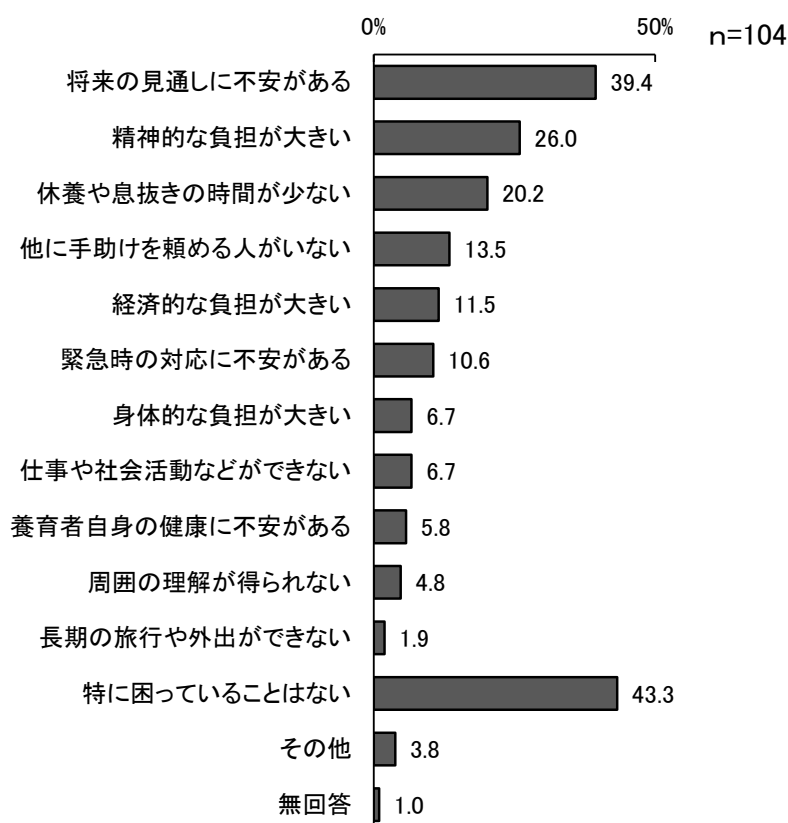
No.	選択肢	n	%
1	母親	101	97.1
2	父親	94	90.4
3	兄弟姉妹	81	77.9
4	祖父母	8	7.7
5	その他親族	0	0.0
6	家族・親族以外の人	2	1.9
	無回答	0	0.0
	全体	104	100.0

(2) 主な養育者が困っていること

問 10 主に養育しているご家族の方には、困っていることがありますか。

(あてはまるもの全てに○)

「特に困っていることはない」が 43.3%と最も多く、次いで「将来の見通しに不安がある」が 39.4%と多く、「精神的な負担が大きい」が 26.0%で続いています。



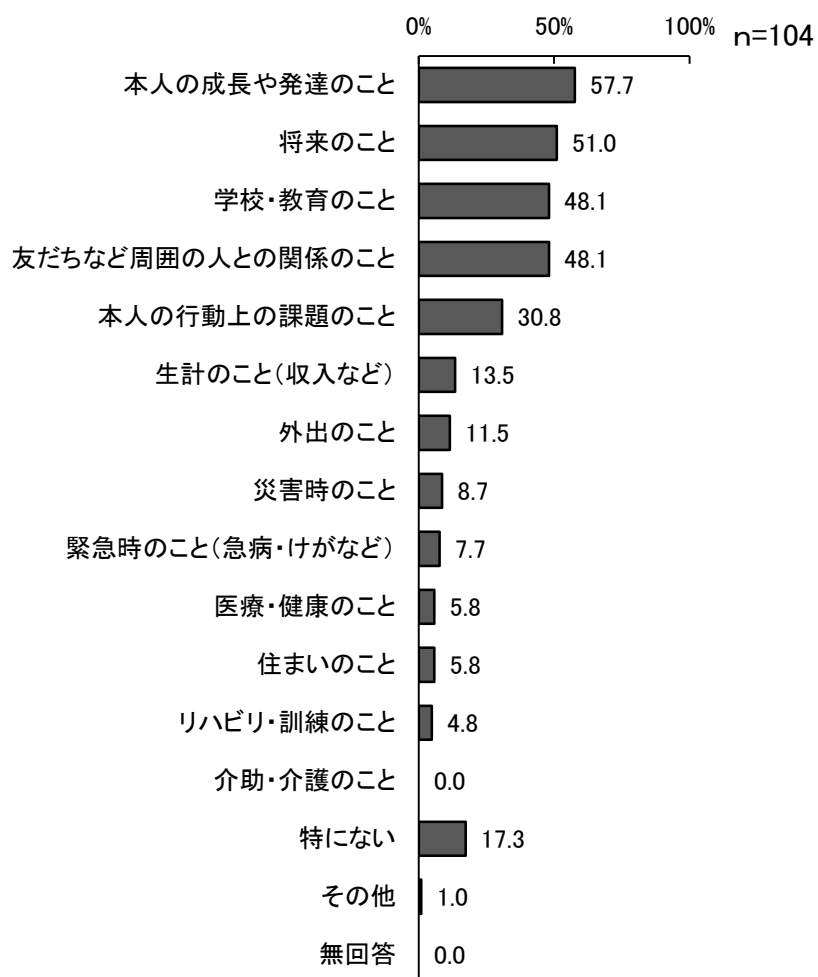
No.	選択肢	n	%
1	養育者自身の健康に不安がある	6	5.8
2	身体的な負担が大きい	7	6.7
3	精神的な負担が大きい	27	26.0
4	経済的な負担が大きい	12	11.5
5	他に手助けを頼める人がいない	14	13.5
6	休養や息抜きの時間が少ない	21	20.2
7	長期の旅行や外出ができない	2	1.9
8	仕事や社会活動などができない	7	6.7
9	緊急時の対応に不安がある	11	10.6
10	将来の見通しに不安がある	41	39.4
11	周囲の理解が得られない	5	4.8
12	特に困っていることはない	45	43.3
13	その他	4	3.8
	無回答	1	1.0
	全体	104	100.0

5 生活状況について

(1) 日常生活で改善したいこと等

問 11 あなたや保護者の方には、日常生活の中で不安に思うことや改善したいことがありますか。（あてはまるもの全てに○）

「本人の成長や発達のこと」が57.7%と最も多く、次いで「将来のこと」が51.0%と多く、「学校・教育のこと」と「友だちなど周囲の人との関係のこと」がともに48.1%で続いています。

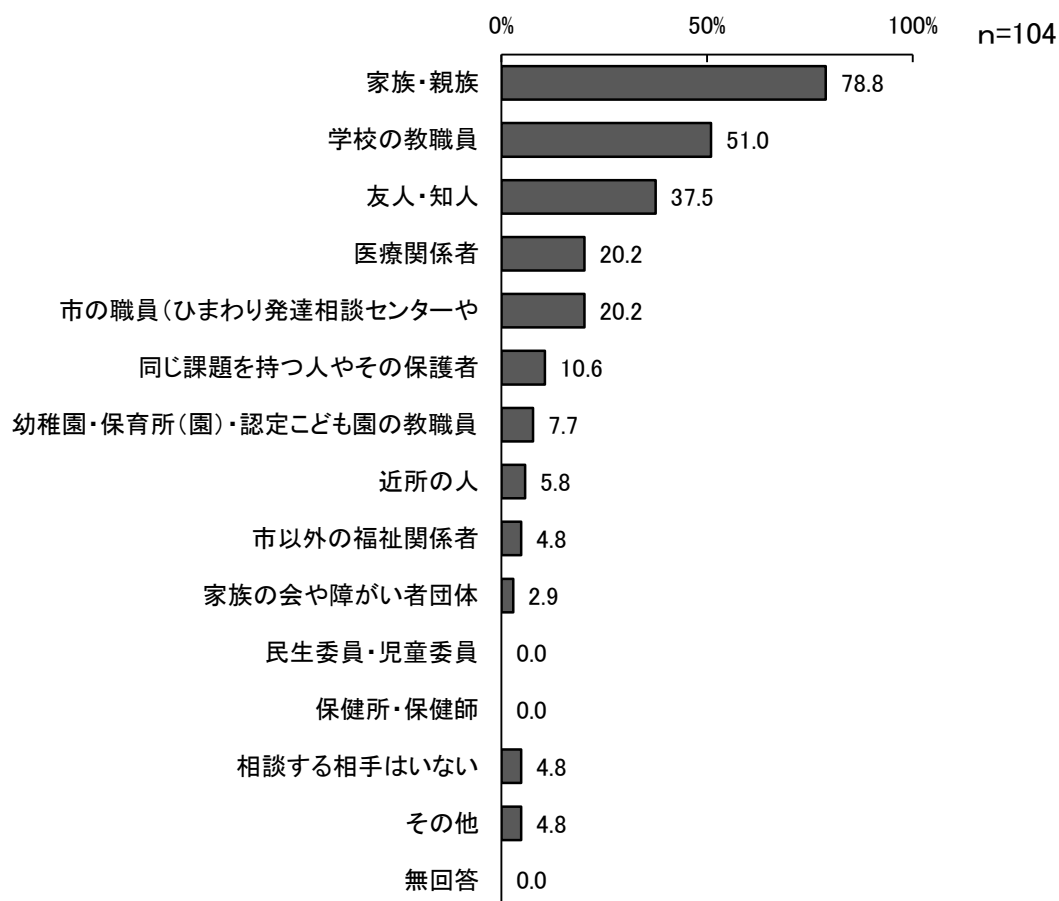


No.	選択肢	n	%
1	本人の成長や発達のこと	60	57.7
2	本人の行動上の課題のこと	32	30.8
3	介助・介護のこと	0	0.0
4	医療・健康のこと	6	5.8
5	リハビリ・訓練のこと	5	4.8
6	学校・教育のこと	50	48.1
7	外出のこと	12	11.5
8	住まいのこと	6	5.8
9	友だちなど周囲の人との関係のこと	50	48.1
10	緊急時のこと(急病・けがなど)	8	7.7
11	災害時のこと	9	8.7
12	生計のこと(収入など)	14	13.5
13	将来のこと	53	51.0
14	特にない	18	17.3
15	その他	1	1.0
	無回答	0	0.0
	全体	104	100.0

(2) 困ったときの相談先

問 12 あなたや保護者の方は、日常生活で困ったことや悩みについて、誰に相談していますか。（あてはまるもの全てに○）

「家族・親族」が78.8%と最も多く、次いで「学校の教職員」が51.0%と多く、「友人・知人」が37.5%が続いています。

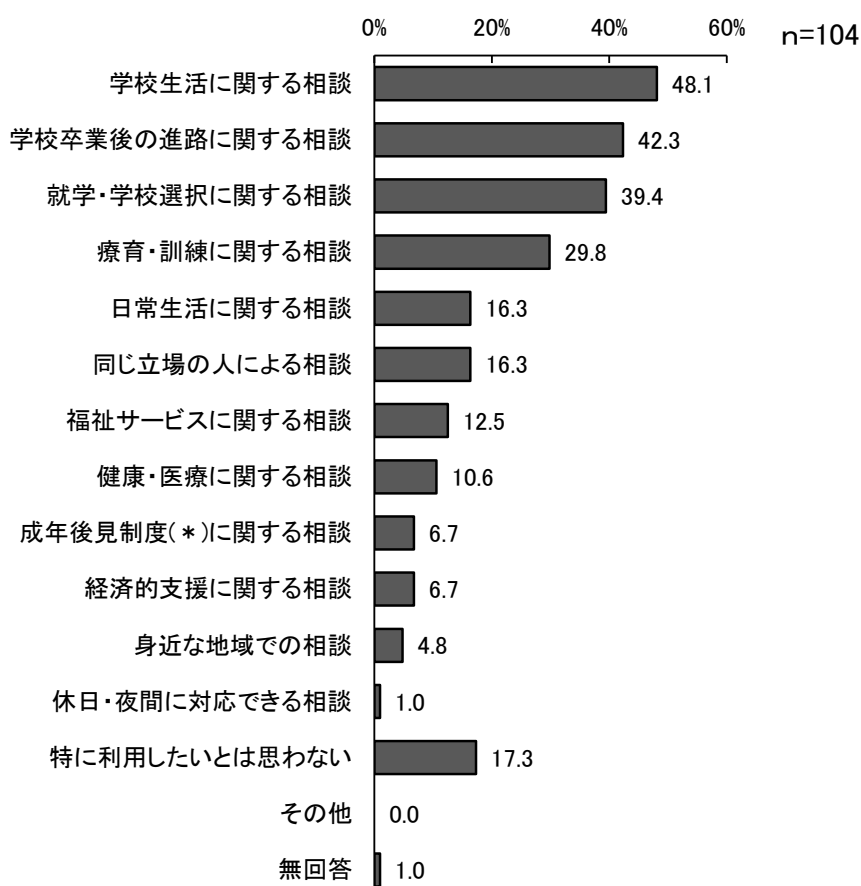


No.	選択肢	n	%
1	家族・親族	82	78.8
2	友人・知人	39	37.5
3	近所の人	6	5.8
4	幼稚園・保育所（園）・認定こども園の教職員	8	7.7
5	学校の教職員	53	51.0
6	市以外の福祉関係者	5	4.8
7	医療関係者	21	20.2
8	家族の会や障がい者団体	3	2.9
9	同じ課題を持つ人やその保護者	11	10.6
10	民生委員・児童委員	0	0.0
11	市の職員	21	20.2
12	保健所・保健師	0	0.0
13	相談する相手はいない	5	4.8
14	その他	5	4.8
	無回答	0	0.0
	全体	104	100.0

(3) 利用したい相談制度

問 13 あなたや保護者の方は、今後どのような相談を利用したいと思いますか。
(あてはまるもの全てに○)

「学校生活に関する相談」が 48.1%と最も多く、「学校卒業後の進路に関する相談」(42.3%)、「就学・学校選択に関する相談」(39.4%)、「療育・訓練に関する相談」(29.8%)が続いています。



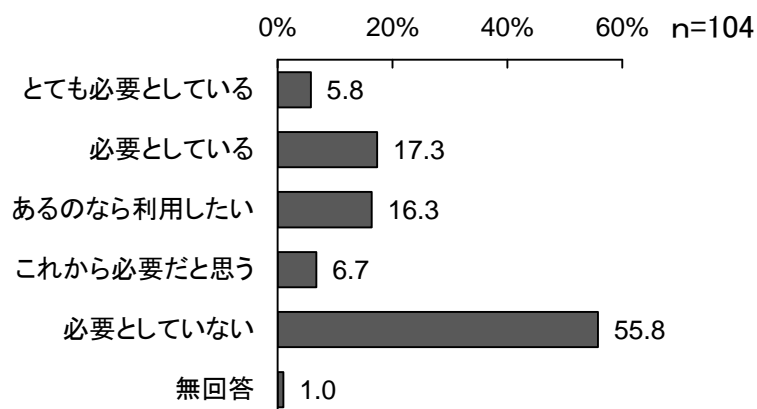
No.	選択肢	n	%
1	福祉サービスに関する相談	13	12.5
2	健康・医療に関する相談	11	10.6
3	療育・訓練に関する相談	31	29.8
4	就学・学校選択に関する相談	41	39.4
5	学校生活に関する相談	50	48.1
6	学校卒業後の進路に関する相談	44	42.3
7	日常生活に関する相談	17	16.3
8	成年後見制度(*)に関する相談	7	6.7
9	経済的支援に関する相談	7	6.7
10	休日・夜間に対応できる相談	1	1.0
11	同じ立場の人による相談	17	16.3
12	身近な地域での相談	5	4.8
13	特に利用したいとは思わない	18	17.3
14	その他	0	0.0
	無回答	1	1.0
	全体	104	100.0

(4) 福祉情報の必要性

問 14 あなたや保護者の方は、福祉に関する情報を必要としていますか。

(あてはまるもの全てに○)

「とても必要としている」が5.8%、「必要としている」が17.3%、「あるのなら利用したい」が16.3%、「これから必要だと思う」が6.7%となっています。一方、「必要としていない」は55.8%と過半数を占めています。

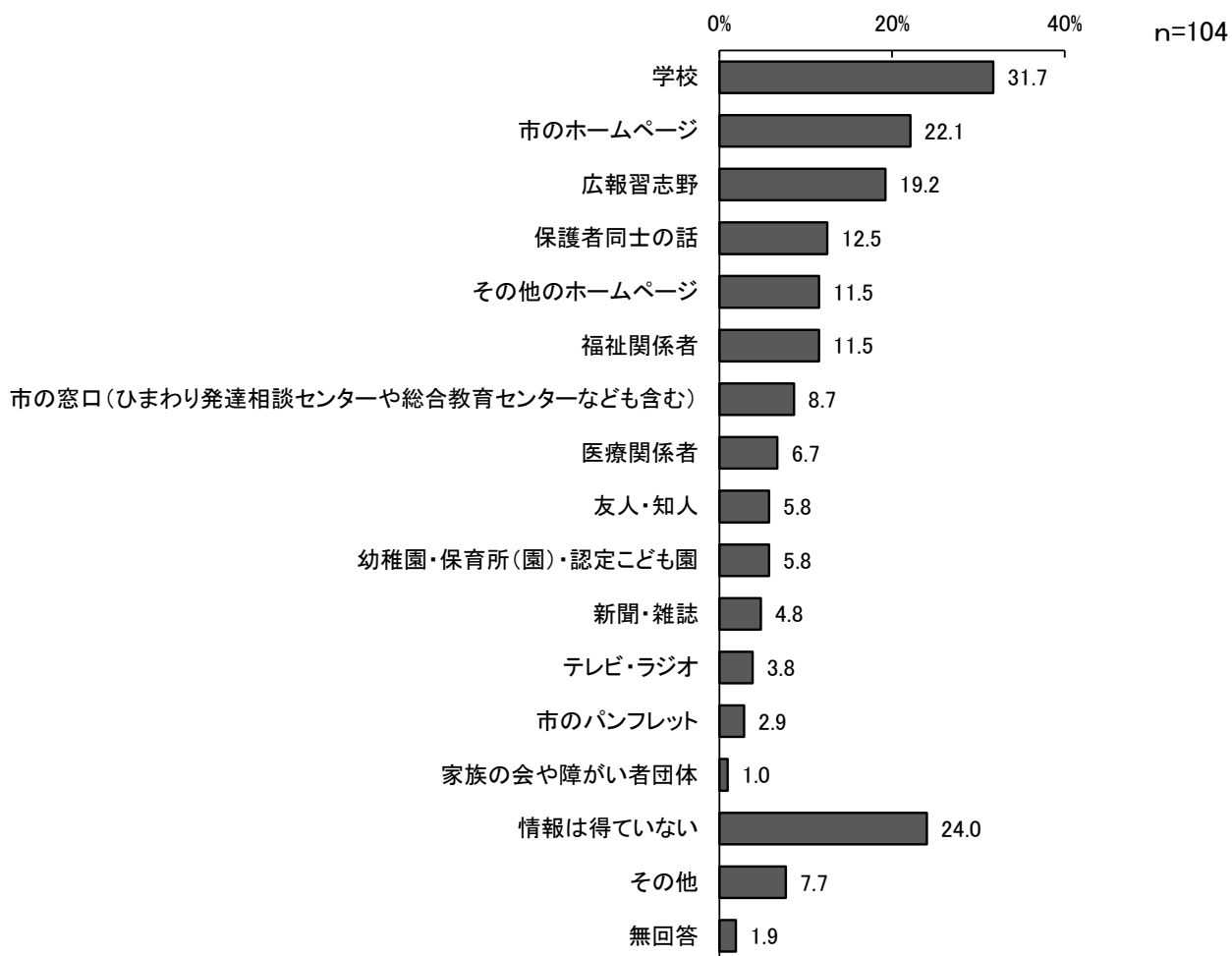


No.	選択肢	n	%
1	とても必要としている	6	5.8
2	必要としている	18	17.3
3	あるのなら利用したい	17	16.3
4	これから必要だと思う	7	6.7
5	必要としていない	58	55.8
	無回答	1	1.0
	全体	104	100.0

(5) 福祉情報の入手先

問 15 あなたや保護者の方は、福祉に関する情報を主にどこから得ていますか。
(あてはまるもの全てに○)

「学校」が31.7%と最も多く、「情報は得ていない」(24.0%)、「市のホームページ」(22.1%)、「広報習志野」(19.2%)が続いています。

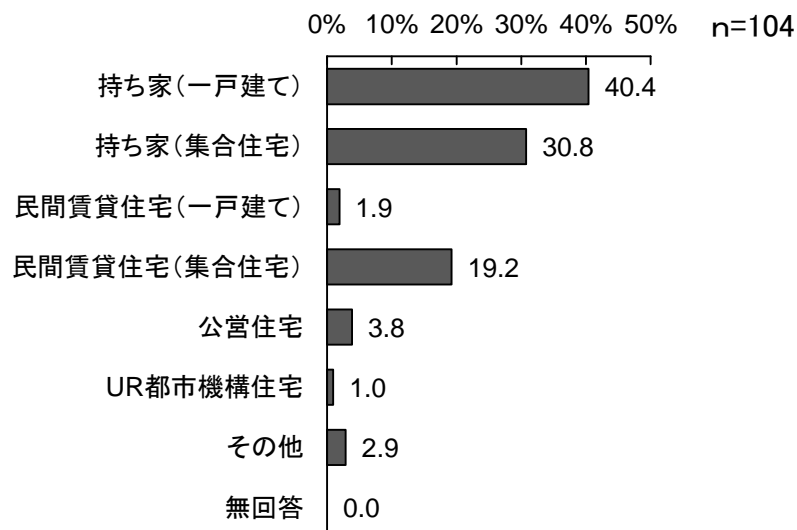


No.	選択肢	n	%
1	広報習志野	20	19.2
2	市のパンフレット	3	2.9
3	市のホームページ	23	22.1
4	その他のホームページ	12	11.5
5	新聞・雑誌	5	4.8
6	テレビ・ラジオ	4	3.8
7	保護者同士の話	13	12.5
8	友人・知人	6	5.8
9	学校	33	31.7
10	幼稚園・保育所(園)・認定こども園	6	5.8
11	福祉関係者	12	11.5
12	医療関係者	7	6.7
13	家族の会や障がい者団体	1	1.0
14	市の窓口	9	8.7
15	情報は得ていない	25	24.0
16	その他	8	7.7
	無回答	2	1.9
	全体	104	100.0

(6) 住まいの種類

問 16 あなたのお住まいの種類をお聞きします。(あてはまるもの一つに○)

「持ち家(一戸建て)」が40.4%と最も多く、次いで「持ち家(集合住宅)」が30.8%と多く、「民間賃貸住宅(集合住宅)」が19.2%で続いています。



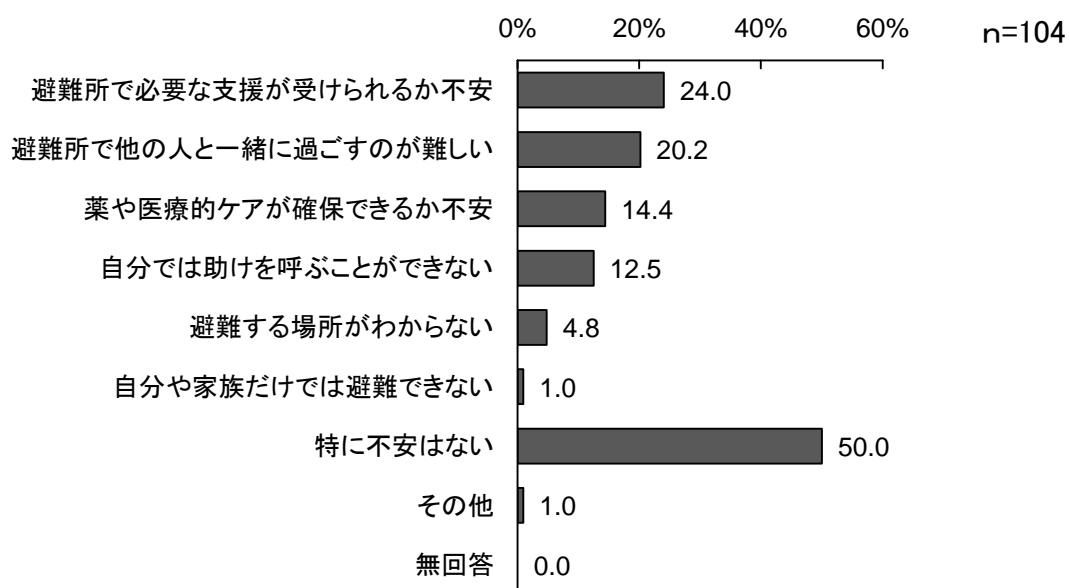
No.	選択肢	n	%
1	持ち家(一戸建て)	42	40.4
2	持ち家(集合住宅)	32	30.8
3	民間賃貸住宅(一戸建て)	2	1.9
4	民間賃貸住宅(集合住宅)	20	19.2
5	公営住宅	4	3.8
6	UR都市機構住宅	1	1.0
7	その他	3	2.9
	無回答	0	0.0
	全体	104	100.0

6 防災について

(1) 災害時不安に思うこと

問 17 あなたや保護者の方は、地震などの災害が起きたときのことについて、どのようなことに不安を感じていますか。（あてはまるもの全てに○）

「特に不安はない」が半数で最も多く、次いで「避難所で必要な支援が受けられるか不安」が 24.0%と多く、「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」が 14.4%で続いています。



No.	選択肢	n	%
1	自分や家族だけでは避難できない	1	1.0
2	避難する場所がわからない	5	4.8
3	自分では助けを呼ぶことができない	13	12.5
4	避難所で必要な支援が受けられるか不安	25	24.0
5	避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい	21	20.2
6	薬や医療的ケアが確保できるか不安	15	14.4
7	特に不安はない	52	50.0
8	その他	1	1.0
	無回答	0	0.0
	全体	104	100.0

7 保育・教育について

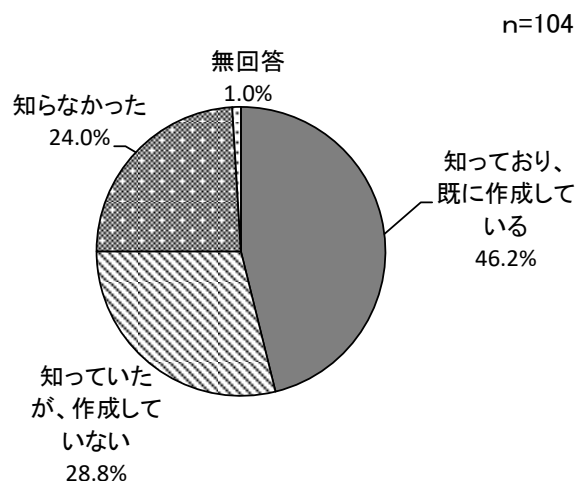
(1) 「ライフサポートファイル」の認知・作成状況

問 18 保護者の方は、ライフサポートファイルをご存知ですか。また、ご存じの方は、既に作成しているかどうかもお答えください。（あてはまるもの一つに○）

*「ライフサポートファイル」について

「ライフサポートファイル」は、保護者の皆さんがお子さんの成長の記録として残したいことや、保育施設・学校・相談、医療機関などに伝えたい事をまとめるためのツールです。

「知っており、既に作成している」が46.2%と最も多く、「知っていたが、作成していない」が28.8%、「知らなかった」が24.0%となっています。



No.	選択肢	n	%
1	知っており、既に作成している	48	46.2
2	知っていたが、作成していない	30	28.8
3	知らなかった	25	24.0
	無回答	1	1.0
	全体	104	100.0

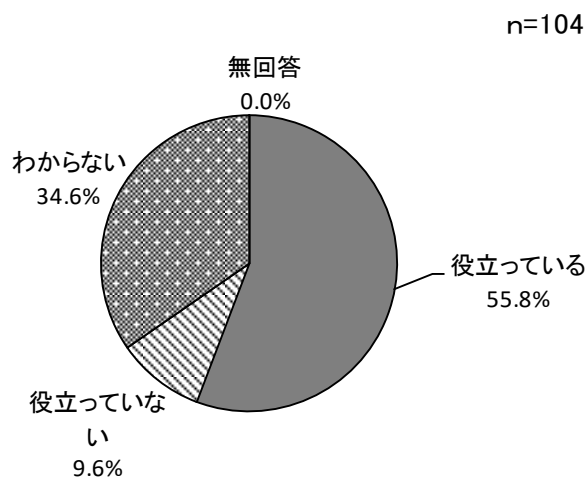
(2) 「個別支援計画」は役立っているか

問 19 保護者の方にお聞きします。所属園や在籍校と作成する「個別支援計画」は役立っていますか。(あてはまるもの一つに○)

*個別支援計画について

「個別支援計画」は、成長・発達に心配のあるお子さんを支援するための計画です。お子さんの状態やこれまでの経過、支援方針などの情報がまとめてあり、支援者や支援環境が変わっても継続した支援を行うことができます。

「役立っている」が55.8%と過半数で最も多く、次いで「わからない」が34.6%と多く、「役立っていない」は9.6%となっています。



No.	選択肢	n	%
1	役立っている	58	55.8
2	役立っていない	10	9.6
3	わからない	36	34.6
	無回答	0	0.0
	全体	104	100.0

(3) 現在の通い先

問 20 から問 22 の設問は、あて名ご本人が **小学校入学前の方** にお聞きします。

(あて名ご本人が **在学中** または **学校卒業後** の場合は、問 23 にお進みください。)

問 20 あなたには、現在通っているところがありますか。(あてはまるもの全てに

「ひまわり発達相談センター」8人中5人と最も多く、次いで「認定こども園」と「児童発達支援」がともに4人となっています。

No.	選択肢	n	%
1	保育所(園)	1	12.5
2	幼稚園	3	37.5
3	認定こども園	4	50.0
4	特別支援学校の幼稚部	0	0.0
5	ひまわり発達相談センター	5	62.5
6	児童発達支援	4	50.0
7	医療型児童発達支援	0	0.0
8	放課後等デイサービス	0	0.0
9	その他の療育機関	0	0.0
10	通っているところはない	0	0.0
11	その他	0	0.0
	無回答	0	0.0
	全体	8	100.0
	非該当	96	

(4) 療育・保育について困っていること

問 21 保護者の方には、療育・保育に関して困っていることがありますか。（あてはまるもの全てに○）

「本人の成長や発達に不安がある」が8人中5人と最も多く、次いで「療育・保育に関する情報が少ない」・「療育や訓練の内容が十分ではない」・「通園・通所の送り迎えが大変」・「特に困っていることはない」がいずれも2人となっています。

No.	選択肢	n	%
1	本人の成長や発達に不安がある	5	62.5
2	療育・保育に関する情報が少ない	2	25.0
3	希望する施設などに通えない	1	12.5
4	療育や訓練の機会が少ない	1	12.5
5	療育や訓練の内容が十分ではない	2	25.0
6	通園・通所の送り迎えが大変	2	25.0
7	費用など経済的負担が大きい	0	0.0
8	小学校入学時の学校選択で困っている	1	12.5
9	特に困っていることはない	2	25.0
10	その他	0	0.0
	無回答	0	0.0
	全体	8	100.0
	非該当	96	

(5) 通わせたい小学校の学校・学級

問 22 小学校（小学部）に入学するとき、保護者の方は、どの学校・学級に通わせたいと思いますか。（最もあてはまるもの一つに○）

「小学校の通常学級」が8人中6人と最も多く、4分の3を占めています。

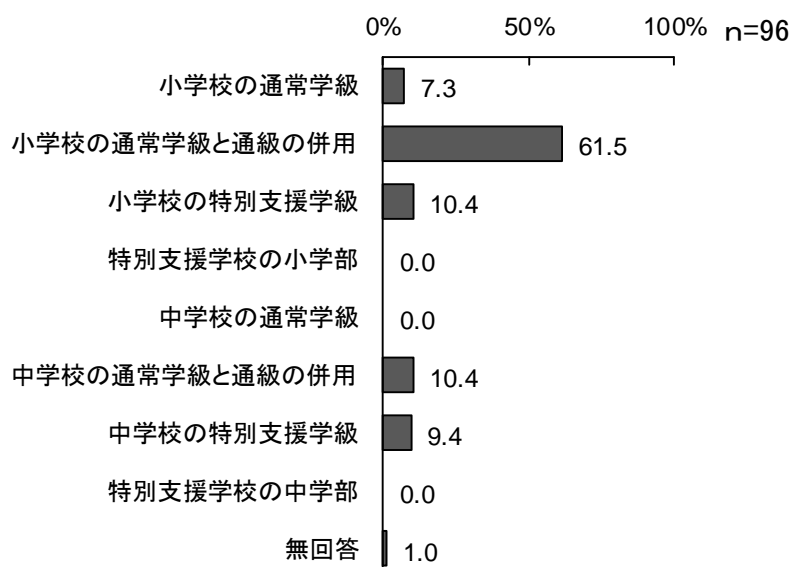
No.	選択肢	n	%
1	小学校の通常学級	6	75.0
2	小学校の特別支援学級	1	12.5
3	特別支援学校の小学部	0	0.0
4	わからない	0	0.0
5	その他	1	12.5
	無回答	0	0.0
	全体	8	100.0
	非該当	96	

(6) 現在通っているところ

問23から問26の設問は、あて名ご本人が「**在学中**」または「**学校卒業後**」の方にお聞きします。（あて名ご本人が「**小学校入学前**」の場合は、問27にお進みください。）

問23 あなたは現在、どこに通っていますか。（あてはまるもの一つに○）

「小学校の通常学級と通級の併用（通級：言語・情緒・難聴・LD/ADHD）」が96人中59人と最も多く、次いで「小学校の特別支援学級」と「中学校の通常学級と通級の併用（通級：言語・情緒・難聴・LD/ADHD）」がともに10人と多くなっています。

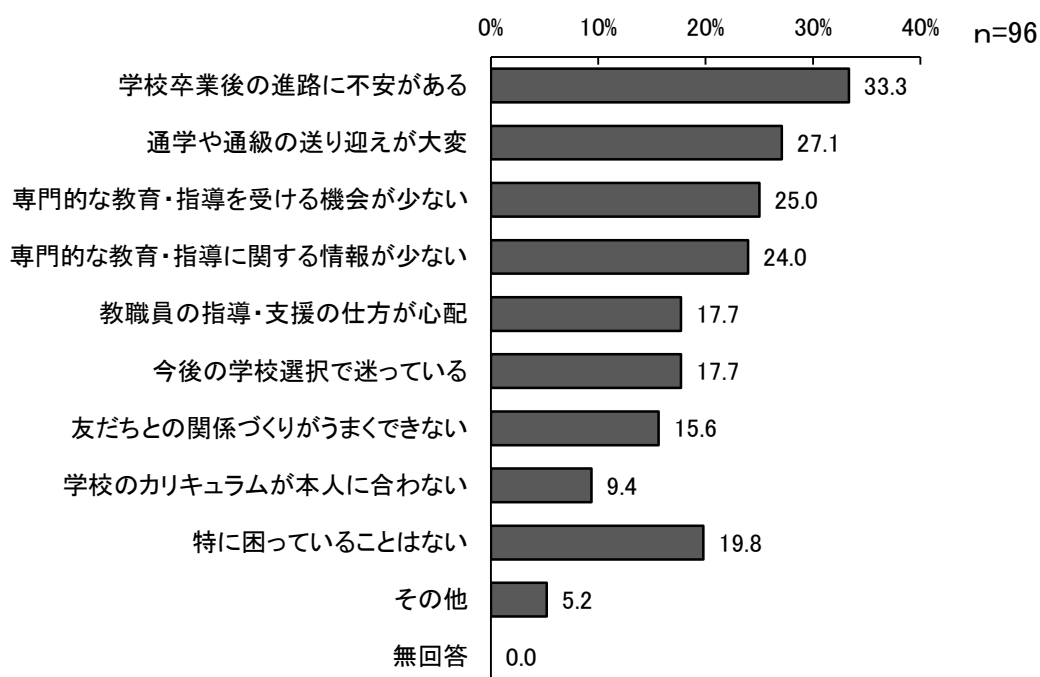


No.	選択肢	n	%
1	小学校の通常学級	7	7.3
2	小学校の通常学級と通級の併用(通級:言語・情緒・難聴・LD/ADHD)	59	61.5
3	小学校の特別支援学級	10	10.4
4	特別支援学校の小学部	0	0.0
5	中学校の通常学級	0	0.0
6	中学校の通常学級と通級の併用(通級:言語・情緒・難聴・LD/ADHD)	10	10.4
7	中学校の特別支援学級	9	9.4
8	特別支援学校の中学部	0	0.0
	無回答	1	1.0
	全体	96	100.0
	非該当	8	

(7) 学校教育について困っていること

問 24 あなたや保護者の方には、学校教育について困っていることがありますか。
(あてはまるもの全てに○)

「学校卒業後の進路に不安がある」が 96 人中 32 人と最も多く、次いで「通学や通級の送り迎えが大変」が 26 人と多く、「専門的な教育・指導を受ける機会が少ない」24 人、「専門的な教育・指導に関する情報が少ない」23 人が続いています。

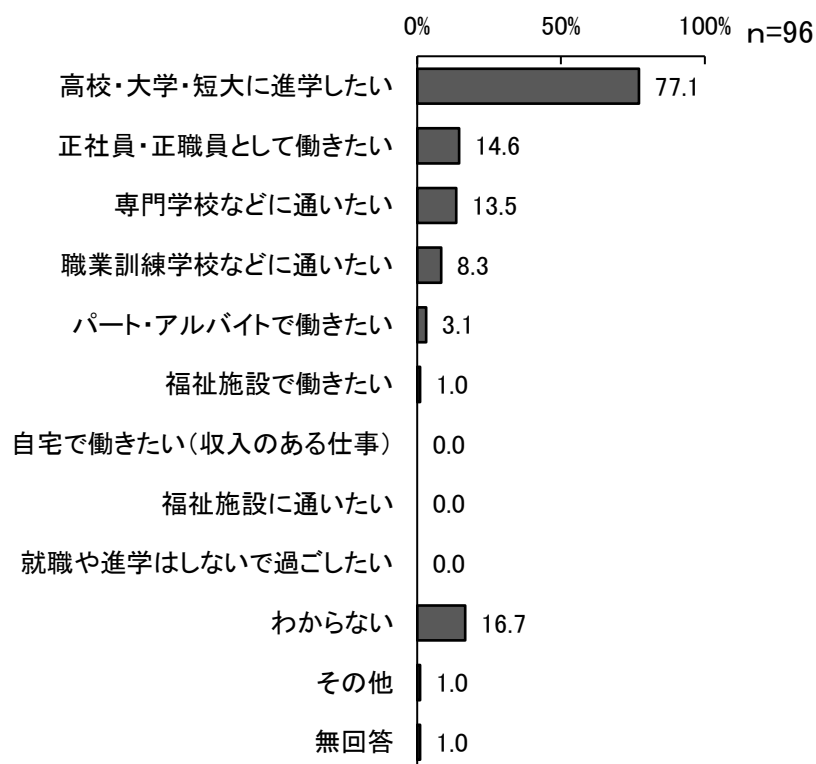


No.	選択肢	n	%
1	専門的な教育・指導に関する情報が少ない	23	24.0
2	専門的な教育・指導を受ける機会が少ない	24	25.0
3	通学や通級の送り迎えが大変	26	27.1
4	教職員の指導・支援の仕方が心配	17	17.7
5	学校のカリキュラムが本人に合わない	9	9.4
6	友だちとの関係づくりがうまくできない	15	15.6
7	今後の学校選択で迷っている	17	17.7
8	学校卒業後の進路に不安がある	32	33.3
9	特に困っていることはない	19	19.8
10	その他	5	5.2
	無回答	0	0.0
	全体	96	100.0
	非該当	8	

(8) 学校卒業後の進路希望

問 25 あなたは、どのような進路を希望していますか。(あてはまるもの全てに○)

「高校・大学・短大に進学したい」が96人中74人と最も多く、次いで「わからない」が16人と多く、「正社員・正職員として働きたい」14人、「専門学校などに通いたい」13人が続いています。

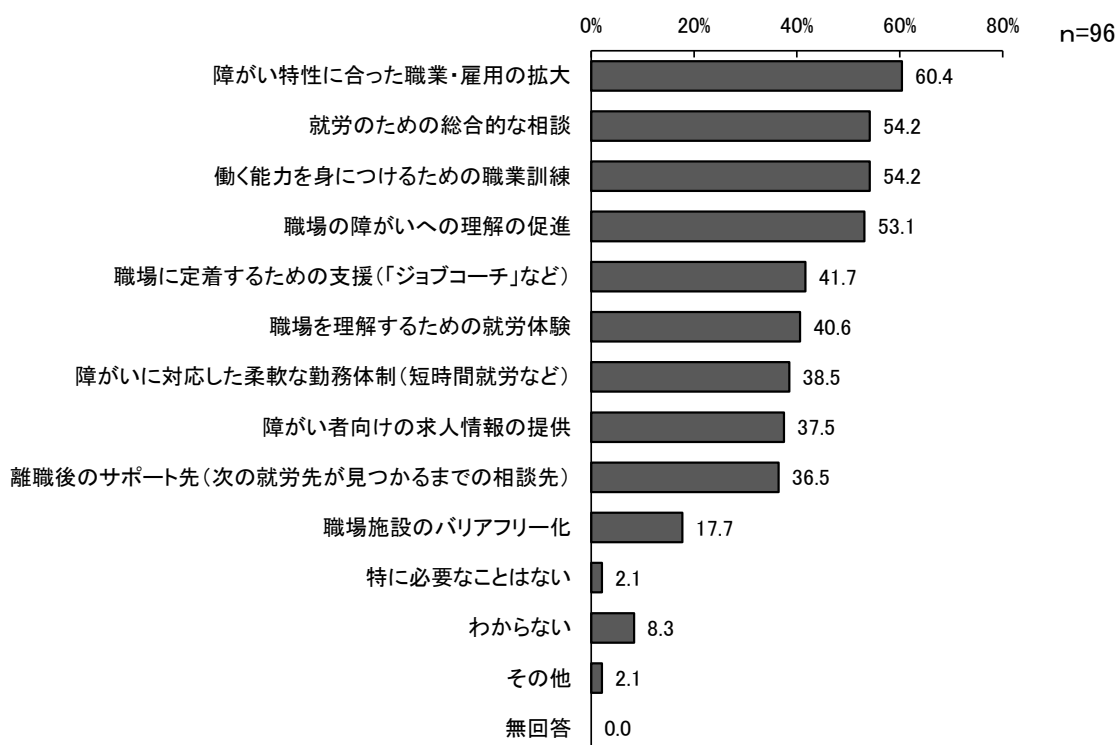


No.	選択肢	n	%
1	高校・大学・短大に進学したい	74	77.1
2	専門学校などに通いたい	13	13.5
3	職業訓練学校などに通いたい	8	8.3
4	正社員・正職員として働きたい	14	14.6
5	パート・アルバイトで働きたい	3	3.1
6	自宅で働きたい(収入のある仕事)	0	0.0
7	福祉施設で働きたい	1	1.0
8	福祉施設に通いたい	0	0.0
9	就職や進学はしないで過ごしたい	0	0.0
10	わからない	16	16.7
11	その他	1	1.0
	無回答	1	1.0
	全体	96	100.0
	非該当	8	

(9) 一般就労に必要なこと

問 26 障がいのある人が企業などで働くためには、どのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

「障がい特性に合った職業・雇用の拡大」が96人中58人と最も多く、次いで「就労のための総合的な相談」と「働く能力を身につけるための職業訓練」がともに52人と多く、「職場の障がいへの理解の促進」が51人で続いています。



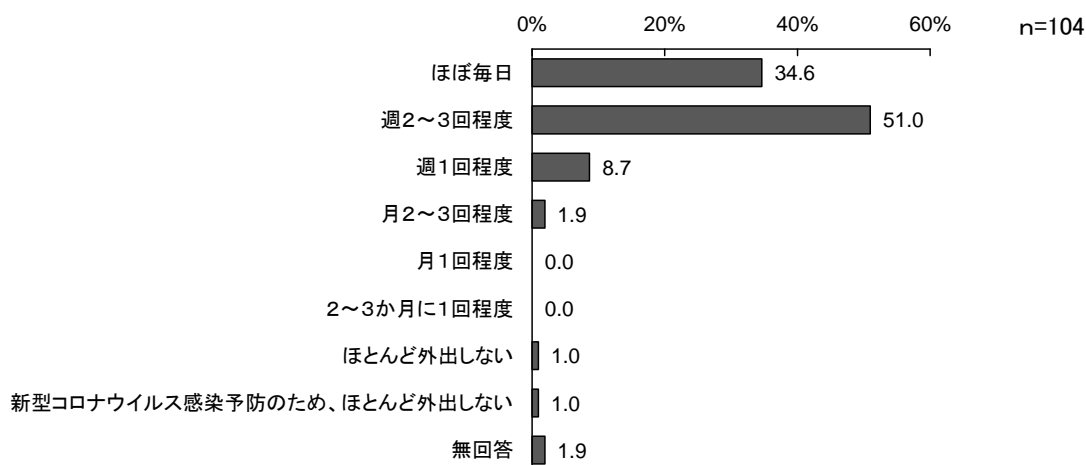
No.	選択肢	n	%
1	就労のための総合的な相談	52	54.2
2	働く能力を身につけるための職業訓練	52	54.2
3	職場を理解するための就労体験	39	40.6
4	障がい特性に合った職業・雇用の拡大	58	60.4
5	障がい者向けの求人情報の提供	36	37.5
6	職場の障がいへの理解の促進	51	53.1
7	職場施設のバリアフリー化	17	17.7
8	障がいに対応した柔軟な勤務体制(短時間就労など)	37	38.5
9	職場に定着するための支援(「ジョブコーチ」など)	40	41.7
10	離職後のサポート先(次の就労先が見つかるまでの相談先)	35	36.5
11	特に必要なことはない	2	2.1
12	わからない	8	8.3
13	その他	2	2.1
	無回答	0	0.0
	全体	96	100.0
	非該当	8	

8 社会参加について

(1) 外出の頻度

問 27 あなたは、通園・通学以外に、どのくらいの頻度で外出しますか。通園・通学した日でも、通っている学校等以外にどこかへ出かけている場合は、外出した日に含めてお答えください。（あてはまるもの一つに○）

「週2～3回程度」が51.0%と最も多く、次いで「ほぼ毎日」が34.6%と多くなっています。

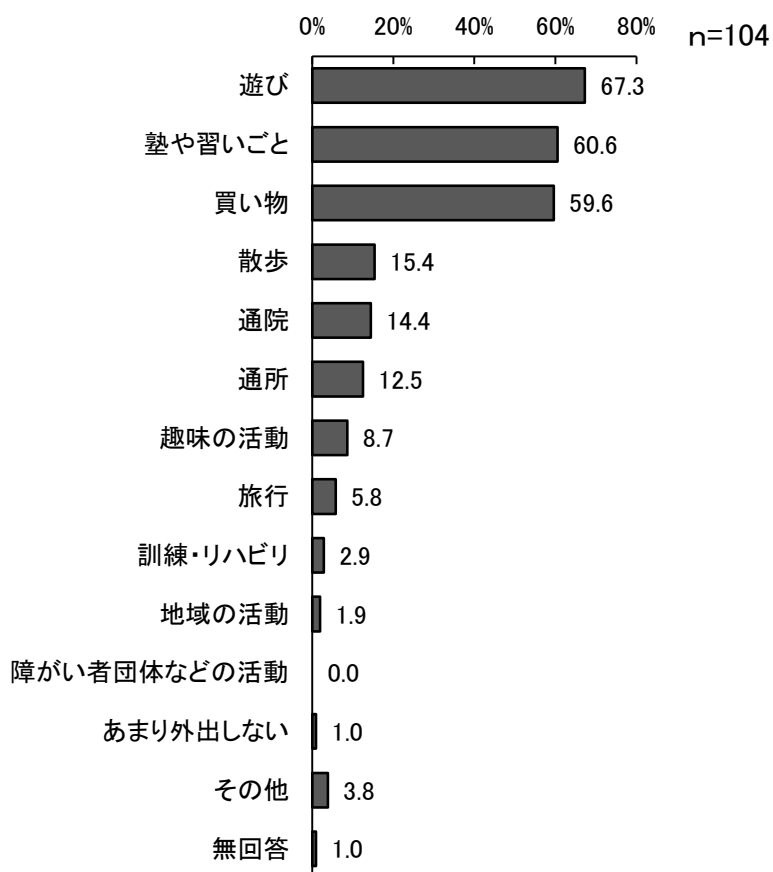


No.	選択肢	n	%
1	ほぼ毎日	36	34.6
2	週2～3回程度	53	51.0
3	週1回程度	9	8.7
4	月2～3回程度	2	1.9
5	月1回程度	0	0.0
6	2～3か月に1回程度	0	0.0
7	ほとんど外出しない	1	1.0
8	新型コロナウイルス感染予防のため、ほとんど外出しない	1	1.0
	無回答	2	1.9
	全体	104	100.0

(2) 外出の目的

問 28 あなたは、通園・通学以外では、どのような目的で外出することが多いですか。（あてはまるもの全てに○）

「遊び」が67.3%と最も多く、次いで「塾や習いごと」が60.6%と多く、「買い物」が59.6%で続いています。



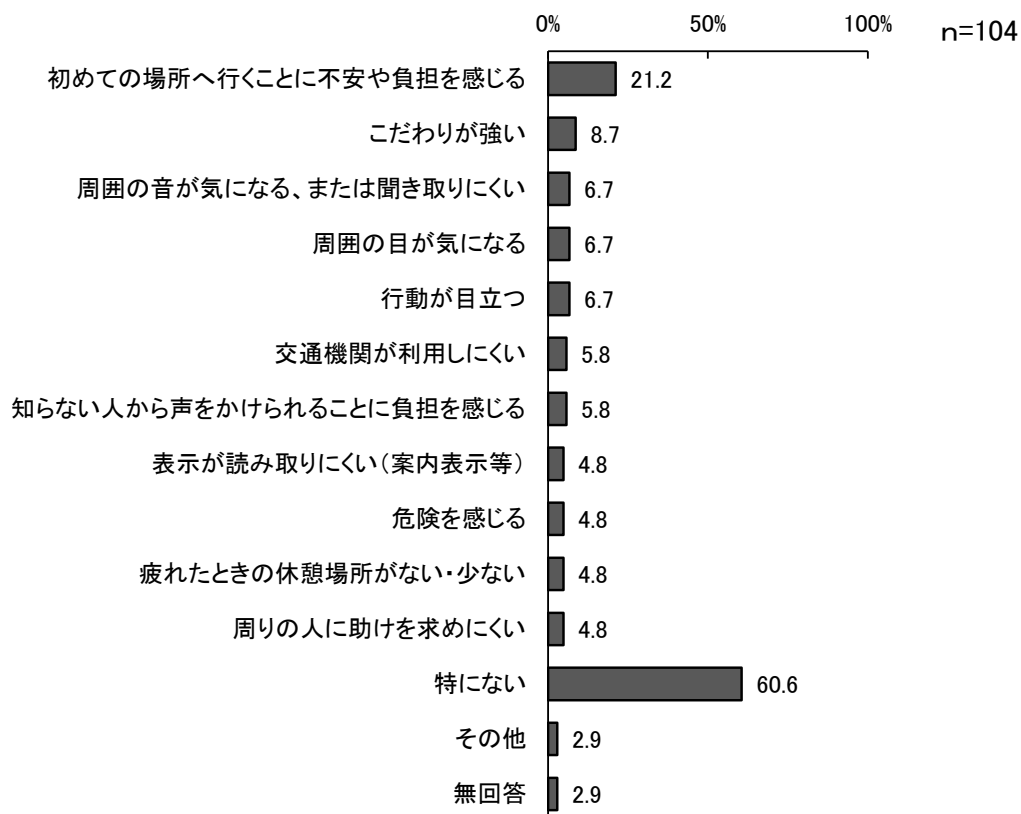
No.	選択肢	n	%
1	通所	13	12.5
2	通院	15	14.4
3	訓練・リハビリ	3	2.9
4	塾や習いごと	63	60.6
5	遊び	70	67.3
6	買い物	62	59.6
7	散歩	16	15.4
8	旅行	6	5.8
9	趣味の活動	9	8.7
10	地域の活動	2	1.9
11	障がい者団体などの活動	0	0.0
12	あまり外出しない	1	1.0
13	その他	4	3.8
	無回答	1	1.0
	全体	104	100.0

(3) 外出するとき困っていること

問 29 あなたや保護者の方には、外出するときに困っていることはありますか。

(あてはまるもの全てに○)

「特にない」が60.6%と最も多く、次いで「初めての場所へ行くことに不安や負担を感じる」が21.2%と多く、「こだわりが強い」(8.7%)等が続いています。



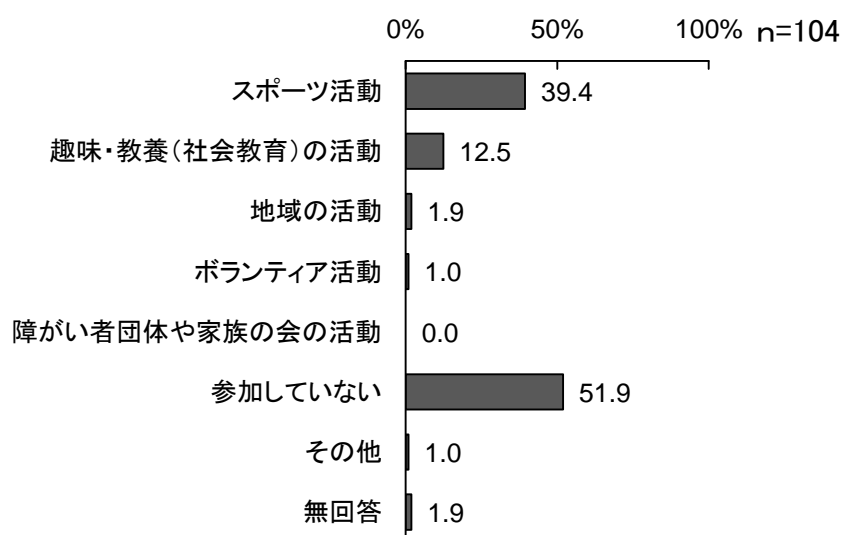
No.	選択肢	n	%
1	周囲の音が気になる、または聞き取りにくい	7	6.7
2	表示が読み取りにくい(案内表示等)	5	4.8
3	交通機関が利用しにくい	6	5.8
4	危険を感じる	5	4.8
5	疲れたときの休憩場所がない・少ない	5	4.8
6	周囲の目が気になる	7	6.7
7	周りの人に助けを求めにくい	5	4.8
8	知らない人から声をかけられることに負担を感じる	6	5.8
9	初めての場所へ行くことに不安や負担を感じる	22	21.2
10	こだわりが強い	9	8.7
11	行動が目立つ	7	6.7
12	特にない	63	60.6
13	その他	3	2.9
	無回答	3	2.9
	全体	104	100.0

(4) 社会活動への参加状況

問 30 あなたは、学校以外で次のような社会活動に参加していますか。

(あてはまるもの全てに○)

「参加していない」が 51.9%と最も多い一方で、次いで「スポーツ活動」が 39.4%と多く、「趣味・教養（社会教育）の活動」が 12.5%で続いています。



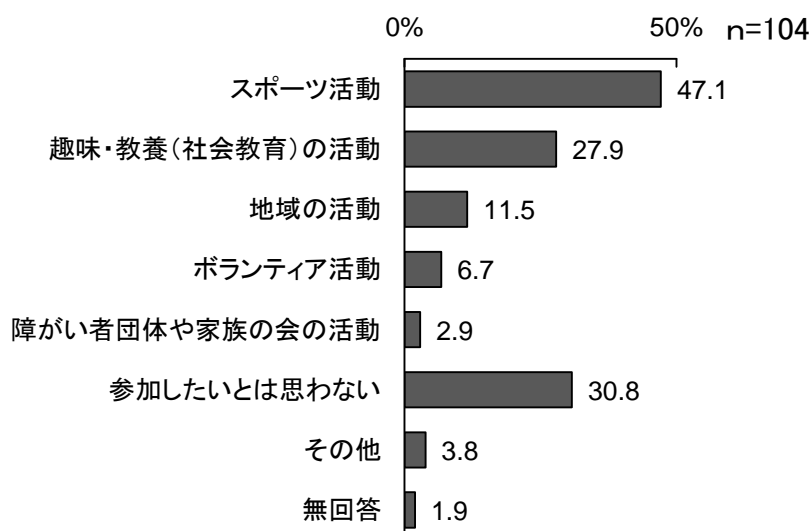
No.	選択肢	n	%
1	趣味・教養(社会教育)の活動	13	12.5
2	スポーツ活動	41	39.4
3	地域の活動	2	1.9
4	ボランティア活動	1	1.0
5	障がい者団体や家族の会の活動	0	0.0
6	参加していない	54	51.9
7	その他	1	1.0
	無回答	2	1.9
	全体	104	100.0

(5) 社会活動への参加意向

問31 あなたは今後、次のような社会活動に参加したいと思いますか。既に参加している方も、今後参加したいかどうかお答えください。

(あてはまるもの全てに○)

「スポーツ活動」が47.1%と最も多く、次いで「参加したいとは思わない」が30.8%と多くなっています。

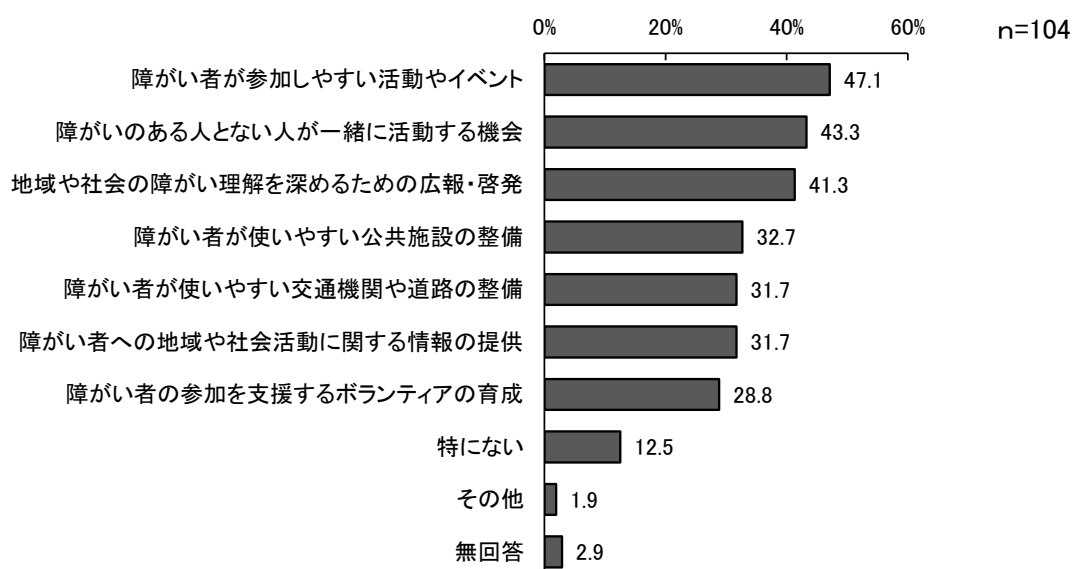


No.	選択肢	n	%
1	趣味・教養(社会教育)の活動	29	27.9
2	スポーツ活動	49	47.1
3	地域の活動	12	11.5
4	ボランティア活動	7	6.7
5	障がい者団体や家族の会の活動	3	2.9
6	参加したいとは思わない	32	30.8
7	その他	4	3.8
	無回答	2	1.9
	全体	104	100.0

(6) 社会参加のために必要なこと

問 32 あなたは、障がいのある人が地域や社会に積極的に参加できるようにするために、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

「障がい者が参加しやすい活動やイベント」が47.1%と最も多く、次いで「障がいのある人とない人が一緒に活動する機会」が43.3%と多く、「地域や社会の障がい理解を深めるための広報・啓発」が41.3%で続いています。



No.	選択肢	n	%
1	障がい者が参加しやすい活動やイベント	49	47.1
2	障がいのある人とない人が一緒に活動する機会	45	43.3
3	障がい者が使いやすい公共施設の整備	34	32.7
4	障がい者が使いやすい交通機関や道路の整備	33	31.7
5	障がい者への地域や社会活動に関する情報の提供	33	31.7
6	障がい者の参加を支援するボランティアの育成	30	28.8
7	地域や社会の障がい理解を深めるための広報・啓発	43	41.3
8	特にない	13	12.5
9	その他	2	1.9
	無回答	3	2.9
	全体	104	100.0

9 福祉制度について

(1) 福祉制度の利用状況

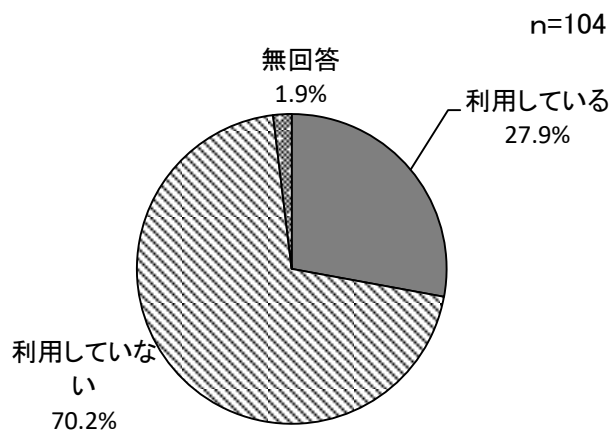
問 33 あなたは、現在、福祉の制度を利用していますか。利用している方は、どんな制度を利用しているかをご記入ください。利用していない方は、その理由をお答えください。

※ここでは、こども部で行われている制度は含めないでください。

(例：児童手当、ファミリー・サポート・センター等)

①制度利用の有無等

「利用している」が 27.9%、「利用していない」が 70.2%となっています。また、利用しているサービスについて記述があったものとしては、「放課後等デイサービス」、「児童発達支援」などが多く挙げられています。

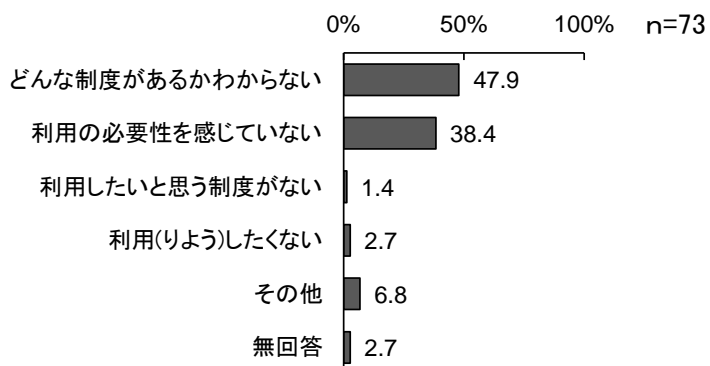


No.	選択肢	n	%
1	利用している	29	27.9
2	利用していない	73	70.2
	無回答	2	1.9
	全体	104	100.0

②利用していない理由

「どんな制度があるかわからない」が73人中35人と最も多く、次いで「利用の必要性を感じていない」が28人と多くなっています。

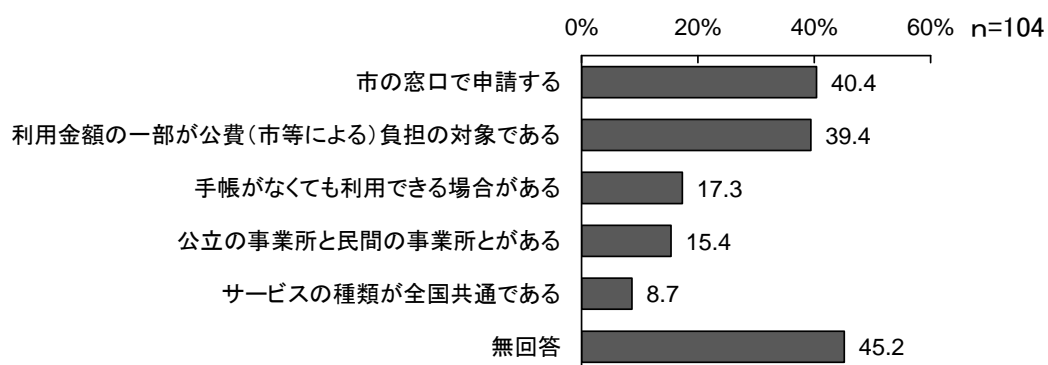
No.	選択肢	n	%
1	どんな制度があるかわからない	35	47.9
2	利用したいと思う制度がない	1	1.4
3	利用の必要性を感じていない	28	38.4
4	利用したくない	2	2.7
5	その他	5	6.8
	無回答	2	2.7
	全体	73	100.0
	非該当	31	



(2) 障害福祉サービスについて知っていたもの

問 34 障害福祉サービス（児童福祉法によるものを含む）について、次の中で、あなたが知っていたものはどれですか。（知っていたもの全てに○）

「無回答」（45.2%）を除くと「市の窓口で申請する」が 40.4%と最も多く、次いで「利用金額の一部が公費（市等による）負担の対象である」が 39.4%と多くなっています。



No.	選択肢	n	%
1	利用金額の一部が公費(市等による)負担の対象である	41	39.4
2	手帳がなくても利用できる場合がある	18	17.3
3	公立の事業所と民間の事業所とがある	16	15.4
4	サービスの種類が全国共通である	9	8.7
5	市の窓口で申請する	42	40.4
	無回答	47	45.2
	全体	104	100.0

(3) 利用したい制度

問 35 あなたは、どんな制度があったら、利用したいと思いますか。具体的にご記入ください。

回答総数は 18 件でした。「教育・療育」についてが 7 件、「通級等の送迎/付き添い」、「相談支援」が各 2 件などとなっています。

意見		件数
1	教育・療育	7
2	通級等の送迎/付き添い	2
	相談支援	2
3	経済的支援	1
	医療（精神医療）	1
	診断なしで使えるサービス	1
—	その他	4
総計		18

※ 複数の内容を含む回答もあるため、個々の意見数の合計は回答総数より多くなります。

◆ 主な意見の概要（内容は要約・省略してあります／回答者は全てご家族の方）

主な意見の概要	年齢 性別
障害者対応の特別推薦入試（中・高・大学）。	11 歳 男性
学校の宿題をサポートしてくれるサービス(特別な教材ではなく、学校の教材で、学校の内容をていねいに)。	8 歳 男性
学校と保護者の間に入ってくれる専門の相談員がいるといいです。スクールカウンセラーは信用できません。現状の福祉事業所の相談員では、学校との間に入るのにまだまだ力不足です。	6 歳 男性
吃音のトレーニングの教室。現在「ことばの教室」に通級でいっているが、もうすこし頻度を上げたいから。	7 歳 男性

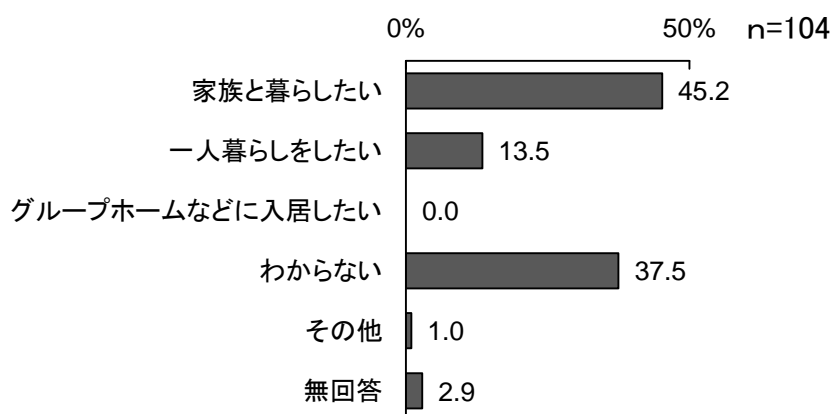
10 今後の生活について

(1) 将来の暮らし方

問36 あなたは将来、どのように暮らしたいと思いますか。

(最もあてはまるもの一つに○)

「家族と暮らしたい」が45.2%と最も多く、次いで「わからない」が37.5%と多く、「一人暮らしをしたい」が13.5%が続いています。

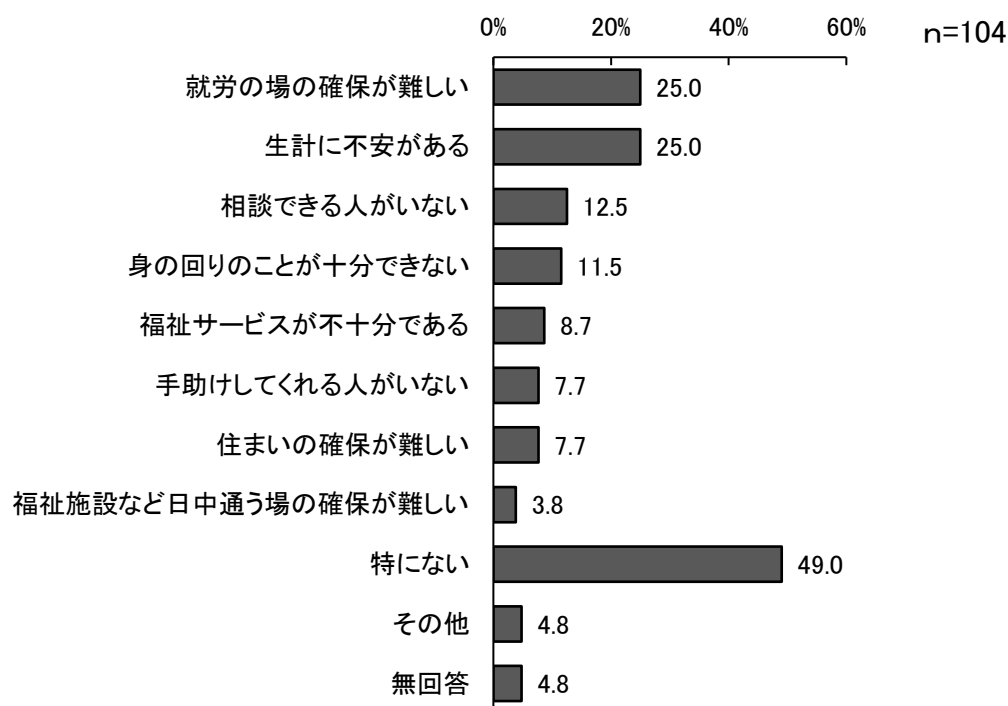


No.	選択肢	n	%
1	家族と暮らしたい	47	45.2
2	一人暮らしをしたい	14	13.5
3	グループホームなどに入居したい	0	0.0
4	わからない	39	37.5
5	その他	1	1.0
	無回答	3	2.9
	全体	104	100.0

(2) 地域生活の課題

問 37 あなたが将来にわたって地域で暮らし続けるためには、どのようなことが課題になるとお思いますか。（あてはまるもの全てに○）

「特にない」が 49.0%と最も多く、次いで「就労の場の確保が難しい」と「生計に不安がある」がともに 25.0%と多く、「相談できる人がいない」12.5%、「身の回りのことが十分できない」11.5%が続いています。

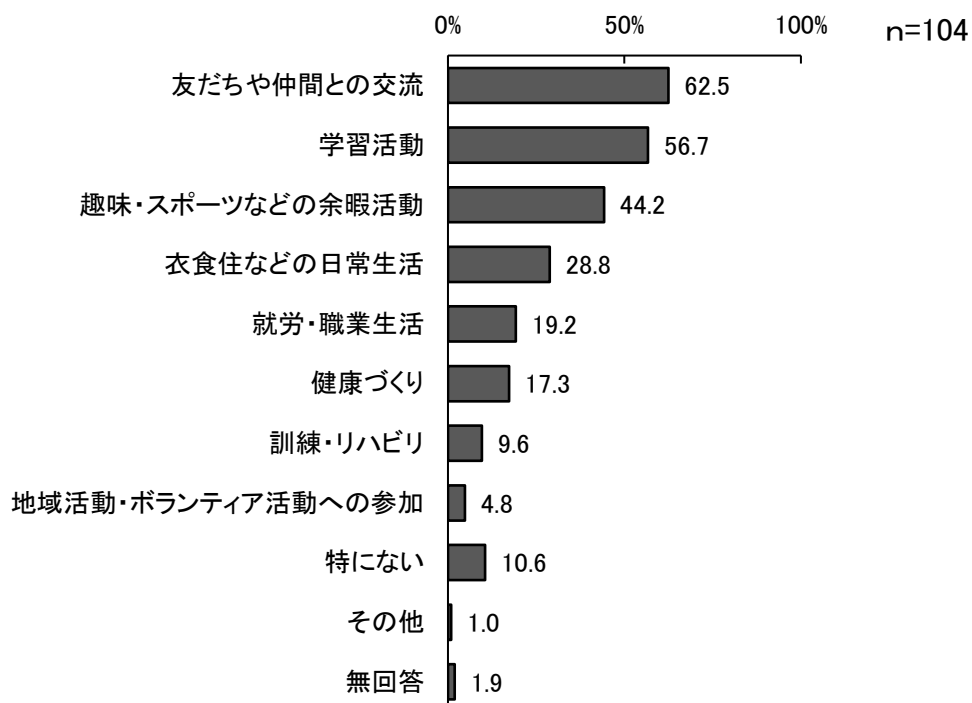


No.	選択肢	n	%
1	身の回りのことが十分できない	12	11.5
2	手助けしてくれる人がいない	8	7.7
3	福祉サービスが不十分である	9	8.7
4	住まいの確保が難しい	8	7.7
5	就労の場の確保が難しい	26	25.0
6	福祉施設など日中通う場の確保が難しい	4	3.8
7	生計に不安がある	26	25.0
8	相談できる人がいない	13	12.5
9	特にない	51	49.0
10	その他	5	4.8
	無回答	5	4.8
	全体	104	100.0

(3) 今後の生活でもっと充実させたいこと

問 38 あなたは、今後の生活の中で、どのような面をもっと充実させたいと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

「友だちや仲間との交流」が62.5%と最も多く、次いで「学習活動」が56.7%と多く、「趣味・スポーツなどの余暇活動」が44.2%で続いています。



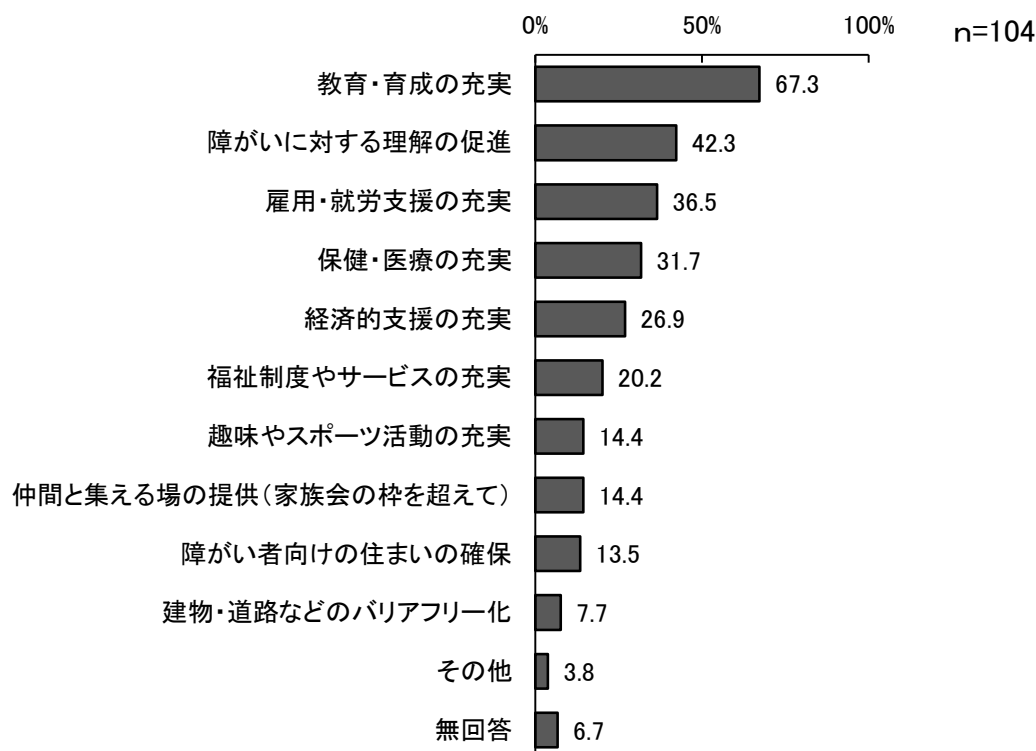
No.	選択肢	n	%
1	衣食住などの日常生活	30	28.8
2	健康づくり	18	17.3
3	訓練・リハビリ	10	9.6
4	学習活動	59	56.7
5	趣味・スポーツなどの余暇活動	46	44.2
6	友だちや仲間との交流	65	62.5
7	地域活動・ボランティア活動への参加	5	4.8
8	就労・職業生活	20	19.2
9	特にない	11	10.6
10	その他	1	1.0
	無回答	2	1.9
	全体	104	100.0

11 発達支援施策について

(1) 今後力を入れてほしい施策

問 39 あなたは、今後の発達支援施策で、どのような面にもっと力を入れてほしいと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

「教育・育成の充実」が67.3%と最も多く、「障がいに対する理解の促進」42.3%、「雇用・就労支援の充実」36.5%、「保健・医療の充実」31.7%が続いています。



No.	選択肢	n	%
1	障がいに対する理解の促進	44	42.3
2	保健・医療の充実	33	31.7
3	教育・育成の充実	70	67.3
4	雇用・就労支援の充実	38	36.5
5	福祉制度やサービスの充実	21	20.2
6	障がい者向けの住まいの確保	14	13.5
7	建物・道路などのバリアフリー化	8	7.7
8	趣味やスポーツ活動の充実	15	14.4
9	経済的支援の充実	28	26.9
10	仲間と集える場の提供(家族会の枠を超えて)	15	14.4
11	その他	4	3.8
	無回答	7	6.7
	全体	104	100.0

12 自由意見

問 40 発達支援施策について、ご意見・ご要望・ご提案などがありましたら、ご自由にお書きください。

回答記入者数は21人、回答総数は26件でした。「教育・療育」についてが11件と最も多く、次いで「その他」が5件と多く、「障がい理解」4件、「福祉サービス」3件等が続いています。

意見		件数
1	教育・療育	11
2	障がい理解	4
3	福祉サービス	3
4	経済的事情・経済的支援	2
5	行政・制度	1
—	その他	5
総計		26

※ 複数の内容を含む回答もあるため、個々の意見数の合計は回答総数より多くなります。

◆主な意見の概要（内容は要約・省略してあります／回答者は全てご家族の方。）

主な意見の概要	年齢性別
通っている小学校に通級教室がなく、別の小学校の通級への送迎が大変です（仕事をしているので）。同じ小学校内にあれば、送迎の必要がないので、小学校内で対応可能か、若しくは土曜日に通えれば…と思います。	7歳男性
障がいがある子どもが通うための習い事をする場所がない（普通の子と一緒に、上手く溶け込み習うことが難しい）。障がいのある子が通うような習い先は月謝が高く、習わせたくても経済的に無理がある。その為にも支援が必要。	10歳男性
サービスへのアクセスがしにくい。誰かに相談して初めて手に入る情報ではなく、最初からOPENになっている情報をもっと必要。	2歳男性
学校でこの資料をもらったのですが、入っていた封筒の表にでかでかと、「習志野市障がい者基本計画…」と書いてあり、障がい者という言葉が気になり、やめてほしいなと思いました。うちの子どもは通級に通っていますが、言葉に少し吃音があるだけで、今は気にならなくなっていますし、障がい者とひとくりにされるのは、ちがうなと思いました。	9歳男性
今の発達支援の制度は昔よりかなり充実していると思います。うちの子は言葉の遅れが少しありましたが、現在は（11才）、他の子と変わりなく過ごしています。早期に保育園の先生に提案していただき、発達センター→通級に行っています。あのまま、ほうっておいたら、どうなっていたかわからないので、とても感謝しています。今後に不安なことがあったら通級の先生にまず相談できるので、今は不安なことはありません。	11歳男性
一番不安だったのは、0才～3才位までだったが、0才のうちは経過観察しかなかったもので、早めに「ひまわり」に通えたら良かったと、今は思いますが、情報があってもいきなり相談（ひまわりへ）していいのか、よくわからなかった。	7歳男性

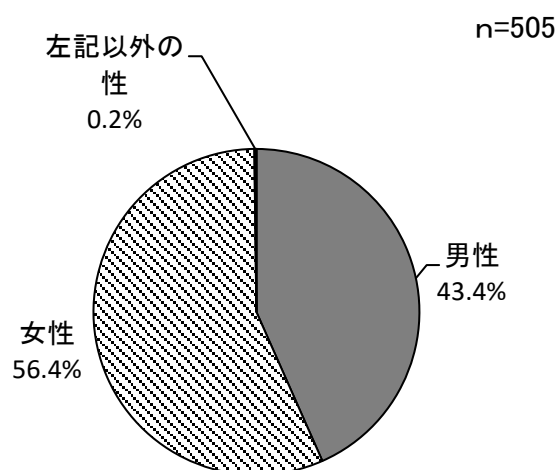
V 障がいのない方を対象とした調査

1 ご本人について

(1) 性別

問1 あなたの性別をお聞きします。(あてはまるもの一つに○)

「男性」が43.4%、「女性」が56.4%と、女性が多くなっています。

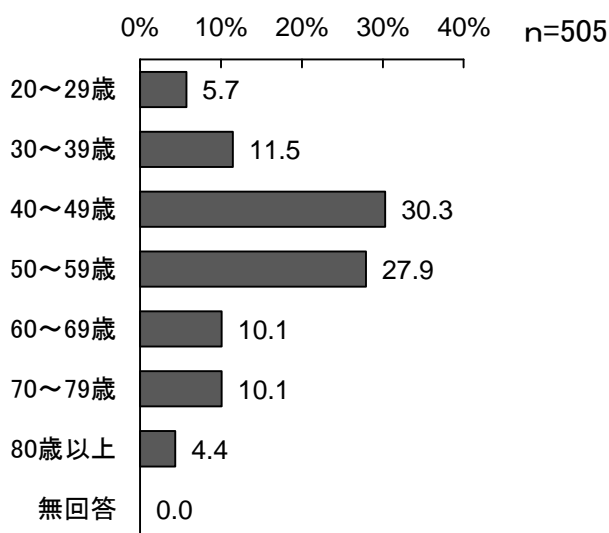


No.	選択肢	n	%
1	男性	219	43.4
2	女性	285	56.4
3	左記以外の性	1	0.2
	無回答	0	0.0
	全体	505	100.0

(2) 年齢

問2 あなたの年齢をお聞きします。令和4年9月1日現在の年齢をご記入ください。

「40～49歳」(30.3%)、「50～59歳」(27.9%)という回答が多くなっています。

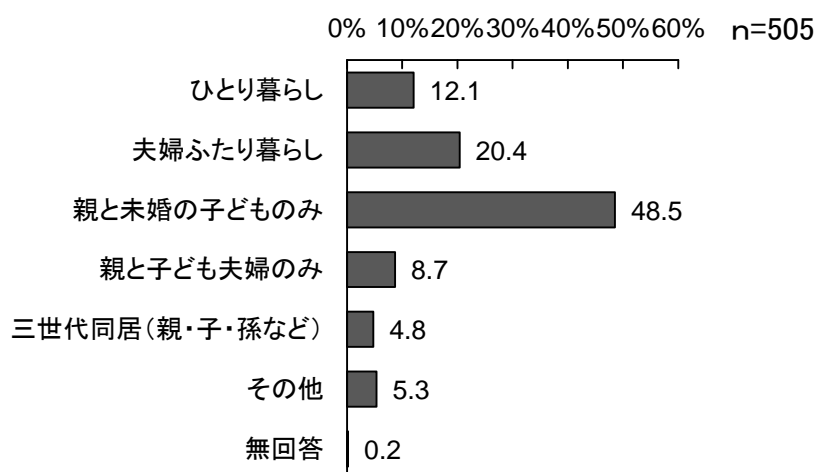


No.	選択肢	n	%
1	20～29歳	29	5.7
2	30～39歳	58	11.5
3	40～49歳	153	30.3
4	50～59歳	141	27.9
5	60～69歳	51	10.1
6	70～79歳	51	10.1
7	80歳以上	22	4.4
	無回答	0	0.0
	全体	505	100.0

(3) 家族構成

問3 あなたと同居しているご家族の構成をお聞きます。(あてはまるもの一つに○)

「親と未婚の子どものみ」(48.5%)という回答が最も多く、次いで「夫婦ふたり暮らし」(20.4%)が多く、「ひとり暮らし」(12.1%)が続いています。



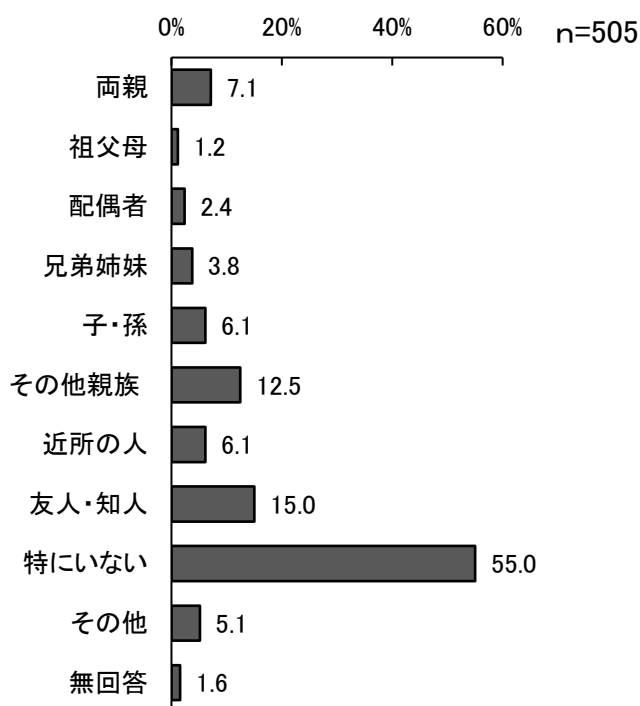
No.	選択肢	n	%
1	ひとり暮らし	61	12.1
2	夫婦ふたり暮らし	103	20.4
3	親と未婚の子どものみ	245	48.5
4	親と子ども夫婦のみ	44	8.7
5	三世代同居(親・子・孫など)	24	4.8
6	その他	27	5.3
	無回答	1	0.2
	全体	505	100.0

2 障がい者との関わりについて

(1) 身近な障がい者の有無等

問4 あなたのご家族や、普段交流のある親族、友人・知人などで、障がいのある方はいらっしゃいますか。いらっしゃる場合は、あなたから見たその方との関係をお書きください。（あてはまるもの全てに○）

「特にいない」という回答が過半数(55.0%)で最も多く、「友人・知人」(15.0%)、「その他親族」(12.5%)等が続いています。

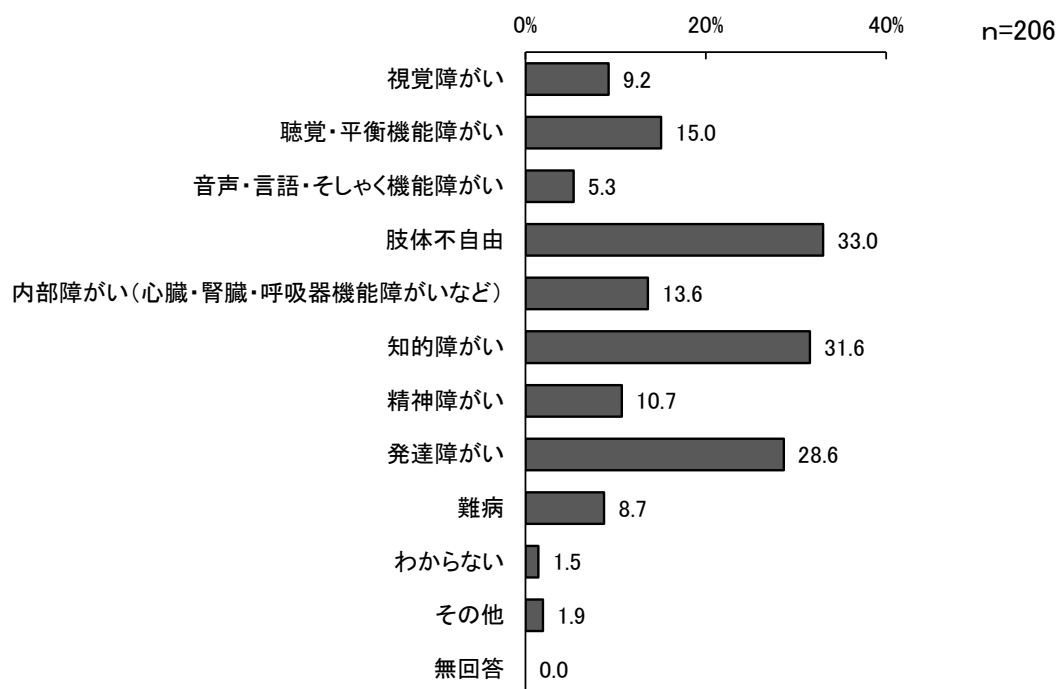


No.	選択肢	n	%
1	両親	36	7.1
2	祖父母	6	1.2
3	配偶者	12	2.4
4	兄弟姉妹	19	3.8
5	子・孫	31	6.1
6	その他親族	63	12.5
7	近所の人	31	6.1
8	友人・知人	76	15.0
9	特にいない	278	55.0
10	その他	26	5.1
	無回答	8	1.6
	全体	505	100.0

(2) 身近な障がい者の障がいの種類

問5 問4で「障がいのある方がいる(1~8)」と回答した方にお聞きします。その方の障がいや病気の種類は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

「肢体不自由」(33.0%)、「知的障がい」(31.6%)、「発達障がい」(28.6%)が多くなっています。

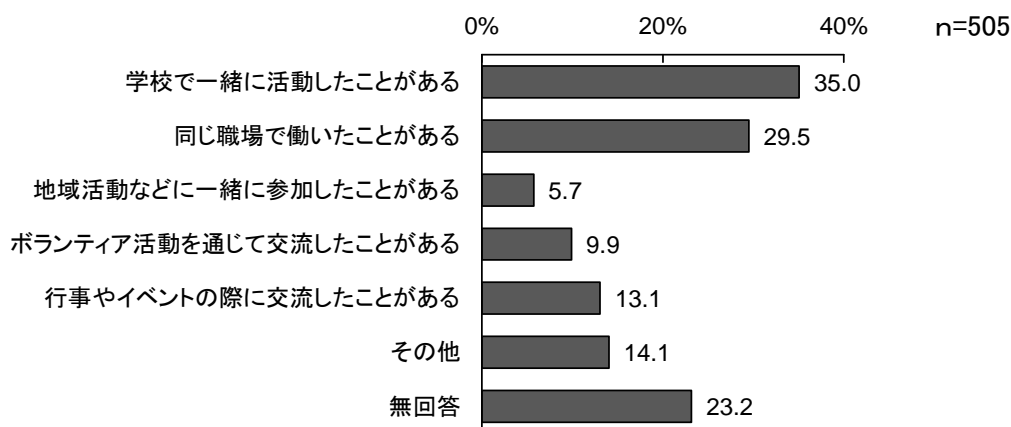


No.	選択肢	n	%
1	視覚障がい	19	9.2
2	聴覚・平衡機能障がい	31	15.0
3	音声・言語・そしゃく機能障がい	11	5.3
4	肢体不自由	68	33.0
5	内部障がい(心臓・腎臓・呼吸器機能障がいなど)	28	13.6
6	知的障がい	65	31.6
7	精神障がい	22	10.7
8	発達障がい	59	28.6
9	難病	18	8.7
10	わからない	3	1.5
11	その他	4	1.9
	無回答	0	0.0
	全体	206	100.0
	非該当	299	

(3) 障がいのある人との交流経験

問6 あなたは、次のような機会に、障がいのある方と交流した経験はありますか。
(あてはまるもの全てに○)

「学校で一緒に活動したことがある」が 35.0%で最も多く、「同じ職場で働いたことがある」(29.5%)、「無回答」(23.2%)が続いています。

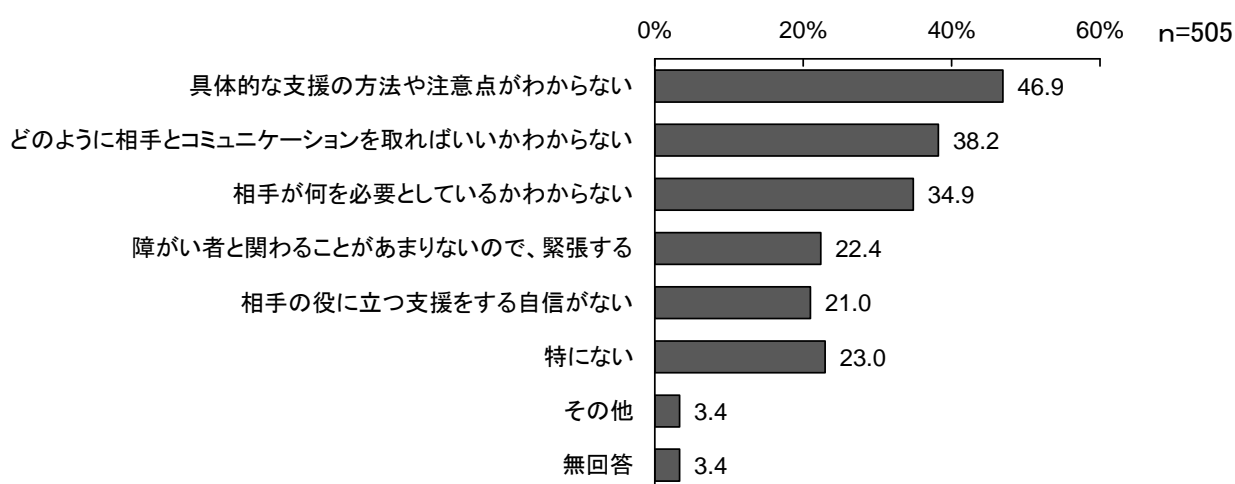


No.	選択肢	n	%
1	学校で一緒に活動したことがある	177	35.0
2	同じ職場で働いたことがある	149	29.5
3	地域活動などに一緒に参加したことがある	29	5.7
4	ボランティア活動を通じて交流したことがある	50	9.9
5	行事やイベントの際に交流したことがある	66	13.1
6	その他	71	14.1
	無回答	117	23.2
	全体	505	100.0

(4) 障がいのある人との交流時の不安

問7 障がいのある方と交流する際に不安に思うことはありますか。(あてはまるもの全てに○)

「具体的な支援の方法や注意点がわからない」が46.9%で最も多く、「どのように相手とコミュニケーションを取ればいいのかわからない」(38.2%)、「相手が何を必要としているかわからない」(34.9%)が続いています。

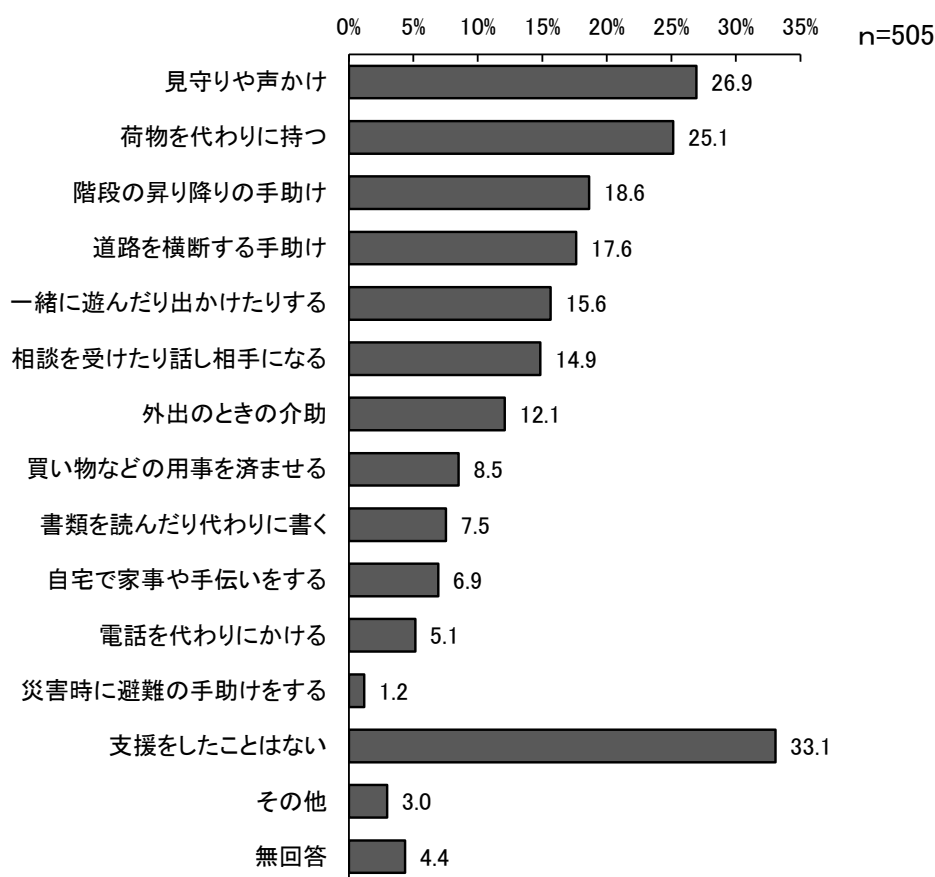


No.	選択肢	n	%
1	障がい者と関わるのがあまりないので、緊張する	113	22.4
2	どのように相手とコミュニケーションを取ればいいのかわからない	193	38.2
3	相手が何を必要としているかわからない	176	34.9
4	具体的な支援の方法や注意点がわからない	237	46.9
5	相手の役に立つ支援をする自信がない	106	21.0
6	特にない	116	23.0
7	その他	17	3.4
	無回答	17	3.4
	全体	505	100.0

(5) 障がいのある人への支援の経験

問8 あなたは、障がいのある方に、次のような支援をしたことはありますか。(あてはまるもの全てに○)

「支援をしたことはない」が 33.1%で最も多く、次いで「見守りや声かけ」(26.9%)が多く、「荷物を代わりに持つ」(25.1%)等が続いています。

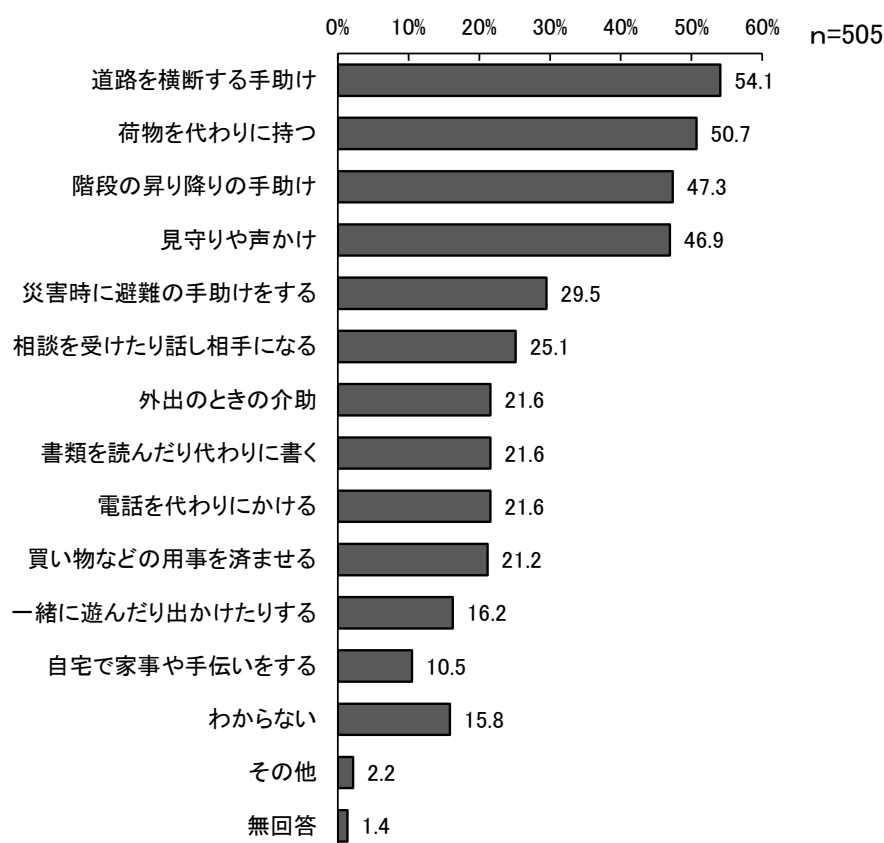


No.	選択肢	n	%
1	荷物を代わりに持つ	127	25.1
2	階段の昇り降りの手助け	94	18.6
3	道路を横断する手助け	89	17.6
4	外出のときの介助	61	12.1
5	見守りや声かけ	136	26.9
6	相談を受けたり話し相手になる	75	14.9
7	自宅で家事や手伝いをする	35	6.9
8	買い物などの用事を済ませる	43	8.5
9	書類を読んだり代わりに書く	38	7.5
10	電話を代わりにかける	26	5.1
11	一緒に遊んだり出かけたりする	79	15.6
12	災害時に避難の手助けをする	6	1.2
13	支援をしたことはない	167	33.1
14	その他	15	3.0
	無回答	22	4.4
	全体	505	100.0

(6) 障がいのある人のためにできる支援

問9 あなたは今後、障がいのある人に、どのような支援ができると思いますか。(あてはまるもの全てに○)

「道路を横断する手助け」が54.1%で最も多く、「荷物を代わりに持つ」(50.7%)、「階段の昇り降りの手助け」(47.3%)、「見守りや声かけ」(46.9%)が続いています。全体の8割強の人が、何らかの支援ができると思っています。

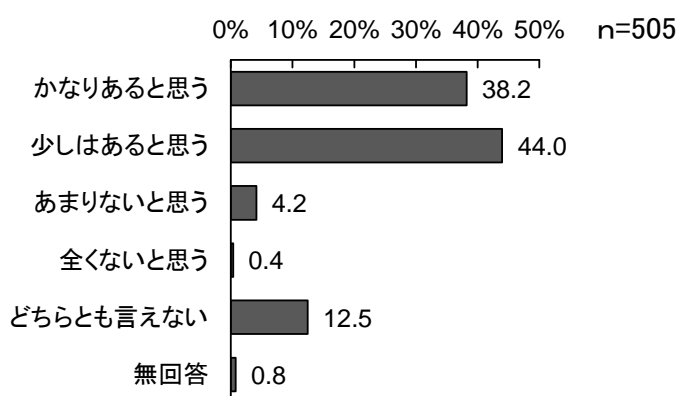


No.	選択肢	n	%
1	荷物を代わりに持つ	256	50.7
2	階段の昇り降りの手助け	239	47.3
3	道路を横断する手助け	273	54.1
4	外出のときの介助	109	21.6
5	見守りや声かけ	237	46.9
6	相談を受けたり話し相手になる	127	25.1
7	自宅で家事や手伝いをする	53	10.5
8	買い物などの用事を済ませる	107	21.2
9	書類を読んだり代わりに書く	109	21.6
10	電話を代わりにかける	109	21.6
11	一緒に遊んだり出かけたりする	82	16.2
12	災害時に避難の手助けをする	149	29.5
13	わからない	80	15.8
14	その他	11	2.2
	無回答	7	1.4
	全体	505	100.0

(7) 社会における障がい者差別の有無

問 10 あなたは、現在の日本の社会に、障がいを理由とした差別があると思いますか。(あてはまるもの一つに○)

「少しはあると思う」が44.0%で最も多く、次いで「かなりあると思う」(38.2%)が多く、「あまりないと思う」が4.2%、「全くないと思う」が0.4%となっています。“あると思う”という回答は、合わせて8割強となっています。



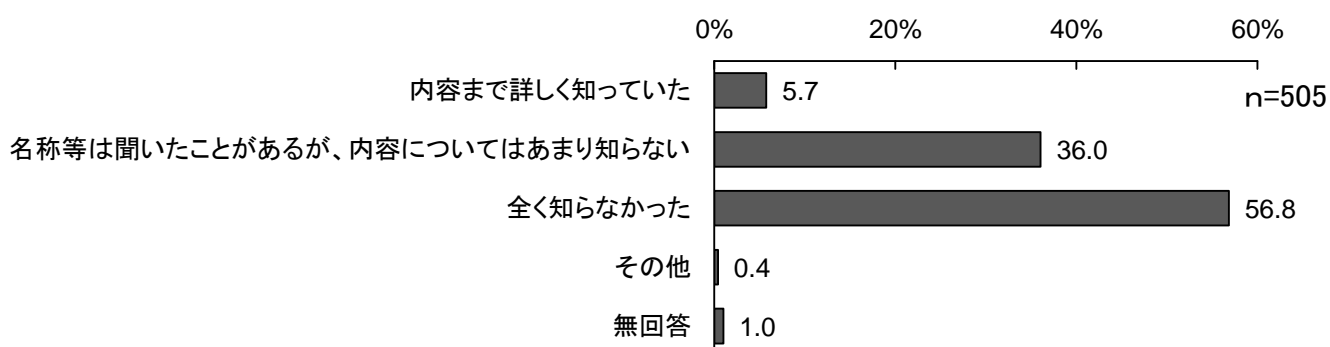
No.	選択肢	n	%
1	かなりあると思う	193	38.2
2	少しはあると思う	222	44.0
3	あまりないと思う	21	4.2
4	全くないと思う	2	0.4
5	どちらとも言えない	63	12.5
	無回答	4	0.8
	全体	505	100.0

(8) 「障害者差別解消法」などの認知状況

問 11 令和3年に「障害者差別解消法」が改正され、障がいのある人への「合理的配慮」の提供が民間の事業者にも義務付けられましたが、あなたは、このことについて知っていましたか。(あてはまるもの一つに○)

* 合理的配慮…障がいのある人から何らかの助けを求める意思の表明があった場合、過度な負担になり過ぎない範囲で、社会的障壁を取り除くために必要な便宜を図ること。

「全く知らなかった」という回答が 56.8%で過半数を占めて最も多く、「内容まで詳しく知っていた」は 5.7%に止まっています。

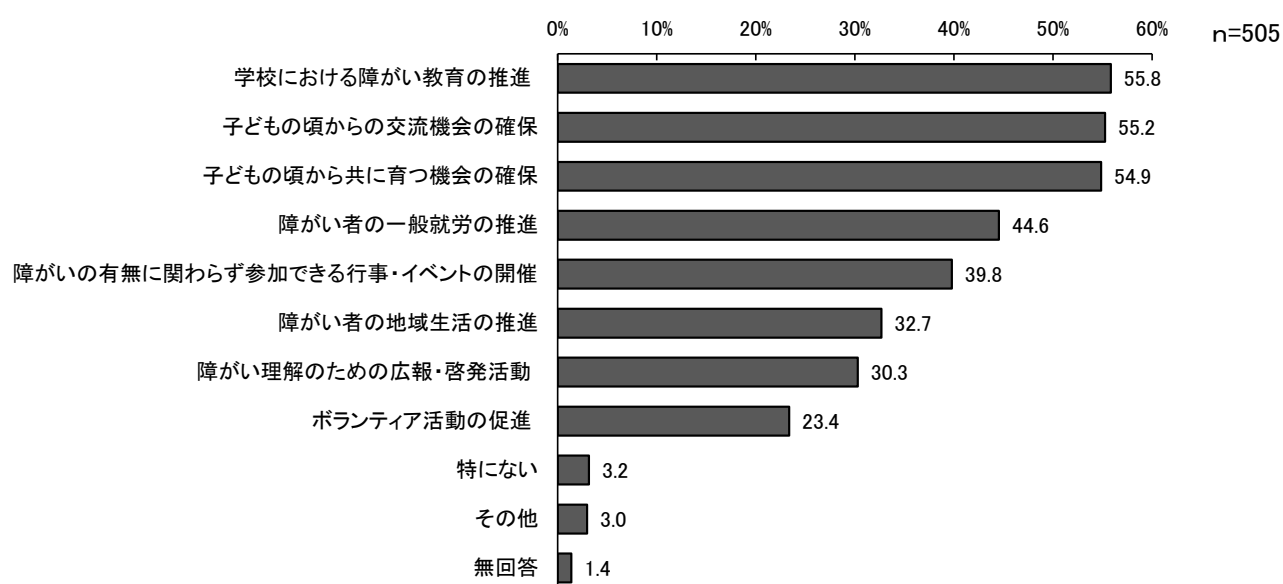


No.	選択肢	n	%
1	内容まで詳しく知っていた	29	5.7
2	名称等は聞いたことがあるが、内容についてはあまり知らない	182	36.0
3	全く知らなかった	287	56.8
4	その他	2	0.4
	無回答	5	1.0
	全体	505	100.0

(9) 障がい等への理解を深めるため必要な取り組み

問 12 あなたは、障がいや障がいのある人への理解が深まるためには、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

「学校における障がい教育の推進」（55.8%）、「子どもの頃からの交流機会の確保」（55.2%）と「子どもの頃から共に育つ機会の確保」（54.9%）が多く、「障がい者の一般就労の推進」（44.6%）、「障がいの有無に関わらず参加できる行事・イベントの開催」（39.8%）が続いています。



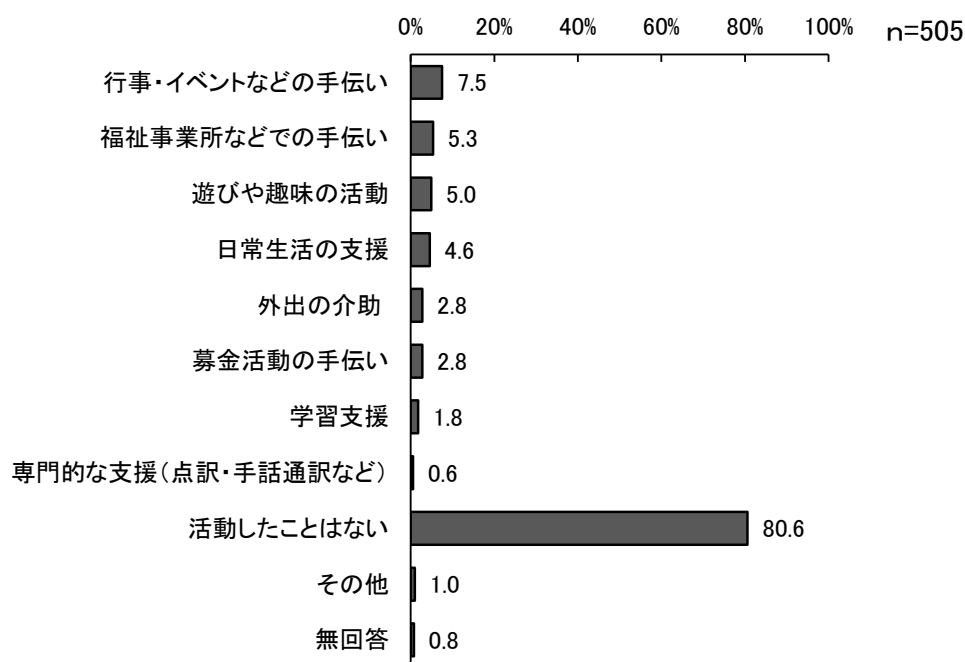
No.	選択肢	n	%
1	子どもの頃からの交流機会の確保	279	55.2
2	子どもの頃から共に育つ機会の確保	277	54.9
3	学校における障がい教育の推進	282	55.8
4	障がい理解のための広報・啓発活動	153	30.3
5	ボランティア活動の促進	118	23.4
6	障がいの有無に関わらず参加できる行事・イベントの開催	201	39.8
7	障がい者の地域生活の推進	165	32.7
8	障がい者の一般就労の推進	225	44.6
9	特にない	16	3.2
10	その他	15	3.0
	無回答	7	1.4
	全体	505	100.0

3 ボランティア活動について

(1) 参加したことがあるボランティア活動

問 13 あなたは、これまでに障がいのある方に関わるボランティア活動をしたことがありますか。活動したことがある方は、活動の内容をお答えください。（あてはまるもの全てに○）

「活動したことはない」（80.6%）が最も多いですが、活動内容を回答した中では、「行事・イベントなどの手伝い」が7.5%と最も多く、「福祉事業所などでの手伝い」が5.3%、「遊びや趣味の活動」が5.0%、「日常生活の支援」が4.6%の順で続いています。

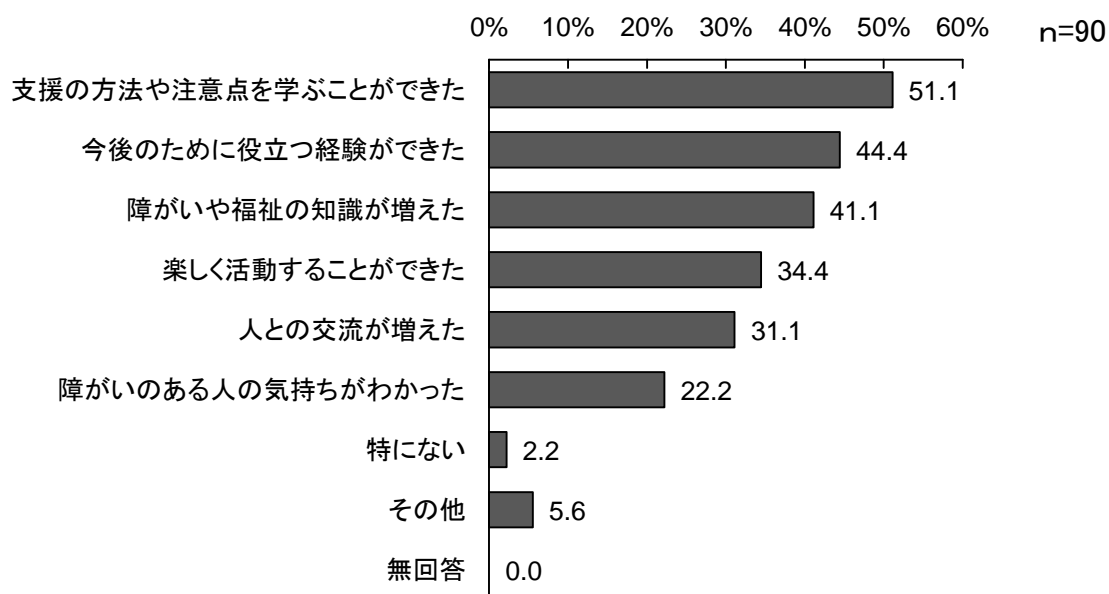


No.	選択肢	n	%
1	日常生活の支援	23	4.6
2	福祉事業所などでの手伝い	27	5.3
3	外出の介助	14	2.8
4	行事・イベントなどの手伝い	38	7.5
5	募金活動の手伝い	14	2.8
6	専門的な支援(点訳・手話通訳など)	3	0.6
7	学習支援	9	1.8
8	遊びや趣味の活動	25	5.0
9	活動したことはない	407	80.6
10	その他	5	1.0
	無回答	4	0.8
	全体	505	100.0

(2) ボランティア活動をして良かったこと

問 14 問 13で「1」～「8」（活動したことがある）と回答した方にお聞きします。活動して良かったことは何ですか。（あてはまるもの全てに○）

「支援の方法や注意点を学ぶことができた」が90人中46人と最も多く、「今後のために役立つ経験ができた」（同40人）、「障がいや福祉の知識が増えた」（同37人）が続いています。



No.	選択肢	n	%
1	楽しく活動することができた	31	34.4
2	人との交流が増えた	28	31.1
3	今後のために役立つ経験ができた	40	44.4
4	障がいのある人の気持ちがわかった	20	22.2
5	障がいや福祉の知識が増えた	37	41.1
6	支援の方法や注意点を学ぶことができた	46	51.1
7	特にない	2	2.2
8	その他	5	5.6
	無回答	0	0.0
	全体	90	100.0
	非該当	415	

男女別でみると、男性では「障がいや福祉の知識が増えた」と「支援の方法や注意点を学ぶことができた」が、女性では「支援の方法や注意点を学ぶことができた」がそれぞれ最も多くなっています。

	合計	楽しく活動することができた	人との交流が増えた	今後のために役立つ経験ができた	障がいのある人の気持ちがわかった	障がいや福祉の知識が増えた	支援の方法や注意点を学ぶことができた	特にない	その他	無回答
全体	90	34.4	31.1	44.4	22.2	41.1	51.1	2.2	5.6	0.0
男性	29	10.3	20.7	34.5	17.2	44.8	44.8	0.0	17.2	0.0
女性	60	45.0	35.0	50.0	25.0	40.0	53.3	3.3	0.0	0.0

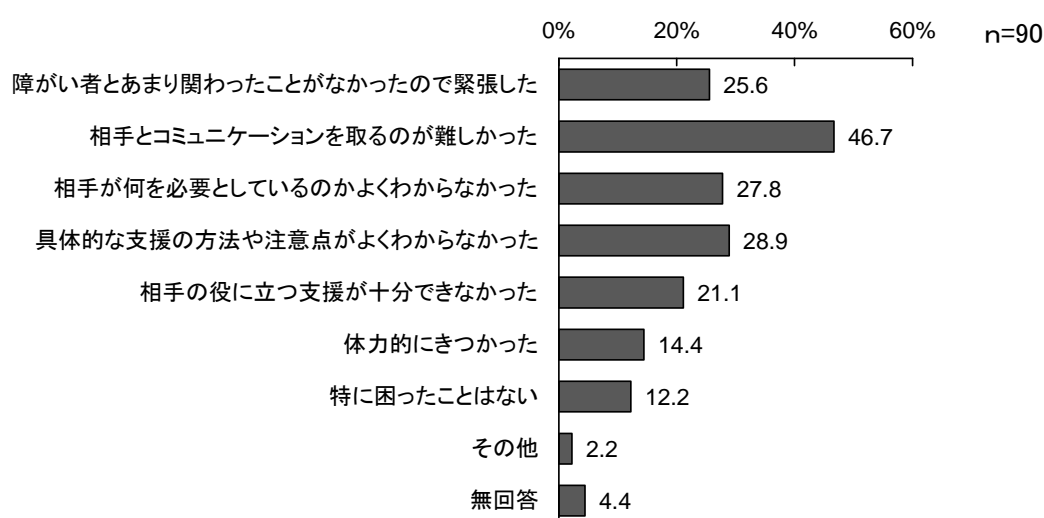
年齢別でみると、全般的に「支援の方法や注意点を学ぶことができた」との回答が最も多い年齢層が多いですが、30歳代・40歳代で「障がいや福祉の知識が増えた」（40歳代では「今後のために役立つ経験ができた」も同数1位）が最も多く、また、60歳代では「今後のために役立つ経験ができた」も最も多くなっています。

	合計	楽しく活動することができた	人との交流が増えた	今後のために役立つ経験ができた	障がいのある人の気持ちがわかった	障がいや福祉の知識が増えた	支援の方法や注意点を学ぶことができた	特にない	その他	無回答
全体	90	34.4	31.1	44.4	22.2	41.1	51.1	2.2	5.6	0.0
20～29歳	7	57.1	42.9	57.1	0.0	14.3	85.7	0.0	0.0	0.0
30～39歳	12	25.0	41.7	41.7	16.7	50.0	41.7	0.0	0.0	0.0
40～49歳	28	35.7	21.4	46.4	7.1	46.4	35.7	3.6	3.6	0.0
50～59歳	22	27.3	31.8	31.8	36.4	36.4	54.5	4.5	13.6	0.0
60～69歳	7	28.6	28.6	42.9	14.3	28.6	42.9	0.0	0.0	0.0
70～79歳	12	33.3	25.0	50.0	58.3	50.0	75.0	0.0	8.3	0.0
80歳以上	2	100.0	100.0	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0

(3) ボランティア活動に参加して困ったこと

問 15 問 13で「1」～「8」（参加したことがある）と回答した方にお聞きします。活動したときに何か困ったことはありましたか。（あてはまるもの全てに○）

「相手とコミュニケーションを取るのが難しかった」が90人中42人と最も多く、「具体的な支援の方法や注意点がよくわからなかった」（同26人）、「相手が何を必要としているのかよくわからなかった」（同25人）、「障がい者とあまり関わったことがなかったので緊張した」（同23人）が続いています。



No.	選択肢	n	%
1	障がい者とあまり関わったことがなかったので緊張した	23	25.6
2	相手とコミュニケーションを取るのが難しかった	42	46.7
3	相手が何を必要としているのかよくわからなかった	25	27.8
4	具体的な支援の方法や注意点がよくわからなかった	26	28.9
5	相手の役に立つ支援が十分できなかった	19	21.1
6	体力的にきつかった	13	14.4
7	特に困ったことはない	11	12.2
8	その他	2	2.2
	無回答	4	4.4
	全体	90	100.0
	非該当	415	

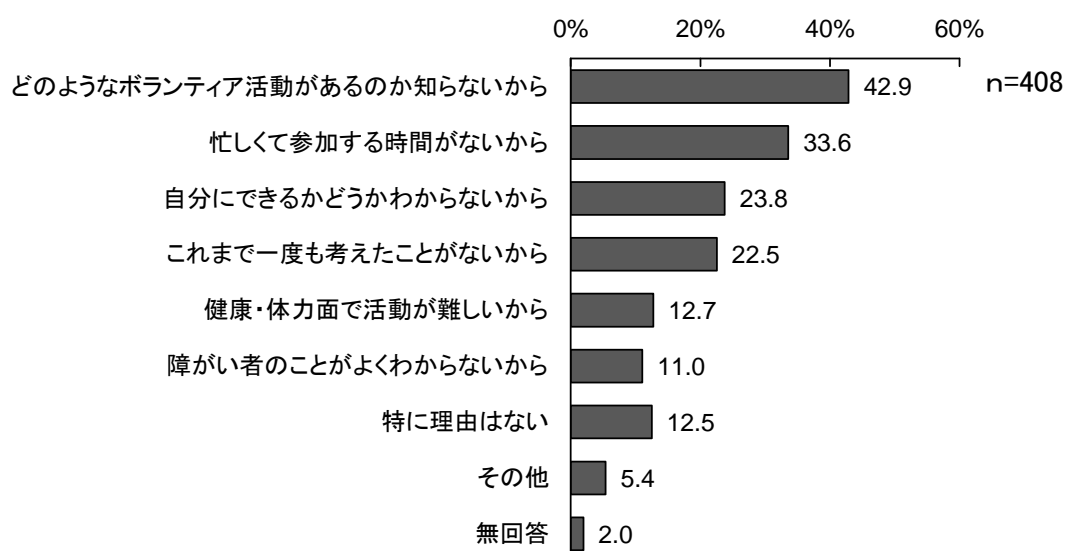
男女別でみると、男性・女性とも「相手とコミュニケーションを取るのが難しかった」が最も多いですが、男性では女性よりも「無回答」の割合がかなり多くなっています。

	合計	障がい者とあまり関わったことがなかったので緊張した	相手とコミュニケーションを取るのが難しかった	相手が何を必要としているのかよくわからなかった	具体的な支援の方法や注意点がよくわからなかった	相手の役に立つ支援が十分できなかった	体力的にきつかった	特に困ったことはない	その他	無回答
全体	90	25.6	46.7	27.8	28.9	21.1	14.4	12.2	2.2	4.4
男性	29	27.6	44.8	27.6	31.0	24.1	6.9	10.3	0.0	10.3
女性	60	23.3	48.3	28.3	28.3	20.0	18.3	13.3	3.3	1.7

(4) ボランティア活動に参加したことがない理由

問 16 問 13で「9 活動したことはない」と回答した方にお聞きします。 これまでボランティア活動したことがない理由として、あてはまると思われるものをお答えください。（あてはまるもの全てに○）

「どのようなボランティア活動があるのか知らないから」が42.9%と最も多く、「忙しくて参加する時間がないから」（33.6%）、「自分にできるかどうかわからないから」（23.8%）等が続いています。

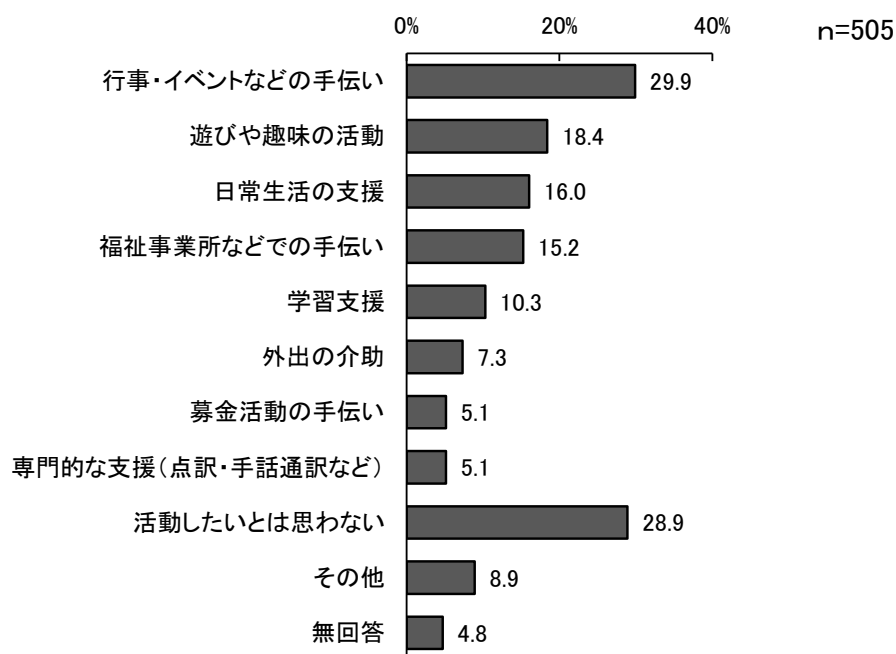


No.	選択肢	n	%
1	どのようなボランティア活動があるのか知らないから	175	42.9
2	自分にできるかどうかわからないから	97	23.8
3	障がい者のことがよくわからないから	45	11.0
4	健康・体力面で活動が難しいから	52	12.7
5	忙しくて参加する時間がないから	137	33.6
6	これまで一度も考えたことがないから	92	22.5
7	特に理由はない	51	12.5
8	その他	22	5.4
	無回答	8	2.0
	全体	408	100.0
	非該当	97	

(5) ボランティア活動への参加意向

問 17 全ての方にお聞きします。あなたは今後、障がいのある方に関わるボランティア活動をしてみたいと思いますか。既に活動しているものも含め、今後してみたいボランティア活動をお答えください。（あてはまるもの全てに○）

「行事・イベントなどの手伝い」が 29.9%で最も多く、次いで「活動したいとは思わない」（28.9%）が多く、「遊びや趣味の活動」（18.4%）が続いています。全体の6割近くが、何らかのボランティア活動をしてみたいと回答しています。



No.	選択肢	n	%
1	日常生活の支援	81	16.0
2	福祉事業所などでの手伝い	77	15.2
3	外出の介助	37	7.3
4	行事・イベントなどの手伝い	151	29.9
5	募金活動の手伝い	26	5.1
6	専門的な支援(点訳・手話通訳など)	26	5.1
7	学習支援	52	10.3
8	遊びや趣味の活動	93	18.4
9	活動したいとは思わない	146	28.9
10	その他	45	8.9
	無回答	24	4.8
	全体	505	100.0

男女別でみると、男性では「活動したいとは思わない」が最も多く、女性の回答割合を11.7ポイント上回っています。それに対して、女性では「行事・イベントなどの手伝い」が最も多くなっています。また、女性では「福祉事業所などでの手伝い」の回答割合が男性よりも2.8ポイント多くなっています。

	合計	日常生活の支援	福祉事業所などでの手伝い	外出の介助	行事・イベントなどの手伝い	募金活動の手伝い	専門的な支援（点訳・手話通訳な	学習支援	遊びや趣味の活動	活動したいとは思わない	その他	無回答
全体	505	16.0	15.2	7.3	29.9	5.1	5.1	10.3	18.4	28.9	8.9	4.8
男性	219	15.5	13.7	8.7	28.3	5.9	4.1	8.7	17.4	35.6	5.5	3.2
女性	285	16.5	16.5	6.3	30.9	4.6	6.0	11.2	18.9	23.9	11.6	6.0

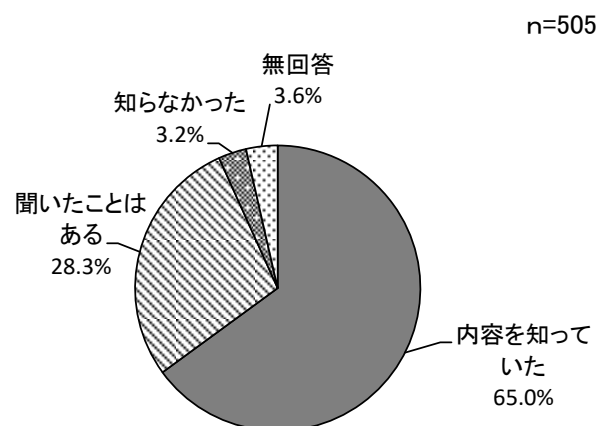
4 障がい児の教育について

(1) 障がい児教育に関する用語認知状況

問 18 あなたは、障がい児の教育に関する次のような言葉を知っていましたか。(それぞれあてはまるもの一つに○)

【「(1)発達障がい」の認知状況】

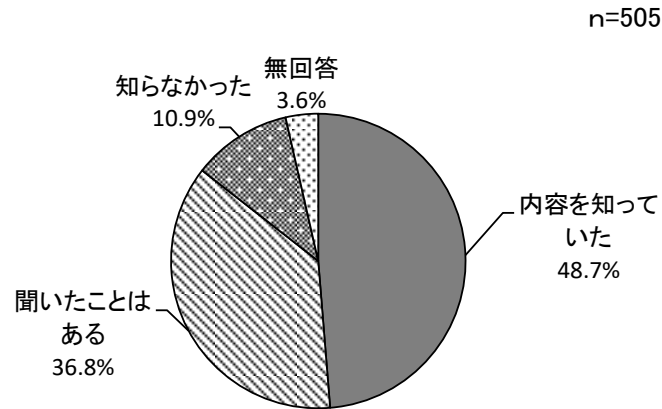
「内容を知っていた」が65.0%、「聞いたことはある」が28.3%、「知らなかった」が3.2%で、「内容を知っていた」という回答が最も多くなっています。



No.	選択肢	n	%
1	内容を知っていた	328	65.0
2	聞いたことはある	143	28.3
3	知らなかった	16	3.2
	無回答	18	3.6
	全体	505	100.0

【「(2) 特別支援教育」の認知状況】

「内容を知っていた」が48.7%、「聞いたことはある」が36.8%、「知らなかった」が10.9%で、「内容を知っていた」という回答が最も多くなっています。



No.	選択肢	n	%
1	内容を知っていた	246	48.7
2	聞いたことはある	186	36.8
3	知らなかった	55	10.9
	無回答	18	3.6
	全体	505	100.0

*用語解説

発達障がい

自閉症、アスペルガー症候群、学習障がい(LD)、注意欠陥多動性障がい(ADHD)などの脳機能障がいのことです。言語発達の遅れやコミュニケーション障がいを伴うことがありますが、その程度は様々です。

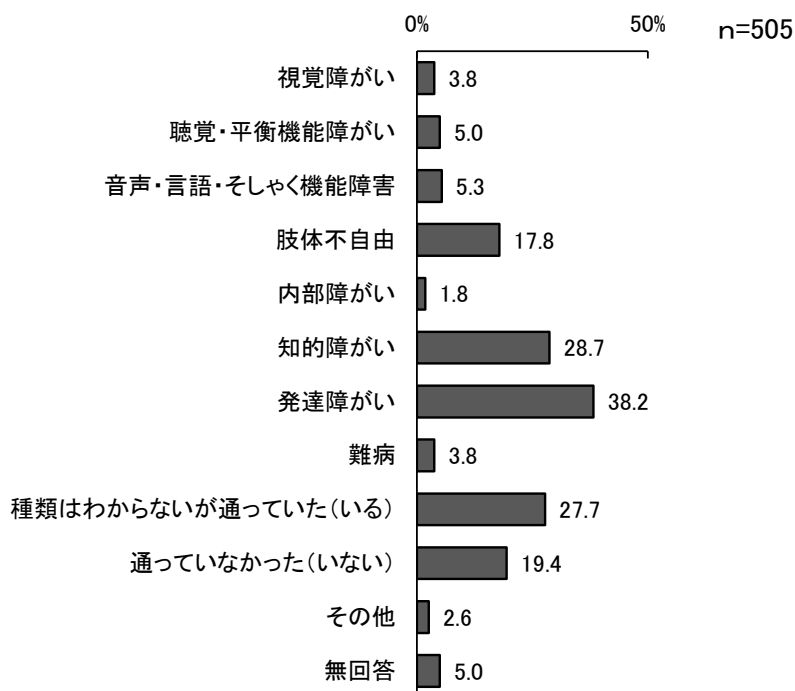
特別支援教育

障がいのある子どもの自立や社会参加に向けて、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切な指導と必要な支援を行う教育です。従来の「特殊教育」の対象だった心身障がい児に加え、発達障がいのある児童も対象としています。

(2) 学校等での障がい児の就学状況

問 19 あなたやあなたのご家族が通っていた（または現在通っている）学校・幼稚園・保育所(園)・認定こども園には、障がいのある子どもが通っていました（います）か。通っていた（いる）場合は、その子の障がいや病気の種類をお答えください。（あてはまるもの全てに○）

「発達障がい」が38.2%で最も多く、「知的障がい」（28.7%）、「種類はわからないが通っていた(いる)」(27.7%)、「通っていなかった(いない)」(19.4%)、「肢体不自由」（17.8%）が続いています。

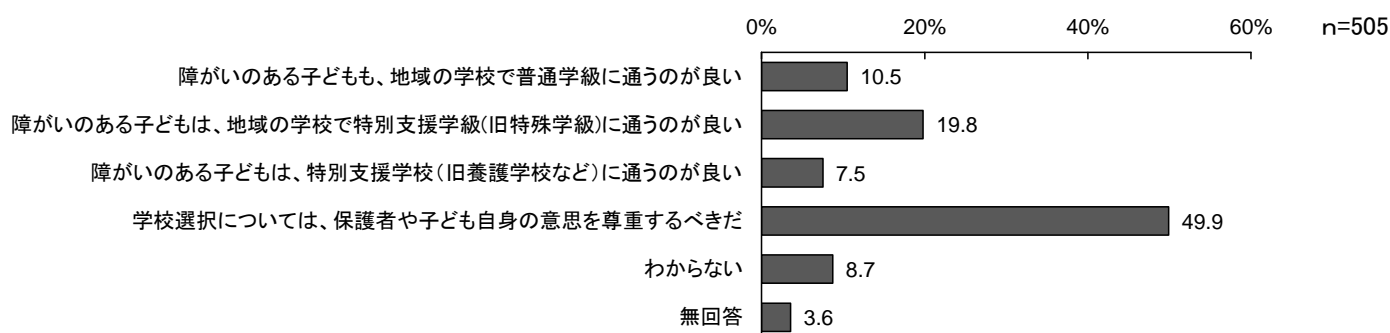


No.	選択肢	n	%
1	視覚障がい	19	3.8
2	聴覚・平衡機能障がい	25	5.0
3	音声・言語・そしゃく機能障害	27	5.3
4	肢体不自由	90	17.8
5	内部障がい	9	1.8
6	知的障がい	145	28.7
7	発達障がい	193	38.2
8	難病	19	3.8
9	種類はわからないが通っていた(いる)	140	27.7
10	通っていなかった(いない)	98	19.4
11	その他	13	2.6
	無回答	25	5.0
	全体	505	100.0

(3) 障がい児の就学についての意見

問 20 あなたは、障がいのある子どもが、障がいのない子どもと一緒に地域の学校に通うことについて、どのように思いますか。（最もあてはまるもの一つに〇）

「学校選択については、保護者や子ども自身の意思を尊重するべきだ」が49.9%で最も多く、次いで「障がいのある子どもは、地域の学校で特別支援学級（旧特殊学級）に通うのが良い」（19.8%）が多く、「障がいのある子どもも、地域の学校で普通学級に通うのが良い」が10.5%、「わからない」が8.7%、「障がいのある子どもは、特別支援学校（旧養護学校など）に通うのが良い」が7.5%となっています。



No.	選択肢	n	%
1	障がいのある子どもも、地域の学校で普通学級に通うのが良い	53	10.5
2	障がいのある子どもは、地域の学校で特別支援学級(旧特殊学級)に通うのが良い	100	19.8
3	障がいのある子どもは、特別支援学校(旧養護学校など)に通うのが良い	38	7.5
4	学校選択については、保護者や子ども自身の意思を尊重するべきだ	252	49.9
5	わからない	44	8.7
	無回答	18	3.6
	全体	505	100.0

***用語解説**

特別支援学級

「特別支援学級」とは、小中学校等に設置されている、障がいのある子ども等が通う学級です。「特別支援教育」開始により、以前の特殊学級から移行しました。

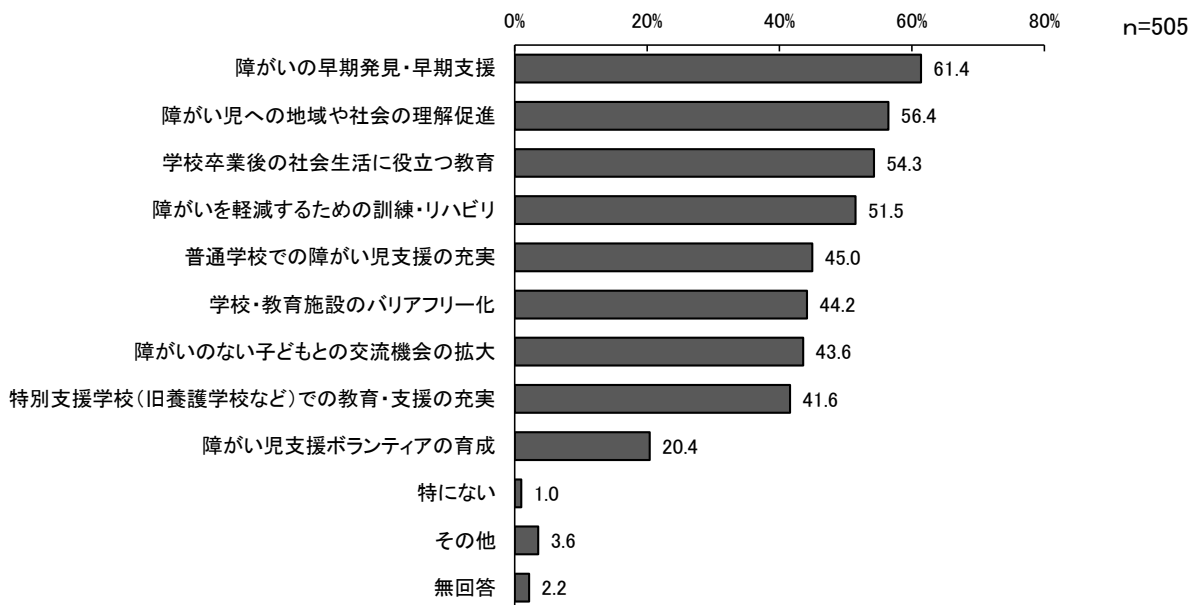
特別支援学校

「特別支援学校」とは、障がいのある子ども等が通う学校です。特別支援教育開始により、以前の盲学校・聾学校・養護学校は、特別支援学校に一本化されました。

(4) 障がい児教育のために必要な取り組み

問 21 あなたは、障がいのある子どもの健全な育成のために、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

「障がいの早期発見・早期支援」が 61.4%で最も多く、「障がい児への地域や社会の理解促進」(56.4%)、「学校卒業後の社会生活に役立つ教育」(54.3%)、「障がいを軽減するための訓練・リハビリ」(51.5%)が続いています。



No.	選択肢	n	%
1	障がいの早期発見・早期支援	310	61.4
2	障がいを軽減するための訓練・リハビリ	260	51.5
3	普通学校での障がい児支援の充実	227	45.0
4	特別支援学校(旧養護学校など)での教育・支援の充実	210	41.6
5	学校卒業後の社会生活に役立つ教育	274	54.3
6	学校・教育施設のバリアフリー化	223	44.2
7	障がい児支援ボランティアの育成	103	20.4
8	障がいのない子どもとの交流機会の拡大	220	43.6
9	障がい児への地域や社会の理解促進	285	56.4
10	特にない	5	1.0
11	その他	18	3.6
	無回答	11	2.2
	全体	505	100.0

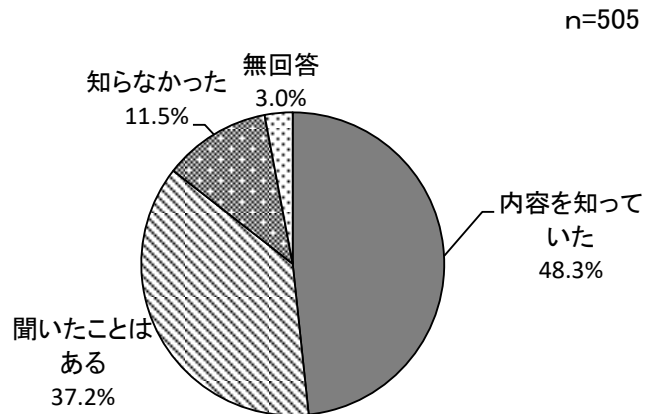
5 障がい者の就労について

(1) 障がい者就労に関する認知状況

問22 あなたは、障がい者の就労に関する次のような言葉を知っていましたか。(それぞれあてはまるもの一つに○)

【「(1)法定雇用率」の認知状況】

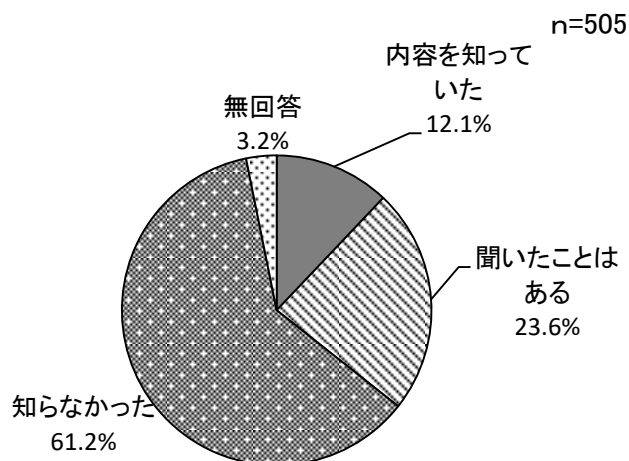
「内容を知っていた」が48.3%、「聞いたことはある」が37.2%、「知らなかった」が11.5%で、「内容を知っていた」が最も多くなっています。



No.	選択肢	n	%
1	内容を知っていた	244	48.3
2	聞いたことはある	188	37.2
3	知らなかった	58	11.5
	無回答	15	3.0
	全体	505	100.0

【「(2) ジョブコーチ（職場適応援助者）」の認知状況】

「内容を知っていた」が12.1%、「聞いたことはある」が23.6%、「知らなかった」が61.2%で、「知らなかった」が最も多くなっています。



No.	選択肢	n	%
1	内容を知っていた	61	12.1
2	聞いたことはある	119	23.6
3	知らなかった	309	61.2
	無回答	16	3.2
	全体	505	100.0

*用語解説

法定雇用率

民間企業、国、地方公共団体等は、一定の割合以上の障がい者を雇用しなければならないことになっています。この割合を「法定雇用率」と言い、一般企業は2.3%、国や地方公共団体等は2.6%などとされています。

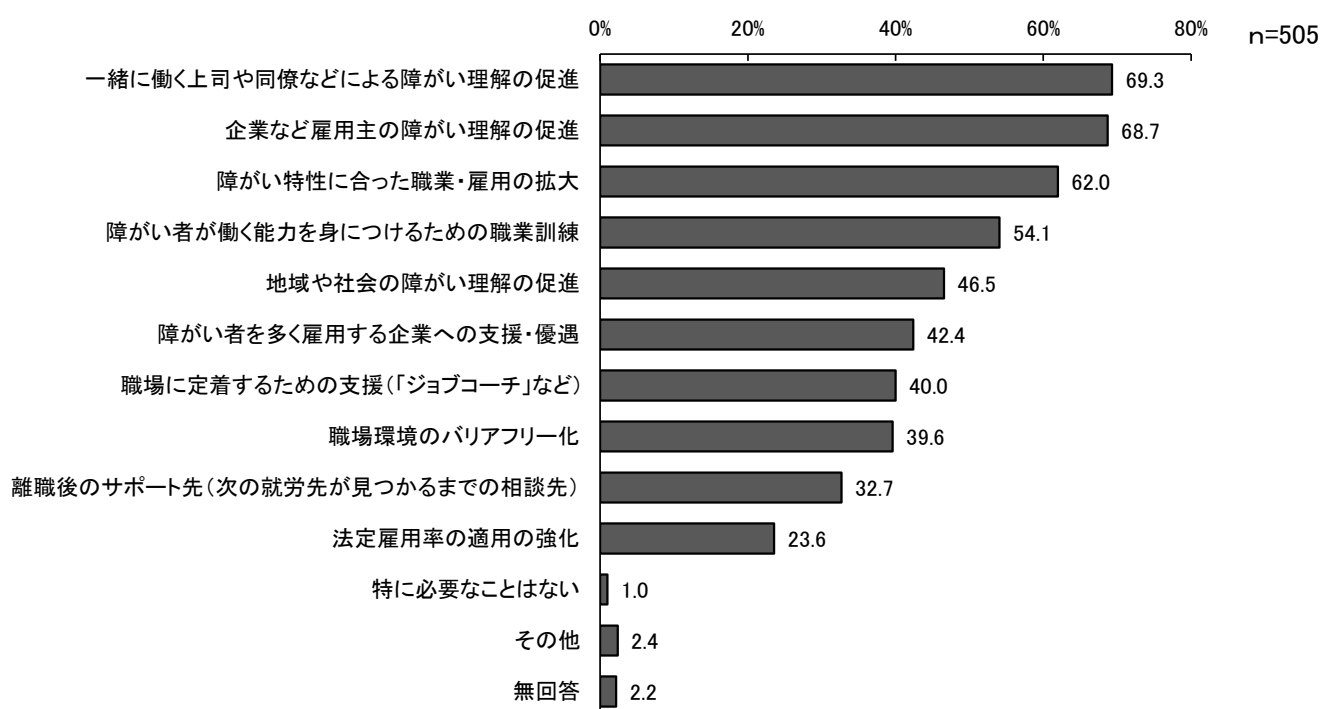
ジョブコーチ（職場適応援助者）

障がい者が就労する際に、一緒に職場に出向いて、職場に適応できるように様々な支援を行う援助者のことです。事業主や同僚への支援や、アドバイスも行います。

(2) 障がいのある人の就労のために必要なこと

問 23 あなたは、より多くの障がい者が企業などで働くために、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

「一緒に働く上司や同僚などによる障がい理解の促進」（69.3%）、「企業など雇用主の障がい理解の促進」（68.7%）という回答が多く、「障がい特性に合った職業・雇用の拡大」（62.0%）、「障がい者が働く能力を身につけるための職業訓練」（54.1%）等が続いています。



No.	選択肢	n	%
1	企業など雇用主の障がい理解の促進	347	68.7
2	一緒に働く上司や同僚などによる障がい理解の促進	350	69.3
3	地域や社会の障がい理解の促進	235	46.5
4	法定雇用率の適用の強化	119	23.6
5	障がい者を多く雇用する企業への支援・優遇	214	42.4
6	障がい特性に合った職業・雇用の拡大	313	62.0
7	障がい者が働く能力を身につけるための職業訓練	273	54.1
8	職場環境のバリアフリー化	200	39.6
9	職場に定着するための支援(「ジョブコーチ」など)	202	40.0
10	離職後のサポート先(次の就労先が見つかるまでの相談先)	165	32.7
11	特に必要なことはない	5	1.0
12	その他	12	2.4
	無回答	11	2.2
	全体	505	100.0

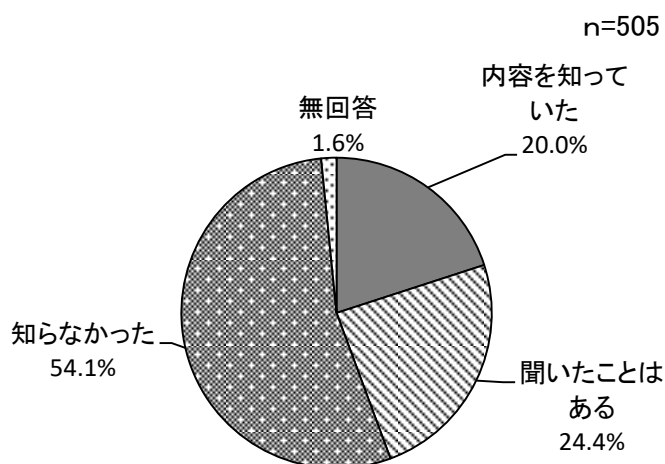
6 障がいに関する意識について

(1) 障がい者福祉に関する用語の認知状況

問24 あなたは、障がい者福祉に関連する次のような言葉を知っていましたか。(それぞれあてはまるもの一つに○)

【「(1)ノーマライゼーション」の認知状況】

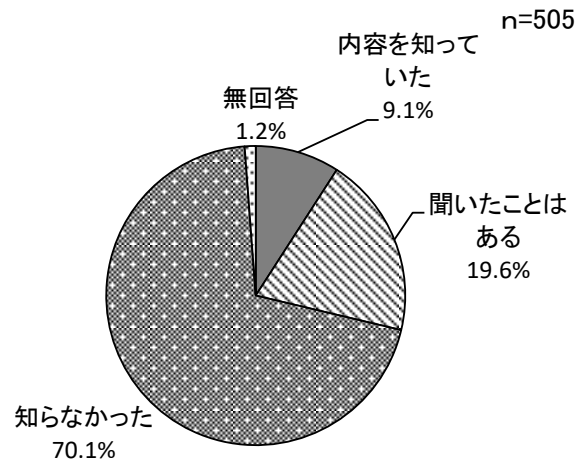
「内容を知っていた」が20.0%、「聞いたことはある」が24.4%、「知らなかった」が54.1%で、「知らなかった」が最も多くなっています。



No.	選択肢	n	%
1	内容を知っていた	101	20.0
2	聞いたことはある	123	24.4
3	知らなかった	273	54.1
	無回答	8	1.6
	全体	505	100.0

【「(2) ソーシャルインクルージョン」の認知状況】

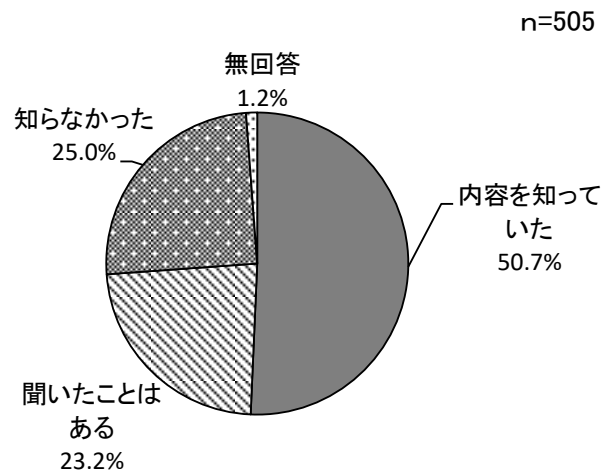
「内容を知っていた」が9.1%、「聞いたことはある」が19.6%、「知らなかった」が70.1%で、「知らなかった」が最も多くなっています。



No.	選択肢	n	%
1	内容を知っていた	46	9.1
2	聞いたことはある	99	19.6
3	知らなかった	354	70.1
	無回答	6	1.2
	全体	505	100.0

【「(3)ユニバーサルデザイン」の認知状況】

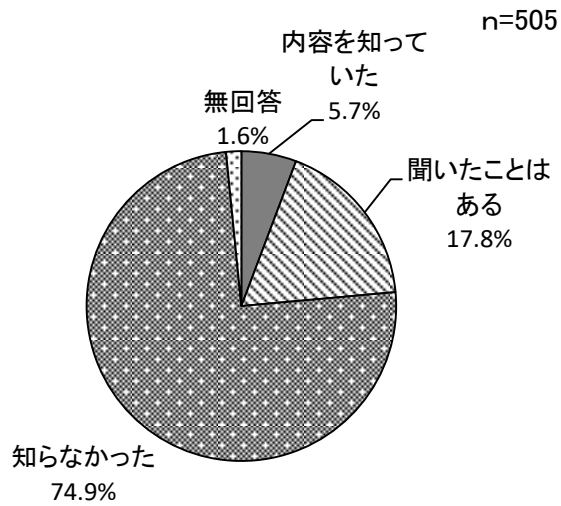
「内容を知っていた」が50.7%、「聞いたことはある」が23.2%、「知らなかった」が25.0%で、「内容を知っていた」が最も多くなっています。



No.	選択肢	n	%
1	内容を知っていた	256	50.7
2	聞いたことはある	117	23.2
3	知らなかった	126	25.0
	無回答	6	1.2
	全体	505	100.0

【「(4)障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」の認知状況】

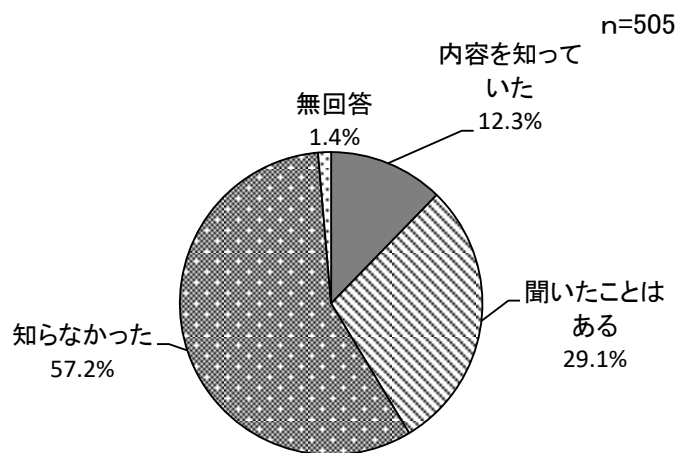
「内容を知っていた」が5.7%、「聞いたことはある」が17.8%、「知らなかった」が74.9%で、「知らなかった」が最も多くなっています。



No.	選択肢	n	%
1	内容を知っていた	29	5.7
2	聞いたことはある	90	17.8
3	知らなかった	378	74.9
	無回答	8	1.6
	全体	505	100.0

【「(5) 障害者差別解消法」の認知状況】

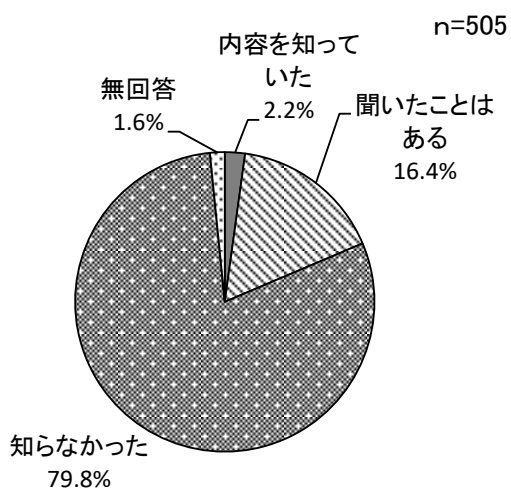
「内容を知っていた」が12.3%、「聞いたことはある」が29.1%、「知らなかった」が57.2%で、「知らなかった」が最も多くなっています。



No.	選択肢	n	%
1	内容を知っていた	62	12.3
2	聞いたことはある	147	29.1
3	知らなかった	289	57.2
	無回答	7	1.4
	全体	505	100.0

【「(6)習志野市心が通うまちづくり条例」の認知状況】

「内容を知っていた」が2.2%、「聞いたことはある」が16.4%、「知らなかった」が79.8%で、「知らなかった」が最も多くなっています。



No.	選択肢	n	%
1	内容を知っていた	11	2.2
2	聞いたことはある	83	16.4
3	知らなかった	403	79.8
	無回答	8	1.6
	全体	505	100.0

*用語解説

ノーマライゼーション

障がい者など社会的に不利益を受けやすい人々が、社会の中で他の人々と同じように生活し、活動することが社会の本来あるべき姿（ノーマルな姿）である、という考え方のことです。

ソーシャルインクルージョン

全ての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活につなげるよう社会の構成員として包み支え合うという意味で、障がい者などを社会から隔離・排除するのではなく、社会の中で共に助け合って生きていくという理念です。

ユニバーサルデザイン

元々あったバリア（障壁）を事後的に取り除く「バリアフリー」に対して、事前の対策としてすべての人にとって使いやすいことをめざす考え方のことを言います。

障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例

千葉県が、国や他の自治体に先駆けて平成18年に制定した、障がい者への差別をなくすための条例です。障がいのある人への誤解や偏見、様々なバリアなどを解消し、誰もが暮らしやすい社会づくりを進めることを目的としています。

障害者差別解消法

平成25年に制定された、差別解消の推進に関する基本的事項や、そのための措置などについて定めている法律です。

習志野市心が通うまちづくり条例

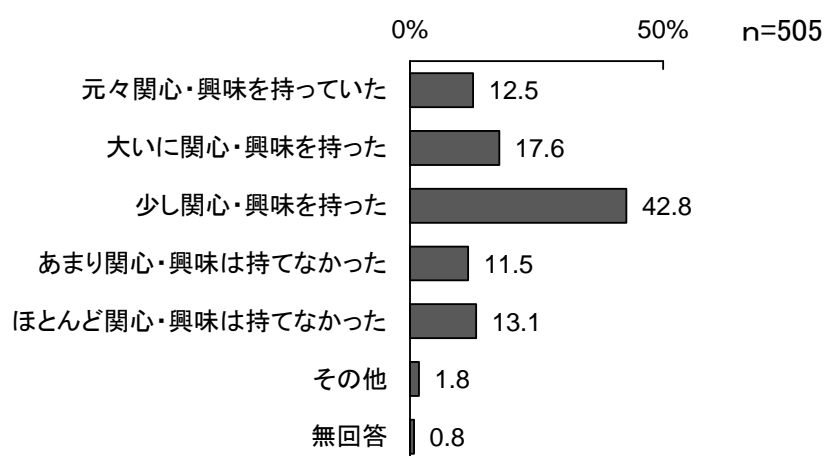
正式名は「習志野市手話、点字等の利用を進めて、障がいのある人もない人も絆を深め、互いに心を通わせるまちづくり条例」で、情報とコミュニケーションの保障を図る内容の条例です。平成27年に制定されました。

(2) 障がい者スポーツなどへの関心・興味について

問 25 2021（令和3）年夏に、新型コロナウイルス感染症感染拡大等で1年延期して「パラリンピック東京大会」が開催されましたが、これにより、あなたは、障がいのある人やそうした人たちが行うスポーツ等への関心・興味が高まりましたか。（あてはまるもの一つに○）

「少し関心・興味を持った」が42.8%で最も多く、次いで「大いに関心・興味を持った」（17.6%）が多くなっています。

また、「元々関心・興味を持っていた」と「大いに」・「少し」“関心・興味を持った”を合わせた“（現在、）関心・興味がある”人の割合は72.9%と7割強を占め、市民の関心・興味が比較的高くなったことがうかがえます。



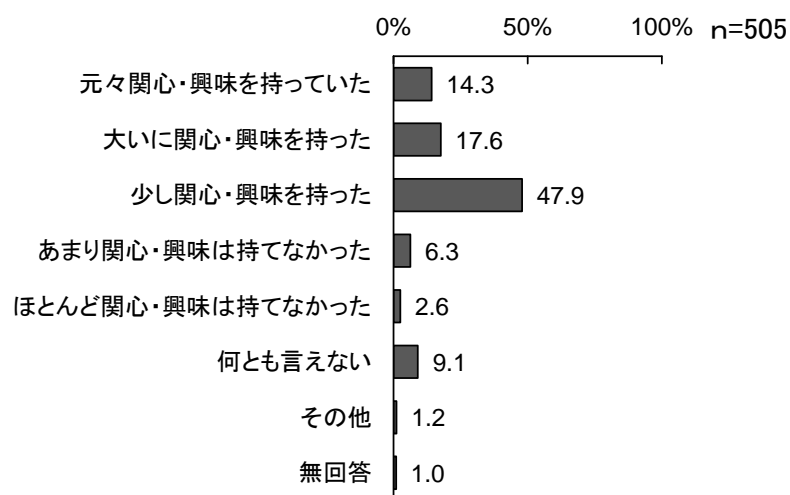
No.	選択肢	n	%
1	元々関心・興味を持っていた	63	12.5
2	大いに関心・興味を持った	89	17.6
3	少し関心・興味を持った	216	42.8
4	あまり関心・興味は持てなかった	58	11.5
5	ほとんど関心・興味は持てなかった	66	13.1
6	その他	9	1.8
	無回答	4	0.8
	全体	505	100.0

(3) 障がい者関連の問題等への関心・興味について

問 26 あなたは、ここまで当アンケート調査に回答していただいて、障がい者に関する社会状況、問題や政策等に感心・興味を持たれましたか。(あてはまるもの一つに○)

「少し関心・興味を持った」が 47.9%で最も多く、「大いに関心・興味を持った」(17.6%)、「元々関心・興味を持っていた」(14.3%)が続いています。

また、「元々関心・興味を持っていた」と「大いに」・「少し」“関心・興味を持った”を合わせた“(現在、)関心・興味がある”人の割合は 79.8%とほぼ8割に上り、市民の関心・興味が高い分野であることがうかがえます。



No.	選択肢	n	%
1	元々関心・興味を持っていた	72	14.3
2	大いに関心・興味を持った	89	17.6
3	少し関心・興味を持った	242	47.9
4	あまり関心・興味は持てなかった	32	6.3
5	ほとんど関心・興味は持てなかった	13	2.6
6	何とも言えない	46	9.1
7	その他	6	1.2
	無回答	5	1.0
	全体	505	100.0

男女別でみると、男性では「少し関心・興味を持った」の回答割合が女性よりも7.5ポイント多く、女性では「元々関心・興味を持っていた」が男性よりも10.7ポイントとかなり多い点等が特徴となっていますが、前ページで言及した“(現在、)関心・興味がある”人の割合を見ると、男性が79.8%、女性が82.1%で、大きな差は無いことが分かります。

	合計	元々関心・興味を持っていた	大いに関心・興味を持った	少し関心・興味を持った	あまり関心・興味は持てなかった	ほとんど関心・興味は持てなかった	何とも言えない	その他	無回答
全体	505	14.3	17.6	47.9	6.3	2.6	9.1	1.2	1.0
男性	219	8.2	16.4	52.1	9.1	3.2	7.8	1.4	1.8
女性	285	18.9	18.6	44.6	4.2	2.1	10.2	1.1	0.4

7 ひきこもりについて

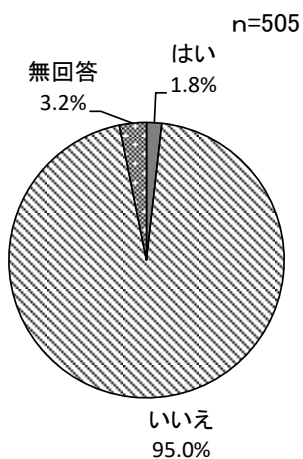
(1) 同居家族のひきこもりの有無

問27 あなたと同居しているご家族にひきこもり(*)の方はいますか。

(あてはまるもの一つに○)

* ひきこもり…仕事や学校に行かず、かつ家族の人との交流をほとんどせずに、6か月以上続けて自宅にひきこもっている状態。

「いいえ」という回答が95%と圧倒的に多く、次いで「はい」は1.8%となっています。



No.	選択肢	n	%
1	はい	9	1.8
2	いいえ	480	95.0
	無回答	16	3.2
	全体	505	100.0

男女別で見ると、「はい」の回答割合は女性が男性を 1.6 ポイント上回っており、やや多くなっています。

年齢別では、20 歳代、40 歳代、50 歳代、70 歳代の人で「はい」の回答がみられます。

	合計	はい	いいえ	無回答
全体	505	1.8	95.0	3.2
男性	219	0.9	95.0	4.1
女性	285	2.5	95.1	2.5
20～29歳	29	3.4	96.6	0.0
30～39歳	58	0.0	96.6	3.4
40～49歳	153	0.7	97.4	2.0
50～59歳	141	3.5	94.3	2.1
60～69歳	51	0.0	98.0	2.0
70～79歳	51	3.9	90.2	5.9
80歳以上	22	0.0	81.8	18.2

(2) ひきこもりの家族のプロフィール等

問 28 問 27 で「はい」と回答した方にお聞きします。ひきこもりの状態にあるご家族全ての方について、年齢、性別とひきこもりの期間をご記入ください。

以下のような回答欄に記入いただきましたが、「ひきこもり状態のご家族」欄の“一人目”に回答した方は9人、“二人目”に回答した方は2人となっています。

ひきこもり状態のご家族	年 齢 (記入)	性 別 (あてはまるもの一つに○)	ひきこもりの期間 (下記の表の該当番号を一つ記入)
一人目	歳	1 男性 2 女性 3 左記以外の性	
二人目	歳	1 男性 2 女性 3 左記以外の性	
三人目	歳	1 男性 2 女性 3 左記以外の性	

【一人目について】

年齢では「無回答」（9人中3人）のほか、20歳代と50歳代が2人ずつで最も多くなっています。

また、性別では「男性」が9人中5人と多く、ひきこもり期間では「1年～3年未満」と「無回答」が各3人ずつと多くなっています。

No.	選択肢	n	%
1	10～19歳	1	11.1
2	20～29歳	2	22.2
3	30～39歳	1	11.1
4	40～49歳	0	0.0
5	50～59歳	2	22.2
6	60歳以上	0	0.0
	無回答	3	33.3
	全体	9	100.0
	非該当	496	

No.	選択肢	n	%
1	男性	5	55.6
2	女性	1	11.1
3	左記以外の性	0	0.0
	無回答	3	33.3
	全体	9	100.0

No.	選択肢	n	%
1	6か月～1年未満	0	0.0
2	1年～3年未満	3	33.3
3	3年～5年未満	0	0.0
4	5年～7年未満	2	22.2
5	7年～10年未満	0	0.0
6	10年以上	1	11.1
	無回答	3	33.3
	全体	9	100.0

【二人目について】

年齢では30歳代と50歳代が1人ずつ、性別では「女性」2人、ひきこもり期間では「1年～3年未満」と「10年以上」が1人ずつとなっています。

なお、三人目に回答した方はいませんでした。

No.	選択肢	n	%
1	10～19歳	0	0.0
2	20～29歳	0	0.0
3	30～39歳	1	11.1
4	40～49歳	0	0.0
5	50～59歳	1	11.1
6	60歳以上	0	0.0

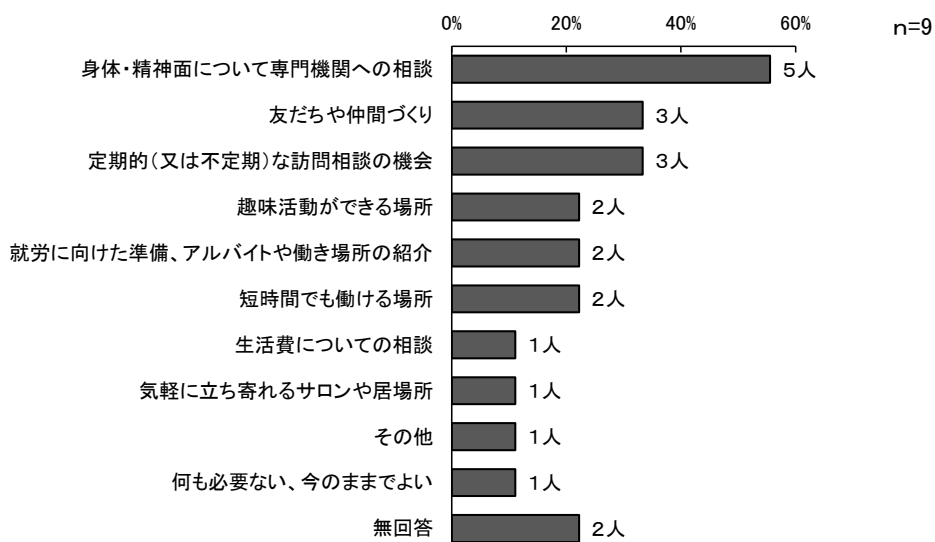
No.	選択肢	n	%
1	男性	0	0.0
2	女性	2	22.2
3	左記以外の性	0	0.0

No.	選択肢	n	%
1	6か月～1年未満	0	0.0
2	1年～3年未満	1	11.1
3	3年～5年未満	0	0.0
4	5年～7年未満	0	0.0
5	7年～10年未満	0	0.0
6	10年以上	1	11.1

(3) ひきこもりの家族に必要と思うこと

問 29 問 27 で「はい」と回答した方にお聞きします。ひきこもり状態のご家族にとって必要と思われることはありますか。(あてはまるもの全てに○)

「身体・精神面についての専門機関への相談」という回答が9人中5人と最も多く、次いで「友だちや仲間づくり」と「定期的(又は不定期)な訪問相談の機会」(ともに同3人)が多くなっています。



No.	選択肢	n	%
1	友だちや仲間づくり	3	33.3
2	趣味活動ができる場所	2	22.2
3	身体・精神面について専門機関への相談	5	55.6
4	定期的(又は不定期)な訪問相談の機会	3	33.3
5	就労に向けた準備、アルバイトや働き場所の紹介	2	22.2
6	短時間でも働ける場所	2	22.2
7	生活費についての相談	1	11.1
8	気軽に立ち寄れるサロンや居場所	1	11.1
9	その他	1	11.1
10	何も必要ない、今のままでよい	1	11.1
	無回答	2	22.2
	全体	9	100.0
	非該当	496	

(4) 「ひきこもりステーション事業」の認知状況

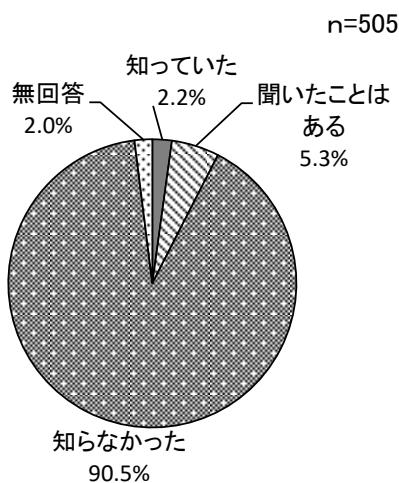
問 30 全ての方にお聞きします。「習志野市ひきこもり支援ステーション事業」(*)
でひきこもりに関するご相談を受けていますが、知っていますか。(あてはまるもの一つに○)

* 習志野市ひきこもりステーション事業

おおむね 6 か月以上ひきこもりの状態にある 15 歳～64 歳の方を対象に、ご本人やご家族からのご相談を受けています。

※令和 4 年 4 月にひきこもりサポーター派遣事業から名称変更しました。

「知らなかった」との回答が 90.5%と約 9 割で最も多く、「聞いたことはある」(5.3%)、「知っていた」(2.2%)の順となっています。



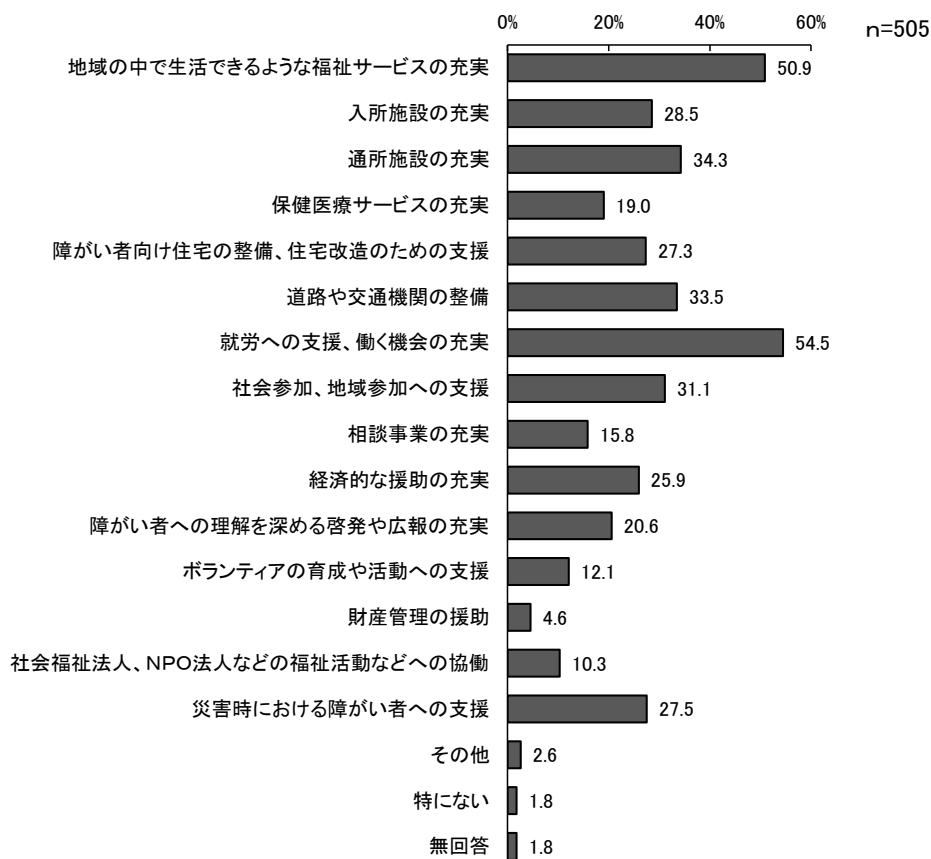
No.	選択肢	n	%
1	知っていた	11	2.2
2	聞いたことはある	27	5.3
3	知らなかった	457	90.5
	無回答	10	2.0
	全体	505	100.0

8 障がい者施策について

(1) 今後市が力を入れていく必要がある障がい者施策

問 31 あなたは、障がいのある方のために今後、市はどのような施策に力を入れていく必要があると思いますか。（あてはまるもの五つまでに○）

「就労への支援、働く機会の充実」が 54.5%で最も多く、次いで「地域の中で生活できるような福祉サービスの充実」（50.9%）が多く、「通所施設の充実」（34.3%）、「道路や交通機関の整備」（33.5%）等が続いています。



No.	選択肢	n	%
1	地域の中で生活できるような福祉サービスの充実	257	50.9
2	入所施設の充実	144	28.5
3	通所施設の充実	173	34.3
4	保健医療サービスの充実	96	19.0
5	障がい者向け住宅の整備、住宅改造のための支援	138	27.3
6	道路や交通機関の整備	169	33.5
7	就労への支援、働く機会の充実	275	54.5
8	社会参加、地域参加への支援	157	31.1
9	相談事業の充実	80	15.8
10	経済的な援助の充実	131	25.9
11	障がい者への理解を深める啓発や広報の充実	104	20.6
12	ボランティアの育成や活動への支援	61	12.1
13	財産管理の援助	23	4.6
14	社会福祉法人、NPO法人などの福祉活動などへの協働	52	10.3
15	災害時における障がい者への支援	139	27.5
16	その他	13	2.6
17	特にない	9	1.8
	無回答	9	1.8
	全体	505	100.0

9 自由意見

問 32 障がい者施策や市民のボランティア活動等について、ご意見・ご要望・ご提案などがありましたら、ご自由にお書きください。

140 人の方から回答をいただき、延べ回答件数は 146 件でした。「障がい理解」についての意見が 30 件と最も多く、次いで「行政・制度」（18 件）が多くなっています。

主な回答としては、「小さい頃から障がいがある人と触れ合う機会があれば差別などの意識は少なくなると思う」、「今、障がい者だけでなく社会も弱者が多く、ボランティア活動が広がることは大変難しいかも」などがありました。

意見		件数	意見		件数
1	障がい理解	30	5	教育	12
2	行政・制度	18	6	就労	12
3	生活環境	16	7	地域生活	4
4	ボランティア	14	—	その他	40
総計					143

※ 複数の内容を含む回答もあるため、個々の意見数の合計は回答総数より多くなります。

◆ 主な意見の概要（内容は要約・省略してあります）

①障がい理解

主な意見の概要	年齢 性別
小・中学校で「障がい」について学び、知り、ふれあう機会があれば、もっと身近に感じる世の中になりそうな気がするので、年間行事の 1 コマに組み込んででも良いのでは。（子どもの時から知っておいた方が◎）	40 代 女性
『広報習志野』でイラスト入りで障がい者への理解を深めるコーナーがあり、知らなかったことを知れて、とても良い取り組みだなおもいながらありがたく読んでいます。今後もぜひこのコーナーを続けてください。	40 代 女性
知的、精神、発達。目に見えてわかりにくい障がいの方への理解、親との接し方などを知る機会が欲しいです。	50 代 女性
小さい頃から障がいがある人と触れ合う機会があれば差別などの意識は少なくなると思うし、自然と人に手を貸すことを身に付けると思う。	40 代 女性

②行政・制度

主な意見の概要	年齢 性別
母が車イスを使用しています。都内に住んでいましたが、私の住む習志野市の方が暮らしやすい為、引っ越してきました。いろいろな制度や人々の理解（障がいのある人に対して）ある地域だと考えます。	50代 女性
習志野市に「ひきこもりステーション事業」があったとは知りませんでした。子どもがひきこもりの時はいろいろと調べて、いろいろな方に相談したので、市でそのような事業ができたのは大変喜ばしいと思います。	50代 女性
自身や家族が障がい者になったら、まずは「障がい福祉課」が相談にのってくれる場所だということを知るようなポスターなどの周知があると、もっと早く支援につながると思いました。	30代 男性

③生活環境

主な意見の概要	年齢 性別
国道 14 号の歩道の段差がひどすぎます。障がい者の方だけでなくご年配の方も歩きにくいと感じるので、直していただけると幸いです（実際、年配の母も転びました）。	40代 女性
歩道のアップダウンを何とかしてほしい。足の悪い人や車イスの人は大変です。	60代 男性

④ボランティア

主な意見の概要	年齢 性別
専門のボランティアの育成も大事だと思うが、近くで生活している人やたまたま通りすがった人でも、気軽にお手伝いができれば、と思う。	40代 女性
もっと若い人（バリバリおしゃれしてる若者とか…）が、積極的にボランティアしているところなど、市のインスタとかツイッターとか SNS を有効利用して発信すると良いのでは？	40代 女性
当アンケートに回答し、「ボランティア」に頼ろうという（頼りにしている）感じがした。障害者支援では自主的なボランティアを促すよりも、財政支援で有識者、技術ある人を雇って支援していくことに力を入れてほしい。	30代 女性
今、障がい者だけでなく社会も弱者が多く、ボランティア活動が広がることは大変むずかしいかも、自分が生活していくのに必死だから。	70代 女性

⑤教育

主な意見の概要	年齢 性別
特別支援学級の増設、それに伴った専門的知識の有る教員の増員。	30代 男性
学校での教育もOA化が進んでおり、障がいを持っていてもタブレットやパソコンで、その能力に合った教育が必要だと思う。	60代 女性

⑥就労

主な意見の概要	年齢 性別
障害者の方がサポートを受けながら企業で働き、自立することが大切であると考えます。単に支援をするのではなく、雇用に結びつき継続できる環境を創る事に税金を使って欲しいと考えます。	50代 男性
ジョブコーチ、支援者をつけても話をまともに聞いてくれないので意味ないです。もう2年近く仕事してません、差別があるからです。	20代 男性
周囲の関心の高まりと経済的自立が可能な仕組みが構築されたならば、ネガティブなイメージも軽減されると思います。	40代 男性

⑦地域生活

主な意見の概要	年齢 性別
障がい者だけでなく、今の世の中はいろいろな問題を抱えている方は多いので、何をどこに相談したらよいのか、どのような制度・助成等があるのか分からない。	40代 女性
障がいの方々が社会に出て働いたりした場所でいじめや差別が出たとしても、相談しやすく対処してくれるところが充実してほしい。	40代 女性

⑧その他

主な意見の概要	年齢 性別
数年前に近所にNPO法人の障がい者施設ができたが、車の出入り、騒音などが激しい。住宅地につくるのではなく、もっと場所など計画性を持ってほしいと思う。	40代 女性
「特別支援」という言葉の言い換え(が必要)。『特別』という言葉が、受ける側の躊躇や差別を助長すると思う。	40代 男性

資料編（調査票）

習志野市障がい者基本計画等策定のための
アンケート調査報告書

令和5年3月
習志野市